



HP Photosmart 7300/7400 series all-in-one

ユーザガイド



HP Officejet 7300/7400 Series All-in-One

ユーザー ガイド



出版番号：Q3461-90200

Second edition

注意

HP 製品およびサービスに適用される保証は、当該製品およびサービスに付属する保証書に明記されています。本書の記載事項を追加保証として解釈してはなりません。HP は本書の内容に関する技術上または編集上の誤記または脱落について責任を負わないものとします。

Hewlett-Packard Company は、本製品の設置やパフォーマンス、あるいは本ドキュメントおよび本ドキュメントに記載されているプログラムの使用に関係する、あるいは起因する付帯的なあるいは結果的な損害について責任を負わないものとします。

「**ご注意：**」規制情報は本ガイドの「技術情報」という章に記載されています。



多くの地域において、次のもののコピーを作成することは法律で禁じられています。疑問がおありの場合は、まず法律の専門家に確認してください。

- 政府が発行する書類や文書：
  - パスポート
  - 入国管理関係の書類
  - 徴兵関係の書類
  - 身分証明バッジ、カード、身分証明章
- 政府発行の証紙：

  郵便切手

  食糧切符
- 政府機関宛ての小切手や手形
- 紙幣、トラベラーズチェック、郵便為替
- 定期預金証書
- 著作権で保護されている成果物

安全に関する情報



警告　発火や感電を防止するために、本製品を雨やその他の水分にさらさないよう注意してください。

本製品を使用する際は常に基本的な安全上の予防措置を講じるようにしてください。発火や感電によるけがのリスクの引き下げにつながります。



警告　感電の危険性があります

1 セットアップ ポスターに記述されている指示すべてをお読みの上、内容を理解するようにしてください。
2 本体を電源に接続する際は、接地されているコンセントのみを使用してください。コンセントが接地されているかどうか不明の場合は、資格のある電気技術者にお尋ねください。
3 製品に表示されているすべての警告と手順に従ってください。
4 本体のクリーニングを行う際はコンセントから外してから行ってください。
5 水の近くに本製品を設置したり、あるいは濡れた手で本製品を使用したりしないでください。
6 本製品は安定した表面にしっかりと設置してください。
7 だれかが電源コードを踏みつけたりつまずいたりすることのない、また電源コードが損傷することのない、安全な場所に本製品を設置してください。
8 本製品が正常に動作しない場合については、オンラインヘルプのトラブルシューティングの項を参照してください。
9 お客様ご自身で分解修理しないでください。修理については資格のあるサービス担当者にお問い合わせください。
10 風通しのよいところでご使用ください。



警告　主電源の供給が停止したときは動作しません。

目次

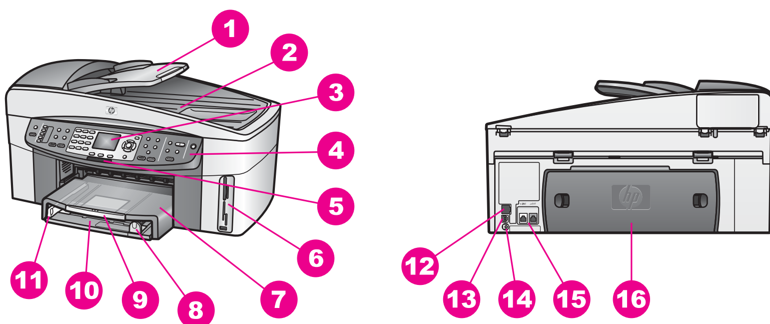
1 HP all-in-one の概要

HP all-in-one の機能の多くは、コンピュータに接続しなくても使用できます。コピー、ファクスの送信、メモリ カードからの写真の印刷などのタスクは、HP all-in-one 上で簡単かつすぐに実行できます。この章では、HP all-in-one のハードウェア機能、コントロール パネルの機能、「**HP Image Zone**」ソフトウェアへのアクセス方法を説明します。

注記　HP Officejet 7300 Series と HP Officejet 7400 Series All-in-One は、機能がわずかに異なっています。このガイドで説明している機能は、購入したモデルに適用されないことがあります。

ヒント　コンピュータにインストールされている 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用すると、HP all-in-one の機能をフルに活用できます。このソフトウェアからは、トラブルシューティングのヒント、製品ごとのヘルプだけでなく、高画質コピー、ファクス、スキャン、写真機能などが利用できます。詳細については、オンスクリーンの「**HP Image Zone ヘルプ**」 および HP Image Zone による HP all-in-one のフル活用 を参照してください。

HP all-in-one の概要



番号	説明
「1」	ドキュメント フィーダ トレイ
「2」	カバー
「3」	カラー グラフィック ディスプレイ
「4」	コントロール パネル
「5」	802.11g 無線インジケータ

(続き)

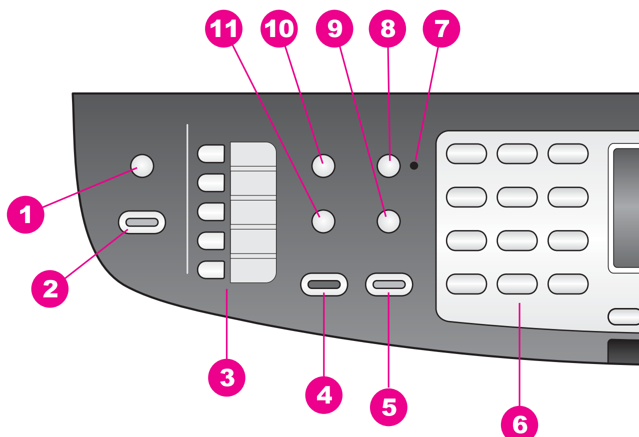
番号	説明
	(HP Officejet 7400 Series All-in-one のみ)
「6」	メモリ カード スロットおよび PictBridge カメラ ポート
「7」	排紙トレイ
「8」	縦方向の用紙ガイド
「9」	用紙補助トレイ
「10」	給紙トレイ
「11」	横方向の用紙ガイド
「12」	Ethernet ポートおよび Ethernet インジケータ
「13」	後部 USB ポート
「14」	電源コネクタ
「15」	ファクス ポート (1 - 電話回線接続用、2 - 電話機接続用)
「16」	後部アクセス ドア

注記 HP Officejet 7400 Series All-in-One のワイヤレスはデフォルトでオンになっています。青い (ワイヤレス) ランプがワイヤレスの状態を示し、ワイヤレスがオンの間点灯しています。USB または Ethernet ケーブルを使用して HP all-in-one を接続する場合、ワイヤレスをオフにしてください。ワイヤレスと青いランプをオフにする方法については、HP all-in-one に付属の『ネットワーキング ガイド』を参照してください。

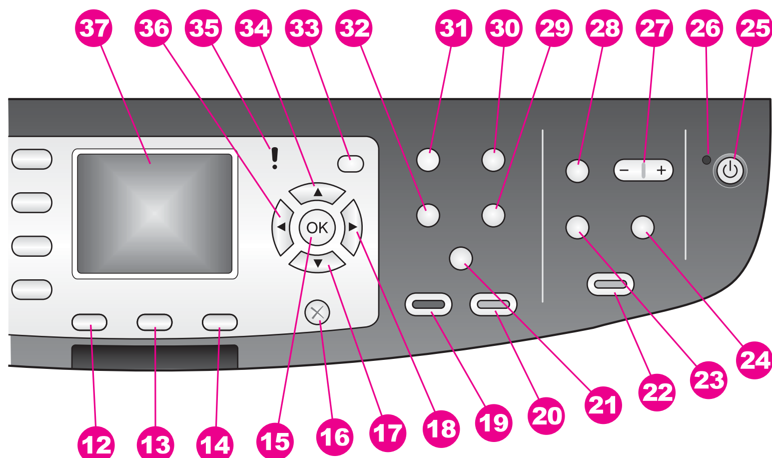
コントロール パネルの概要

ここでは、カラー グラフィック ディスプレイ アイコンおよびスクリーン セーバーに加えて、コントロール パネルのボタン、ランプ、キーパッドの機能について説明します。

コントロール パネルの機能



番号	名称および説明
「1」	「**スキャン to**」: スキャンの送信先を選択します。
「2」	「**スタート スキャン**」:スキャン ジョブを開始し、「**スキャン to**」 ボタンを使用して選択した送信先に送信します。
「3」	「**ワンタッチ短縮ダイヤル ボタン**」:最初の 5 つの短縮ダイヤル番号にアクセスします。
「4」	「**ファクス スタート - モノクロ**」:モノクロ ファクスを開始します。
「5」	「**ファクス スタート - カラー**」:カラー ファクスを開始します。
「6」	「**キーパッド**」:ファクス番号や値、文字を入力します。
「7」	「**自動応答ランプ**」:「**自動応答**」ランプが点灯している場合は、HP all-in-one は自動的にファクスを受信するように設定されています。
「8」	「**自動応答**」:ファクスの機能を設定して、指定した呼び出し回数の後で自動的に応答するようにします。
「9」	「**リダイヤル/ポーズ**」:直前にダイヤルした番号にリダイヤルするか、ファクス番号の途中に 3 秒の間隔を入れます。
「10」	「**メニュー**」:ファクス領域の「**メニュー**」 ボタンを使用して、「**解像度**」、「**薄く/濃く**」、「**両面送信**」 を含むその他のオプションを選択します。
「11」	「**短縮ダイヤル**」:短縮ダイヤル番号を選択します。



番号	名称および説明
「12」	「**両面**」:両面コピー、またはファクス ジョブを実行します。
「13」	「**トレイ選択**」:用紙トレイを選択します。
「14」	「**HP Instant Share**」:HP Instant Share 機能にアクセスする。
「15」	「**OK**」:メニュー、設定を選択するか、またはカラー グラフィック ディスプレイで印刷する写真を選択します。
「16」	「**キャンセル**」:ジョブの停止、メニューの終了、設定の終了を行います。
「17」	「**下矢印**」:メニュー オプションを下にスクロールします。
「18」	「**右矢印**」:値を増やしたり、カラー グラフィック ディスプレイに写真を表示しているとき次に進みます。
「19」	「**コピー スタート - モノクロ**」:モノクロ コピー ジョブを開始します。
「20」	「**コピー スタート - カラー**」:カラー コピー ジョブを開始します。
「21a」	「**部単位で印刷**」:一連のコピーを、ドキュメント フィーダ トレイからスキャンした順番どおりに作成します。(HP Officejet 7400 Series All-in-One のみ)
「21b」	「**薄く/濃く**」:コピー出力を薄くまたは濃くできるメニューにアクセスします。(HP Officejet 7300 Series All-in-One のみ)
「22」	「**フォト プリント**」:現在カラー グラフィック ディスプレイに表示されているメモリ カードから写真を印刷するか、「**OK ボタン**」 を使用して選択した写真をすべて印刷します。

(続き)

番号	名称および説明
「23」	**「フォト シート」**: メモリ カード スロットにメモリ カードが挿入されていると、フォト シートを印刷します。フォトシートには、メモリ カード内のすべての写真のサムネイル ビューが表示されます。 フォトシート上で写真を選択し、そのフォトシートをスキャンすることでその写真を印刷できます。
「24」	**「回転」**:カラー グラフィック ディスプレイに表示している写真の向きを 90 度回転します。続けて押すと、90 度ずつ回転します。
「25」	**「On」**:HP all-in-one の電源をオン/オフにします。プリンタの電源をオフにしていても、プリンタ本体には必要最小限の電力が供給されています。HP all-in-one への電力の供給を完全に遮断するには、本体の電源をオフにしてから電源ケーブルを抜いてください。
「26」	**「On ランプ」**:**「On」** ランプが点灯しているときは、HP all-in-one の電源がオンになっています。ジョブの実行中はランプが点滅します。
「27」	**「ズーム」**:カラー グラフィック ディスプレイに表示している画像を拡大します。
「28」	**「メニュー」**:フォト領域の **「メニュー」** ボタンを使用して写真を印刷、コンピュータへ転送、スライド ショーを見る、または HP Instant Share と写真を共有します。
「29」	**「コピー枚数」**:◀または▶のいずれかを使用してコピーする枚数を選択するか、キーパッドを使用して枚数を直接入力します。
「30」	**「品質」**:コピーの品質を調整します。
「31」	**「メニュー」**:コピー領域の **「メニュー」** ボタンを使用して、**「トレイ選択」**、**「用紙の種類」**、**「用紙サイズ」** を含むその他のオプションを選択します。
「32」	**「縮小/拡大」**:印刷するコピーや写真のサイズを変更します。
「33」	**「セットアップ」**:レポートの印刷やファクス設定、メンテナンスを行うためのメニュー システムを呼び出します。また、製品起動のヘルプも呼び出します。
「34」	**「上矢印」**:メニュー オプションを上にスクロールします。
「35」	**「注意ランプ」**:**「注意」**ランプが点滅しているときは、注意する必要があるエラーが発生しています。
「36」	**「左矢印」**:値を減らしたり、カラー グラフィック ディスプレイに写真を表示したときに前に戻ります。

番号	名称および説明
「37」	「カラー グラフィック ディスプレイ」:メニュー、写真、およびメッセージを表示します。カラー グラフィック ディスプレイは、このデバイスに固定されています。

[カラー グラフィック ディスプレイ] アイコン

カラー グラフィック ディスプレイでは、画面の下部に次のアイコンを表示し、HP all-in-one に関する重要な情報を知らせます。アイコンの中には、HP all-in-one がワイヤレス ネットワークに接続可能な場合にのみ表示されるものがあります。

アイコン	用途
	プリント カートリッジがほとんど空であることを示します。アイコンの下部の色はプリント カートリッジの上部の色に対応しています。たとえば、グリーンのアイコンは上部がグリーンのカートリッジを表します。このカートリッジはカラー プリント カートリッジです。
	アイコンの色に対応するプリント カートリッジのインク残量を示します。このカートリッジは、グレー プリント カートリッジを示しています。
	左 -有線接続されていることを示します。 右 -有線接続されていないことを示します。
	HP all-in-one はワイヤレス ネットワークに接続できますが、現在はワイヤレス ネットワークに接続されていないことを示します。インフラストラクチャ モードでのみ表示されます。(HP Officejet 7400 Series All-in-One のみ)
	アドホック ワイヤレス ネットワークに接続されていることを示します。(HP Officejet 7400 Series All-in-One のみ)
	ワイヤレス ネットワーク接続の信号強度を示します。インフラストラクチャ モードでのみ表示されます。(HP Officejet 7400 Series All-in-One のみ)

アイコン	用途
	HP Instant Share メッセージが受信されたことを示します。
	HP Instant Share はセットアップ済みですが、自動チェックがオフになっていることを示します。
	Bluetooth アダプタがインストールされ、接続されていることを示します。

カラー グラフィック ディスプレイのスクリーン セーバー

カラー グラフィック ディスプレイを操作しない状態が 2 分間続くと、ディスプレイの寿命を延ばすためにディスプレイが暗くなります。操作しない状態がさらに 8 分間 (合計で 10 分間) 続くと、ディスプレイはスクリーン セーバー モードになります。操作しない状態が 60 分間続くと、カラー グラフィック ディスプレイはスリープ状態になり、画面の表示が完全に消えます。コントロール パネルのボタン操作、カバーの持ち上げ、メモリ カードの挿入、接続されているコンピュータからの HP all-in-one の操作、フロント カメラ ポートへのデバイスの接続などを行うと、画面が再び表示されます。

メニューの概要

次の図は、HP all-in-one のカラー グラフィック ディスプレイに表示されるメニューの一覧です。

コピー メニュー

コピーメニュー
1. トレイ選択
2. 用紙サイズ
3. 用紙の種類
4. 部単位で印刷
5. 両面
6. コピー枚数
7. 縮小/拡大
8. コピー品質
9. 薄く/濃く
0. 強調
*. 色の濃さ

(続き)

コピー メニュー
#. 新しいデフォルトの設定

[スキャン to] メニュー

「スキャン to」 メニューが表示され、スキャンの送信先 (お使いのコンピュータにインストールしてあるアプリケーション名を含む) リストが表示されます。このため、「スキャン to」 メニューには、ここに示した送信先以外の送信先が表示されることがあります。

スキャン to (USB - Windows)
1. HP Image Zone
2. Microsoft PowerPoint
3. Adobe Photoshop
4. HP Instant Share
5. メモリ カード

Scan 先 (USB - Macintosh)
1. JPEG を HP Gallery へ
2. Microsoft Word
3. Microsoft PowerPoint
4. HP Instant Share
5. メモリ カード

スキャン メニュー

HP all-in-one がネットワークで 1 台以上のコンピュータに接続されている場合、「スキャン メニュー」 では、オプションが表示される前に、接続済みのコンピュータを選択できます。

スキャン メニュー (ネットワーク)
1. コンピュータの選択
2. HP Instant Share
3. メモリ カード

フォトメニュー

HP all-in-one がネットワークで 1 台以上のコンピュータに接続されている場合、「フォト メニュー」 に表示されるオプションは、USB ケーブルで 1 台のコンピュータに接続されている場合とは異なります。

フォトメニュー
1. 印刷オプション
2. 編集
3. コンピュータへ転送
4. スライド ショー
5. HP Instant Share

ファクス メニュー

ファクス メニュー
1. 解像度
2. 薄く/濃く
3. 両面送信 - モノクロのみ
4. スキャンとファクス
5. 後からファクスを送信
6. ポーリング受信
7. 新しいデフォルトの設定

フォト シート メニュー

フォトシート メニュー
1. フォト シートの印刷
2. フォト シートのスキャン

HP Instant Share メニュー

HP Instant Share
1. 送信
2. 受信

(続き)

HP Instant Share
3. HP Instant Share オプション 4. 新しい送信先の追加

セットアップ メニュー

「セットアップ メニュー」 から 「ヘルプ メニュー」 を選択すると、重要なヘルプ トピックをすばやく見つけることができます。多くの情報は、接続されている Windows コンピュータまたは Macintosh コンピュータの画面に表示されます。カラー グラフィック ディスプレイ アイコンに関する情報はカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。

セットアップ メニュー
1. ヘルプ メニュー 2. レポートの印刷 3. 短縮ダイヤルの設定 4. ファクスの基本設定 5. ファクスの詳細設定 6. ツール 7. プリファレンス 8. ネットワーク 9. HP Instant Share 0. Bluetooth

「HP Image Zone」 による HP all-in-one のフル活用

HP all-in-one をセットアップすると、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアがコンピュータにインストールされます。詳細については、本体に付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアへのアクセスは、オペレーティング システム (OS) により異なります。たとえば、PC を使用して Windows を実行している場合、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアのエントリ ポイントは、「**HP ディレクタ**」 です。Macintosh を使用して、OS X V10.1.5 以降を実行している場合、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアのエントリ ポイントは、「**HP Image Zone**」 ウィンドウです。いずれにしても、エントリ ポイントは、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアおよびサービスの起動となります。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使うと、HP all-in-one の機能の拡張をすばやく簡単に行うことができます。本書全体を通して、このようなボックスを見ると、トピック別のヒントやプロジェクトに役立つ情報が得られます。

「HP Image Zone」 ソフトウェアにアクセスします (Windows)

「**HP ディレクタ**」 を、デスクトップ アイコン、システム トレイのアイコン、または 「**スタート**」 メニューから開きます。「**HP Image Zone**」 ソフトウェアの機能が 「**HP ディレクタ**」 に表示されます。

「HP ディレクタ」 を開くには

1 以下のいずれかを実行してください。
   – Windows のデスクトップで、「**HP ディレクタ**」 アイコンをダブルクリックします。
   – Windows タスクバーの右端のシステム トレイにある 「**Hewlett-Packard Digital Imaging Monitor**」 アイコンをダブルクリックします。
   – タスクバーで、「**スタート**」 をクリックした後、「**プログラム**」 または 「**すべてのプログラム**」 をポイントし、次に、「**HP**」 を選択して、「**HP ディレクタ**」 をクリックします。
2 「**デバイス選択**」 ボックスで、インストールされているプリンタの一覧を、クリックして表示します。
3 HP all-in-one を選択します。

注記 下記の 「**HP ディレクタ**」 のグラフィックに表示されるアイコンは、コンピュータによって異なります。「**HP ディレクタ**」 は、選択したプリンタに関連付けられているアイコンを表示するようにカスタマイズされています。選択したプリンタに特定の機能が搭載されていない場合は、その機能のアイコンが 「**HP ディレクタ**」 に表示されないこともあります。

ヒント コンピュータ上の 「**HP ディレクタ**」 にアイコンが 1 つも表示されない場合は、ソフトウェアのインストール中にエラーが発生していることもあります。そのような状況を修正するには、Windows のコントロール パネルを使用して、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを完全にアンインストールしてから、ソフトウェアを再インストールします。詳細は、HP all-in-one に付属の「セットアップ ガイド」を参照してください。

ボタン	名称と用途
	「**画像のスキャン**」 -写真、図、絵をスキャンして、「**HP Image Zone**」 に表示します。
	「**ドキュメント　スキャン**」: テキストまたはテキストとグラフィックスの両方が含まれている文書をスキャンし、選択したプログラムに表示します。

ボタン	名称と用途
	「**コピーの作成**」 -[コピー] ダイアログ ボックスを表示して、画像またはドキュメントのハード コピーを作成します。コピー品質、コピー部数、カラー、サイズの選択ができます。
	「**HP Image Zone**」:「**HP Image Zone**」を表示し、次の操作を可能にします。 ● 画像の表示と編集 ● 複数のサイズでの写真の印刷 ● フォト アルバム、ポストカード、広告の作成と印刷 ● 電子メールまたは Web サイトでの画像の共有
	「**画像の転送**」:HP 画像転送ソフトウェアを表示し、画像を HP all-in-one から転送して、コンピュータに保存します。

注記 [ソフトウェアの更新]、[クリエイティブ アイデア]、[HP Shopping] など、その他の機能やメニューの詳細については、オンスクリーンの「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

メニュー項目やリスト項目により、使用する機器の選択、機器の状態の確認、ソフトウェア設定の調整、オンスクリーン ヘルプの利用などが可能です。次の表で、これらの項目を説明します。

機能	用途
ヘルプ	この機能を使用すると、「**HP Image Zone ヘルプ**」 にアクセスして、HP all-in-one のソフトウェア ヘルプやトラブルシューティング情報を入手することができます。
デバイス選択	この機能を使用すると、インストールされているプリンタの一覧から、使用するプリンタを選択することができます。
設定	この機能を使用すると、印刷、スキャン、コピーなど、HP all-in-one の各種設定を表示したり、変更したりできます。
状態	この機能を使用すると、HP all-in-one の現在の状態が表示されます。

「HP Image Zone」 ソフトウェアの起動 (Macintosh OS X v10.1.5 以降)

注記 Macintosh OS X v.10.2.0 および v10.2.1、v10.2.2 は、サポートされて「**いません**」。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアをインストールすると、「**HP Image Zone**」 アイコンは [Dock] に置かれます。

注記 HP all-in-one を 2 台以上設置すると、Dock にはプリンタごとに「**HP Image Zone**」 のアイコンが表示されます。たとえば、HP スキャ

ナと HP all-in-one を 1 台ずつ設置している場合、「**HP Image Zone**」のアイコンが 2 つ (デバイスごとに 1 つずつ) Dock に表示されます。ただし、同じ種類のプリンタを 2 台設置した場合 (HP all-in-one を 2 台設置した場合など)、「**HP Image Zone**」 のアイコンはドックに 1 つしか表示されず、同じ種類のプリンタはすべてそのアイコンで表現されます。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアにアクセスするには、次のいずれかを実行してください。

- 「**HP Image Zone**」 ウィンドウから
- 「**HP Image Zone**」 [Dock] メニューから

「HP Image Zone」 ウィンドウを開きます。

「**HP Image Zone**」 アイコンを選択し、「**HP Image Zone**」 ウィンドウを開きます。「**HP Image Zone**」 ウィンドウには 2 つのエレメントがあります。

- 「**製品/サービス**」 タブの表示領域
  – 「**製品**」 タブから、インストール製品のポップアップ メニューや現在の製品で利用できるタスク リストなど、HP イメージング製品の多くの機能にアクセスできます。リストには、コピー、スキャン、ファックス、画像の転送などが含まれています。タスクをクリックすると、タスクを補助するアプリケーションが開きます。
  – 「**サービス**」 タブからは、画像の表示、編集、管理、共有ができるデジタル イメージング アプリケーションにアクセスできます。
- 「**HP Image Zone ヘルプの検索**」 テキスト エントリ フィールド
  「**HP Image Zone ヘルプの検索**」 テキスト エントリ フィールドでは、キーワードやフレーズから、「**HP Image Zone ヘルプ**」 の検索ができます。

「HP Image Zone」 ウィンドウを開くには

➔ Dock の 「**HP Image Zone**」 のアイコンをクリックします。
「**HP Image Zone**」 ウィンドウが表示されます。
「**HP Image Zone**」 ウィンドウには、選択したプリンタに適した「**HP Image Zone**」 機能だけが表示されます。

注記　下記の表に表示されるアイコンは、コンピュータによって異なります。「**HP Image Zone**」 ウィンドウは、選択したプリンタに関連付けられている機能アイコンを表示するようにカスタマイズされています。選択したプリンタに特定の機能が搭載されていない場合は、その機能が「**HP Image Zone**」 ウィンドウに表示されないこともあります。

製品	
アイコン	**機能と用途**
	「画像の転送」: この機能を使用すると、メモリ カードから画像を転送することができます。
	「画像のスキャン」 -この機能を使用すると、画像をスキャンして、**「HP ギャラリ」** に表示することができます。
	「OCR にスキャン」:この機能を使用すると、テキストをスキャンし、選択したテキスト編集ソフトウェア プログラムで表示することができます。 注記　この機能は、利用できる国/地域と利用できない国/地域があります。日本版には入っておりません。
	「コピーの作成」 -この機能を使用すると、モノクロまたはカラーでコピーを作成できます。

サービス	
アイコン	**機能と用途**
	「HP ギャラリ」: この機能を使用して **「HP ギャラリ」** を表示すると、画像の表示および編集を行うことができます。
	「HP Image Print」:この機能を使用すると、利用できる複数のテンプレートを 1 つ使って、アルバムから画像を印刷できます。
	「HP Instant Share」: この機能を使用して **「HP Instant Share」** ソフトウェア クライアント アプリケーションを開きます。

これらの機能アイコンの他に、メニュー項目やリスト項目を選択することで、使用するデバイスの選択、ソフトウェア設定の調整、オンスクリーン ヘルプの利用などが可能です。次の表で、これらの項目を説明します。

機能	用途
デバイスの選択	この機能を使用すると、インストールされているプリンタの一覧から、使用するプリンタを選択することができます。

(続き)

機能	用途
設定	この機能を使用すると、印刷、スキャン、コピー、ファクスなど、HP all-in-one の各種設定を表示したり、変更したりできます。
「**HP Image Zone ヘルプ**」 の検索	この機能を使用すると、「**HP Image Zone ヘルプ**」 を検索して、HP all-in-one のソフトウェア ヘルプやトラブルシューティング情報を入手することができます。

次の方法で 「HP Image Zone」の Dock メニューを表示します。

「**HP Image Zone**」 Dock メニューでは、「**HP Image Zone**」 サービスへのショートカットが利用できます。Dock メニューには、「**HP Image Zone**」 ウィンドウの 「**サービス**」 タブ リスト で利用できるアプリケーションすべてが自動的に組み込まれます。「**製品**」 タブリストや 「**HP Image Zone ヘルプ**」 のタスクなどその他の項目をメニューに追加する 「**HP Image Zone**」 プリファレンスも設定できます。

「HP Image Zone」 の [Dock] メニューを表示する

➔ 以下のいずれかを実行してください。
  - 使用するフォト マネージャとして、「**HP ギャラリ**」 または 「**iPhoto**」 を設定します。
  - 使用するフォト マネージャと関連した追加オプションを設定します。
  - 「**HP Image Zone**」 Dock メニューに表示された項目リストをカスタマイズします。

「HP Image Zone」 ソフトウェア (Macintosh OS X v10.1.5 以前) にアクセス

注記　Macintosh OS X v10.0 および v10.0.4 は、サポートされ「**いません**」。

「**HP ディレクタ**」 は、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアへのエントリ ポイントです。HP all-in-one の機能に応じて、「**HP ディレクタ**」 を使うと、スキャン、コピー、ファックス、デジカメやメモリ カードからの画像転送などのデバイス機能を実行できます。また、「**HP ディレクタ**」 を使用して、「**HP ギャラリ**」 を開き、コンピュータにある画像の表示、修正、管理も行えます。

「**HP ディレクタ**」 は、以下のいずれかの方法で起動します。これらの方法は、Macintosh OS 専用です。

- Macintosh OS X:「**HP ディレクタ**」 は、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアのインストール中に自動的に開き、「**HP ディレクタ**」 アイコンがデバイス用に Dock に作成されます。「**HP ディレクタ**」 メニューを表示するには

  Dock で、デバイスの 「**HP ディレクタ**」 アイコンをクリックします。
  「**HP ディレクタ**」 メニューが表示されます。

注記 異なる種類の、複数の HP デバイスをインストールする場合 (たとえば、HP all-in-one、カメラ、HP スキャナなど)、各種デバイスの 「**HP ディレクタ**」 アイコンが Dock に表示されます。ただし、同種のデバイスを 2 つインストールする場合 (たとえば、1 台は職場、もう 1 台は家にある 2 種類の HP all-in-one デバイスに 1 台のノートパソコンを接続しているような場合)、1 つのアイコンだけが 「**HP ディレクタ**」 Dock に表示されます。

- Macintosh OS 9:「**HP ディレクタ**」 は、スタンドアローン アプリケーションで、機能にアクセスするまえに起動しておく必要があります。
  「**HP ディレクタ**」 は、以下のいずれかの方法で起動します。
  – デスクトップの 「**HP ディレクタ**」 エイリアスをダブルクリックします。
  – 「**アプリケーション:Hewlett-Packard:HP フォト イメージング ソフトウェア**」 フォルダ内の、「**HP ディレクタ**」 エイリアスをダブルクリックします。
  「**HP ディレクタ**」 には、選択したデバイスに関連するタスク ボタンだけが表示されます。

注記 下記の表に表示されるアイコンは、コンピュータによって異なります。「**HP ディレクタ**」 メニューは、選択したプリンタに関連付けられているアイコンを表示するようにカスタマイズされています。選択したプリンタに特定の機能が搭載されていない場合は、その機能のアイコンが表示されないこともあります。

プリンタのタスク	
アイコン	**用途**
	「**画像の転送**」 -この機能を使用すると、メモリ カードからコンピュータに画像を転送することができます。 注記 Macintosh OS 9:メモリ カードからコンピュータへの画像の転送は、ネットワーク経由ではサポートされて「**いません**」。
	「**画像のスキャン**」 -この機能を使用すると、画像をスキャンして、「**HP ギャラリ**」 に表示することができます。
	「**ドキュメントのスキャン**」: この機能を使用すると、テキストをスキャンし、選択したテキスト編集ソフトウェア プログラムで表示することができます。 注記 この機能は、利用できる国/地域と利用できない国/地域があります。日本版には入っておりません。

プリンタのタスク	
アイコン	**用途**
	「**コピーの作成**」 -この機能を使用すると、モノクロまたはカラーでコピーを作成できます。

ソフト	
アイコン	**用途**
	「**HP ギャラリ**」: この機能を使用して 「**HP ギャラリ**」 を表示すると、画像の表示および編集を行うことができます。

「**HP ギャラリ**」 機能の他に、アイコンのない複数のメニュー項目を使って、コンピュータの他のアプリケーションの選択、HP all-in-one の機能設定の変更、オンスクリーン ヘルプの利用などが可能です。次の表で、これらの項目を説明します。

ソフト	
機能	**用途**
その他のソフト	この機能を使用すると、コンピュータ上で他のアプリケーションを選択することができます。
HP サイト	この機能を使用すると、HP の Web サイトを選択できます。
HP ヘルプ	この機能を使用すると、HP all-in-one に関するヘルプのソースを選択することができます。
設定	この機能を使用すると、印刷、スキャン、コピー、ファクスなど、HP all-in-one の各種設定を表示したり、変更したりできます。

2 詳細

印刷物およびオンスクリーンで、さまざまなリソースから、HP all-in-one の設定と使用方法に関する情報が得られます。

	「セットアップ ガイド」 セットアップ ガイドでは、HP all-in-one のセットアップやソフトウェアのインストールの方法について説明します。次の手順を順序どおりに行ってください。 セットアップ中に問題がある場合、セットアップ ガイドの最後のセクションにあるトラブルシューティング、またはこのガイドのトラブルシューティングの章を参照してください。
	「ユーザー ガイド」 ユーザー ガイドでは、トラブルシューティングのヒントや手順を追った説明など、HP all-in-one を使用する方法が説明されています。
	「ネットワーク ガイド」 ネットワーク ガイドでは、HP all-in-one をセットアップして接続するための情報が得られます。
	「HP Image Zone Tour」 HP Image Zone Tour は、HP all-in-one などのソフトウェアの概要を見られる楽しく対話的な方法です。**「HP Image Zone」** を使って、写真を編集、整理、印刷する方法がわかります。
	「HP ディレクタ」 **「HP ディレクタ」** では、HP デバイス のソフトウェア アプリケーション、デフォルト設定、ステータス、オンスクリーン ヘルプに簡単にアクセスできます。**「HP ディレクタ」** を起動するには、デスクトップの **「HP ディレクタ」** アイコンをダブルクリックします。

	「HP Image Zone ヘルプ」 HP Image Zone ヘルプには、HP all-in-one 用ソフトウェアの使用方法が詳しく説明されています。 ● **「手順を 1 ステップづつ」** のトピックでは、HP デバイスで **「HP Image Zone」** ソフトウェアを使用するための情報が得られます。 ● **「何ができるかな？」** のトピックでは、**「HP Image Zone」** ソフトウェアと HP デバイスでできる実用的でクリエイティブなことについての情報が得られます。 ● この点の詳細や HP ソフトウェアの更新については、**「[トラブルシューティングとサポート]」** のトピックを参照してください。
	「使用しているデバイスのオンスクリーン ヘルプ」 オンスクリーン ヘルプは使用しているデバイスから利用でき、選択したトピックについての追加情報が得られます。オンスクリーン ヘルプにはコントロール パネルからアクセスできます。「セットアップ」 メニューで、「ヘルプ」 メニュー項目を選択して、**「OK」** を押します。
	「Readme」 Readme ファイルには、その他の出版物には含まれていない最新情報が収録されています。 Readme ファイルにアクセスするには、ソフトウェアをインストールします。
www.hp.com/jp/hho	インターネットにアクセス可能な場合は、HP Web サイトからヘルプやサポートを入手することができますこの Web サイトには、技術サポート、ドライバ、消耗品、および注文に関する情報が用意されています。

3 接続情報

HP all-in-one は、ネットワーク機能を搭載しています。USB ポートも搭載しているので、USB ケーブルを使用して直接コンピュータに接続できます。HP bt300 Bluetooth® ワイヤレス プリンタ アダプタを HP all-in-one の正面にある PictBridge カメラのポート (USB ホスト ポート) に挿入すると、PDA やカメラ付き携帯電話などの Bluetooth デバイスから HP all-in-one で印刷できます。

サポートする接続方式

説明	最高のパフォーマンスを得るための推奨接続コンピュータ数	サポートするソフトウェアの機能	セットアップ方法
USB 接続	USB ケーブルでデバイスに接続した 1 台のコンピュータ。	すべての機能をサポートします。	詳細については、セットアップ ガイドを参照してください。
Ethernet (有線) 接続	ハブまたはルーターで、5 台までコンピュータを接続。	Webscan を含むすべての機能をサポートします（Mac 9x でのネットワーク経由でのメモリカード転送は除く）。	詳細については、セットアップ ガイドおよびネットワーク ガイドを参照してください。
802.11b または g (ワイヤレス) 接続 (HP Officejet 7400 Series All-in-One のみ)	アクセス ポイントで 5 台までのコンピュータを接続。(インフラストラクチャ モード)	Webscan を含むすべての機能をサポートします（Mac 9x でのネットワーク経由でのメモリカード転送は除く）。	詳細については、セットアップ ガイドおよびネットワーク ガイドを参照してください。
HP bt300 Bluetooth® ワイヤレス プリンタ アダプタ (HP bt300)	該当せず:	印刷	HP bt300 Bluetooth ワイヤレス プリンタ アダプタによる接続 の指示に従って操作してください。

USB ケーブルによる接続

デバイスに同梱のセットアップ ガイド及びソフトウェアガイドには、USB ケーブルによるコンピュータと HP all-in-one の接続についての詳しい説明が収録されています。

Ethernet による接続

HP Officejet 7300/7400 Series All-in-One は、10 Mbps および 100 Mbps Ethernet ネットワーク接続をどちらもサポートします。デバイスに同梱のセットアップ ガイドおよびネットワーク ガイドには、HP all-in-one を Ethernet (有線) ネットワークに接続する方法についての詳細が収録されています。

ワイヤレスによる接続

HP Officejet 7400 Series All-in-One には、ワイヤレス接続をサポートするネットワーク コンポーネントが内蔵されています。デバイスに同梱のセットアップ ガイドおよびネットワーク ガイドには、HP all-in-one をワイヤレス (802.11b または g) ネットワークに接続する方法についての詳細が収録されています。

HP bt300 Bluetooth ワイヤレス プリンタ アダプタによる接続

HP bt300 を使うと、ほとんどの Bluetooth デバイスからケーブルで接続せずに、直接 HP all-in-one から画像を印刷できます。HP bt300 を HP all-in-one の正面にある PictBridge カメラ ポートに挿入するだけで、PDA やカメラ付き携帯電話などの Bluetooth デバイスから印刷できます。

注記　現時点では、Bluetooth 技術を利用した PC やノートパソコンから HP all-in-one での印刷はサポートされていません。

HP bt300 を HP all-in-one に接続するには

1 HP bt300 を PictBridge カメラ ポートに挿入します (下図に表示)。



注記　HP bt300 を HP all-in-one に挿入するとカラー グラフィック ディスプレイに、「**Bluetooth が存在しません**」 というメッセージが表示される場合、HP all-in-one からアダプタを外して、デバイスの更新 を参照してください。

2　Bluetooth デバイスには、互いに通信してデバイス アドレスを交換して接続を確立するものがあります。Bluetooth デバイスの接続に HP all-in-one のアドレスが必要な場合は次のようにします。

a　HP all-in-one のコントロール パネルの 「**セットアップ**」 を押します。
「**セットアップ メニュー**」 がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。

b　「**0**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「**Bluetooth**」 メニューが表示されるので、「**デバイス アドレス**」 を選択します。
使用している HP all-in-one の 「**デバイス アドレス**」 が表示されます。読み取り専用です。

c　アドレスをデバイスに入力するには、Bluetooth デバイスに同梱されている指示に従って操作してください。

3　接続すると、プリンタのデバイス名を表示する Bluetooth デバイスもあります。使用している Bluetooth デバイスがプリンタ名を表示した場合:

a　HP all-in-one のコントロール パネルの 「**セットアップ**」 を押します。
「**セットアップ メニュー**」 がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。

b　「**0**」 を押し、次に 「**2**」 を押します。
「**Bluetooth**」 メニューが表示されるので、「**デバイス名**」 を選択します。
「**デバイス名**」 画面が表示されます。

注記　HP all-in-one は、出荷時にあらかじめ HP all-in-one の名前を定義してあります。

c 新しい名前を入力するには、「デバイス名」 画面のビジュアル キーボードを利用します。
ビジュアル キーボードの使用の詳細については、文字と記号を入力するを参照してください。

d HP all-in-one の新しい名前を入力したら、ビジュアル キーボードの「完了」 を選択して、「**OK**」 を押します。
HP all-in-one に接続して印刷するときに、入力した名前が Bluetooth デバイスに表示されます。

HP all-in-one 用の Bluetooth セキュリティの設定

HP all-in-one の「**Bluetooth**」 メニューからプリンタ セキュリティの設定を有効にできます。コントロール パネルの 「**セットアップ**」 を押し、「セットアップ メニュー」 から 「**Bluetooth**」 を選択します。「**Bluetooth**」 メニューでは次のことができます。

- Bluetooth デバイスから HP all-in-one で印刷しようとすると、パスキー認証を要求します。
- 範囲内にある Bluetooth デバイスからの HP all-in-one の表示/非表示を切り替えます。

Bluetooth デバイスの認証にパスキーを使用

HP all-in-one のセキュリティ レベルを 「低」 または 「高」 に設定できます:

- 「低」:HP all-in-one はパスキーを要求しません。範囲内のどの Bluetooth デバイスからも印刷できます。
- 「高」:HP all-in-one は、Bluetooth デバイスが印刷ジョブを送信するのを許可する前に、パスキーを要求します。

パスキー認証を要求するように HP all-in-one を設定するには

1 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**セットアップ**」 を押します。
「セットアップ メニュー」 がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。

2 「**0**」 を押し、次に 「**3**」 を押します。
「**Bluetooth**」 メニューが表示されるので、「パスキー」 を選択します。
「パスキー」 画面が表示されます。

注記 HP all-in-one では、出荷時にあらかじめすべてゼロのパスキーが定義されています。

3 新しいパスキーの入力には、HP all-in-one のコントロール パネルにある、数字付きキーパッドを使用します。
キーパッドの使用の詳細については、文字と記号を入力するを参照してください。

4 パスキーを入力したら、「**OK**」 を押します。
「**Bluetooth**」 メニューが表示されます。

接続情報

5 「**5**」 を押します。
「セキュリティ レベル」 が選択され、「セキュリティ レベル」 メニューが表示されます。
6 「**1**」 を押して、「高」 を選択します。
高レベル セキュリティでは、認証が要求されます。

注記 デフォルトのセキュリティ設定は 「低」 です。低レベル セキュリティでは、認証が要求されません。

これで、HP all-in-one にパスキー認証が設定されました。

HP all-in-one を Bluetooth デバイスに対して非表示にする

HP all-in-one を、Bluetooth デバイスに対して 「すべてに表示」 (パブリック) またはどれに対しても 「非表示」 (プライベート) に設定できます:

- 「すべてに表示」:範囲内のどの Bluetooth デバイスからでも、HP all-in-one を使って印刷できます。
- 「非表示」:HP all-in-one のデバイス アドレスを記憶している Bluetooth デバイスだけが印刷できます。

HP all-in-one を非表示に設定するには

1 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**セットアップ**」 を押します。
「セットアップ メニュー」 がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2 「**0**」 を押し、次に 「**4**」 を押します。
「**Bluetooth**」 が表示され、「アクセシビリティ」 が選択されます。
「アクセシビリティ」 メニューが表示されます。

注記 HP all-in-one は、出荷時のデフォルト アクセシビリティ レベルが、「すべてに表示」 に設定されています。

3 「**2**」 を押して、「非表示」 を選択します。
HP all-in-one は、デバイス アドレスを記憶していない Bluetooth デバイスからアクセスできません。

HP all-in-one の Bluetooth 設定をリセットする

HP all-in-one の Bluetooth 設定をすべて再設定したい場合、次のようにして出荷時のデフォルトにリセットできます。

1 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**セットアップ**」 を押します。
「セットアップ メニュー」 がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2 「**0**」 を押し、次に 「**6**」 を押します。
「**Bluetooth**」 が表示され、「**Bluetooth のリセット**」 が選択されます。

注記 「**Bluetooth のリセット**」 を選択するのは、HP all-in-one の Bluetooth 設定をすべて出荷時のデフォルトに戻す場合だけです。

Webscan の使用

Webscan を使うと、Web ブラウザだけを使用して、HP all-in-one から基本的なスキャンが実行できます。また、コンピュータにデバイス ソフトウェアをインストールせずに、HP all-in-one からスキャンが実行できます。Web ブラウザに HP all-in-one IP アドレスを入力するだけです。ブラウザに埋め込み Web サーバーのホームページが表示されます。左側の列で、[アプリケーション] の下にある [スキャン] を選択します。ネットワーク設定のページを印刷して、HP all-in-one の IP アドレスを取得する方法の詳細については、デバイス同梱のネットワーク ガイドを参照してください。

Webscan のユーザー インタフェースは、HP all-in-one の使用に固有で、「**HP Image Zone**」 スキャニング ソフトウェアのように [スキャン to] 送信先はサポートしません。

4 写真のメンテナンス

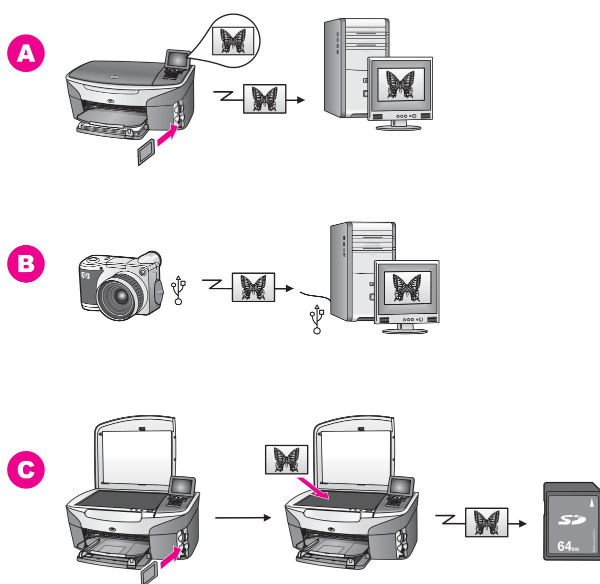
HP all-in-one を使うと、複数の異なる方法で写真を転送、編集、共有、印刷できます。この章では、プリファレンスとコンピュータの設定に応じて、これらの各タスクを実行するための方法を簡単に説明します。各タスクの詳細については、このガイドの他の章やオンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」 で利用できます。

写真の転送

写真の転送には複数の異なるオプションがあります。HP all-in-one、コンピュータ、メモリ カードに写真を転送できます。詳細については、お使いのオペレーティング システム別のセクションを参照してください。

Windows PC を使用して写真を転送する

下の図には、Windows PC、HP all-in-one、メモリ カードに写真を転送する複数の方法が示されています。詳細については、図の下のリストを参照してください。



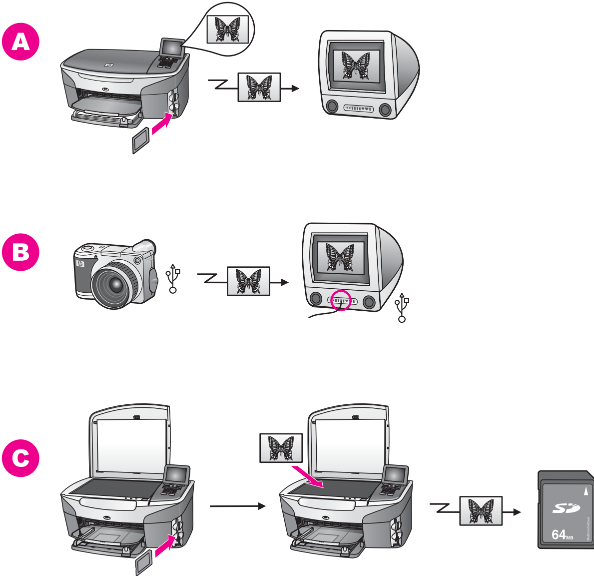
A	HP all-in-one に挿入したメモリ カードから写真を Windows PC に転送する。
B	HP デジタル カメラから写真を Windows PC に転送する。

(続き)

C	HP all-in-one に挿入したメモリ カードに直接スキャニングして写真を転送する。

Macintosh を使用して写真を転送する

下の図には、Macintosh、HP all-in-one、メモリ カードに写真を転送する複数の方法が示されています。詳細については、図の下のリストを参照してください。



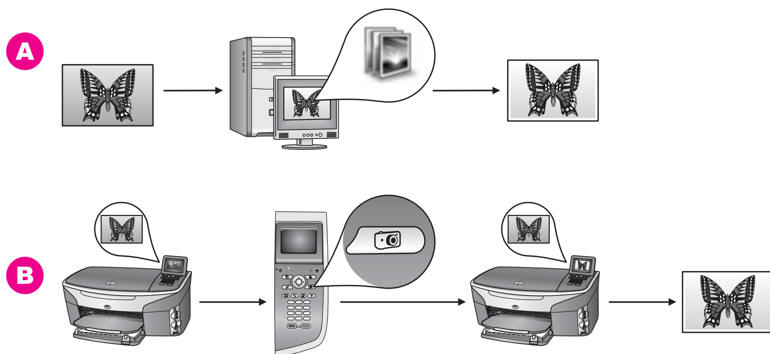
A	HP all-in-one に挿入したメモリ カードから写真を Macintosh に転送する。
B	HP デジタル カメラから写真を Macintosh に転送する。
C	HP all-in-one に挿入したメモリ カードに直接スキャニングして写真を転送する。

写真の編集

写真の編集には複数の異なるオプションがあります。詳細については、お使いのオペレーティング システム別のセクションを参照してください。

Windows PC を使用して写真を編集する

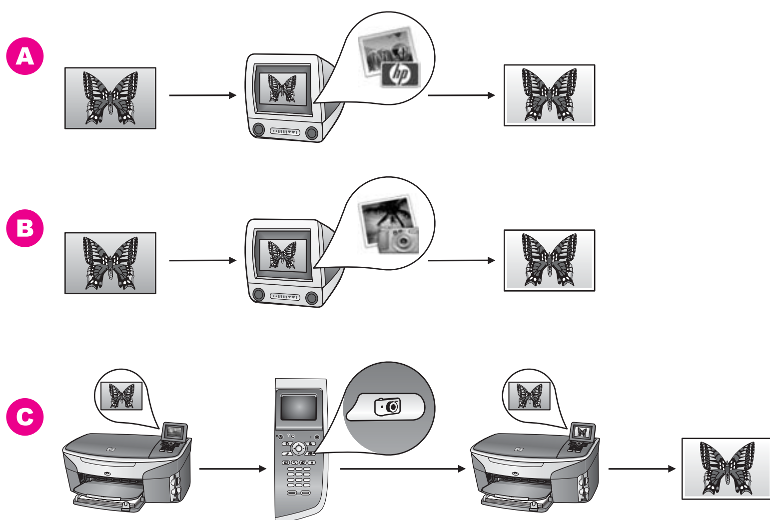
下の図には、Windows PC を使用して写真を編集する 2 つの方法が示されています。詳細については、図の下のリストを参照してください。



A	「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して、Windows PC で写真を編集する。
B	HP all-in-one のコントロール パネルを使用して写真を編集する。

Macintosh を使用して写真を編集する

下の図には、Macintosh を使用して写真を編集する 3 つの方法が示されています。詳細については、図の下のリストを参照してください。



A	「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して、Macintosh で写真を編集する。
B	iPhoto ソフトウェアを使用して、Macintosh で写真を編集する。

(続き)

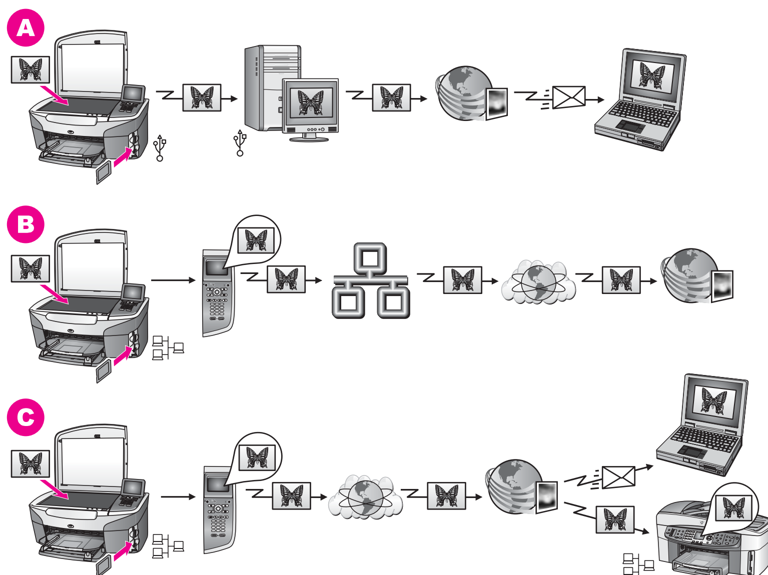
C	HP all-in-one のコントロール パネルを使用して写真を編集する。

写真の共有

友人や家族と写真を共有する複数の異なるオプションがあります。詳細については、お使いのオペレーティング システム別のセクションを参照してください。

Windows PC を使用して写真を共有する

下の図には、Windows PC を使用して写真を共有する複数の方法が示されています。詳細については、図の下のリストを参照してください。

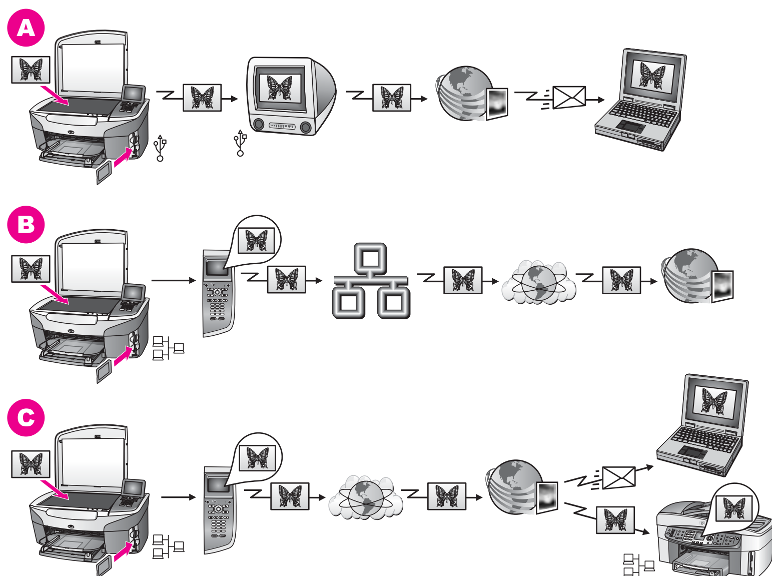


A	USB 接続の HP all-in-one から、HP Instant Share サービスを使用して写真を共有する。USB 接続の HP all-in-one からコンピュータに写真を転送し、コンピュータで HP Instant Share ソフトウェアを使用して、HP Instant Share サービスから電子メールで友人や家族に写真を送信する。
B	ネットワーク接続の HP all-in-one からインターネットを経由して HP Instant Share サービスで写真を共有。写真はオンライン フォト アルバムに保存。
C	ネットワーク接続の HP all-in-one からインターネットを経由して HP Instant Share サービスで写真を共有。HP Instant Share サービス

	で、電子メールで友人や家族に写真を送信するか、または別のネットワーク接続した HP all-in-one に送信することもできる。

Macintosh を使用して写真を共有する

下の図には、Macintosh を使用して写真を共有する複数の方法が示されています。詳細については、図の下のリストを参照してください。



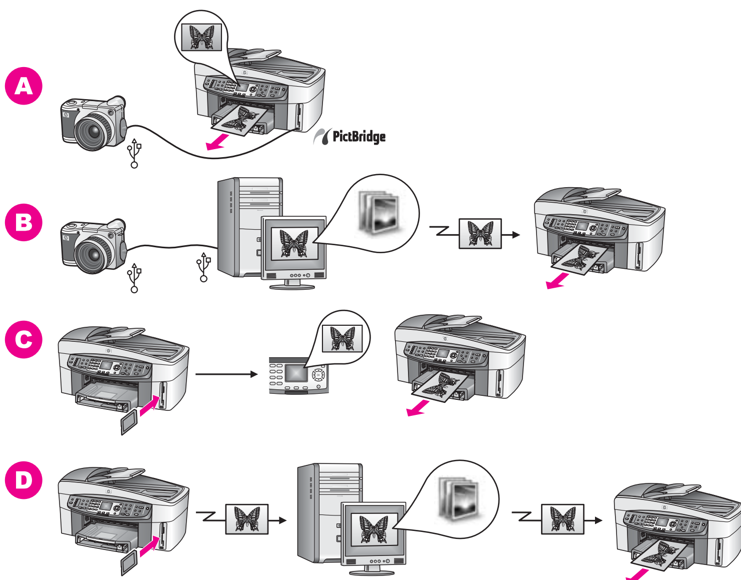
A	USB 接続の HP all-in-one から、HP Instant Share サービスを使用して写真を共有する。USB 接続の HP all-in-one からコンピュータに写真を転送し、コンピュータで HP Instant Share ソフトウェアを使用して、HP Instant Share サービスから電子メールで友人や家族に写真を送信する。
B	ネットワーク接続の HP all-in-one からインターネットを経由して HP Instant Share サービスで写真を共有。写真はオンライン フォト アルバムに保存。
C	ネットワーク接続の HP all-in-one からインターネットを経由して HP Instant Share サービスで写真を共有。HP Instant Share サービスで、電子メールで友人や家族に写真を送信するか、または別のネットワーク接続した HP all-in-one に送信することもできる。

写真の印刷

写真の印刷には複数の異なるオプションがあります。詳細については、お使いのオペレーティング システム別のセクションを参照してください。

Windows PC を使用して写真を印刷する

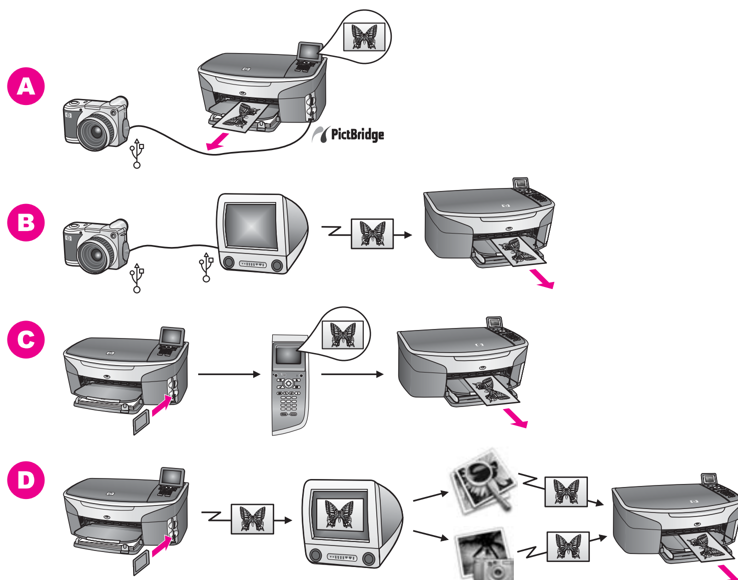
下の図には、Windows PC を使用して写真を印刷する複数の方法が示されています。詳細については、図の下のリストを参照してください。



A	PictBridge 対応のデジタル カメラからの写真の印刷
B	コンピュータのソフトウェア アプリケーションを使用して、カメラから写真を印刷する。
C	HP all-in-one のコントロール パネルを使用して、メモリ カードから写真を印刷する。
D	メモリ カードから写真を Windows PC に転送して、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して写真を印刷する。

Macintosh を使用して写真を印刷する

下の図には、Macintosh を使用して写真を印刷する複数の方法が示されています。詳細については、図の下のリストを参照してください。



A	PictBridge 対応のデジタル カメラからの写真の印刷
B	コンピュータのソフトウェア アプリケーションを使用して、カメラから写真を印刷する。
C	HP all-in-one のコントロール パネルを使用して、メモリ カードから写真を印刷する。
D	メモリ カードから写真を Macintosh に転送して、「**HP ギャラリ**」 ソフトウェアまたは 「**HP ディレクタ**」 ソフトウェアを使用して写真を印刷する。

写真のメンテナンス

5 原稿および用紙のセット

この章では、原稿を自動ドキュメント フィーダまたはガラス板にセットして、コピー、スキャン、ファックスする方法、ジョブに最適な用紙タイプを選択する方法、用紙を給紙トレイにセットする方法、紙詰まりを防ぐ方法について説明します。

原稿のセット

コピー、ファクス、スキャンする原稿は、自動ドキュメント フィーダまたはガラス板にセットします。自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿は、HP all-in-one に自動的に給紙されます。

自動ドキュメント フィーダに原稿をセットする

原稿をドキュメント フィーダ トレイにセットすると、複数ページのレターサイズ、A4 サイズ、リーガル サイズの文書をコピー、スキャン、ファクスすることができます。

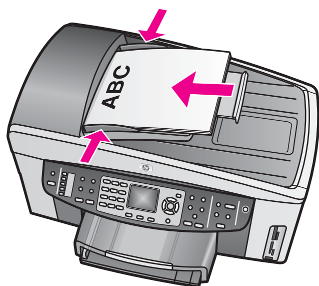
警告 自動ドキュメント フィーダには写真をセットしないでください。写真を傷めることがあります。

注記 「ページに合わせる」 や 「ページ全体に印刷」 コピー機能など機能によっては、自動ドキュメント フィーダに原稿をセットすると動作しないものもあります。また、フォトシートをスキャンしてメモリ カードから写真を印刷する場合は、フォト シートをガラス板にセットする必要があります。詳しくは、ガラス板に原稿をセットするを参照してください。

自動ドキュメント フィーダに原稿をセットするには

1 送信する原稿の表を上にし、ページの上部を左側にしてドキュメント フィーダ トレイにセットします。

ヒント 原稿を自動ドキュメント フィーダにセットする方法については、ドキュメント フィーダ トレイにある図を参照してください。



2　用紙ガイドを、用紙の左右の端に当たって止まるまでスライドします。

ガラス板に原稿をセットする

次の説明に従ってガラス板に原稿をセットすると、レター サイズ、A4 サイズ、リーガル サイズまでの 1 ページの原稿をコピー、スキャン、ファクスすることができます。原稿に複数の用紙サイズのページがある場合は、自動ドキュメント フィーダにセットしてください。詳しくは、自動ドキュメント フィーダに原稿をセットするを参照してください。

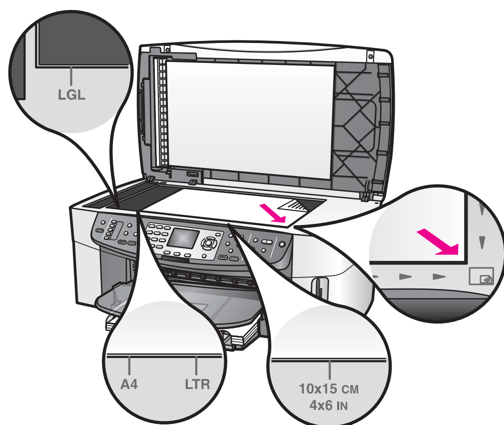
また、フォト シートをガラス板にセットして写真を印刷する場合も、同様にセットしてください。フォトシートが複数ページある場合は、一度に 1 ページずつガラス板にセットしてください。自動ドキュメント フィーダにはフォトシートをセットしないでください。

注記　ガラス板やカバーの裏に汚れが付着していると、ほとんどの特殊機能が正常に機能しなくなる可能性があります。詳しくは、HP all-in-one のクリーニングを参照してください。

ガラス板に原稿をセットするには

1　すべての原稿をドキュメント フィーダ トレイから取り出してから、HP all-in-one のふたを持ち上げてください。
2　表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。
フォト シートの場合は、フォト シートの上端をガラス板の右端に合わせてセットします。

ヒント　原稿のセット方法については、 ガラス板の前端と右端に示されているガイドを参照してください。



3　カバーを閉じます。

印刷およびコピー用紙の選択

HP all-in-one ではさまざまな種類とサイズの用紙を使用することができます。印刷またはコピーを美しく仕上げるために、次の推奨事項をお読みください。用紙の種類またはサイズを変更する場合、必ず設定を変更してください。

推奨されている用紙

最高画質のプリント品質を得るには、印刷するプロジェクトのタイプに合わせて設計された HP 専用紙を推奨します。たとえば、写真を印刷するには、給紙トレイに光沢またはつや消しフォト用紙をセットします。ブローシャやプレゼンテーションを印刷するには、その用途で専用に設計された種類の用紙を使用します。

HP 専用紙の詳細については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」、または HP Web サイト www.hp.com/support を参照してください。.

使ってはいけない用紙

薄すぎる用紙や表面がつるつるしている用紙、伸縮性のある用紙を使用すると紙詰まりが起こりやすくなります。表面がでこぼこした用紙やインクをはじく用紙を使用すると、印刷された画像がこすれたりにじんだり、あるいはかすれたりすることがあります。

次のような用紙は印刷に使用しないでください。

- 切り抜きやミシン目のある用紙 (HP インクジェット デバイスで使用できるように設計されている場合を除く)。
- リネンなど、肌触りの粗い紙。均等に印刷できず、インクがにじむ恐れがあります。
- HP all-in-one で使用するように設計されていない、極端になめらかな用紙や光沢のある用紙、あるいは極端なコーティングがされている用紙。

HP all-in-one に紙詰まりが起きたり、インクが定着しないことがあります。
- 複写用紙 (2 枚重ねあるいは 3 枚重ねの複写用紙など)。しわになったり詰まったりする可能性があります。また、インクもこすれやすくなります。
- 留め具付きの封筒や窓付き封筒。

次のような用紙はコピーに使用しないでください。

- A4 サイズ、レター サイズ、10 x 15 cm サイズ、5 x 7 インチ サイズ、はがき、L サイズ、リーガル サイズ以外の用紙。国/地域によっては、入手できない用紙もあります。
- 切り抜きやミシン目のある用紙 (HP インクジェット デバイスで使用できるように設計されている場合を除く)。
- HP プレミアム フォト用紙または HP プレミアム プラスフォト用紙以外のフォト用紙。
- 封筒。
- バナー用紙。
- HP プレミアム OHP フィルムまたは HP プレミアム プラス インクジェット OHP フィルム以外の OHP フィルム。
- 複写用紙やラベル用紙。

用紙のセット

コピー、印刷、ファクスができるように、HP all-in-one にさまざまな種類およびサイズの用紙をセットする手順を説明します。

ヒント　破れたり、しわが寄ったり、波打ったり、折れたりしないように、用紙はすべてチャック付きの袋に入れ、平らな状態で保管してください。用紙を正しく保管していないと、温度や湿度の急激な変化によって用紙が波打ち、HP all-in-one でうまく利用できないことがあります。

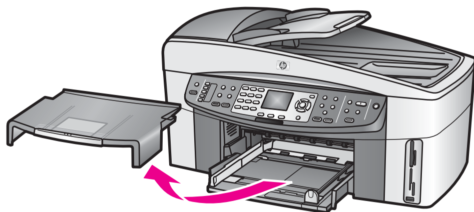
フルサイズ用紙のセット

HP all-in-one のメイン給紙トレイには、レター サイズ、A4 サイズ、リーガル サイズなど、さまざまな種類の用紙をセットできます。

ヒント　オプションの HP 250 シート普通用紙トレイ を取り付けると、その下段トレイに A4 の普通紙をさらに 250 枚セットすることができます（日本では発売しておりません。)。

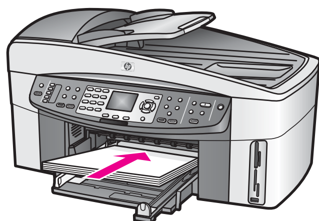
フルサイズ用紙をメイン給紙トレイにセットするには

1　排紙トレイを取り外し、横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドを一番外側の位置までスライドさせます。

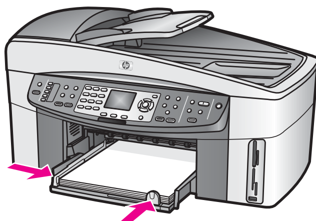


2 平らな面で用紙の端を揃え、次の点を確認します。
   – 用紙に破れ、ほこり、しわ、端の折れや波打ちがないこと
   – セットするすべての用紙が同じサイズ、同じ種類であること
3 用紙の短辺を奥にし、印刷面を下にして給紙トレイに挿入します。用紙を奥まで差し込んでください。

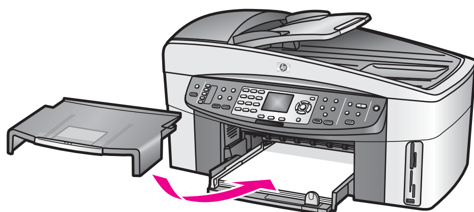
   ヒント　レター ヘッドを使用する場合は、ページの上側から先に入れ、印刷面を下にしてください。フルサイズ用紙およびレターヘッドのセット方法については、給紙トレイの底面にある図を参照してください。



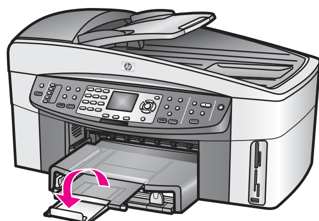
4 横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドを、用紙の端に当たって止まるまでスライドします。
   給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。用紙の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より高くなっていないことを確認してください。



5 排紙トレイを元に戻します。



6　コピー、印刷、ファクス済みの用紙が落ちないように、排紙補助トレイを完全に引き出します。



フルサイズの普通紙をオプションの下段トレイにセットするには

➔ 本製品には、アクセサリとして HP 250 枚普通紙トレイを取り付けることができます。このオプション トレイに用紙をセットする方法については、このトレイに付属する説明書を参照してください（日本では発売しておりません。)。

10 x 15 cm (4 x 6 インチ) のフォト用紙のセット

HP all-in-one のメイン給紙トレイまたはオプションの後部給紙トレイには、10 x 15 cm のフォト用紙をセットすることができますこのアクセサリは自動両面印刷対応ハガキトレイと呼ばれます。日本以外の国では、HP 小型用紙トレイ付き自動両面印刷モジュールと呼ばれます。

きれいに印刷するには、推奨タイプの 10 x 15 cm フォト用紙を使用して、印刷ジョブまたはコピー ジョブの用紙タイプを設定してください。詳細については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

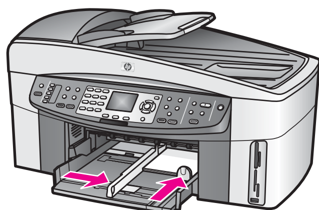
ヒント　破れたり、しわが寄ったり、波打ったり、折れたりしないように、用紙はすべてチャック付きの袋に入れ、平らな状態で保管してください。用紙を正しく保管していないと、温度や湿度の急激な変化によって用紙が波打ち、HP all-in-one でうまく利用できないことがあります。

L 判 のフォト用紙をメイン給紙トレイにセットするには

1　排紙トレイを取り外します。
2　給紙トレイから用紙をすべて取り出します。
3　フォト用紙の短辺を奥にし、光沢面を下にして給紙トレイの右端に挿入します。フォト用紙を奥まで差し込んでください。

お使いのフォト用紙にミシン目付きのタブがある場合は、そのタブが自分のほうに向くようにフォト用紙をセットしてください。

4 横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドがフォト用紙の端に当たって止まるまでスライドします。
給紙トレイにフォト用紙を入れすぎないようにしてください。 フォト用紙の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より高くなっていないことを確認してください。



5 排紙トレイを元に戻します。

L 判 のフォト用紙をオプションの後部トレイにセットするには

➔ 本製品には、HP 小型用紙トレイ付き自動両面印刷モジュールおよび自動両面印刷対応ハガキトレイを取り付けることができます。このオプション トレイに用紙をセットする方法については、このトレイに付属する説明書を参照してください。

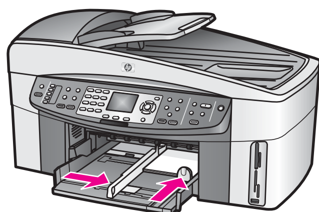
ポストカードやはがきのセット

HP all-in-one のメイン給紙トレイまたはオプションの後部給紙トレイには、ポストカードまたははがきをセットすることができます。このアクセサリは自動両面印刷対応ハガキトレイと呼ばれます。日本以外の国では、HP 小型用紙トレイ付き自動両面印刷モジュールと呼ばれます。

最高の印刷結果を得るには、印刷する前に用紙の種類と用紙サイズを設定してください。詳細については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

ポストカードまたははがきをメイン給紙トレイにセットするには

1 排紙トレイを取り外します。
2 給紙トレイから用紙をすべて取り出します。
3 ポストカードまたははがきの短辺を奥にし、印刷面を下にして給紙トレイの右端に挿入します。カードの束を奥まで差し込んでください。
4 横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドがカードの端に当たって止まるまでスライドします。
給紙トレイにカードを入れすぎないようにしてください。 カードの束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より高くなっていないことを確認してください。



5　排紙トレイを元に戻します。

ポストカードまたははがきをオプションの後部トレイにセットするには

➔ 本製品には、HP 小型用紙トレイ付き自動両面印刷モジュールおよび自動両面印刷対応ハガキトレイを取り付けることができます。このオプション トレイに用紙をセットする方法については、このトレイに付属する説明書を参照してください。

封筒のセット

HP all-in-one の給紙トレイには、複数の封筒をセットすることができます。光沢紙を使った封筒やエンボス加工された封筒、あるいは留め具付きの封筒や窓付き封筒は使わないでください。

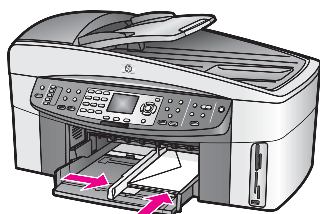
注記　文字を封筒に印刷するために書式設定する方法については、お使いのワープロ ソフトのヘルプ ファイルを参照してください。きれいに印刷するには、封筒の差出人住所にはラベルの使用をおすすめします。

封筒をセットするには

1　排紙トレイを取り外します。
2　給紙トレイから用紙をすべて取り出します。
3　給紙トレイの右端に封筒を入れ、封筒のふたを上に向け、ふた側を左側または奥側にしてセットします。封筒の束を奥まで差し込んでください。

　ヒント　封筒のセット方法については、給紙トレイの底面にある図を参照してください。

4　横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドが封筒の端に当たって止まるまでスライドします。
　給紙トレイに封筒を入れすぎないようにしてください。 封筒の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。



5　排紙トレイを元に戻します。

その他の用紙のセット

特定の種類の用紙をセットするときのガイドラインを次の表に示します。きれいに印刷するには、用紙サイズまたは用紙の種類を変更するたびに用紙設定を調整してください。設定の変更の詳細については、オンスクリーン「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

注記　用紙の種類およびサイズの中には、HP all-in-one の一部の機能が対応していないものがあります。ソフトウェア アプリケーションの 「**印刷**」 ダイアログ ボックスから、印刷を実行する場合にのみ使用できる用紙の種類やサイズもあります。このような用紙の種類およびサイズは、コピー、ファクス、メモリ カードまたはデジタル カメラからの写真印刷には使用できません。ソフトウェア アプリケーションからの印刷のみに対応する用紙は、次の表に注記があります。

用紙	ヒント
HP 用紙	● HP プレミアム用紙:用紙の非印刷面に表示されているグレーの矢印を見つけ、その矢印が表示されている側を上にして用紙を給紙トレイに挿入します。 ● HP プレミアム OHP フィルム:(矢印と HP のロゴが表示されている) OHP フィルムの白いストリップが上になるように、ストリップの側から先に給紙トレイにフィルムを挿入します。 注記　正しくセットされていない場合や HP OHP フィルム以外の OHP フィルムを使用している場合、HP all-in-one では、OHP フィルムを検出できないことがあります。最高の印刷結果を得るために、OHP フィルムに印刷またはコピーする前に、用紙タイプを OHP フィルムに設定してください。 ● HP アイロンプリント紙:使用する前にアイロン プリント紙を完全に伸ばすようにしてください。 カールのついたアイロン プリント紙はセットしないでください。(アイロン プリント紙がカールするのを防ぐには、使う直前までアイロン プリント紙を最初のパッケージに入れて封をしたままに

用紙	ヒント
	しておきます)。用紙の非印刷面に青い線があります。その線がある面を上にして、1 回に 1 枚ずつアイロン プリント紙を手動で給紙トレイに挿入します。 ● HP つや消しグリーティング カード, HP フォト グリーティング カード、HP テクスチャ グリーティング カード -HP グリーティング カード用紙の印刷面を下にして給紙トレイに挿入します。奥に当たるまで差し込みます。
ラベル (ソフトウェア アプリケーションからの印刷のみ)	HP インクジェット デバイスで使用できるように設計されているレター サイズまたは A4 サイズのラベル紙で、製造日から 2 年以内のものを使用してください。 1 また、製造後 2 年以上たったラベルは使用しないでください。 ページどうしがくっついていることがないよう、ラベルを広げてください。 2 まずフルサイズの普通紙を給紙トレイにセットし、その上に印刷面を下にしたラベル シートの束をセットします。ラベルを 1 シートずつセットすることはしないでください。
連続バナー用紙 (ソフトウェア アプリケーションからの印刷のみ)	連続バナー用紙はコンピュータ用紙や Z 折りの用紙とも呼ばれます。 1 排紙トレイを取り外します。 2 給紙トレイから用紙をすべて取り出します。 注記 連続バナー用紙が切れないように、バナー印刷中は HP all-in-one の排紙トレイを取り外したままにしておきます。 3 バナー用紙は最低 5 ページ以上あることを確認してください。 注記 HP 以外のバナー用紙を使用する場合は、20-lb 用紙を使用してください。 4 ミシン目の入ったストリップが両端にある場合はそれを注意深く切り離します。 そしてページどうしがくっつかないよういったん用紙を開いてからもう一度折り畳みます。 5 連続していないほうの端が用紙の束の一番上に来るように、給紙トレイに用紙をセットします。 6 下の図のように、用紙の最初の端を給紙トレイの奥まで挿入します。

用紙	ヒント

紙詰まりの防止

紙詰まりを回避するには、以下に従ってください。

- 未使用の用紙はチャック付きの袋に平らに入れ、用紙が波打ったり、しわが寄ったりしないように保管してください。
- 排紙トレイから印刷された用紙を頻繁に取り除くようにしてください。
- 用紙を給紙トレイに平らに置き、端が折れたり破れたりしないようにセットしてください。
- 給紙トレイに、同じ種類とサイズの用紙をセットします。種類やサイズが異なる用紙を一緒に置かないでください。
- 用紙がぴったり収まるように、給紙トレイの用紙ガイドを調整してください。用紙ガイドで給紙トレイの用紙を折らないようにしてください。
- 用紙を給紙トレイの奥に入れすぎないでください。
- ご使用の HP all-in-one で推奨している用紙の種類をお使いください。詳しくは、印刷およびコピー用紙の選択を参照してください。
- 原稿をガラス板に置いたままにしないでください。ガラス板の上に原稿があるときに原稿を自動ドキュメント フィーダにセットすると、自動ドキュメント フィーダの中で原稿が詰まることがあります。

紙詰まりの解消方法については、用紙のトラブルシューティングを参照してください。

6 メモリ カードの使用または PictBridge の使用

HP all-in-one では、ほとんどのデジタルカメラに使用しているメモリ カードが利用できるので、写真を印刷、保存、管理、共有することができます。メモリ カードを HP all-in-one に挿入することができます。また、カメラを直接接続すると、メモリ カードをカメラに入れたままで、HP all-in-one からメモリ カードの内容を読み取ることができます。

この章では、HP all-in-one でメモリ カードや PictBridge カメラを使用するための情報が得られます。コンピュータへの写真の転送、写真印刷オプションの設定、写真の印刷、写真の編集、スライド ショーの表示、家族や友人との写真の共有についての情報を得るにはこのセクションをお読みください。

メモリ カード スロットおよびカメラ ポート

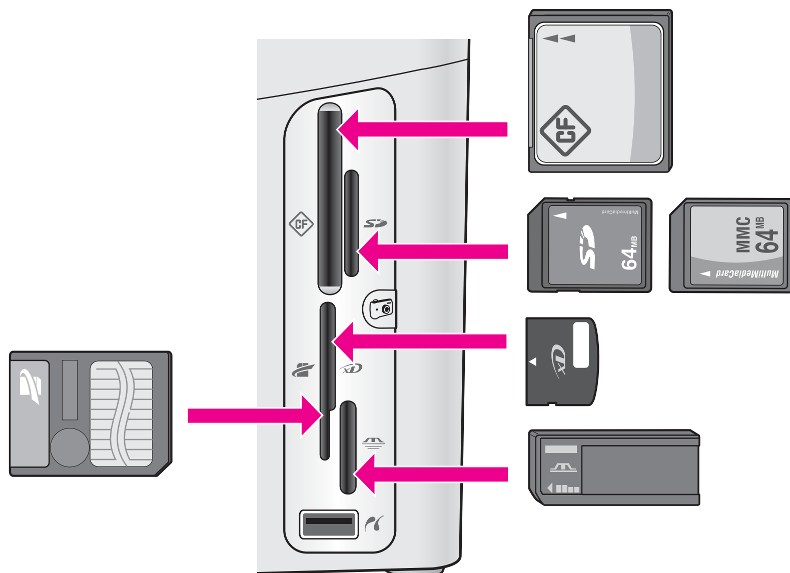
デジタル カメラでとった写真を保存しておくのにメモリ カードを使用している場合、そのメモリ カードを HP all-in-one に挿入し、とった写真を印刷したり保存したりすることができます。

HP all-in-one がコンピュータに接続されていない場合でも、フォト シートを印刷してメモリ カードから写真を印刷したりすることができます。 フォト シートには、メモリ カードに保存されている写真のサムネイル ビューが場合によっては数ページにわたって印刷されます。お使いのデジタル カメラが PictBridge をサポートしている場合、HP all-in-one のカメラ ポートにデジタル カメラを接続して、直接印刷することもできます。

HP all-in-one では、次のメモリ カードを読み取ることができます。CompactFlash (I、II)、Memory Stick, MultiMediaCard (MMC)、Secure Digital、SmartMedia、xD-Picture Card。

注記 文書をスキャンし、挿入しているメモリ カードにスキャンした画像を送信できます。 詳細については、スキャン画像をメモリ カードに送信を参照してください。

HP all-in-one には、各メモリ カードを挿入できるように 4 つのスロットが用意されています。 次の図に、各スロットと対応するメモリ カードを示します。



スロットは次のように設定します。

- 左上のスロット:CompactFlash (I、II) 用
- 右上のスロット:Secure Digital, MultiMediaCard (MMC)
- 左下のスロット:SmartMedia、xD-Picture Card (スロットの右上に挿入) 用
- 右下のスロット:Memory Stick、Magic Gate Memory Stick、Memory Stick Duo (専用アダプタが必要です)、Memory Stick Pro
- カメラ ポート (メモリ カード スロットの下) -PictBridge をサポートする USB 端子付きデジタル カメラ用

注記　カメラ ポートは、PictBridge をサポートしている USB 端子付きデジタル カメラのみをサポートします。その他の USB デバイスはサポートしません。互換性のあるデジタル カメラ以外の USB デバイスを、カメラ ポートに接続すると、カラー グラフィック ディスプレイにエラー メッセージが表示されます。PictBridge 対応前の HP デジタル カメラをお使いの場合、カメラに付属する USB ケーブルを使用してください。この場合、USB ケーブルを HP all-in-one の後部にある USB ポートに接続します。メモリ カード スロットの下にあるカメラ ポートは使用しません。

ヒント　デフォルトでは、FAT32 形式の 8 MB 以下および 64 MB 以上のメモリ カードは Windows XP によってフォーマットされます。一方、デジタル カメラや他のデバイスでは FAT (FAT16 または FAT12) 形式を使用するため、FAT32 は使用できません。カメラ側で メモリ カードをフォーマットするか、あるいは Windows XP PC でメモリ カー

ドをフォーマットするときに FAT 形式を選択するようにしてください。

ネットワークでのメモリ カードのセキュリティ管理

HP all-in-one がネットワークに接続している場合、ネットワークのコンピューターから、メモリ カードの中身にアクセスできます。ワイヤレスの暗号化に対応していない無線ネットワークをご使用の場合、ご使用のネットワーク名と HP all-in-one ネットワーク ID が知られてしまうと、その無線圏内の誰もが HP all-in-one に挿入しているメモリカードの中身にアクセスできてしまいます。

メモリ カード内のデータのプライバシーを高めるには、ワイヤレス ネットワークで WEP (Wired Equivalent Privacy) キーか WPA/PSK (Wi-Fi プロテクテッド アクセス/事前共有キー) を設定する、または挿入しているメモリ カードをネットワーク上のコンピュータ (ワイヤレス/有線は無関係) と共有しないように HP all-in-one を設定してください。その場合、ネットワークの他のコンピュータは、メモリ カードのファイルにアクセスできなくなります。

暗号化をワイヤレス ネットワークに追加する方法については、ネットワーク ガイドを参照してください。

注記　HP all-in-one は、デジタル カメラがカメラ ポート経由で HP all-in-one に接続されている場合は、デジタル カメラのメモリ カードの中身を共有しません。

1　「**セットアップ**」 を押します。
2　「**8**」 を押し、次に 「**3**」 を押します。
　「**ネットワーク メニュー**」 が表示され、「**詳細設定**」 が選択されます。
3　「**3**」 を押して、「**メモリ カードのセキュリティ**」 を選択します。
4　希望のセキュリティ オプションの番号を押します。
　– 「**1. ネットワークを介してファイルを共有する**」
　– 「**2. ネットワークを介してファイルを共有しない**」

コンピュータへのデジタル画像の転送

デジタル カメラで写真を撮ったら、それをすぐに印刷することもできますし、コンピュータに直接保存することもできます。写真をコンピュータに保存するには、メモリ カードをカメラから取り出して、HP all-in-one のメモリ カード スロットに挿入する必要があります。

注記　HP all-in-one で一度に使用できるメモリ カードは 1 つだけです。

1　メモリ カードを HP all-in-one の適切なスロットに挿入します。
　メモリ カードが正しく挿入されると、メモリ カード スロット横のステータス ランプが点滅し始めます。「**カードを読み取り中...**」 がカラー グ

ラフィック ディスプレイに表示されます。カードへのアクセス中は、メモリ カード スロットの横のステータス ランプが緑に点滅します。
メモリ カードが正しく挿入されていない場合、 メモリ カード スロットの横のステータス ランプがオレンジ色に点滅し、カラー グラフィック ディスプレイに 「カードが逆向きに装着されています。」 または 「カードが完全に挿入されていません。」 のエラー メッセージが表示されます。



警告　アクセス中はメモリ カードを絶対に取り出さないでください。アクセス中に取り外すと、カードのファイルが破損するおそれがあります。メモリ カード スロットの横のステータス ランプが点滅していないときのみ、安全にカードを取り出すことができます。

2 メモリ カードにまだ転送されていないフォト ファイルがあると、フォト ファイルをコンピュータに保存するか問い合わせるダイアログ ボックスが、コンピュータに表示されます。
HP all-in-one がネットワークにある場合、フォト領域で 「**メニュー**」 を押して 「フォトメニュー」 を表示し、「**3**」 を押して 「コンピュータへ転送」 を選択します。次に、表示されたリストからお使いのコンピュータを選択します。お使いのコンピュータに戻り、画面の指示に従います。

3 保存を選択します。
メモリ カードの未保存の写真がすべてコンピュータに保存されます。
「**Windows の場合**」: デフォルトでは、ファイルはその写真が撮られた月と年のフォルダに保存されます。Windows XP および Windows 2000 の場合、このフォルダは 「**C:\Documents and Settings\ ユーザ名 \My Documents\My Pictures**」 フォルダに作成されます。
「**Macintosh の場合**」: デフォルトでは、ファイルはコンピュータの 「**Hard Drive:Documents:HP All-in-One Data:Photos**」 フォルダ (OS 9 の場合) または、「**Hard Drive:Users: ユーザー名 :Pictures:HP Photos**」 フォルダ (OS X の場合) に保存されます。

ヒント　コントロール パネルを使用して、接続しているコンピュータにメモリ カード ファイルを転送することもできます。フォト領域で 「**メニュー**」 を押し、次に 「**3**」 押して 「コンピュータへ転送」 を選択します。コンピュータ上のプロンプト表示に従ってください。また、メモリ カードはコンピュータにドライブとして表示されます。フォト ファイルをメモリ カードからデスクトップに移動することができます。

HP all-in-one がメモリ カードの読み取りを終了すると、メモリ カード スロット横のステータス ランプの点滅が止まり、点灯状態になります。メモリ カードの最初の写真が、カラー グラフィック ディスプレイに表示されます。

カードの写真を見るには、◀ または ▶ を押すと、1 枚ずつ順に (逆に) 表示されます。◀ または ▶ を押し続けると、前の写真または次の写真をさらに早く表示できます。

フォトシートからの写真の印刷

フォトシートを使うと、コンピュータを使用しないで、直接メモリ カードから選択して印刷できます。フォトシートにはメモリ カードに保存されている写真のサムネイル ビューが表示され、長さは数ページになることもあります。 各サムネイルにはファイル名、インデックス番号、日付が表示されています。フォト シートは、写真の簡単なカタログ作成としても利用できます。フォト シートを使用して写真を印刷するには、フォト シートの印刷、記入、スキャンの 3 つのステップが必要です。

フォトシートからの写真の印刷は、3 つのステップで実行されます。フォトシートの印刷、フォト シートの記入、フォト シートのスキャンです。このセクションでは、3 つのステップすべてについて詳細に説明しています。

ヒント カラー フォト プリント カートリッジやグレー プリント カートリッジを使用すると、HP all-in-one で印刷する写真の品質が向上します。カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジの両方をセットすると、6 色インク システムになり、写真の品質がさらに向上します。カラー プリント カートリッジとグレー プリント カートリッジの両方をセットすることで、より広範囲のグレー トーンで印刷でき、モノクロ写真の品質が向上します。フォト プリント カートリッジの詳細については、フォト プリント カートリッジの使用を参照してください。グレー プリント カートリッジの詳細については、グレー フォト プリント カートリッジの使用を参照してください。

フォト シートの印刷

フォト シートから写真を印刷するための最初のステップは、HP all-in-one からのフォト シートの印刷です。

1 メモリ カードを HP all-in-one の適切なスロットに挿入します。
2 フォト領域で 「**フォト シート**」 を押してから、「**1**」 を押します。
これで 「**フォト シート メニュー**」 が表示され、「**フォト シートの印刷**」 が選択されます。

注記 メモリ カード内の写真枚数によって、フォト シートの印刷にかかる時間は大きく異なります。

3 20 枚以上の写真がカードに入っている場合、[写真選択メニュー] が表示されます。いずれかのコマンドを選び、その横にある番号を押します。
– 「**1. すべて**」
– 「**2. 最後の 20 枚**」
– 「**3. カスタム範囲**」

注記　フォト シートのインデックス番号から、カスタム範囲で印刷する写真を選択します。この番号は、デジタル カメラにおいて写真に関連付けられた番号とは異なります。メモリ カードに写真を追加したり、削除したら、フォト シートを再印刷して新しいインデックス番号を確認してください。

4 「**カスタム範囲**」 を選択した場合、印刷対象の写真の最初と最後のインデックス番号を入力します。

注記　戻る記号の ◀ を押すことでインデックス番号を変更できます。

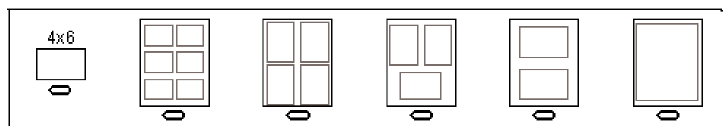
フォトシートの記入

フォト シートを印刷したら、印刷する写真を選択します。

注記　フォト プリント カートリッジを使用することでさらに印刷品質を高めることができます。カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジをインストールすることで、6 色インクシステムが実現されます。詳しくは、フォト プリント カートリッジの使用を参照してください。

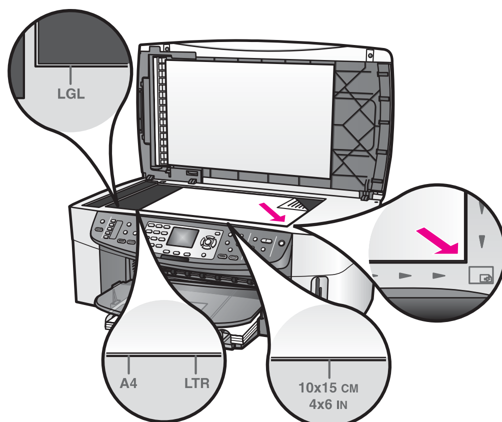


1 フォト シートのサムネイル画像の下にある円を黒いペンか鉛筆で塗りつぶして、印刷したい写真を選択します。
2 フォト シートの ステップ 2 から 円を塗りつぶして、レイアウト スタイルを 1 つだけ選択します。



注記 フォト シートでできる印刷設定よりも、詳細な設定が必要な場合は、コントロール パネルから写真を直接印刷してください。詳しくは、メモリ カードからの写真の直接印刷を参照してください。

3 フォト シートの表を下にして、ガラス板の右下隅に合わせてセットします。フォト シートの短辺と長辺が、ガラス板の右端と前端に揃っていることを確認します。カバーを閉じます。



フォトシートのスキャン

フォト シートから写真を印刷する最後のステップは、スキャナのガラス板にセットした記入済みフォト シートのスキャンです。

ヒント HP all-in-one のガラス板に汚れがないことを確認してください。 汚れがあると、フォト シートを正しくスキャンできないことがあります。詳しくは、ガラス板のクリーニングを参照してください。

1 フォト用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。フォト シートのスキャン中は、そのフォト シートの印刷に、使用したメモリ カードがスロットに挿入されていることを確認してください。
2 フォト領域で 「**フォト シート**」 を押してから、「**2**」 を押します。
これで 「フォト シート メニュー」 が表示され、「フォト シートのスキャン」 が選択されます。
HP all-in-one でフォト シートがスキャンされて、選択した写真が印刷されます。

写真の印刷オプションの設定

HP all-in-one で写真を印刷する場合、用紙の種類、サイズ、レイアウトなどのさまざまな設定をコントロール パネルで操作できます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。写真印刷オプションの設定、印刷オプションの変更、写真印刷オプションのデフォルトの変更。

コントロール パネルから利用可能な 「フォト メニュー」 を使用すると、写真の印刷オプションにアクセスしたり、写真の印刷オプションを設定したりできます。

ヒント 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用しても、写真の印刷オプションを設定できます。詳細については、「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

印刷オプション メニューを使用して写真の印刷オプションを設定

「印刷オプション」 メニューからは、部数や用紙の種類などの写真の印刷方法について、さまざまな設定ができます。デフォルトの単位とサイズは国/地域によって異なります。

1 メモリ カードを HP all-in-one のスロットに挿入します。
2 フォト領域で 「**メニュー**」 を押します。
「[フォト メニュー]」 が表示されます。
3 「**1**」 を押して 「印刷オプション」 メニューにアクセスし、変更する設定を選んで番号を押します。

設定	説明
「1. コピー枚数」	印刷枚数を設定します。
「2. 画像サイズ」	印刷する画像のサイズを設定します。2 つの選択肢「ページ全体に印刷」 および 「ページに合わせる」 について、次に説明します。その他については省略します。 「ページ全体に印刷」 設定では、用紙の印刷可能領域全体に画像を配置します。フォト用紙を給紙トレイに挿入した場合は、写真の周囲に白フチは残りません。トリミングも行われることがあります。「ページに合わせる」 設定では、トリミングをしないで、原稿の縦横比を維持したまま、ページのできるだけ多くの部分が使用されます。画像はページの中央に配置され、白フチで囲まれます。
「3. トレイ選択」	HP all-in-one が使用する給紙トレイ (前部または後部) を選択します。HP all-in-one の電源をオンにした際に、後部トレイが検出された場合にのみ、この設定を選択することができます。
「4.用紙サイズ」	現在の印刷ジョブで使用する用紙サイズを選択します。「自動」 設定では、デフォルトで大判 (A4 またはレター) の用紙サイズと小さい 10 x 15 cm の用紙サイズに設定されますが、国または地域に

設定	説明
	応じて異なります。「用紙サイズ」 と 「用紙の種類」 ともに 「自動」 に設定すると、HP all-in-one は現在の印刷ジョブに最適な印刷オプションを選択します。「用紙サイズ」 をその他の設定に変更すると、自動設定よりも優先されます。
「5. 用紙の種類」	現在の印刷ジョブで使用する用紙の種類を選択します。「自動」 設定では、HP all-in-one で、自動的に用紙の種類を検出して設定します。「用紙サイズ」 と 「用紙の種類」 の両方を 「自動」 に設定すると、HP all-in-one は現在の印刷ジョブに最適な印刷オプションを選択します。「用紙の種類」 をその他の設定に変更すると、自動設定よりも優先されます。
「6. レイアウト スタイル」	現在の印刷ジョブで使用するレイアウト スタイルを、2 種類の中から 1 つ選択します。 「ペーパー セーバー」 レイアウト スタイルは、必要に応じて回転とトリミングを行い、その用紙にできるだけ多くの写真が収まるようにレイアウトします。 「アルバム」 レイアウト スタイルは、写真原稿の向きを変えないでレイアウトします。「アルバム」 は、ページの向きについてのレイアウトで、写真の向きについてのレイアウトではありません。トリミングも行われることがあります。
「7. スマートフォーカス」	写真の自動デジタル シャープニングを有効または無効にします。「スマートフォーカス」 は、印刷される写真にのみ適用されます。この設定を有効にしても、カラー グラフィック ディスプレイに表示される写真またはメモリ カードの実際の画像は変更されません。デフォルトでは 「スマートフォーカス」 は有効です。
「8. デジタルフラッシュ」	暗い写真を明るくします。「デジタルフラッシュ」 は、印刷される写真にのみ適用されます。この設定を有効にしても、カラー グラフィック ディスプレイに表示される写真またはメモリ カードの実際の画像は変更されません。デフォルトでは 「デジタルフラッシュ」 は有効です。
「9. 新しいデフォルトの設定」	現在の 「印刷オプション」 設定を新しいデフォルトとして保存します。

印刷オプションの変更

「印刷オプション」 メニュー設定の変更は、いずれも同様の方法でできます。

1 フォト領域で 「**メニュー**」 を押してから 「**1**」 を押し、変更する設定を選んで番号を押します。コントロール パネルで ▼ を押しながら 「印刷オプション」 メニューをスクロールすると、すべてのオプションを見ることができます。
現在選択されているオプションが強調表示されます。そのオプションにデフォルト設定があれば、メニューの下 (カラー グラフィック ディスプレイの下部) に表示されます。
2 設定を変更してから 「**OK**」 を押します。

注記 フォト領域でもう一度 「**メニュー**」 を押して 「印刷オプション」 メニューを終了し、写真画面に戻ります。

デフォルトの写真印刷オプションの設定の詳細については、写真印刷オプションのデフォルトの変更を参照してください。

写真印刷オプションのデフォルトの変更

写真印刷オプションのデフォルトをコントロール パネルで変更できます。

1 フォト領域で 「**メニュー**」 を押してから、「**1**」 を押します。
「印刷オプション」 メニューが表示されます。
2 オプションを変更します。
オプションの変更を確定すると、「印刷オプション」 メニューが再表示されます。
3 「印刷オプション」 メニューの表示中に 「**9**」 を押し、新しいデフォルトを設定するか問い合わせるメッセージが表示されたら 「**OK**」 を押します。
現在のすべての設定が新しいデフォルトに設定されます。

編集機能の使用

HP all-in-one には、カラー グラフィック ディスプレイに表示中の画像に適用できる、基本的な編集機能が搭載されています。この編集機能には、明度調整、特殊カラー効果などがあります。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。HP all-in-one での画像の編集、および 「**ズーム**」 または 「**回転**」 機能の使用。

コントロール パネルから写真を編集

この編集機能は、現在表示中の写真に使用することができます。編集結果は印刷と表示のみに反映されます。画像データは変更されません。

1 フォト領域で 「**メニュー**」 を押してから、「**2**」 を押します。
「編集」 メニューが表示されます。
2 対応する番号を押して、使用する編集オプションを選択します。

編集オプション	用途
「1. 写真の明度」	表示中の画像を明るく、または暗くします。◀ を押すと、画像が暗くなります。▶ を押すと、画像が明るくなります。
「2. カラー効果」	画像に適用可能な特殊カラー効果のメニューを表示します。「効果なし」 を選択すると、画像は未加工のままになります。「セピア」 を選択すると、1900 年代の写真に特有の茶色のトーンが適用されます。「アンティーク」 は 「セピア」 に似ていますが、画像に時代めいた雰囲気が出るように、淡い色合いが追加されます。「モノクロ」 を選択すると、写真の中の色彩が黒、白、グレーの陰影に置き換えられます。
「3. フレーム」	現在の画像にフレームおよびフレーム カラーを適用します。
「4. 赤目」	写真の赤目を補正します。「オン」 を選択すると、赤目が補正されます。「オフ」 を選択すると、赤目が補正されません。デフォルトの設定は 「オフ」 です。

ズーム機能または回転機能の使用

印刷前に、写真のズーム イン、ズーム アウト、または写真の回転ができます。ズーム設定および回転設定は、現在の印刷ジョブにのみ適用されます。この設定は写真には保存されません。

ズーム機能を使用するには

1 カラー グラフィック ディスプレイに写真を表示します。
2 「**Zoom -**」 を押してズーム アウトするか、「**Zoom +**」 を押してズームインして写真の表示サイズを変更します。矢印ボタンを使用すると、写真をパンして、大体の印刷範囲を確認できます。
3 「**フォトプリント**」 を押して、写真を印刷します。
4 ズーム機能を終了して写真を元の状態に戻すには、「**キャンセル**」 を押します。

回転機能を使用するには

1 カラー グラフィック ディスプレイに写真を表示します。
2 「**回転**」 を押して、写真を回転します。1 回押すたびに、写真は時計回りに 90 度ずつ回転します。
3 「**フォトプリント**」 を押して、写真を印刷します。
4 「**回転**」 を押して、写真を元の状態に戻します。

メモリ カードからの写真の直接印刷

メモリ カードを HP all-in-one に挿入し、コントロール パネルを使用すると、写真を印刷することができます。PictBridge 対応のデジタル カメラの写真を HP all-in-one で印刷する方法については、PictBridge 対応のデジタル カメラからの写真の印刷を参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。個々の写真の印刷、フチ無し写真の作成、写真の選択解除。

注記　写真を印刷するときは、用紙の種類および写真の画質向上設定について正しいオプションを選択する必要があります。詳しくは、写真の印刷オプションの設定を参照してください。また、フォト プリント カートリッジを使用することでさらに印刷品質を高めることもできます。詳しくは、フォト プリント カートリッジの使用を参照してください。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用すると、単なる写真の印刷以上のことができます。このソフトウェアを使用すると、アイロン プリント紙、ポスター、バナー、ステッカーなどのクリエイティブなプロジェクトで写真を使用することができます。詳細については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

個々の写真の印刷

フォト シートを使用しないで、コントロール パネルから直接写真を印刷することができます。

1 メモリ カードを HP all-in-one の適切なスロットに挿入します。
メモリ カード スロット横のステータス ランプが点灯します。

2 写真をカラー グラフィック ディスプレイに表示して、それを印刷するには 「**OK**」 を押します。その写真にチェック マークが付きます。◀ または ▶ で、前の写真または次の写真を表示します。写真は 1 枚ずつ表示されます。◀ または ▶ を押し続けると、さらに早く表示できます。

注記　印刷する写真のインデックス番号を入力して写真を選択することもできます。範囲を指定するには、シャープ記号 「**#**」 を押してください。例 21-30 等。 写真のインデックス番号の入力が終わったら 「**[OK]**」 を押します。写真のインデックス番号がわからない場合は、印刷する個々の写真を選択する前にフォト シートを印刷してください。

3 フォト領域で 「**メニュー**」 を押して 「フォトメニュー」 を表示し、写真の印刷オプションに必要な変更を加えます。この印刷ジョブが完了すると、印刷オプションの設定はデフォルトの設定に戻ります。

4 フォト領域で 「**フォト プリント**」 を押して、選択した写真を印刷します。

フチなしプリントの作成

HP all-in-one を使って、メモリ カードの写真を美しいフチ無し印刷に仕上げることができます。

1 メモリ カードを HP all-in-one の適切なスロットに挿入します。
メモリ カード スロット横のステータス ランプが点灯します。
2 写真をカラー グラフィック ディスプレイに表示して、それを印刷するには 「**OK**」 を押します。その写真にチェック マークが付きます。◀ または ▶ で、前の写真または次の写真を表示します。写真は 1 枚ずつ表示されます。◀ または ▶ を押し続けると、さらに早く表示できます。

注記 また、印刷する写真のインデックス番号を入力して写真を選ぶこともできます。範囲を指定するには、シャープ記号 「**#**」 を押してください。例 21-30 等。写真のインデックス番号の入力が終わったら 「**OK**」 を押します。

3 表を下向きにしてフォト用紙を給紙トレイの右奥隅にセットし、用紙ガイドを調整します。

ヒント お使いのフォト用紙にミシン目付きのタブがある場合は、そのタブが自分のほうに向くようにフォト用紙をセットしてください。

4 フォト領域で 「**フォト プリント**」 を押して、選択した写真をフチなし印刷として印刷します。

写真の選択解除

コントロール パネルから写真を選択解除できます。

➔ 以下のいずれかを実行してください。
- ディスプレイに表示されている写真を選択解除するには、「**OK**」 を押します。
- 「**すべての**」写真を選択解除して、アイドル画面に戻るには、「**キャンセル**」 を押します。

PictBridge 対応のデジタル カメラからの写真の印刷

HP all-in-one は PictBridge 規格をサポートしています。PictBridge 対応のデジタル カメラをカメラ ポートに接続すると、デジタル カメラのメモリ カードに記録されている JPEG 写真を印刷することができます。

1 HP all-in-one の電源が入っていること、および初期化プロセスが終了していることを確認してください。
2 PictBridge 対応のデジタル カメラを、そのカメラに付属する USB ケーブルを使用して、HP all-in-one の前部にあるカメラ ポートに接続します。
3 カメラの電源をオンにして、PictBridge モードになっていることを確認します。

注記　カメラが正しく接続されている場合、メモリ カード スロット横のステータス ランプが点灯します。カメラからの印刷中は、ステータス ランプが緑に点滅します。

カメラが PictBridge に対応していない場合、または PictBridge モードでない場合は、ステータス ランプがオレンジ色に点滅し、コンピュータのモニタにエラー メッセージが表示されます (HP all-in-one ソフトウェアをインストールしている場合)。カメラの接続ケーブルを外し、問題を解決した後、再度接続してください。PictBridge カメラ ポートのトラブルシューティングの詳細については、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**トラブルシューティング ヘルプ**」 を参照してください。

PictBridge 対応のカメラを HP all-in-one に正しく接続すると、写真を印刷することができます。HP all-in-one にセットされている用紙のサイズが、カメラの設定と一致していることを確認します。カメラの用紙サイズ設定がデフォルトに設定されている場合、HP all-in-one では現在給紙トレイにセットされている用紙を使用します。カメラから直接印刷する方法については、カメラに付属するユーザー ガイドを参照してください。

ヒント　PictBridge をサポートしていない HP デジタル カメラをお使いの場合でも、HP all-in-one で直接印刷することができます。カメラを HP all-in-one の背面にある USB ポートに接続します。カメラ ポートは使用しません。この方法は、HP デジタル カメラをお使いの場合のみに機能します。

写真の印刷

「**フォト プリント**」 ボタンを使用すると、現在カラー グラフィック ディスプレイに表示している写真を印刷できます。

1　メモリ カードを HP all-in-one の適切なスロットに挿入します。
2　印刷する写真を選択します。
3　フォト領域で 「**フォト プリント**」 を押して、現在の設定を使用して写真を印刷します。

DPOF ファイルの印刷

Digital Print Order Format (DPOF) は、このフォーマットをサポートしているデジタル カメラで作成される標準のファイルです。カメラが指定する写真とは、デジタル カメラでプリントのマークをつけた写真のことです。カメラ側で写真を選択すると、カメラが、DPOF ファイルを作成します。DPOF ファイルとは、どの写真に印刷のタグがついているかがわかるファイルです。ではこの DPOF ファイルをメモリ カードから読み取ることができるため、印刷対象の写真を選択しなおす必要がなくなります。

注記　しかしすべてのデジタル カメラで、写真に印刷のタグを付けられるとは限りません。お使いのデジタル カメラで DPOF がサポートされているかどうかは、デジタル カメラのマニュアルを参照してください。では DPOF ファイル フォーマットの 1.1 をサポートしています。

カメラ指定の写真を印刷すると、HP all-in-one による印刷設定は適用されず、DPOF ファイルによる写真レイアウトと部数の設定が HP all-in-one より優先されます。

DPOF ファイルはデジタル カメラによってメモリ カードに保存されます。このファイルには次の情報が指定されています。

- 印刷対象の写真
- 各写真の印刷部数
- 写真に適用される回転
- 写真に適用されるトリミング
- インデックス印刷 (選択写真のサムネイル)

カメラ指定の写真を印刷するには

1. メモリ カードを HP all-in-one の適切なスロットに挿入します。DPOF タグが付いた写真がメモリ カードにあると、「**DPOF 写真を印刷しますか?**」 のメッセージがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2. 以下のいずれかを実行してください。
   – メモリ カード内の DPOF のタグが付いた写真をすべて印刷するには 「**[1]**」 を押してください。
   – DPOF による印刷を行わない場合は 「**[2]**」 を押してください。

スライド ショー機能の使用

「フォトメニュー」 の 「スライド ショー」 オプションを使用すると、メモリ カードのすべての写真がスライド ショーで表示されます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。スライド ショーでの写真の表示または印刷、およびスライド ショーの速度の変更。

スライド ショーでの写真の表示または印刷

HP all-in-one のスライド ショー機能を使用すると、スライド ショーで表示される写真を、表示または印刷することができます。

スライド ショーを表示するには

1. メモリ カードを HP all-in-one の適切なスロットに挿入します。
   メモリ カード スロット横のステータス ランプが点灯します。
2. フォト領域で 「**メニュー**」 を押して、「フォトメニュー」 を表示します。
3. 「**4**」 を押して、スライド ショーを開始します。
4. スライド ショーを終了するには 「**キャンセル**」 を押します。

スライド ショーで現在表示されている写真を印刷するには

1 印刷する写真がカラー グラフィック ディスプレイに表示されたら、「**キャンセル**」 を押してスライド ショーをキャンセルします。
2 フォト領域で 「**フォト プリント**」 を押して、現在の設定を使用して写真を印刷します。

HP Instant Share から写真を共有する

HP all-in-one とそのソフトウェアを使用すると、HP Instant Share と呼ばれる技術によって、写真を友人や家族と共有できます。HP Instant Share では次のようなことが実現できます。

- 電子メールで写真を友人や家族と共有する。
- オンライン アルバムを作成する。
- 写真の印刷をオンラインで注文する。

注記 一部の国/地域では、写真印刷のオンライン注文は利用できません。

注記 ネットワークで HP Instant Share をセットアップすると、USB 接続のデバイスでは、HP Instant Share を使用できません。

友人や家族とのメモリ カードの写真の共有 (USB 接続)

HP all-in-one では、メモリ カードを挿入すると、すぐに写真を共有できます。メモリ カードをカード スロットに挿入して、写真を選択し、本体のコントロール パネルにある 「**フォト**」 ボタンを押します。

注記 以前にネットワークで HP Instant Share をセットアップしている場合、USB 接続のデバイスでは、HP Instant Share を使用できません。

1 メモリ カードが HP all-in-one のカード スロットに挿入されていることを確認します。
2 写真を 1 枚以上選択します。
3 HP all-in-one のコントロール パネルにある 「**フォト**」 ボタンを押します。
「フォト メニュー」 がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
4 「**HP Instant Share**」 を選択するには、「**[5]**」 を押してください。
Windows をご使用の場合、コンピュータで 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアが起動します。「**HP Instant Share**」 タブが開きます。[選択トレイ] に各写真のサムネイルが表示されます。「**HP Image Zone**」 の詳細については、オンスクリーン ヘルプの「「**HP Image Zone**」 の使用」を参照してください。
Macintosh をご使用の場合、コンピュータで 「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアが起動します。「**HP Instant Share**」 ウィンドウに各写真のサムネイルが表示されます。

注記 Machintosh OS X v10.1.5 以前または OS 9 をご使用の場合は、Macintosh の 「**HP ギャラリ**」 にアップロードされます。「**[電子メール]**」 をクリックします。コンピュータの画面に表示される指示に従うと、写真を電子メールの添付ファイルとして送信できます。

HP Instant Share を使用してスキャンを共有するには、コンピュータに表示されるメッセージに従ってください。

友人や家族とのメモリ カードの写真の共有 (ネットワーク接続)

HP all-in-one では、メモリ カードを挿入すると、すぐに写真を共有できます。メモリ カードをカード スロットに挿入して、写真を選択し、本体のコントロール パネルにある 「**フォト**」 ボタンを押します。

ネットワーク接続した HP all-in-one のメモリ カードにある写真を共有する前に、デバイス上に HP Instant Share をセットアップする必要があります。デバイスに HP Instant Share をセットアップする方法の詳細については、はじめに を参照してください。

1 メモリ カードが HP all-in-one のカード スロットに挿入されていることを確認します。
2 写真を 1 枚以上選択します。
3 プリンタのコントロール パネルの 「**フォト**」 ボタンを押します。
「フォト メニュー」 がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
4 「**HP?Instant Share**」 を選択するには、「**[5]**」 を押してください。
「共有メニュー」 が表示されます。
5 矢印 (▲ と ▼) を使用すると、写真の送信先を強調表示できます。
6 「**OK**」 ボタンを押して、送信先を指定し、写真を送信します。

「HP Image Zone」 の使用

「**HP Image Zone**」 を使用すると、画像ファイルの表示や編集ができます。他にも、画像の印刷、家族や友人への電子メールやファクスの送信、Web サイトへの画像のアップロードができます。また画像を遊びやクリエイティブな印刷プロジェクトに使うこともできます。HP ソフトウェアを使うと可能性が広がります。の機能を十分に活用するには、ソフトウェアをいろいろと使ってみてください。

「**Windows の場合**：」 「**HP Image Zone**」 を後から開くには、「**HP ディレクタ**」 を開いて 「**HP Image Zone**」 アイコンをクリックします。

「**Macintosh の場合**」:「**HP Image Zone**」 の 「**HP ギャラリ**」 コンポーネントを後から開くには、「**HP ディレクタ**」 を開いて 「**HP ギャラリ**」 をクリックするか (OS 9)、またはドックから 「**HP Image Zone**」 アイコンを選択します。(OS X)

7　コピー機能の使用

HP all-in-one を使用すると、高品質のカラー コピーおよびモノクロ コピーを、OHP フィルムを含め、さまざまな種類の用紙に作成できます。原稿のサイズを特定の用紙サイズに合わせて拡大/縮小したり、コピーの色の明るさや濃さを調整したり、特別なコピー機能を使用して写真の高品質コピーや 10 x 15 cm のフチなしコピーを作成したりすることもできます。

この章では、コピーの高速化、コピー品質の向上、印刷するコピー部数の設定、ジョブに最適な用紙タイプとサイズを選択するガイドライン、ポスターの作成、アイロン プリント紙の作成について説明します。

ヒント　通常のコピーで最高のパフォーマンスを得るには、 用紙サイズを「**レター**」 または 「**A4**」、用紙タイプを 「**普通紙**」、コピー品質を「**きれい**」 に設定します。

用紙サイズの設定の仕方についての詳細は コピー用紙サイズの設定を参照してください。

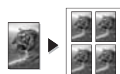
用紙の種類の設定の仕方についての詳細は コピー用紙の種類の設定を参照してください。

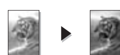
コピー品質の設定の仕方についての詳細は コピーの高速化またはコピー品質の向上 を参照してください。

フチなしコピーを作成、用途に合わせて写真のコピーを拡大縮小、1 ページに複数の写真のコピーを作成、色あせた写真の品質を向上させてコピーを作成する方法がわかります。


10 × 15 cm (4×6 インチ）の写真のフチなしコピーを作成.


A4 サイズのページ上に 10×15 cm （4×6 インチ）の写真をコピー.


1 ページに同じ写真を複数コピーする.


コピーの薄い部分を強調する.

コピー用紙サイズの設定

HP all-in-one では用紙サイズを設定できます。用紙サイズは、給紙トレイにセットした用紙に合わせます。コピーの場合、用紙サイズのデフォルト設定は、「**自動**」 です。この設定では給紙トレイの用紙サイズが、HP all-in-one によって検出されます。

用紙の種類	推奨の用紙サイズの設定
コピー専用用紙、多目的用紙、あるいは普通紙	「レター」または 「A4」
インクジェット用紙	「レター」または 「A4」
アイロン プリント紙	「レター」または 「A4」
レター ヘッド	「レター」または 「A4」
フォト用紙	「10×15cm」または「10×15cm フチなし」 「4×6 インチ」または「4×6 インチフチなし」 「5×7 インチ」または「5×7 インチフチなし」 「レター」または「レターフチなし」 「A4」または「A4 フチなし」 「L サイズ」または「L サイズフチなし」
はがき	「はがき」または「はがきフチなし」
OHP フィルム	「レター」または 「A4」

コントロール パネルから用紙サイズを設定するには

1 コピー領域で、「**メニュー**」ボタンを押してから「**2**」ボタンを押します。「コピー メニュー」 が表示されますので、「用紙サイズ」 を選択します。
2 ▼を押して適切な用紙サイズを選択します。
3 「**OK**」 を押して、表示されている用紙サイズを選択します。

コピー用紙の種類の設定

HP all-in-one では用紙の種類を設定できます。コピーの場合、用紙の種類のデフォルト設定は、「自動」 です。この設定では給紙トレイ内の用紙の種類が HP all-in-one によって検出されます。

特殊な用紙にコピーする場合、または 「自動」 設定で十分な印刷品質が得られない場合、「コピー メニュー」 から手動で用紙の種類を設定することができます。

1 コピー領域で、「**メニュー**」ボタンを押してから「**3**」ボタンを押します。「コピー メニュー」 が表示されますので、「用紙の種類」 を選択します。
2 ▼ を押して、用紙の種類の設定を選択します。次に「**OK**」 を押します。

以下の表を参照して、給紙トレイにセットされている用紙に対応する用紙の種類の設定を選択してください。

用紙の種類	コントロール パネルの設定
コピー用紙またはレターヘッド	普通紙
HP インクジェット用上質普通紙	普通紙
HP プレミアム プラス フォト用紙 (光沢)	プレミアム フォト用紙
HP プレミアム プラス フォト用紙 (つや消し)	プレミアム フォト用紙
HP プレミアム プラス 4 × 6 インチ（10 x 15 cm） フォト用紙	プレミアム フォト用紙
フォト用紙	フォト用紙
エヴリデイフォト用紙	エヴリデイフォト用紙
エヴリデイフォト用紙 (半光沢)	エヴリデイつや消し用紙
その他のフォト用紙	他のフォト用紙
HP アイロンプリント紙（カラー繊維専用）	アイロン プリント紙
HP アイロン プリント紙（軽、白地専用）	アイロン左右反転用紙
HP プレミアム用紙	プレミアム インクジェット用紙
その他のインクジェット用紙	プレミアム インクジェット用紙
HP プロフェッショナル ブローシャ & フライヤ用紙 (光沢)	ブローシャ (光沢)
HP プロフェッショナル ブローシャ & フライヤ用紙 (つや消し)	ブローシャ (つや消し)
HP プレミアム OHP フィルムまたはプレミアム プラス インクジェット OHP フィルム	OHP フィルム
その他の OHP フィルム	OHP フィルム
普通紙はがき	普通紙
光沢はがき	プレミアム フォト用紙
L (日本のみ)	プレミアム フォト用紙

コピーの高速化またはコピー品質の向上

HP all-in-one には、コピー速度およびコピーの品質に関する 3 つのオプションがあります。

- 「高画質」 あらゆる用紙を高画質で印刷し、塗りつぶし領域に縞模様が発生しないように仕上げます。「高画質」 でコピーを行った場合は、他の品質設定よりも印刷に時間がかかります。
- 「きれい」 印刷を高品質で仕上げます。 ほとんどのコピーに推奨される設定です。「きれい」は「高画質」 設定よりも速くコピーできます。
- 「はやい」設定だと、「きれい」 設定の場合よりも速くコピーできます。文字の印刷品質は 「きれい」 設定と変わりませんが、グラフィックスの品質は低下します。「はやい」 設定でコピーをすると、インクの消費量が少ないので、プリント カートリッジの寿命が延びます。

コントロール パネルからコピー品質を変更するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ガラス板の右下隅に合わせて原稿の表を下にしてまたはドキュメント フィーダ トレイに原稿の表を上にして置きます。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の一番上が最初になるようにページを置きます。
3. コピー領域で、「**品質**」を押します。
   「コピー品質」 が表示されます。
4. ▼を押して、品質設定を選択します。 次に 「**OK**」 を押します。
5. 「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。

コピー用の給紙トレイの選択

サポートされている用紙トレイ アクセサリのひとつをお使いの場合、コピー専用の給紙トレイを指定できます。

- メイントレイ「上段トレイ」に、フォト用紙や OHP フィルムなど、サポートされているすべての用紙の種類、用紙のサイズをセットできます。
- 小型用紙トレイ（「後部トレイ」）が付属しているオプショナル HP 自動両面 プリント アクセサリに、フォト用紙やはがきカードなどの小さいサイズの用紙をセットできます。

たとえば、大量の写真をコピーする場合、フォト用紙をメイン トレイにオプショナルの下段トレイにレターまたは A4 用紙をセットできます。また、10×15cm のフォト用紙を後部トレイに、普通サイズの用紙をメイン給紙トレイにセットできます。オプショナルの給紙トレイを使用すると、異なるサイズや種類の用紙をコピーするたびに用紙を取り除いたり、再設定する必要がないので時間を節約できます。

注記 このオプション トレイに用紙をセットする方法については、このトレイに付属する説明書を参照してください。

コントロール パネルから給紙トレイを選択するには

1. コピーをする給紙トレイに用紙をセットしてください。
2. 「**トレイ選択**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
   「機能の選択」メニュー が表示され、「コピー」 を選択します。
3. ▼ を押して給紙トレイを選択してから 「**OK**」 ボタンを押します。
   給紙トレイを選択すると「コピーメニュー」が表示されます。
4. 「コピー メニュー」 の設定値は、必要な変更を加えることができます。
5. 「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。

デフォルトのコピー設定の変更

コントロール パネルからコピー設定を変更すると、その変更は現在のコピー ジョブにのみ適用されます。今後すべてのコピー ジョブにこのコピー設定を適用するには、その設定をデフォルト設定として保存します。

コピー設定をコントロール パネルまたは 「**HP ディレクタ**」 から変更すると、その変更は現在のコピー ジョブのみに適用されます。今後すべてのコピー ジョブにこのコピー設定を適用するには、その設定をデフォルト設定として保存します。

1. 「コピー メニュー」 の設定値は、必要な変更を加えることができます。
2. 「コピーメニュー」から▲を押し、「新しいデフォルト」を選択します。
3. 「**OK**」 を押して、「コピー メニュー」 から 「新しいデフォルトの設定」 を選択します。
4. 「**[OK]**」 を押して、デフォルト設定の変更を確定します。

ここで指定した設定は、HP all-in-one 本体にのみ保存されます。ソフトウェアの設定には適用されません。HP all-in-one に付属している HP Image Zone ソフトウェアを使用して頻繁に使用する設定を保存できます。詳細については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

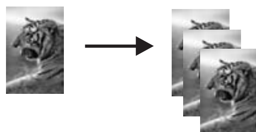
原稿の複数コピー

「コピー メニュー」 の 「コピー部数」オプション を使用して、印刷するコピー枚数を設定します。

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ガラス板の右下隅に合わせて原稿の表を下にしてまたはドキュメント フィーダ トレイに原稿の表を上にして置きます。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の一番上が最初になるようにページを置きます。
3. コピー領域で、「**コピー枚数**」を押します。
   「コピー枚数」 画面が表示されます。
4. ▶ を押すか、またはキーボードから部数を入力します。
   次に 「**OK**」 を押します。

ヒント (最大部数はモデルによって異なります。 矢印ボタンを押し続けるとコピー部数が 5 単位で増えるため、多部数のコピーを設定するのに便利です。

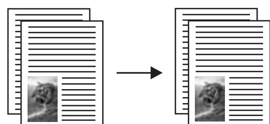
5 「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。
下の図は、HP all-in-one で 10 x 15 cm の写真を 3 枚コピーした例です。



コピー機能の使用

2 ページモノクロ文書のコピー

HP all-in-one を使用すると、1 ページの文書でも複数ページの文書でもカラーまたはモノクロでコピーできます。ここでは、HP all-in-one を使って 2 ページのモノクロ原稿をコピーする場合を例に説明します。



コントロール パネルから 2 ページの文書をコピーするには

1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2 ドキュメント フィーダ トレイにレターサイズまたは A4 サイズの原稿をセットしてください。文書の一番上のページが最初に取り込まれるようにセットしてください。
3 「**コピー スタート - モノクロ**」 を押します。

両面コピーの作成

片面または両面レターサイズ、A4 サイズの原稿から両面印刷コピーができます。

注記　お使いの HP all-in-one が HP 自動両面印刷アクセサリをお持ちの場合に限り、両面印刷コピーができます。HP 自動印刷オプションは、いくつかのモデルでは標準で装備されています。また別途購入もできます。

1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2 ドキュメント フィーダ トレイにレターサイズまたは A4 サイズの原稿をセットしてください。文書の一番上のページが最初に取り込まれるようにセットしてください。

 注記　リーガルサイズの原稿からは両面印刷コピーはできません。

3 「**両面**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
 「機能の選択」メニュー が表示され、「コピー」 を選択します。
4 ▼を押して、以下のうち設定したいものを一つを選択してください。次に「**OK**」を押します。
 – 「片面の原稿、片面コピー」
 このオプションによって 1 枚の片面の原稿から 1 枚標準片面コピーを作成します。
 – 「片面の原稿、両面コピー」
 このオプションにより 2 枚の片面の原稿から 1 枚の両面コピーが作成されます。
 – 「両面の原稿、片面コピー」

このオプションでは 1 枚の両面の原稿から 1 枚の片面コピーを作成します。
– 「両面の原稿、両面コピー」
このオプションでは 1 枚の両面の原稿から 1 枚の両面コピーを作成します。

5 「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。

注記 両面のコピーが完了するまでトレイから用紙を取り除かないでください。

コピーを部単位で印刷

「部単位で印刷」機能を使用して、ドキュメント フィーダ トレイからスキャンされた正確な順番でコピーのセットを作成できます。「部単位で印刷」機能を使用するには、2 枚以上の原稿をコピーする必要があります。

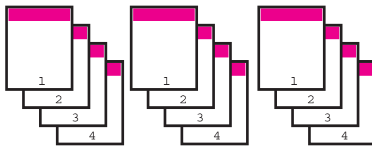
注記 「部単位で印刷」機能は特定のモデルでのみ使用できます。

コントロールパネルからコピーを部単位で印刷するには

1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2 送信する原稿の表を上にし、ページの上部を左側にしてドキュメント フィーダ トレイにセットします。

ヒント より大きなソート プロジェクトの場合、お使いの HP all-in-one のメモリ容量を越えることがあります。大規模なソート プロジェクトを小さなジョブに分割してください。一回にコピーするページを少なくしてページをグループ化してください。

3 コピー領域で、「**部単位で印刷**」を押します。
「部単位で印刷メニュー」 が表示されます。
4 「**1**」 を押し、次に 「**OK**」 を押します。
「On」を選択して「部単位で印刷メニュー」を閉じます。
5 「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。



1 ページに 2 枚の原稿をコピー

「1 枚に 2 枚」機能を使用して 1 ページに異なる 2 枚の原稿を印刷できます。コピーされた画像はページの上に横に並ぶ形で表示されます。

コントロールパネルから 2 枚の原稿を 1 枚のページにコピーするには

1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2 ドキュメント フィーダ トレイにレターサイズまたは A4 サイズの原稿をセットしてください。文書の一番上のページが最初に取り込まれるようにセットしてください。
3 コピー領域で、「**縮小/拡大**」を押してから「**8**」を押します。
「縮小/拡大」 メニューが表示され、「 1 ページに 2 枚」 を選択します。
4 「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。

10 × 15 cm (4×6 インチ）の写真のフチなしコピーを作成

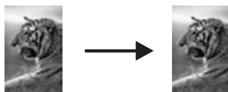
高画質で写真をコピーするときは、給紙トレイにフォト用紙をセットします。次に、コピー設定を適切な用紙の種類および写真の強調に変更します。また、フォト プリント カートリッジを使用することでさらに印刷品質を高めることもできます。カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジをインストールすることで、6 色インクシステムが実現されます。詳しくは、フォト プリント カートリッジの使用を参照してください。

警告 フチなしコピーを実行するには、フォト用紙またはその他の特殊用紙をセットしてください。HP all-in-one は給紙トレイに普通紙を検出した場合は、フチなしコピーをしません。代わりに、コピーにフチを付けます。

1 10 x 15 cm のフォト用紙を給紙トレイにセットします。

注記 お使いの HP all-in-one に 2 つ以上の給紙トレイがあると、適切な給紙トレイを選択する必要があります。詳しくは、コピー用の給紙トレイの選択を参照してください。

2 表を下にして、ガラス板の右下隅に合わせて原稿の写真を乗せます。
写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。
3 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。
下図は、HP all-in-one で、写真原稿を 10 x 15 cm の用紙にフチなしコピーした例です。



ヒント 出力がフチなしにならない場合は、用紙サイズを 「フチなし 10×15cm」 に設定、用紙タイプを 「フォト用紙」 に設定、強調を「写真」 にしてから、もう一度やり直します。

用紙のサイズを設定する詳細については、コピー用紙サイズの設定 を参照してください。

用紙の種類を設定する詳細については、コピー用紙の種類の設定 を参照してください。

「写真」 を強調に設定する詳細については、コピーの薄い部分を強調する を参照してください。

A4 サイズのページ上に 10×15 cm （4×6 インチ）の写真をコピー

「ページ全体に印刷」 使用すると、給紙トレイにセットされている用紙の印刷可能範囲に合わせて,写真を自動的に拡大または縮小することができます。下の例では、「ページ全体に印刷」 を選択し、10 x 15 cm の写真を用紙に合わせてフチなしコピーを作成しています。写真をコピーするときは、フォトプリント カートリッジを使用すると印刷品質がさらに向上します。カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジをインストールすることで、6 色インクシステムが実現されます。詳しくは、フォト プリント カートリッジの使用を参照してください。

注記 原稿の縦横比を変えずにふちなしコピーを実行するため、HP all-in-one で端のほうの画像がトリミングされてしまうことがあります。





警告 フチなしコピーを実行するには、フォト用紙またはその他の特殊用紙をセットしてください。HP all-in-one は給紙トレイに普通紙を検出した場合は、フチなしコピーをしません。代わりに、コピーにフチを付けます。

注記 ガラス板やカバーの裏に汚れが付着していると、この機能は正常に機能しなくなります。詳しくは、HP all-in-one のクリーニングを参照してください。

1 A4 フォト用紙またはレター用紙を給紙トレイにセットします。
   お使いの HP all-in-one に 2 つ以上の給紙トレイがあると、適切な給紙トレイを選択する必要があります。詳しくは、コピー用の給紙トレイの選択を参照してください。
2 表を下にして、ガラス板の右下隅に合わせて原稿の写真を乗せます。
   写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。
3 コピー領域で、「**縮小/拡大**」を押してから「**4**」を押します。

「縮小/拡大」 メニューが表示され、「ページ全体に印刷」 が選択されます。

4 **「コピー スタート - カラー」** を押します。

ヒント 出力がフチなしにならない場合は、用紙サイズを 「フチなし 10x15cm」 に設定、用紙タイプを 「フォト用紙」 に設定、強調を「写真」 にしてから、もう一度やり直します。

用紙のサイズを設定する詳細については、コピー用紙サイズの設定 を参照してください。

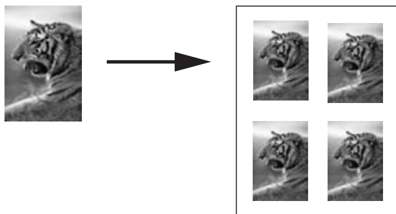
用紙の種類を設定する詳細については、コピー用紙の種類の設定 を参照してください。

「写真」 を強調に設定する詳細については、コピーの薄い部分を強調する を参照してください。

1 ページに同じ写真を複数コピーする

1 ページに複数のコピーを印刷するには、「コピー メニュー」 から 「縮小/拡大」 で画像サイズを選択します。

画像サイズを選択すると、複数の写真コピーを給紙トレイにセットした用紙全体に配置するかどうか、メッセージが表示されることがあります。



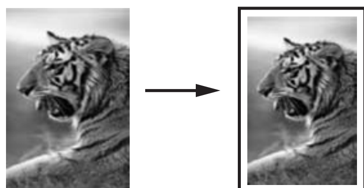
1 ページに写真を複数コピーするには

1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2 表を下にして、ガラス板の右下隅に合わせて原稿の写真を乗せます。
写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。
3 コピー領域で、**「縮小/拡大」**を押してから**「7」**を押します。
「縮小/拡大」 メニューが表示され、「画像サイズ」 が選択されます。
4 ▼ を押して写真のコピー サイズを選択します。 次に **「OK」** を押します。
選択した画像サイズによって、「ページに複数枚?」 メッセージが表示されることがあります。給紙トレイにセットした用紙に写真のコピーを複数配置するか、1 枚だけ配置して印刷するかを指定できます。
画像のサイズが大きい場合は、画像の数を選択するよう表示されることはありません。この場合、ページにコピーされる画像は 1 つだけです。
5 「ページに複数枚?」 メッセージが表示されたら、「はい」 または 「いいえ」 のいずれかを選択します。次に **「OK」** を押します。

6　「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。

レターまたは A4 用紙に合わせて原稿のサイズを変更

原稿の画像や文字がページ全体に配置されて、余白がない場合は、「ページに合わせる」 または「ページ全体 91%」を使用すると、原稿を縮小でき、用紙の端の文字や画像が不必要にトリミングされることを防ぐことができます。



ヒント　フルサイズ ページの印刷可能範囲内に合わせて、小さいサイズの写真を拡大することもできます。オリジナルの縦横比を変えずに拡大する、または端をトリミングせずに拡大するため、HP all-in-one では端の方にある余白が不均一にそのまま残ることがあります。

1　用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2　ガラス板の右下隅に合わせて原稿の表を下にしてまたはドキュメント フィーダ トレイに原稿の表を上にして置きます。
文書の一番上が最初にくるようにドキュメント フィーダ トレイにセットします。
3　コピー領域で、「**縮小/拡大**」を押します。
「縮小/拡大」メニューが表示されます。
4　次のいずれかを押してください。
– ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットした場合は、「**2**」を押してください。
「ページ全体 91%」を選択します。
– 「ページに合わせる」を使用する場合は、「**3**」を押します。
「ページに合わせる」 を選択します。
5　「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。

カスタム設定を使用して原稿サイズを調整

文書のコピーを縮小または拡大する際にカスタム設定を使用できます。

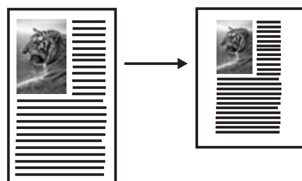
1　用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2　ガラス板の右下隅に合わせて原稿の表を下にしてまたはドキュメント フィーダ トレイに原稿の表を上にして置きます。
文書の一番上が最初にくるようにドキュメント フィーダ トレイにセットします。

3 コピー領域で、「**縮小/拡大**」を押してから「**5**」を押します。
「縮小/拡大」 メニューが表示され、「カスタム 100%」 が選択されます。
4 ◀または▶を押すか、キーパッドを使用してパーセンテージを入力しコピーを拡大または縮小します。次に「**OK**」を押します。
(モデル毎のコピー値を調整するための最小および最大パーセンテージ)
5 「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。

レター用紙にリーガルサイズの文書をコピー

「リーガル> レター72%」設定を使用して、レター用紙に合うようにリーガルサイズの文書のコピーを縮小できます。

1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2 送信する原稿の表を上にし、ページの上部を左側にしてドキュメント フィーダ トレイにセットします。
文書の一番上が最初にくるようにドキュメント フィーダ トレイにセットします。
3 コピー領域で、「**縮小/拡大**」を押してから「**6**」を押します。
「縮小/拡大」 メニューが表示され、[「リーガル>レター 72%」] が選択されます。
4 「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。
HP all-in-one は、以下に示すようにレター用紙の印刷可能範囲内で原稿のサイズを縮小します。



色あせた原稿をコピー

「薄く/濃く」 を使用すると、コピーの明るさを調節できます。色の濃さを調整することで、コピーの色をより鮮やかに、あるいはより落ち着いたものにすることができます。

1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2 ガラス板の右下隅に合わせて原稿の表を下にしてまたはドキュメント フィーダ トレイに原稿の表を上にして置きます。
ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の一番上が最初になるようにページを置きます。
3 コピー領域で、「**メニュー**」を押します。
「コピー メニュー」 が表示されます。

4　▲を押して「薄く/濃く」を選択してから「**OK**」を押します。
「薄く/濃く」画面が表示されます。[薄く/濃く] の値の範囲は、カラー グラフィック ディスプレイにスケールとして表示されます。
5　▶ を押してコピーの色を濃くします。次に 「**OK**」 を押します。

注記　コピーの色を薄くするには、◀ を押します。

6　▲を押して「色の濃さ」を選択してから「**OK**」を押します。
色の濃さの値の範囲は、カラー グラフィック ディスプレイにスケールとして表示されます。
7　▶ を押して画像をより鮮やかにします。次に 「**OK**」 を押します。

注記　画像を薄くするには、◀ を押します。

8　「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。

数回ファクスされた原稿をコピー

「強調」 機能を使用すると、モノクロ文字の輪郭がはっきりし、テキスト文書の品質を自動調整したり、白に見えてしまう薄い色を強調して、写真を調整することができます。

デフォルトのオプションは 「混合」 の強調です。「混合」強調を使用して、ほとんどの文書の文字の輪郭をはっきりさせます。

不鮮明な文書をコピーするには

1　用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2　ガラス板の右下隅に合わせて原稿の表を下にしてまたはドキュメント フィーダ トレイに原稿の表を上にして置きます。
ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の一番上が最初になるようにページを置きます。
3　コピー領域で、「**メニュー**」を押します。
「コピー メニュー」 が表示されます。
4　▲ を押して、「強調」 を選択し、「**OK**」 を押します。
「強調」メニューが表示されます。
5　▼ を押して、「文字」 強調設定を選択します。次に 「**OK**」 を押します。
6　「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。

ヒント　次のような場合は、「写真」 または 「なし」 を選択して 「文字」 の強調をオフにすることができます。

- コピー上で色のドットが文字の回りにはみ出している。
- 大きいモノクロ文字がまだらで、なめらかでない。
- カラーで細いオブジェクトまたは線に、黒い部分がある。
- ライト グレーからミディアム グレーの部分に、グレーがかったまたは白い帯状の横線が現れる。

コピーの薄い部分を強調する

「写真」 強調を使用すると、白に見えてしまう薄い色を強調することができます。「文字」 強調でコピーするときに起こりやすい次のような問題を解消または軽減する場合に、「写真」 強調は便利です。

- コピー上で色のドットが文字の回りにはみ出している。
- 大きいモノクロ文字がまだらで、なめらかでない。
- カラーで細いオブジェクトまたは線に、黒い部分がある。
- ライト グレーからミディアム グレーの部分に、グレーがかったまたは白い帯状の横線が現れる。

露出過度の写真をコピーするには

1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2 表を下にして、ガラス板の右下隅に合わせて原稿の写真を乗せます。
写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。
3 コピー領域で、「**メニュー**」を押します。
「コピー メニュー」 が表示されます。
4 ▲ を押して、「強調」 を選択し、「**OK**」 を押します。
「強調」メニューが表示されます。
5 ▼を押して、「写真」 強調設定を選択します。 次に「**OK**」 を押します。
6 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。

HP all-in-one に付属する 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用すると、コピー対象の写真と文書の 「強調」 が簡単に設定できます。マウスを 1 回クリックするだけで、写真は 「写真」 強調でコピーする、文字は 「文字」 強調でコピーする、画像と文字が混在する文書は 「写真」 と 「文字」 の両方を強調してコピーする、などの設定が行えます。詳細については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

余白を拡大するためのコピーの変更

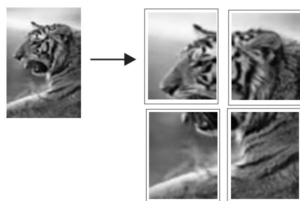
「余白の変更」を使用してとじしろ用の余白を広げるためにコピーの左右の余白を変更できます。

1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2 ガラス板の右下隅に合わせて原稿の表を下にしてまたはドキュメント フィーダ トレイに原稿の表を上にして置きます。
文書の一番上が最初にくるようにドキュメント フィーダ トレイにセットします。
3 コピー領域で、「**縮小/拡大**」を押してから「**9**」を押します。
「縮小/拡大」 メニューが表示され、「余白変更 100%」 が選択されます。
4 ◀または▶を押して左右の余白を変更してください。
5 「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。

コピー機能の使用

ポスターの作成

「ポスター」 を使用すると、原稿を分割して拡大コピーし、その分割したものを組み合わせて、1 つの大きなポスターにできます。



1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2 表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を乗せます。
写真をコピーするには、写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。
3 「**縮小/拡大**」を押してから「**0**」を押します。
「縮小/拡大」 が表示され、「ポスター」 が選択されます。
4 ▼を押して、ポスターのページ幅を選択します。 次に「**OK**」 を押します。
デフォルトのポスター サイズは 2 ページ幅分です。
5 「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。
ポスターの幅を選択したら、HP all-in-one では原稿の縦横比を維持するよう自動的に高さを調整します。

ヒント 選択したポスター サイズが最大ズーム倍率を超えているため原稿を拡大できない場合は、サイズを縮小してくださいというエラーメッセージが表示されます。もう少し小さいポスター サイズを選択し、もう一度コピーしてください。

HP all-in-one に付属の 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用すると、写真の活用範囲がさらに広がります。詳細については、オンスクリーンの「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

カラー アイロン プリント紙の作成

画像や文字をアイロン プリント紙の上にコピーできます。さらにアイロンプリント紙にコピーした画像や文字を T シャツやまくらカバー、プレースマット、またはその他の繊維品にアイロンプリントできます。

ヒント 初めての場合は、いらなくなった衣服などを使用して、アイロン プリントを練習することをおすすめします。

1 アイロン プリント紙を給紙トレイにセットします。
2 表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を乗せます。

写真をコピーするには、写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせて置きます。

3 コピー領域で、「**メニュー**」ボタンを押してから「**3**」ボタンを押します。「コピー メニュー」 が表示されますので、「用紙の種類」 を選択します。
4 ▼ を押して、「アイロンプリント紙」 または 「アイロン左右反転用紙」 を選択します。次に 「**OK**」 を押します。
5 「**コピー スタート - モノクロ**」 または 「**コピー スタート - カラー**」 を押します。

注記 用紙の種類で 「アイロン左右反転用紙」 を選択すると、HP all-in-one では原稿の左右反転の画像が自動的にコピーされます。布地にアイロン プリントすると正しい向きになります。

コピーの中止

➔ コピーを中止するには、コントロール パネルの 「**キャンセル**」 を押します。

8 スキャン機能の使用

スキャンとは、コンピュータで使用できるよう、テキストや写真を電子的な形式に変換する過程のことです。写真、雑誌、記事、書類など、さまざまなものがスキャンできます。HP all-in-one のガラス面に傷をつけないように注意すれば、立体物のスキャンもできます。スキャンした画像をメモリ カードに記録すると、携帯性がさらに向上します。

HP all-in-one のスキャン機能を使用すると、次のようなことが可能です。

- 記事からテキストをワード プロセッサにスキャンして記事の内容をレポートに取り込む。
- ロゴをスキャンし、パブリッシング ソフトウェアで使用して、名刺やカタログを印刷する。
- お気に入りの写真をスキャンして電子メールに添付し、友人や家族に送信する。
- 家財や商品の写真目録を作成したり、大切な写真を電子スクラップブックにまとめたりする。

注記 市販のテキストのスキャン (光学式文字認識または OCR) を活用すると、雑誌記事や本などの印刷物の中身を編集可能なテキストとして、ワード プロセッサ （およびその他のさまざまなプログラム) に取り込むことができます。最高の読み取り結果を得るには、OCR の使用方法を知ることが大切です。OCR ソフトウェアを初めてお使いになるときは、スキャンしたテキスト文書の文字が完璧に認識されない場合があります。OCR ソフトウェアの操作は 1 つの技能なので、習得するには時間と練習が必要です。文書、特にテキストとグラフィックの両方を含む文書のスキャンについては、OCR ソフトウェアに付属するヘルプを参照してください。

スキャン機能を使用するには、HP all-in-one とコンピュータとを接続して電源をオンにする必要があります。また、スキャンを実行するに先だってコンピュータに HP all-in-one ソフトウェアをインストールし、実行しておく必要もあります。Windows コンピュータで HP all-in-one ソフトウェアが動作していることを確認するには、画面右下の時刻の横にあるシステム トレイに HP all-in-one のアイコンが表示されていることを確認します。Macintosh の場合、HP all-in-one ソフトウェアは常に動作しています。

注記 システム トレイにある HP Windows のアイコンを閉じると、HP all-in-one からスキャン機能の一部が失われ、「接続していません」 エラー メッセージが表示されます。このエラー メッセージが表示された場合、コンピュータを再起動するか、または 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを起動してください。

コンピュータからのスキャン方法や、スキャン画像の調整、サイズ変更、回転、トリミング、解像度調整については、ソフトウェアに付属するオンライン 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

この章では、アプリケーション、HP Instant Share の送信先、メモリ カードへスキャンする方法について説明します。また、「**HP ディレクタ**」 からのスキャンやプレビュー画像の調整方法についても説明します。

アプリケーションのスキャン

ガラス板にセットした原稿を、コントロール パネルの操作で直接スキャンすることができます。

注記 ここに示されているメニューは、お使いのコンピュータのオペレーティング システムと、「**HP Image Zone**」 でスキャン画像の送信先に設定されたアプリケーションによって、内容が異なることがあります。

原稿のスキャン（ＵＳＢ接続）

USB ケーブルで HP all-in-one をコンピュータに直接接続している場合は、次の手順に従ってください。

1 原稿の表を下にしてガラス板の右下隅に合わせてセットします。
2 スキャン領域で、「**スキャン to**」を押します。
「スキャン to」 が表示され、スキャン画像の送信先 (アプリケーション名を含む) リストが表示されます。デフォルトのスキャン先には、前回このメニューを使用したときに選択したスキャン先が指定されます。お使いのコンピュータで 「**HP Image Zone**」 を使用して、「スキャン to」 に表示するアプリケーションとその他の送信先を指定します。
3 スキャン画像を受信するアプリケーションを選択するには、コントロール パネルでその番号を押すか、あるいは矢印キーでそのアプリケーションを選択してから、「**OK**」 または 「**スタート - スキャン**」 を押します。
スキャンのプレビュー画像が、コンピュータの 「**HP スキャン**」 ウィンドウに表示されます。ここから編集ができます。
プレビュー画像の編集の詳細については、ソフトウェアに付属するオンライン 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。
4 「**HP スキャン**」 ウィンドウから、プレビュー画像に編集を行います。編集が終了したら、「**[適用]**」 をクリックします。
スキャン画像が HP all-in-one から選択したアプリケーションに送信されます。たとえば、「**HP Image Zone**」 を送信先に選択している場合は、HP Image Zone が自動的に開いて、画像を表示します。

原稿のスキャン（ネットワーク接続）

ご使用の HP all-in-one がネットワークを経由して 1 台以上のコンピュータに接続している場合は、次の手順に従ってください。

1 原稿の表を下にしてガラス板の右下隅に合わせてセットします。
2 スキャン領域で、「**スキャン to**」を押します。

「スキャン to」 が表示され、オプションが一覧で表示されます。

3 「**1**」 を押して 「コンピュータの選択」 を選択するか、矢印ボタンを使用してオプションを選択してから「**OK**」 を押します。
「コンピュータの選択」 メニューが表示され、HP all-in-one に接続されているコンピュータが一覧表示されます。

注記 「コンピュータの選択」 には、ネットワーク接続されているコンピュータの他に、USB 接続されているコンピュータも一覧に表示されることがあります。

4 デフォルトのコンピュータを選択するには、「**OK**」 を押してください。別のコンピュータを選択するには、コントロール パネルでその番号を押すか、あるいは矢印ボタンでそのコンピュータを選択してから、「**OK**」 を押します。コンピュータのアプリケーションにスキャン画像を送信するには、メニューからお使いのコンピュータを選択します。
「スキャン to」 が表示され、スキャン画像の送信先 (アプリケーション名を含む) リストが表示されます。デフォルトのスキャン先には、前回このメニューを使用したときに選択したスキャン先が指定されます。お使いのコンピュータで 「**HP Image Zone**」 を使用して、「スキャン to」メニュー に表示する送信先を指定します。詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

5 スキャン画像を受信するアプリケーションを選択するには、コントロール パネルでその番号を押すか、あるいは矢印キーでそのアプリケーションを選択してから、「**OK**」 または 「**スタート - スキャン**」 を押します。
「**HP Image Zone**」 を選択すると、コンピュータの 「**HP スキャン**」 ウィンドウにスキャンのプレビュー画像が表示されます。ここから編集ができます。

6 「**[HP スキャン]**」 ウィンドウで、プレビュー画像に必要な編集を行います。編集が終了したら、「**[適用]**」 をクリックします。
スキャン画像が HP all-in-one から選択したアプリケーションに送信されます。たとえば、「**HP Image Zone**」 を送信先に選択している場合は、HP Image Zone が自動的に開いて、画像を表示します。

HP Instant Share の送信先へのスキャン画像の送信

HP Instant Share を使用すると、電子メールのメッセージ、オンライン フォト アルバム、高画質プリントで写真を家族や友人と共有できます。

注記 一部の国/地域では、写真印刷のオンライン注文は利用できません。

HP Instant Share のセットアップと使用の詳細については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

注記 ネットワークで HP Instant Share をセットアップすると、USB 接続のデバイスでは、HP Instant Share を使用できません。

友人や家族とスキャンした画像を共有 (USB 接続デバイス)

スキャンした画像を共有するには、本体のコントロール パネルにある 「**スキャン to**」 ボタンを押します。「**スキャン to**」 ボタンを使用する場合は、表を下にして画像をガラス板の上に置き、画像の送信先を選択してから、スキャンを開始します。

注記 以前にネットワークで HP Instant Share をセットアップしている場合、USB 接続のデバイスでは、HP Instant Share を使用できません。

1 原稿の表を下にして原稿ガラスの右下隅または (ドキュメント フィーダ トレイを使用している場合は) ドキュメント トレイにセットします。
2 スキャン領域で、「**スキャン to**」を押します。
すると、「**スキャン to**」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
3 矢印 (▲ と ▼) を使用して、「**HP Instant Share**」 を強調表示します。
4 「**OK**」 ボタンを押して、送信先を指定し、画像をスキャンします。
画像がスキャンされ、コンピュータにアップロードされます。
Windows をご使用の場合、コンピュータで 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアが起動します。「**HP Instant Share**」 タブが開きます。[選択トレイ] に、スキャンした画像のサムネイルが表示されます。「**HP Image Zone**」 の詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。
Macintosh をご使用の場合、コンピュータで 「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアが起動します。「**HP Instant Share**」 ウィンドウに、スキャンした画像のサムネイルが表示されます。

注記 Machintosh OS X v10.1.5 以前または OS 9 をご使用の場合、スキャンした画像は Macintosh の 「**HP ギャラリ**」 にアップロードされます。「**[電子メール]**」 をクリックします。コンピュータの画面に表示される指示に従うと、画像を電子メールの添付ファイルとして送信できます。

HP Instant Share を使用してスキャンを共有するには、コンピュータに表示されるメッセージに従ってください。

友人や家族とスキャン画像を共有 （ネットワーク接続）

スキャンした画像を共有するには、本体のコントロール パネルにある 「**スキャン to**」 ボタンを押します。「**スキャン to**」 ボタンを使用する場合は、表を下にして画像をガラス板の上に置き、画像の送信先を選択してから、スキャンを開始します。

ネットワーク接続の HP all-in-one でスキャンした画像を共有する前に、コンピュータに 「**HP Image Zone**」 をインストールする必要があります。コン

ピュータに 「**HP Image Zone**」 をインストールする方法の詳細については、 HP all-in-one に付属のセットアップ ガイドを参照してください。

1　原稿の表を下にして原稿ガラスの右下隅または (ドキュメント フィーダ トレイを使用している場合は) ドキュメント トレイにセットします。
2　スキャン領域で、「**スキャン to**」を押します。
　すると、「スキャン to」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
3　矢印 (▲ と ▼) を使用して、「HP Instant Share」 を強調表示します。
　「共有メニュー」 が表示されます。
4　矢印 (▲ と ▼) を使用して、画像の送信先を強調表示します。
5　「**OK**」 ボタンを押して、送信先を指定し、画像をスキャンします。
　画像がスキャンされ、選択した送信先に送信されます。

スキャン画像をメモリ カードに送信

スキャンした画像は、HP all-in-one のメモリ カード スロットに現在挿入されているメモリ カードに JPEG 画像として送信することができます。また、メモリ カード機能を使用すると、スキャンした画像からフチなしプリントを作成したり、アルバム ページを作成したりできます。また、メモリ カードをサポートしているほかのデバイスから、スキャンした画像にアクセスすることもできます。

HP all-in-one 内のメモリ カードへスキャン画像を送信 (USB 接続)

スキャンした画像は JPEG 画像としてメモリ カードに送信することができます。ここでは、USB ケーブルで HP all-in-one を コンピュータに接続している場合の手順を説明します。HP all-in-one にメモリ カードが挿入されていることを確認してください。

1　原稿の表を下にしてガラス板の右下隅に合わせてセットします。
2　スキャン領域で、「**スキャン to**」を押します。
　「スキャン to」 メニューが表示され、オプションまたは送信先がリスト表示されます。デフォルトのスキャン先には、前回このメニューを使用したときに選択したスキャン先が指定されます。
3　▼ を押して 「メモリ カード」 を選択し、「**OK**」 を押します。
　HP all-in-one によって画像がスキャンされ、そのファイルがメモリ カードに JPEG 形式で保存されます。

HP all-in-one 内のメモリ カードへスキャン画像を送信 (ネットワーク接続)

スキャンした画像は JPEG 画像としてメモリ カードに送信することができます。ここでは、HP all-in-one をネットワークに接続している場合の手順を説明します。

注記 スキャン画像をメモリ カードに送信できるのは、そのメモリ カードがネットワークで共有している場合だけです。詳しくは、ネットワークでのメモリ カードのセキュリティ管理を参照してください。

1 原稿の表を下にしてガラス板の右下隅に合わせてセットします。
2 スキャン領域で、「**スキャン to**」を押します。
「**スキャン to**」 メニューが表示され、オプションまたは送信先がリスト表示されます。
3 「**3**」 を押して 「**メモリ カード**」 を選択するか、矢印ボタンを使用してメモリ カードを選択してから、「**OK**」 を押します。
HP all-in-one によって画像がスキャンされ、そのファイルがメモリ カードに JPEG 形式で保存されます。

スキャンの中止

→ スキャンを中止するには、コントロール パネルの 「**キャンセル**」 を押します。

[スキャン]

9 パソコンからプリント

HP all-in-one は印刷が可能な任意のソフトウェアから使用できます。Windows PC から印刷するか Macintosh から印刷するかにより、説明がやや異なります。この章では、使用しているオペレーティング システム用の説明に従ってください。

この章で説明する印刷機能に加えて、フチ無し印刷、ニュースレター、バナーなどの特殊な印刷ジョブを印刷することができます。また、PictBridge をサポートするデジタル カメラやメモリ カードから直接画像を印刷すること、携帯情報端末 (PDA) やカメラ付き携帯電話など Bluetooth をサポートしている デバイスから印刷すること、「**HP Image Zone**」 の印刷プロジェクトでスキャンした画像を使用することもできます。

- メモリ カードまたはデジタル カメラからの印刷の詳細については、メモリ カードの使用または PictBridge の使用を参照してください。
- Bluetooth デバイスから印刷できるように HP all-in-one をセットアップする方法の詳細については、接続情報 を参照してください。
- 特殊な印刷ジョブや 「**HP Image Zone**」 での画像印刷の詳細については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

ソフトウェア アプリケーションからプリント

プリント設定のほとんどは、プリント元のソフトウェア アプリケーションか HP の ColorSmart テクノロジかによって自動的に処理されます。印刷の品質の変更、特定の種類の用紙やフィルムに印刷、特殊機能の使用にのみ、手動で設定を変更する必要があります。

文書の作成に使用したソフトウェア アプリケーションから印刷するには (Windows ユーザー)

1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2 お使いのソフトウェア アプリケーションで、「**ファイル**」 メニューの「**印刷**」 をクリックします。
3 HP all-in-one をプリンタとして選択します。
4 設定を変更する必要がある場合は、「**プロパティ**」 ダイアログ ボックスを開くボタンをクリックします。
ソフトウェア アプリケーションによって、このボタンは 「**プロパティ**」、「**オプション**」、「**プリンタ設定**」、「**プリンタ**」 などの名前になっています。
5 「**用紙/品質**」、「**レイアウト**」、「**機能**」、「**基本設定**」、「**カラー**」 タブなどで、印刷ジョブのための適切なオプションを選択します。

ヒント 印刷するジョブの種類に基づいて、一連のデフォルト設定で簡単にジョブを印刷することができます。「**印刷機能のショートカット**」 タブで、「**実行する機能**」 一覧の印刷タスクの 1 つをクリ

ックします。その種類の印刷タスクのデフォルト設定が設定されて、「**印刷機能のショートカット**」 タブに表示されます。必要に応じて、ここで設定を調整するか、または 「**プロパティ**」 ダイアログ ボックスのその他のタブで変更することができます。

6 「**OK**」 をクリックして、「**プロパティ**」 ダイアログ ボックスを閉じます。

7 印刷を開始するには、「**印刷**」 か 「**OK**」 をクリックします。

文書の作成に使用したソフトウェア アプリケーションから印刷するには (Macintosh ユーザー)

1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。

2 プリントする前に、「**セレクタ**」(OS 9)、「**プリントセンター**」(OS 10.2 以前)、あるいは「**プリント設定ユーティリティ**」(OS 10.3 以降) の中の HP all-in-one を選択します。

3 お使いのソフトウェア アプリケーションの 「**ファイル**」 メニューで 「**ページ設定**」 を選択します。
「**ページ設定**」 ダイアログ ボックスが表示され、用紙のサイズ、方向、倍率を指定することができます。

4 ページ属性の選択 :
- 用紙のサイズを選択します。
- 方向を選択します。
- 倍率を入力します。

注記 OS 9 では 「**ページ設定**」 ダイアログ ボックスに、画像の左右反転オプションと、両面印刷用の用紙余白調整オプションがあります。

5 「[**OK**]」をクリックします。

6 お使いのソフトウェア アプリケーションの 「**ファイル**」 メニューで 「**印刷**」 を選択します。
「**[プリント]**」 ダイアログ ボックスが表示されます。OS 9 を使用している場合は、「**[全般]**」 パネルが開きます。OS X を使用している場合は、「**[印刷部数と印刷ページ]**」 パネルが開きます。

7 印刷するプロジェクトに適するように、ポップアップ メニューでそれぞれのオプションの印刷設定を変更します。

8 印刷を開始するには、「**印刷**」 をクリックします。

印刷設定を変更

HP all-in-one の印刷設定をカスタマイズして、ほぼすべての印刷タスクを取り扱うことができます。

Windows ユーザーの場合

印刷設定を変更する前に、現在の印刷ジョブの設定のみを変更するのか、その設定をこれ以後のすべての印刷ジョブのデフォルトに設定するのか決める必要があります。印刷設定の表示方法は、変更をこれ以後のすべての印刷ジ

ョブに適用するのか、現在の印刷ジョブにだけ適用するのかによって異なります。

今後すべての印刷ジョブに適用される設定値の変更

1 「**HP ディレクタ**」 で、「**設定**」 をクリックし、「**印刷設定**」 をポイントします。次に 「**プリンタ設定**」 をクリックします。
2 印刷設定を変更し、「**OK**」 をクリックします。

現在のジョブに対して印刷設定を変更するには

1 お使いのソフトウェア アプリケーションで、「**ファイル**」 メニューの「**印刷**」 をクリックします。
2 HP all-in-one がプリンタに選択されていることを確認します。
3 「**プロパティ**」 ダイアログ ボックスを開くボタンをクリックします。ソフトウェア アプリケーションによって、このボタンは 「**プロパティ**」、「**オプション**」、「**プリンタ設定**」、「**プリンタ**」 などの名前になっています。
4 印刷設定を変更し、「**OK**」 をクリックします。
5 ジョブを印刷するには、「**印刷**」 ダイアログ ボックスで 「**印刷**」 または 「**OK**」 をクリックします。

Macintosh ユーザーの場合

印刷ジョブの設定を変更するには、「**ページ設定**」 と 「**印刷**」 ダイアログ ボックスを使用します。使用するダイアログ ボックスは、設定の変更によります。

用紙のサイズ、方向、倍率 (%) を変更するには

1 プリントする前に、「**セレクタ**」(OS 9)、「**プリントセンター**」(OS 10.2 以前)、あるいは「**プリント設定ユーティリティ**」(OS 10.3 以降) の中の HP all-in-one を選択します。
2 お使いのソフトウェア アプリケーションの 「**ファイル**」 メニューで「**ページ設定**」 を選択します。
3 用紙のサイズ、方向、倍率 (%) の設定を変更し、「**OK**」 をクリックします。

その他のすべての印刷設定を変更するには

1 プリントする前に、「**Chooser**」(OS 9)、「**Print Center**」(OS 10.2 以前)、あるいは「**Printer Setup Utility**」(OS 10.3 以降) の中の HP all-in-one を選択します。
2 お使いのソフトウェア アプリケーションの 「**ファイル**」 メニューで「**印刷**」 を選択します。
3 印刷設定を変更し、「**印刷**」 をクリックしてジョブを印刷します。

印刷ジョブを中止

印刷ジョブを中止する場合、HP all-in-one とコンピュータの両方から操作できますが、HP all-in-one から中止することをおすすめします。

HP all-in-one から印刷ジョブを中止するには

➔ コントロール パネルで、「**キャンセル**」 を押します。カラー グラフィック ディスプレイに表示される 「**印刷取消済**」というメッセージを確認します。このメッセージが表示されない場合は、「**キャンセル**」 ボタンをもう一度押します。

10 ファクスのセットアップ

セットアップ ガイドで行うすべての手順が完了したら、この章の説明を読みファクスのセットアップを行ってください。セットアップ ガイドは後で使用できるように保管してください。

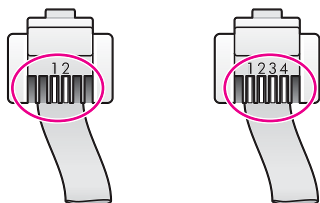
ここでは、同じ電話回線で HP all-in-one と他の機器やサービスを一緒に使用しても正常にファクスできるよう、HP all-in-one のセットアップ方法を説明します。

HP all-in-one のファクス機能のセットアップを開始する前に、お住まいの国または地域でどのタイプの電話システムを使用しているか確認します。HP all-in-one のファクス機能のセットアップの説明は、パラレル方式またはシリアル方式のどちらの電話方式を使用しているかによって異なります。

- 共用電話機 (モデム、電話機、留守番電話など) のコネクタ タイプが、HP all-in-one の「2-EXT」ポートに物理的に接続できず、壁側のモジュラー ジャックに接続する必要がある場合、シリアル タイプの電話方式をご使用のはずです。お住まいの国または地域が下記の表にあるか、確認してください。シリアル方式またはパラレル方式のどちらの電話方式かわからない場合は、最寄りの電話会社にお問い合わせください。このタイプの電話システムは、HP all-in-one を壁側のモジュラー ジャックに接続するために 4 線式コードを使用します。
- お住まいの国または地域が下記の表にあれば、パラレル タイプの電話方式をご使用のはずです。このタイプの電話システムは、HP all-in-one を壁側のモジュラー ジャックに接続するために 2 線式コードを使用します。

アルゼンチン	オーストラリア	ブラジル
カナダ	チリ	中国
コロンビア	ギリシャ	インド
インドネシア	アイルランド	日本
韓国	中南米	マレーシア
メキシコ	フィリピン	ポーランド
ポルトガル	ロシア	サウジアラビア
シンガポール	スペイン	台湾
タイ	アメリカ	ベネズエラ
ベトナム		

ヒント　HP all-in-one に付属の電話コードの端を確認して判別することもできます。電話コードの線が 2 本のようであれば、2 線式電話コードです。電話コードの線が 4 本のであれば、4 線式電話コードです。下図で電話コードの違いを参照できます。



自宅またはオフィスに適切なファクス セットアップ方法を選択する

ファクスを正常に使用するには、同じ電話回線で HP all-in-one とともに何か機器やサービスを使用する場合、その種類を知っておく必要があります。既存のオフィス機器を HP all-in-one に直接接続しなければならない場合に重要です。 また、正常にファクスするには、ファクスの設定を一部変更しなければならないこともあります。

自宅またはオフィスに合った HP all-in-one のセットアップ方法を調べるには、まずこのセクションの質問を最後まで読んで答えてみてください。そして、1 つ後のセクションにある表から、ご自分の答えに対するセットアップ方法を選択してください。

以下の質問は必ず順番に読んでお答えください。

1　電話会社からデジタル加入者線 (DSL) を利用していますか。
   - ❑ はい、DSL を利用しています。
   - ❑ いいえ。

   「はい」とお答えの方は ケース B:DSL の環境で HP all-in-one をセットアップ に進んでください。ここから先の質問に答える必要はありません。
   「いいえ」とお答えの方は、続けて質問にお答えください。

2　構内交換機 (PBX) システムまたは統合サービス デジタル通信網 (ISDN) システムを利用していますか。
   「はい」とお答えの方は ケース C:PBX システムまたは ISDN 回線の環境で HP all-in-one をセットアップ に進んでください。ここから先の質問に答える必要はありません。
   「いいえ」とお答えの方は、続けて質問にお答えください。

3　複数の電話番号が与えられ、その電話番号ごとに呼び出し音のパターンを変えられる、電話会社の着信識別サービスを利用していますか。
   - ❑ はい、着信識別サービスを利用しています。
   - ❑ いいえ。

「はい」とお答えの方は ケース D:同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用する に進んでください。ここから先の質問に答える必要はありません。
「いいえ」とお答えの方は、続けて質問にお答えください。
多くの電話会社から、1 本の電話回線に複数の電話番号を持てる着信識別音機能が提供されています。
この着信識別サービスでは、シングル呼び出し音、ダブル呼び出し音、トリプル呼び出し音など、番号によって違う呼び出し音パターンを使用できます。一方の電話番号をシングル呼び出し音にして電話用に、もう一方の電話番号をダブル呼び出し音にしてファクス用に割り当てることができます。こうしておけば、電話が鳴ったときに電話かファクスかがわかります。

4 同じ電話番号で HP all-in-one ファクスと電話を一緒に利用しますか。
- ❑ はい、電話も受け取ります。
- ❑ いいえ。

続けて質問にお答えください。

5 HP all-in-one と同じ電話回線で PC モデムも利用しますか。
- ❑ はい、PC モデムを利用します。
- ❑ いいえ。

次のいずれかに当てはまる場合は、PC モデムを利用しています。
- – ダイアルアップ接続でコンピュータのソフトウェア プログラムから直接ファクスを送受信している
- – ダイアルアップ接続でコンピュータから電子メールのメッセージを送受信している
- – ダイアルアップ接続でコンピュータからインターネットを利用している

続けて質問にお答えください。

6 同じ電話番号で HP all-in-one ファクスと留守番電話を一緒に利用しますか。
- ❑ はい、留守番電話も利用します。
- ❑ いいえ。

続けて質問にお答えください。

7 同じ電話番号で HP all-in-one ファクスと電話会社からのボイスメールサービスを一緒に利用しますか。
- ❑ はい、ボイスメールサービスを利用します。
- ❑ いいえ。

質問にすべて答えたら、次のセクションに進み、適切なファクス セットアップを選択します。

適切なファクス セットアップの選択

これで、同じ電話回線で HP all-in-one と機器やサービスを一緒に利用する場合の質問はすべて終了です。自宅またはオフィスに合ったセットアップを選択できます。

表の 1 列目から、自宅やオフィスの設定に当てはまる機器とサービスの組み合わせを選択してください。ご使用の電話方式に合わせて、2 列目、3 列目から適切なセットアップを選択します。各方法については、この後手順を追って説明します。

前述の質問にすべて答えたが、どの機器やサービスも利用していなかった場合は、表の 1 列目から「なし」を選択してください。

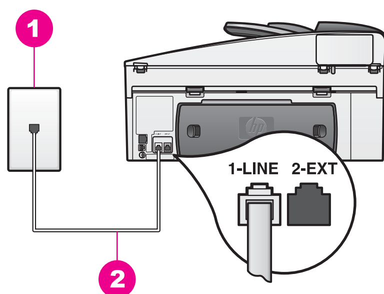
注記 自宅またはオフィスのセットアップがこの章で説明されていない場合、HP all-in-one を通常のアナログ電話のようにセットアップします。HP all-in-one に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端を HP all-in-one の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。他の電話コードを使用している場合は、ファクスの送受信に問題が発生することがあります。

ファクスと一緒に利用する機器やサービス	パラレル方式に推奨するファクス セットアップ	シリアル方式に推奨するファクス セットアップ
なし (すべての質問に「いいえ」と回答した場合)	ケース A:単独のファクス回線 (電話の着信なし)	ケース A:単独のファクス回線 (電話の着信なし)
DSL サービス (質問 1 にだけ「はい」と回答した場合)	ケース B:DSL の環境で HP all-in-one をセットアップ	ケース B:DSL の環境で HP all-in-one をセットアップ
PBX または ISDN システム (質問 2 にだけ「はい」と回答した場合)	ケース C:PBX システムまたは ISDN 回線の環境で HP all-in-one をセットアップ	ケース C:PBX システムまたは ISDN 回線の環境で HP all-in-one をセットアップ
着信識別サービス (質問 3 にだけ「はい」と回答した場合)	ケース D:同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用する	ケース D:同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用する
電話 (質問 4 にだけ「はい」と回答した場合)	ケース E:電話とファクスを一緒に利用する	ケース E:電話とファクスを一緒に利用する
電話とボイスメールサービス (質問 4 と 7 にだけ「はい」と回答した場合)	ケース F:電話とファクスとボイスメールサービスを一緒に利用する	ケース F:電話とファクスとボイスメールサービスを一緒に利用する
PC モデム (質問 5 にだけ「はい」と回答した場合)	ケース G:同じ回線でファクスと PC モデムを一緒に利用する (電話の着信なし)	該当せず:

ファクスと一緒に利用する機器やサービス	パラレル方式に推奨するファクス セットアップ	シリアル方式に推奨するファクス セットアップ
電話と PC モデム (質問 4 と 5 にだけ「はい」と回答した場合)	ケース H:電話とファクスと PC モデムを一緒に利用する	該当せず:
電話と留守番電話 (質問 4 と 6 にだけ「はい」と回答した場合)	ケース I:電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する	該当せず:
電話と PC モデムと留守番電話 (質問 4 と 5 と 6 にだけ「はい」と回答した場合)	ケース J:電話とファクスと PC モデムと留守番電話を一緒に利用する	該当せず:
電話と PC モデムとボイスメールサービス (質問 4 と 5 と 7 にだけ「はい」と回答した場合)	ケース K:電話とファクスと PC モデムとボイスメールサービスを一緒に利用する	該当せず:

ケース A:単独のファクス回線 (電話の着信なし)

電話を受け付けない単独の電話回線を利用し、この電話回線に機器を何も接続しない場合は、次のように HP all-in-one を接続します。



HP all-in-one の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	「1-LINE」ポートに接続した HP all-in-one 付属の電話コード

単独のファクス回線の環境に HP all-in-one をセットアップするには

1 HP all-in-one に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端を HP all-in-one の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。



注意　付属のコードで壁側のモジュラージャックと HP all-in-one を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。付属の電話コードが短すぎるときには、延長する方法について、HP all-in-one 付属の電話コードの長さが足りない を参照してください。

2 着信に自動的に応答するよう HP all-in-one を設定するランプが点灯するまで「**自動応答**」ボタンを押します。
3 (オプション)「応答呼び出し回数」 設定を呼び出し 1 回もしくは呼び出し 2 回に変更します。
この設定の変更については、応答するまでの呼び出し回数を設定する を参照してください。
4 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクス設定のテスト を参照してください。

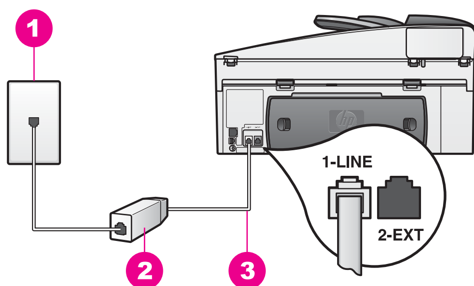
電話が鳴ると、「応答呼び出し回数」 で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後に HP all-in-one が自動応答します。そして、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

ケース B:DSL の環境で HP all-in-one をセットアップ

電話会社から DSL サービスを利用する場合は、次のように壁側のモジュラージャックと HP all-in-one の間に DSL フィルタを取り付けます。DSL フィルタは、HP all-in-one が電話線とうまくやり取りするのを妨害するデジタル信号を除去します。(DSL は、国/地域によっては ADSL と呼ばれています。)



注意　DSL を利用しているのにこの DSL フィルタを取り付けないと、HP all-in-one でファクスを送受信できなくなります。



HP all-in-one の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	DSL プロバイダから支給された DSL フィルタおよびコード
3	「1-LINE」ポートに接続した HP all-in-one 付属の電話コード

DSL の環境で HP all-in-one をセットアップするには

1 DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。
2 HP all-in-one に付属の電話コードの一方の端を DSL フィルタの空きポートに、もう一方の端を HP all-in-one の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。



注意 付属のコードで壁側のモジュラージャックと HP all-in-one を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。

3 DSL フィルタのコードを壁側のモジュラージャックに接続します。
4 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

ケース C:PBX システムまたは ISDN 回線の環境で HP all-in-one をセットアップ

PBX または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合、次の指示に従ってください。

- PBX または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合は、ファクスおよび電話用のポートに HP all-in-one が接続されていることを確認してください。また、ターミナル アダプタがお住まいの国/地域に対応したスイッチ タイプに設定されていることも確認してください。

  注記 ISDN システムの中には、ユーザーが特定の電話機器に応じてポートを設定できるようになっているものがあります。たとえば、電話と G3 規格のファクスに 1 つのポートを割り当て、多目的用に別のポートを割り当てることができます。ISDN コンバータのファクス/電話ポートに接続しているときに問題が発生する場合は、多目的用のポート (「多用途」と書かれている場合があります) を使用してください。

- PBX システムを使用している場合は、電話の保留音送出機能をオフにします。



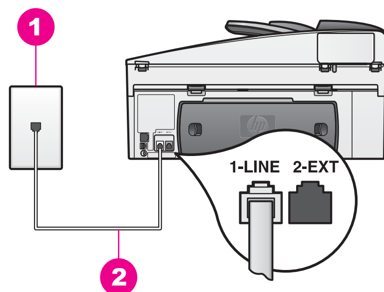
注意 多くのデジタル PBX システムでは、電話の保留音送出機能が工場出荷時の設定で「オン」になっています。電話の呼び出し音は、ファクス送信の妨害となり、HP all-in-one でファクスの送受信ができなくなります。電話の呼び出し音をオフにする方法については、PBX システム付属のマニュアルを参照してください。

- PBX システムを使用している場合は、ファクス番号をダイヤルする前に外線番号をダイヤルします。
- 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと HP all-in-one を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。付属のコードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。付属の電話コードが

短すぎるときには、延長する方法について、HP all-in-one 付属の電話コードの長さが足りない を参照してください。

ケース D:同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用する

1 本の電話回線に複数の電話番号があり、その電話番号ごとに呼び出し音のパターンを変える、電話会社の着信識別サービスを利用している場合、次のように HP all-in-one を接続します。



HP all-in-one の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	「1-LINE」ポートに接続した HP all-in-one 付属の電話コード

着信識別サービスの環境で HP all-in-one をセットアップするには

1 HP all-in-one に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端を HP all-in-one の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。



注意　付属のコードで壁側のモジュラージャックと HP all-in-one を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。付属の電話コードが短すぎるときには、延長する方法について、HP all-in-one 付属の電話コードの長さが足りない を参照してください。

2 着信に自動的に応答するよう HP all-in-one を設定するランプが点灯するまで「**自動応答**」ボタンを押します。

3 「応答呼び出し音のパターン」 設定を、電話会社がファクス番号に割り当てていたパターンに変更します。 例えば、[呼び出し 2 回] や [呼び出し 3 回] に変更します。
この設定の変更については、応答呼び出し音のパターン (着信識別音) を変更する を参照してください。

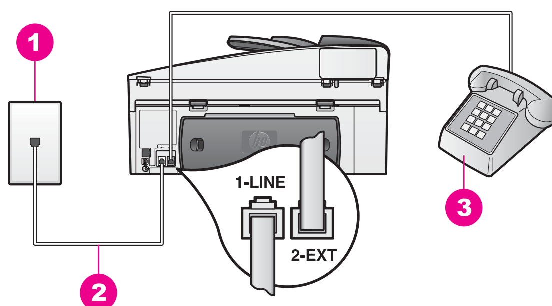
注記　HP all-in-one の工場出荷時の初期設定では、すべての呼び出し音パターンに応答するよう設定されています。電話会社がファクスに割り当てていた呼び出し音のパターンを正しく設定しないと、HP all-in-one が電話とファクスの両方の呼び出し音に応答してしまったり、まったく応答しなくなったりすることがあります。

4 (オプション)「応答呼び出し回数」設定を呼び出し 1 回もしくは呼び出し 2 回に変更します。
この設定の変更については、応答するまでの呼び出し回数を設定する を参照してください。
5 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクス設定のテスト を参照してください。

「応答呼び出し音のパターン」設定で選択した呼び出し音パターンで、「応答呼び出し回数」設定で選択した数だけ呼び出し音が鳴ると、HP all-in-one が着信音に自動応答します。そして、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

ケース E:電話とファクスを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にオフィス機器 (またはボイスメールサービス) を何も接続しない場合は、次のように HP all-in-one を接続します。



HP all-in-one の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	「1-LINE」ポートに接続した HP all-in-one 付属の電話コード
3	電話機

電話とファクスの共有回線環境に HP all-in-one をセットアップするには

1 HP all-in-one に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端を HP all-in-one の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。


注意　付属のコードで壁側のモジュラージャックと HP all-in-one を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。専用

電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。付属の電話コードが短すぎるときには、延長する方法について、HP all-in-one 付属の電話コードの長さが足りない を参照してください。

2 電話システムによって、次のいずれかの操作を行います。
   – パラレル方式の電話システムを使用している場合、HP all-in-one の背面の「2-EXT」と書かれているポートから白いプラグを抜き取り、このポートに電話を接続します。
   – シリアル タイプの電話システムを使用している場合、電話機を直接壁側のモジュラージャックに接続できます。

3 ここで、HP all-in-one でのファクス呼び出し音の応答方法を決めます。自動と手動の 2 通りがあります。
   – 着信に自動で応答する設定の場合は、HP all-in-one がすべての着信に応答し、ファクスを受信します。HP all-in-one では、ファクスの受信と電話の着信の違いを識別できません。電話の呼び出し音だと思う場合は、HP all-in-one が応答する前に電話を取ってください。
     ファクスの呼び出しに自動応答するには、ランプが点灯するまで「**自動応答**」 ボタンを押します。
   – ファクスを手動で受信するように HP all-in-one を設定した場合は、ファクス手動受信しない限り、HP all-in-one でファクスを受信できません。
     ファクスの呼び出しに手動で応答するには、ランプが消えるまで「**自動応答**」 ボタンを押します。

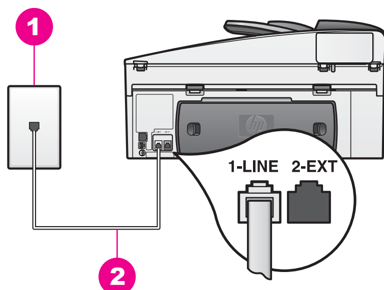
4 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

HP all-in-one より前に電話を取って、送信側ファクスからファクスのトーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答しなければなりません。詳細については、手動でファクスを受信するを参照してください。

ケース F:電話とファクスとボイスメールサービスを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、電話会社からボイスメールサービスも利用する場合は、次のように HP all-in-one を接続します。

注記 ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。この場合、ファクスを手動で受信しなければならないため、ファクスの受信時にユーザー自身が本製品を操作できる場所にいる必要があります。これ以外にファクスを自動受信するには、電話会社に問い合わせて着信識別を利用するか、ファクス専用の別回線を取得してください。



HP all-in-one の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	「1-LINE」ポートに接続した HP all-in-one 付属の電話コード

ボイスメールサービスの環境で HP all-in-one をセットアップするには

1 HP all-in-one に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端を HP all-in-one の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。



注意　付属のコードで壁側のモジュラージャックと HP all-in-one を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。付属の電話コードが短すぎるときには、延長する方法について、HP all-in-one 付属の電話コードの長さが足りない を参照してください。

2 着信に自動的に応答するよう HP all-in-one を設定するランプが消えるまで「**自動応答**」ボタンを押します。

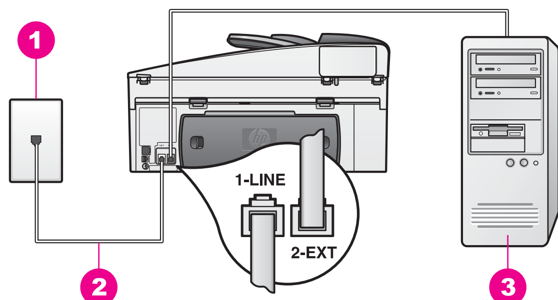
3 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクス設定のテスト を参照してください。

ファクス着信に直接応答してください。 そうしないと HP all-in-one でファクスを受信できなくなります。ファクスの手動受信についての詳細は、手動でファクスを受信するを参照してください。

ケース G:同じ回線でファクスと PC モデムを一緒に利用する (電話の着信なし)

電話を受け付けないファクス回線を利用し、この回線に PC モデムを接続する場合は、次のように HP all-in-one を接続します。

電話回線を PC モデムと HP all-in-one と一緒に利用しているため、同時に PC モデムと HP all-in-one を使用することはできなくなります。たとえば、PC モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている場合、HP all-in-one をファクスには使用できません。



HP all-in-one の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	「1-LINE」ポートに接続した HP all-in-one 付属の電話コード
3	モデム搭載コンピュータ

PC モデムの環境で HP all-in-one をセットアップするには

1 HP all-in-one の背面の「2-EXT」と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。

2 コンピュータ (PC モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを電話の壁側モジュラージャックから抜き、HP all-in-one の背面の「2-EXT」と書かれているポートに差し込みます。

3 HP all-in-one に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端を HP all-in-one の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。



注意　付属のコードで壁側のモジュラージャックと HP all-in-one を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。付属の電話コードが短すぎるときには、延長する方法について、HP all-in-one 付属の電話コードの長さが足りない を参照してください。

4 PC モデムのソフトウェアでファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。



注意　PC モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP all-in-one でファクスを受信できなくなります。

5 着信に自動的に応答するよう HP all-in-one を設定するランプが点灯するまで「**自動応答**」ボタンを押します。

6 「応答呼び出し回数」 設定を呼び出し 1 回もしくは呼び出し 2 回に変更します。

この設定の変更については、応答するまでの呼び出し回数を設定する を参照してください。

7 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

電話が鳴ると、「応答呼び出し回数」 で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後に HP all-in-one が自動応答します。そして、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

ケース H:電話とファクスと PC モデムを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線に PC モデムも接続する場合は、次のように HP all-in-one を接続します。

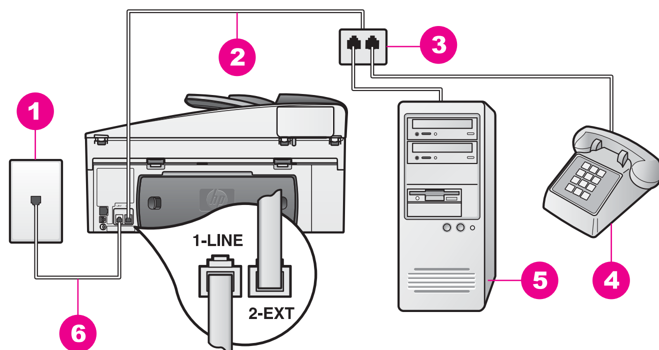
電話回線を PC モデムと HP all-in-one と一緒に利用しているため、同時に PC モデムと HP all-in-one を使用することはできなくなります。たとえば、PC モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている場合、HP all-in-one をファクスには使用できません。

コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータに HP all-in-one をセットアップする方法は 2 種類あります。はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータの電話ポートが 1 つなら、次のセクション 電話ポートが 1 つのコンピュータに HP all-in-one をセットアップする を参照してください。ファクスの送受信をうまく行い、PC モデムも使用するには、パラレル スプリッターを購入する必要があります。 (2 線式の電話スプリッターやシリアル スプリッターは使用しないでください。)また、電話コードがさらに 3 本必要です。パラレル スプリッターや追加の電話コードは、電話のアクセサリを扱っている電器店で購入できます。
- コンピュータの電話ポートが 2 つなら、電話ポートが 2 つのコンピュータに HP all-in-one をセットアップする を参照してください。

電話ポートが 1 つのコンピュータに HP all-in-one をセットアップする

このセクションでは、コンピュータの電話ポートが 1 つだけの場合に、PC モデム環境で HP all-in-one をセットアップする方法を説明します。



HP all-in-one の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	「2-EXT」 ポートに接続した電話コード
3	パラレル スプリッター
4	電話
5	モデム搭載コンピュータ
6	「1-LINE」ポートに接続した HP all-in-one 付属の電話コード

電話ポートが 1 つのコンピュータに HP all-in-one をセットアップするには

1 コンピュータ (PC モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。壁側のモジュラージャックからコードを外し、パラレル スプリッターの電話ポートが 2 つある側に差し込みます。

2 HP all-in-one に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端を HP all-in-one の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。



注意　付属のコードで壁側のモジュラージャックと HP all-in-one を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。付属の電話コードが短すぎるときには、延長する方法について、HP all-in-one 付属の電話コードの長さが足りない を参照してください。

3 HP all-in-one の背面の「2-EXT」と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。

4 別の電話コードを使用して、HP all-in-one の背面の「2-EXT」と書かれたポートに一方の端を接続します。電話コードのもう一方の端は、パラレル スプリッターの電話ポートが 1 つある側に接続します。

5 PC モデムのソフトウェアでファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。



注意　PC モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP all-in-one でファクスを受信できなくなります。

6 (オプション) 電話をパラレル スプリッターのもう一方の電話ポートに接続します。

7 ここで、HP all-in-one でのファクス呼び出し音の応答方法を決めます。自動と手動の 2 通りがあります。

– 着信に自動で応答する設定の場合は、HP all-in-one がすべての着信に応答し、ファクスを受信します。HP all-in-one では、ファクスの受信と電話の着信の違いを識別できません。電話の呼び出し音だと思う場合は、HP all-in-one が応答する前に電話を取ってください。
ファクスの呼び出しに自動応答するには、ランプが点灯するまで「**自動応答**」 ボタンを押します。

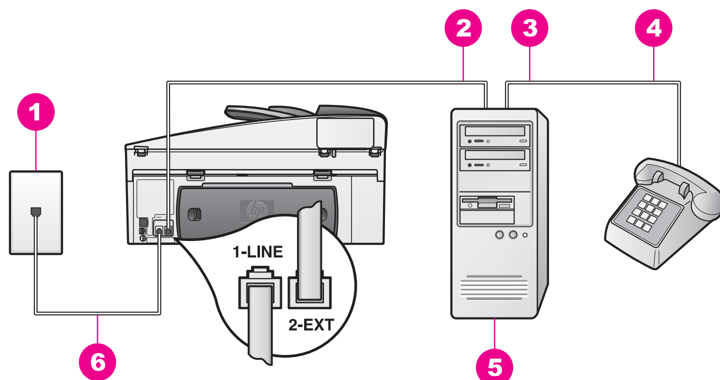
– ファクスを手動で受信するように HP all-in-one を設定した場合は、ファクス受信に直接応答しなければ、HP all-in-one でファクスを受信できません。
ファクスの呼び出しに手動で応答するには、「**自動応答**」 ボタンを押してランプを消します。

8 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

HP all-in-one より前に電話を取って、送信側ファクスからファクスのトーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答しなければなりません。詳細については、手動でファクスを受信するを参照してください。

電話ポートが 2 つのコンピュータに HP all-in-one をセットアップする

このセクションでは、コンピュータの電話ポートが 2 つの場合に、PC モデム環境で HP all-in-one をセットアップする方法を説明します。



HP all-in-one の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	コンピュータの「IN」電話ポート
3	コンピュータの「OUT」電話ポート
4	電話
5	モデム搭載コンピュータ
6	「1-LINE」ポートに接続した HP all-in-one 付属の電話コード

電話ポートが 2 つのコンピュータに HP all-in-one をセットアップするには

1. HP all-in-one の背面の「2-EXT」と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (PC モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを電話の壁側モジュラージャックから抜き、HP all-in-one の背面の「2-EXT」と書かれているポートに差し込みます。
3. 電話を PC モデムの背面の 「OUT」ポートにつなぎます。
4. HP all-in-one に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端を HP all-in-one の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。



注意　付属のコードで壁側のモジュラージャックと HP all-in-one を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。付属の電話コードが短すぎるときには、延長する方法について、HP all-in-one 付属の電話コードの長さが足りない を参照してください。

5. PC モデムのソフトウェアでファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。



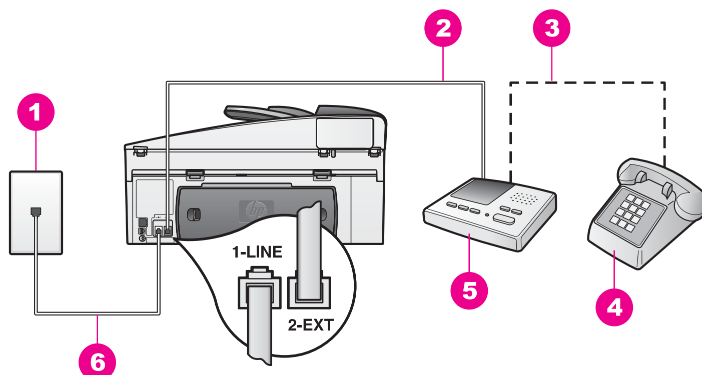
注意　PC モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP all-in-one でファクスを受信できなくなります。

6 ここで、HP all-in-one でのファクス呼び出し音の応答方法を決めます。自動と手動の 2 通りがあります。
   – 着信に自動で応答する設定の場合は、HP all-in-one がすべての着信に応答し、ファクスを受信します。HP all-in-one では、ファクスの受信と電話の着信の違いを識別できません。電話の呼び出し音だと思う場合は、HP all-in-one が応答する前に電話を取ってください。
     ファクスの呼び出しに自動応答するには、ランプが点灯するまで「**自動応答**」 ボタンを押します。
   – ファクスを手動で受信するように HP all-in-one を設定した場合は、ファクス受信に直接応答しなければ、HP all-in-one でファクスを受信できません。
     ファクスの呼び出しに手動で応答するには、「**自動応答**」 ボタンを押してランプを消します。
7 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

HP all-in-one より前に電話を取って、送信側ファクスからファクスのトーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答しなければなりません。詳細については、手動でファクスを受信するを参照してください。

ケース I:電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話番号で留守番電話も接続する場合は、次のように HP all-in-one を接続します。



HP all-in-one の背面図（日本では留守電機能付き電話が一般的です）

1	壁側のモジュラージャック
2	留守番電話の「IN」ポート
3	留守番電話の「OUT」ポート
4	電話機 (オプション)
5	留守番電話
6	「1-LINE」ポートに接続した HP all-in-one 付属の電話コード

電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する環境で HP all-in-one をセットアップには

1 HP all-in-one の背面の「2-EXT」と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。

2 留守番電話のコードを壁側のモジュラージャックから抜き、HP all-in-one の背面の「2-EXT」と書かれているポートに差し込みます。

注記 HP all-in-one に留守番電話を直接接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、HP all-in-one でファクスを受信できないことがあります。

3 HP all-in-one に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端を HP all-in-one の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。



注意 付属のコードで壁側のモジュラージャックと HP all-in-one を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。付属の電話コードが短すぎるときには、延長する方法について、HP all-in-one 付属の電話コードの長さが足りない を参照してください。

4 (オプション) 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある「OUT」ポートに電話をつなぐこともできます。

5　着信に自動的に応答するよう HP all-in-one を設定するランプが点灯するまで「**自動応答**」ボタンを押します。
6　留守番電話が応答呼び出し回数を 4 回以下に設定します。
7　HP all-in-one の 「応答呼び出し回数」 設定を [6 回] に変更します。
この設定の変更については、応答するまでの呼び出し回数を設定する を参照してください。
8　ファクス テストを実行します。詳細については、ファクス設定のテスト を参照してください。

電話が鳴ると、設定済みの呼び出し回数後に留守番電話が応答し、録音しておいた応答メッセージが再生されます。この間、HP all-in-one は呼び出し音を監視し、ファクス トーンが鳴らないか聞いています。着信ファクス トーンを検出すると、HP all-in-one はファクス受信トーンを発信してファクスを受信します。 ファクス トーンが検出されなかった場合は、HP all-in-one が回線の監視を終了し、留守番電話によって伝言メッセージが録音されます。

ケース J:電話とファクスと PC モデムと留守番電話を一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線に PC モデムと留守番電話も接続する場合は、次のように HP all-in-one を接続します。

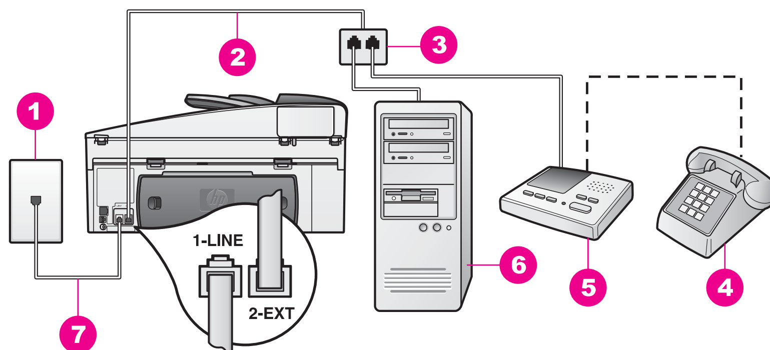
電話回線を PC モデムと HP all-in-one と一緒に利用しているため、同時に PC モデムと HP all-in-one を使用することはできなくなります。たとえば、PC モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている場合、HP all-in-one をファクスには使用できません。

コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータに HP all-in-one をセットアップする方法は 2 種類あります。はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータの電話ポートが 1 つなら、次のセクション 電話ポートが 1 つのコンピュータに HP all-in-one をセットアップする を参照してください。ファクスの送受信をうまく行い、PC モデムも使用するには、パラレル スプリッターを購入する必要があります。 (2 線式の電話スプリッターやシリアル スプリッターは使用しないでください。)また、電話コードがさらに 3 本必要です。パラレル スプリッターや追加の電話コードは、電器店で購入できます。
- コンピュータの電話ポートが 2 つなら、電話ポートが 2 つのコンピュータに HP all-in-one をセットアップする を参照してください。

電話ポートが 1 つのコンピュータに HP all-in-one をセットアップする

このセクションでは、コンピュータの電話ポートが 1 つだけの場合に、PC モデム環境で HP all-in-one をセットアップする方法を説明します。



HP all-in-one の背面図（日本では留守電機能付き電話が一般的です）

1	壁側のモジュラージャック
2	「2-EXT」 ポートに接続した電話コード
3	パラレル スプリッター
4	電話機 (オプション)
5	留守番電話
6	モデム搭載コンピュータ
7	「1-LINE」ポートに接続した HP all-in-one 付属の電話コード

電話ポートが 1 つのコンピュータに HP all-in-one をセットアップするには

1 コンピュータ (PC モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。壁側のモジュラージャックからコードを外し、パラレル スプリッターの電話ポートが 2 つある側に差し込みます。

2 HP all-in-one に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端を HP all-in-one の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。



注意 付属のコードで壁側のモジュラージャックと HP all-in-one を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。付属の電話コードが短すぎるときには、延長する方法について、HP all-in-one 付属の電話コードの長さが足りない を参照してください。

3 HP all-in-one の背面の「2-EXT」と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。

4 別の電話コードを使用して、HP all-in-one の背面の「2-EXT」と書かれたポートに一方の端を接続します。電話コードのもう一方の端は、パラレル スプリッターの電話ポートが 1 つある側に接続します。

5 留守番電話のコードを壁側のモジュラー ジャックから抜き、パラレル スプリッターの電話ポートが 2 つある側に接続します。

注記　留守番電話をこのように接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、HP all-in-one でファクスを受信できないことがあります。

6 (オプション) 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある「OUT」ポートに電話をつなぐこともできます。
7 PC モデムのソフトウェアでファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。



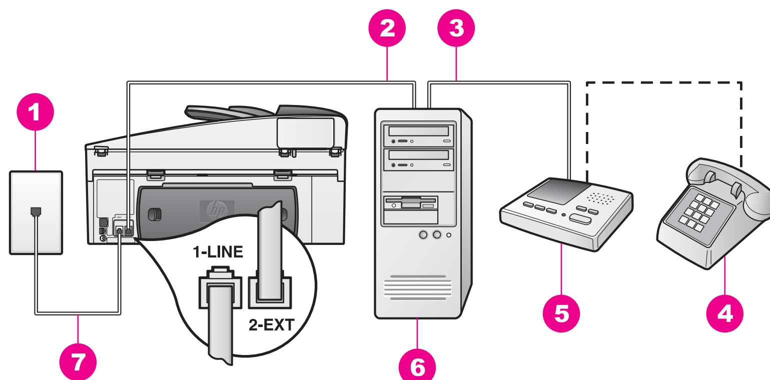
注意　PC モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP all-in-one でファクスを受信できなくなります。

8 着信に自動的に応答するよう HP all-in-one を設定するランプが点灯するまで「**自動応答**」ボタンを押します。
9 留守番電話が応答呼び出し回数を 4 回以下に設定します。
10 HP all-in-one の 「応答呼び出し回数」 設定を [6 回] に変更します。
この設定の変更については、応答するまでの呼び出し回数を設定する を参照してください。
11 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクス設定のテスト を参照してください。

電話が鳴ると、設定済みの呼び出し回数後に留守番電話が応答し、録音しておいた応答メッセージが再生されます。この間、HP all-in-one は呼び出し音を監視し、ファクス トーンが鳴らないか聞いています。着信ファクス トーンを検出すると、HP all-in-one はファクス受信トーンを発信してファクスを受信します。 ファクス トーンが検出されなかった場合は、HP all-in-one が回線の監視を終了し、留守番電話によって伝言メッセージが録音されます。

電話ポートが 2 つのコンピュータに HP all-in-one をセットアップする

このセクションでは、コンピュータの電話ポートが 2 つの場合に、PC モデム環境で HP all-in-one をセットアップする方法を説明します。



HP all-in-one の背面図（日本では留守電機能付き電話が一般的です）

1	壁側のモジュラージャック
2	コンピュータの「IN」電話ポート
3	コンピュータの「OUT」電話ポート
4	電話
5	留守番電話
6	モデム搭載コンピュータ
7	「1-LINE」ポートに接続した HP all-in-one 付属の電話コード

電話ポートが 2 つのコンピュータに HP all-in-one をセットアップするには

1 HP all-in-one の背面の「2-EXT」と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。

2 コンピュータ (PC モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを電話の壁側モジュラージャックから抜き、HP all-in-one の背面の「2-EXT」と書かれているポートに差し込みます。

3 留守番電話のコードを壁側のモジュラージャックから抜き、PC モデムの背面の「OUT」ポートに接続します。
こうすると、たとえ PC モデムの方が先に回線に接続されていても、HP all-in-one と留守番電話の間を直接接続できます。

注記 留守番電話をこのように接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、HP all-in-one でファクスを受信できないことがあります。

4 HP all-in-one に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端を HP all-in-one の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。



注意 付属のコードで壁側のモジュラージャックと HP all-in-one を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違

います。付属の電話コードが短すぎるときには、延長する方法について、HP all-in-one 付属の電話コードの長さが足りない を参照してください。

5 (オプション) 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある「OUT」ポートに電話をつなぐこともできます。
6 PC モデムのソフトウェアでファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。


注意 PC モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP all-in-one でファクスを受信できなくなります。

7 着信に自動的に応答するよう HP all-in-one を設定するランプが点灯するまで「**自動応答**」ボタンを押します。
8 留守番電話が応答呼び出し回数を 4 回以下に設定します。
9 HP all-in-one の 「応答呼び出し回数」 設定を [6 回] に変更します。
この設定の変更については、応答するまでの呼び出し回数を設定する を参照してください。
10 ファクス テストを実行します。詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

電話が鳴ると、設定済みの呼び出し回数後に留守番電話が応答し、録音しておいた応答メッセージが再生されます。この間、HP all-in-one は呼び出し音を監視し、ファクス トーンが鳴らないか聞いています。着信ファクス トーンを検出すると、HP all-in-one はファクス受信トーンを発信してファクスを受信します。 ファクス トーンが検出されなかった場合は、HP all-in-one が回線の監視を終了し、留守番電話によって伝言メッセージが録音されます。

ケース K:電話とファクスと PC モデムとボイスメールサービスを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線で PC モデムも利用して電話会社からボイスメールサービスも利用する場合は、次のように HP all-in-one を接続します。

注記 ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。この場合、ファクスを手動で受信しなければならないため、ファクスの受信時にユーザー自身が本製品を操作できる場所にいる必要があります。これ以外にファクスを自動受信するには、電話会社に問い合わせて着信識別を利用するか、ファクス専用の別回線を取得してください。

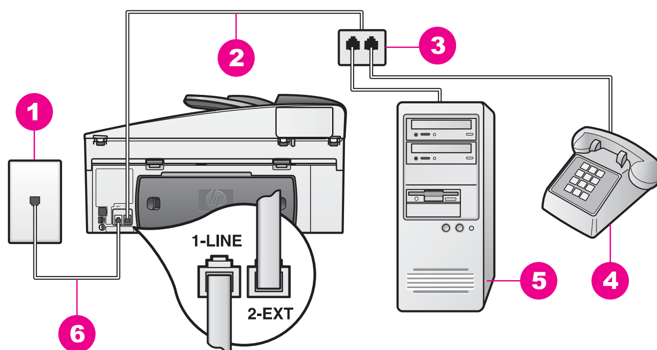
電話回線を PC モデムと HP all-in-one と一緒に利用しているため、同時に PC モデムと HP all-in-one を使用することはできなくなります。たとえば、PC モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている場合、HP all-in-one をファクスには使用できません。

コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータに HP all-in-one をセットアップする方法は 2 種類あります。はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータの電話ポートが 1 つなら、次のセクション 電話ポートが 1 つのコンピュータに HP all-in-one をセットアップする を参照してください。ファクスの送受信をうまく行い、PC モデムも使用するには、パラレル スプリッターを購入する必要があります。 (2 線式の電話スプリッターやシリアル スプリッターは使用しないでください。)また、電話コードがさらに 3 本必要です。パラレル スプリッターや追加の電話コードは、電器店で購入できます。
- コンピュータの電話ポートが 2 つなら、電話ポートが 2 つのコンピュータに HP all-in-one をセットアップする を参照してください。

電話ポートが 1 つのコンピュータに HP all-in-one をセットアップする

このセクションでは、コンピュータの電話ポートが 1 つだけの場合に、PC モデム環境で HP all-in-one をセットアップする方法を説明します。



HP all-in-one の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	「2-EXT」 ポートに接続した電話コード
3	パラレル スプリッター
4	電話
5	モデム搭載コンピュータ
6	「1-LINE」ポートに接続した HP all-in-one 付属の電話コード

電話ポートが 1 つのコンピュータに HP all-in-one をセットアップするには

1 コンピュータ (PC モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。壁側のモジュラージャックからコードを外し、パラレル スプリッターの電話ポートが 2 つある側に差し込みます。

2　別の電話コードを使用して、HP all-in-one の背面の「2-EXT」と書かれたポートに一方の端を接続します。電話コードのもう一方の端は、パラレル スプリッターの電話ポートが 1 つある側に接続します。

3　HP all-in-one に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端を HP all-in-one の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。



注意　付属のコードで壁側のモジュラージャックと HP all-in-one を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。付属の電話コードが短すぎるときには、延長する方法について、HP all-in-one 付属の電話コードの長さが足りない を参照してください。

4　HP all-in-one の背面の「2-EXT」と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。

5　PC モデムのソフトウェアでファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。



注意　PC モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP all-in-one でファクスを受信できなくなります。

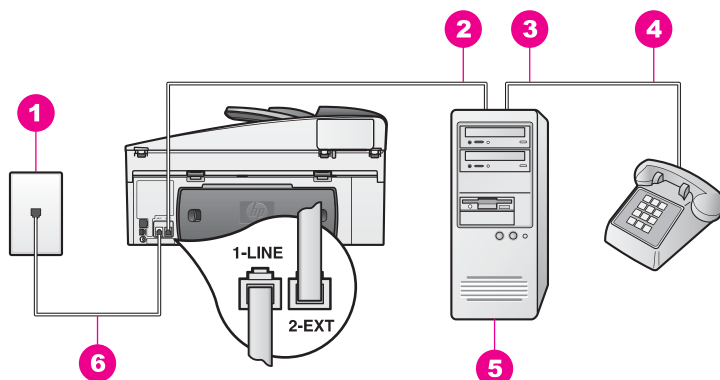
6　(オプション) 電話をパラレル スプリッターのもう一方の電話ポートに接続します。

7　着信に手動で応答するよう HP all-in-one を設定するランプが消灯するまで「**自動応答**」ボタンを押します。

8　ファクス テストを実行します。詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

ファクス着信に直接応答してください。 そうしないと HP all-in-one でファクスを受信できなくなります。ファクスの手動受信についての詳細は、手動でファクスを受信するを参照してください。

電話ポートが 2 つのコンピュータに HP all-in-one をセットアップする



HP all-in-one の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	コンピュータの「IN」電話ポート
3	コンピュータの「OUT」電話ポート
4	電話
5	モデム搭載コンピュータ
6	「1-LINE」ポートに接続した HP all-in-one 付属の電話コード

電話ポートが 2 つのコンピュータに HP all-in-one をセットアップするには

1 HP all-in-one の背面の「2-EXT」と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2 コンピュータ (PC モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラージャックから抜き、HP all-in-one の背面の「2-EXT」と書かれているポートに差し込みます。
3 電話を PC モデムの背面の 「OUT」ポートにつなぎます。
4 HP all-in-one に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端を HP all-in-one の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。



注意　付属のコードで壁側のモジュラージャックと HP all-in-one を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは違います。付属の電話コードが短すぎるときには、延長する方法について、HP all-in-one 付属の電話コードの長さが足りない を参照してください。

5 PC モデムのソフトウェアでファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。



注意　モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP all-in-one でファクスを受信できなくなります。

6　着信に手動で応答するよう HP all-in-one を設定するランプが消灯するまで「**自動応答**」ボタンを押します。
7　ファクス テストを実行します。詳細については、次のセクション ファクス設定のテスト を参照してください。

ファクス着信に直接応答してください。 そうしないと HP all-in-one でファクスを受信できなくなります。ファクスの手動受信についての詳細は、手動でファクスを受信するを参照してください。

ファクス設定のテスト

ファクス設定をテストして HP all-in-one の状態を確認し、正常にファクス送信できるように設定されたことを確認することができます。このテストは、HP all-in-one のファクス機能のセットアップが完了した後に実行してください。テストの内容は次のとおりです。

- ファクス機の検査
- 電話線が正しいポートに接続されているか検証
- ダイヤル トーンの検出
- アクティブな電話回線の検出
- 電話回線の接続状態の検出

テスト結果は、レポートとして HP all-in-one から印刷されます。テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題の解決方法を確認し、テストを再実行してください。

コントロール パネルからファクス機能のセットアップをテストするには

1　この章の説明に従って、HP all-in-one ファクスをセットアップする
2　テストを開始する前に、印刷カートリッジと A4 普通紙がセットされていることを確認してください。
詳細については、プリント カートリッジの交換およびフルサイズ用紙のセットを参照してください。
3　「**セットアップ**」 を押します。
4　「**6**」 を押し、次に 「**5**」 を押します。
「ツール」 メニューが表示され、「ファクス テストを実行」 が選択されます。
HP all-in-one のカラー グラフィック ディスプレイにテストの状態が表示され、レポートが印刷されます。
5　レポートを確認します。
　– テストに合格してもファクスの問題が解消されない場合は、レポートに記載されているファクス設定を調べて、正しく設定されている

ことを確認します。ファクス設定が行われていない、または不適切な場合は、ファクスに問題が発生する可能性があります。

– テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題の解決方法を確認してください。

6 HP all-in-one からファクス レポートを取り出した後、「**OK**」 を押します。
必要なら、見つかった問題を解決して、テストを再実行します。
テストで見つかった問題を解決するための詳細については、ファクス テストが失敗する を参照してください。

ファクスのセットアップ

11 ファクス機能の使用

HP all-in-one を使用して、カラー ファクスなどのファクスの送受信ができます。よく使用するファクス番号にすばやく簡単にファクスを送信するには、短縮ダイヤルを設定できます。コントロール パネルからは、解像度などのファクス オプションが設定できます。

すべての機能を十分に活用するには、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属の 「**HP ディレクタ**」 をいろいろと使ってみてください。「**HP ディレクタ**」 を使用すれば、コンピュータ上で作成したカバー ページを付けてコンピュータからファクスを送信したり、短縮ダイヤルを簡単に設定したりすることができます。詳細については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

「**HP ディレクタ**」 およびオンスクリーン ヘルプにアクセスするには、HP Image Zone による HP all-in-one のフル活用 を参照してください。

HP all-in-one でファクスを受信するように設定する

HP all-in-one は、家庭やオフィスなどの用途に応じて、自動か手動を選択してファクスを受信することができます。自動でファクスを受信する場合は、HP all-in-one がすべての着信に応答し、ファクスを受信します。ファクスを手動で受信する、に HP all-in-one を設定した場合は、ファクス受信に直接応答してください。ファクスの手動受信についての詳細は、手動でファクスを受信するを参照してください。

状況に応じてファクスを手動で受信することもできます。たとえば、HP all-in-one と電話で一本の回線を共有し、かつ着信識別や留守番電話がない場合、ファクスの着信に HP all-in-one が手動で応答するように設定してください。ボイス メール サービスを契約している場合も、ファクスの受信に手動で応答する必要があります。プリンタでは、ファクスの着信と電話の着信の違いを識別できないためです。

注記　オフィス機器を HP all-in-one 用にセットアップする詳細については、ファクスのセットアップ を参照してください。

設定に適切な推奨応答モードを選択する

以下の表を参照して、HP all-in-one の自宅またはオフィス設定に適切な推奨応答モードを選びます。表の最初の列で、オフィス設定に該当する機器とサービスの種類を選択します。次に、その推奨応答モードを 2 列目から選びます。3 列目は、HP all-in-one が受信に応答する方法を示します。

自宅またはオフィス設定に適切な推奨応答モードの選択が完了したら、詳細について、応答モードを設定する を参照してください。

ファクスの電話回線を共有する機器およびサービス	推奨応答モード	説明
なし (ファクス受信用の、個別のファクス用電話回線がある場合)	自動 (「**自動応答**」 ランプが点灯している場合)	HP all-in-one は 「応答呼び出し回数」 設定に基づいて、すべての受信に自動的に応答します。応答呼び出し回数を設定については、応答するまでの呼び出し回数を設定するを参照してください。
電話とファクスで電話回線を共有し、留守番電話がない (電話とファクスの両方を受信する、共用の回線がある場合)	手動 (「**自動応答**」 ランプが点灯していない場合)	HP all-in-one は着信に自動的に応答しません。「**スタート - モノクロ**」 または 「**スタート - カラー**」 を押して、手動ですべてのファクスを受信する必要があります。ファクスの手動受信についての詳細は、手動でファクスを受信するを参照してください。 ほとんどが電話の着信で、あまりファクスを受信しない場合に、この設定を使用します。
電話会社が提供するボイス メール サービス	手動 (「**自動応答**」 ランプが点灯していない場合)	HP all-in-one は着信に自動的に応答しません。「**スタート - モノクロ**」 または 「**スタート - カラー**」 を押して、手動ですべてのファクスを受信する必要があります。ファクスの手動受信についての詳細は、手動でファクスを受信するを参照してください。
留守番電話と、電話とファクスで共有する電話回線	自動 (「**自動応答**」 ランプが点灯している場合)	留守番電話が着信に応答し、HP all-in-one は回線をモニタします。HP all-in-one がファクス トーンを検出すると、HP all-in-one はファクスを受信します。 注記　これは、留守番電話が設置されている場合に推奨される、デフォルト設定です。留守番電話が、HP all-in-one に対して適切に設定されていることを確認してください。詳細については、ファクスのセットアップを参照してください。 また、HP all-in-one が応答するまでの呼び出し回数には、留守番電話が応答するまでの呼び出し回数よりも多い数値を設定してください。留守番電話は、HP all-

ファクスの電話回線を共有する機器およびサービス	推奨応答モード	説明
		in-one より先に応答するように設定する必要があります。応答するまでの呼び出し回数を設定する詳細については、応答するまでの呼び出し回数を設定するを参照してください。
着信識別サービス	自動 (「**自動応答**」 ランプが点灯している場合)	HP all-in-one が、すべての受信に自動的に応答します。 電話会社がファクス回線に設定した呼出し音のパターンが、HP all-in-one に設定された 「**応答呼出し音のパターン**」 と一致することを確認します。詳しくは、応答呼び出し音のパターン (着信識別音) を変更するを参照してください。

応答モードを設定する

応答モードでは、HP all-in-one が電話の着信に自動で応答するかどうかについての設定を行います。ファクスを自動で受信するように設定 (「**自動応答**」 ランプが点灯している状態) すると、HP all-in-one がすべての着信に応答してファクスを受信します。ファクスを手動で受信するように設定 (「**自動応答**」 ランプが点灯していない状態) すると、HP all-in-one でファクスを受信するには、着信に手動で応答する必要があります。ファクスの手動受信についての詳細は、手動でファクスを受信するを参照してください。

どちらの応答モードが適切か判断できない場合は、設定に適切な推奨応答モードを選択する を参照してください。

➔ 「**自動応答**」 ボタンを押して、応答モードを設定します。
「**自動応答**」 ランプが点灯している場合、HP all-in-one が自動で着信に応答します。このランプが点灯していない場合、HP all-in-one は着信への応答を行いません。

ファクスの送信

さまざまな方法でファクスを送信できます。HP all-in-one のコントロール パネルからモノクロまたはカラーでファクスを送信できます。付属の電話機から手動でファクスを送信することもできます。この方法では、ファクスを送信する前に受信者と通話することができます。

両面原稿を送信するように HP all-in-one を設定することもできます。

よく同じ番号にファクスするなら、「**短縮ダイヤル**」 やワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを使用して、短縮ダイヤルを設定し、すばやくファクスを送信で

きます。ファクス送信のすべての方法の詳細については、このセクションを参照してください。

基本ファクスを送信する

コントロール パネルから、複数ページの基本ファクスを送信することができます。

注記　ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージを印刷する必要がある場合は、ファクスを送信する 「**前に**」 ファクス送受信の確認を有効にします。詳細については、ファクスの確認レポートを有効にするを参照してください。

ヒント　ダイヤルのモニタ機能を使用してファクスを送信できます。この方法では、ダイヤルする速度を指定できます。ダイヤル中に音声ガイダンスに応答する必要があるときに、この機能は役に立ちます。詳しくは、ダイヤルのモニタ機能を使用して、ファクスを送信するを参照してください。

1　送信する原稿の表を上にし、ページの上部を左側にしてドキュメント フィーダ トレイにセットします。ファクスを一枚のみ送信する場合、ガラス板にセットして送信することもできます。

　注記　複数のページをファクスする場合は、送信する原稿を自動ドキュメント フィーダにセットします。

2　キーパッドを使用してファクス番号を入力します。

　ヒント　ファクス番号にポーズを入力するには、「**リダイヤル/ポーズ**」 を押します。

3　「**スタート - モノクロ**」 を押します。

ヒント　HP all-in-one から写真などをカラーでファクス送信できます。「**ファクス スタート - モノクロ**」 の代わりに、「**ファクス スタート - カラー**」 を押すだけです。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属の 「**HP ディレクタ**」 を使用すると、コンピュータからファクスを送信できます。ファクスとともに送信する表紙もコンピュータで作成して付けることができます。とても簡単です。詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

ファクスの確認レポートを有効にする

ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージを紙に印刷する必要がある場合は、以下の手順に従って、ファクスを送信する「**前に**」、ファクス送受信の確認を有効にします。

デフォルトのファクス送受信を確認する設定は、「すべてのエラー」 です。この場合、ファクスの送受信に問題があった場合にのみ、HP all-in-one でレ

ポートが印刷されます。ファクスの送受信に成功したかどうかを示す簡単な確認メッセージが、送受信処理後にカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。レポートの印刷の詳細については、レポートを印刷するを参照してください。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**2**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「レポートの印刷」 メニューが表示され、次に 「ファクス レポートの設定」 が選択されます。
3 「**5**」を押し、次に 「**OK**」を押します。
「送信のみ」 が選択されます。
HP all-in-one は、ファクスが送信されると、ファクスが適切に送信されたかどうかを通知する確認レポートを印刷します。

注記 「送信のみ」 を選択した場合、ファクスを受信中にエラーが発生しても確認レポートは印刷されません。「ファクス記録」 を印刷して、何かエラーが発生したかを確認します。「ファクス記録」 の詳細については、レポートを手動で作成する を参照してください。

両面原稿を送信する

HP の両面印刷用のオプション トレイがインストールされている場合、両面原稿をファクスで送信することができます。このオプション トレイに用紙をセットする方法については、このトレイに付属する説明書を参照してください。

この機能は、モノクロでファクスを送信する場合だけサポートされています。カラー ファクスを送信する場合は利用できません。

ヒント また、受信したファクスを紙の両面に印刷することができます。詳しくは、HP all-in-one を設定して片面および両面ファクスを印刷するを参照してください。

1 送信する原稿の表を上にし、ページの上部を左側にしてドキュメント フィーダ トレイにセットします。

注記 ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットします。両面原稿の送信は、ガラス板を使用する場合はサポートされていません。

2 キーパッドを使用してファクス番号を入力します。
3 ファクス領域の 「**メニュー**」 を押し、次に 「**3**」 を押します。
「ファクス メニュー」 が表示され、「両面送信 - モノクロのみ」 メニューが選択されます。
4 次のいずれかを選択します。
– 片面原稿を送信する場合、「**1**」 を押して 「片面原稿」 を選択します。
– カバー ページを含む両面原稿を送信する場合、「**2**」 を押して 「両面原稿」 を選択します。

この設定では、カバー ページは表面だけが、残りのページは両面がスキャンおよび送信されます。これにより、カバーページ裏面の白紙のページを誤って送信してしまうのを防ぐことができます。

– カバー ページを含まない両面原稿を送信する場合、「**3**」 を押して「**両面原稿**」 を選択します。
この設定で、全てのページの両面がスキャンおよび送信されます。すべての原稿ページの両面に文字がある場合、この設定を使用してください。

注記 「**2**」 または 「**3**」 を選択した場合、裏面のスキャンが済む前に原稿をアウトプット領域から取り除かないように注意してください。HP all-in-one は、まず原稿の表面をスキャンし、アウトプット領域に一時的に置いてから、再び取り込んで裏面のスキャンをします。各ページの両面のスキャンが終わると、原稿を取り除くことができます。

5 「**スタート - モノクロ**」 を押します。

注記 選択した設定は、現在作業中のファクスにのみ適用されます。以後のファクス送信時も今回と同じオプションを適用したい場合、デフォルトを変更してください。詳しくは、新規デフォルトを設定するを参照してください。

ファクスを電話から手動で送信する

ファクスを送信する前に、電話をかけて受信者と話をすることができます。この方法は、手動でのファクス送信と呼ばれます。手動でのファクス送信は、送信前に、受信者がファクスを受信可能であることを確認する場合に役に立ちます。

電話は、HP all-in-one の後部の 「2-EXT」 ポートに接続します。電話に HP all-in-one をセットアップする方法の詳細については、ファクスのセットアップ を参照してください。

1 送信する原稿の表を上にし、ページの上部を左側にしてドキュメント フィーダ トレイにセットします。
2 HP all-in-one に接続された電話のキーパッドから、番号をダイヤルします。

注記 番号をダイヤルするには、電話のキーパッドを使用する必要があります。HP all-in-one のコントロール パネルのキーパッドは使用しないでください。

3 以下のいずれかを実行してください。
– 番号をダイヤルしてファクス音が聞こえたら、「**スタート - モノクロ**」 または 「**スタート - カラー**」 を 3 秒以内に押して、ファクスを送信します。
– 電話の受信者が応答したら、ファクスを送信する前に会話をすることができます。ファクスを送信する用意ができたら、コントロール

パネルの「**スタート - モノクロ**」または「**スタート - カラー**」ボタンを押します。その後、相手にファクス開始ボタンを押してもらいます。

リダイヤルを使用してファクスを送信する

リダイヤルを使用すると、コントロール パネルから最後にダイヤルしたファクス番号に、ファクスを再び送信することができます。

1 送信する原稿の表を上にし、ページの上部を左側にしてドキュメント フィーダ トレイにセットします。
2 「**リダイアル/ポーズ**」を押します。
カラー グラフィック ディスプレイに最後にダイヤルした番号が表示されます。
3 「**スタート - モノクロ**」または「**スタート - カラー**」を押します。

短縮ダイアルを使用してファクスを送信する

「**短縮ダイアル**」またはコントロール パネル上のワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押すことによって、ファクスをすばやく送信することができます。

注記 ワンタッチ短縮ダイヤル ボタンは、最初から 5 つのダイヤル番号に対応しています。

短縮ダイヤル番号は、設定後に初めて表示されます。詳しくは、短縮ダイヤルを設定するを参照してください。

1 送信する原稿の表を上にし、ページの上部を左側にしてドキュメント フィーダ トレイにセットします。
2 以下のいずれかを実行してください。
   – 「**短縮ダイヤル**」を押します。また、▼ と ▲ を使用して、短縮ダイヤル番号をスクロールします。使用する番号を選択したら、「**OK**」を押します。
   – また、「**短縮ダイヤル**」を押して、コントロール パネルのキーパッドから短縮ダイヤルを入力することもできます。「**OK**」を押します。
   – ワンタッチ短縮ボタンを、1 つ押します。「**OK**」を押します。
3 「**スタート - モノクロ**」または「**スタート - カラー**」を押します。

ファクスをスケジュール設定する

モノクロ ファクスのスケジュール設定をして、電話が込み合っていない時間帯や通話料金が低い時間帯など、同日中に後から送信することができます。ファクスをスケジュール設定する場合、ガラス板ではなく、ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットします。指定した時刻になると、HP all-in-one が自動でファクスを送信します。

ファクスのスケジュール設定ができる原稿は、一度に 1 件のみです。ファクスのスケジュール設定がされている状態でも、通常のファクスは送信が可能です。

1 送信する原稿の表を上にし、ページの上部を左側にしてドキュメント フィーダ トレイにセットします。

   注記 ガラス板ではなく、ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットします。ガラス板に原稿をセットした場合、この機能は作動しません。

2 ファクス領域にある、「**メニュー**」 を押します。
   「ファクス メニュー」 が表示されます。
3 「**5**」 を押して 「後でファクス送信」 を選択します。
4 数値キーパッドを使用して送信時刻を入力し、「**OK**」 を押します。
5 キーパッドを使用してファクス番号 を入力するか、短縮ダイヤルボタンを 押すか、「**短縮ダイヤル**」 を押し、 送信する番号を選択します。
6 「**スタート - モノクロ**」 を押します。
   HP all-in-one はスケジュール設定された時刻にファクスを送信します。「後でファクス送信」 が、カラー グラフィック ディスプレイにスケジュール設定された時刻と共に表示されます。

スケジュール設定済みファクスを変更およびキャンセルする

スケジュール設定済みファクスの番号および時刻を変更、またはキャンセルすることができます。ファクスのスケジュール設定後、設定した時刻がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。

1 ファクス領域にある、「**メニュー**」 を押します。
   「ファクス メニュー」 が表示されます。
2 「**5**」 を押して 「後でファクス送信」 を選択します。
   ファクスがスケジュール設定されている場合、「ファクスのスケジュール設定」 メニューが表示されます。
3 以下のいずれかを実行してください。
   – ファクスをキャンセルするには、「**1**」 を押します。
     これにより、「スケジュールファクスをキャンセルする」 が選択されます。スケジュール設定済みファクスがキャンセルされます。
   – 時間および番号の変更をするには、「**2**」 を押します。
     これにより、「新しい送信時間を設定」 が選択されます。
4 「**2**」 を押した後、変更後の時間を入力し、「**OK**」 を押します。
5 変更後のファクス番号を入力し、「**スタート - モノクロ**」 を押します。

ファックスをメモリから送信する

モノクロ ファクスをメモリに読み込んで、メモリからファクスを送信することができます。この機能は、これから送信しようとしているファクス番号が通話中、または一時的に通話不能な場合に便利です。HP all-in-one は原稿をメモリに読み込み、受信するファクス機に接続が完了した時点で送信を行い

ます。HP all-in-one が原稿のスキャンが完了したら、すぐに原稿をドキュメント フィーダ トレイから取り除くことができます。

1 送信する原稿の表を上にし、ページの上部を左側にしてドキュメント フィーダ トレイにセットします。

注記 ガラス板ではなく、ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットします。ガラス板に原稿をセットした場合、この機能は作動しません。

2 ファクス領域にある、「**メニュー**」 を押します。
「ファクス メニュー」 が表示されます。
3 「**4**」 を押して 「スキャンとファクス」 を選択します。
4 キーパッドを使用してファクス番号 を入力するか、短縮ダイヤルボタンを 押すか、「**短縮ダイヤル**」 を押し、 送信する番号を選択します。
5 「**スタート - モノクロ**」 を押します。

注記 「**スタート - カラー**」 を押した場合、モノクロのみのメッセージがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。

HP all-in-one は、相手側ファクス機が受信可能な場合に、原稿をメモリに読み込んでファクスを送信します。

ダイヤルのモニタ機能を使用して、ファクスを送信する

ダイヤルのモニタ機能を使用すると、通常電話するように、コントロール パネルから番号をダイヤルすることができます。ダイヤル中に音声ガイダンスに応答する必要があるときに、この機能は役に立ちます。また、必要に応じて、ダイヤルする速度を指定するために使うこともできます。

注記 音量をオンにしないと、ダイヤル トーンは聞こえません。詳細については、音量を調整するを参照してください。

1 送信する原稿の表を上にし、ページの上部を左側にしてドキュメント フィーダ トレイにセットします。ファクスを一枚のみ送信する場合、ガラス板にセットして送信することもできます。
2 「**スタート - モノクロ**」 または 「**スタート - カラー**」 を押します。
3 原稿をガラス板にセットしたら、「**1**」 を押して、「スキャナのガラス板から原稿をファクス」 を選択します。
4 ダイヤル トーンが聞こたら、コントロール パネルのキーパッドで番号を入力します。
5 音声ガイダンスがあれば、従ってください。
受信側のファクス機が応答したときに、ファクスは送信されます。

ファクスを受信する

HP all-in-one は、設定された応答モードにより、ファクスを自動または手動で受信します。「**自動応答**」 ボタンの横のランプが点灯している場合、HP all-in-one は自動で着信に応答し、ファクスを受信します。このランプが

点灯していない場合、ファクスを手動で受信する必要があります。応答モードについての詳細は、HP all-in-one でファクスを受信するように設定する を参照してください。

ヒント 受信ファクスをページの両面に印刷するように HP all-in-one を設定して、用紙を節約できます。詳細については、HP all-in-one を設定して片面および両面ファクスを印刷するを参照してください。

注記 ファクスを受信するときに、写真を印刷するためのカラー フォト プリント カートリッジやグレー プリント カートリッジをセットしている場合、黒プリント カートリッジに交換することをおすすめします。プリント カートリッジの作業を参照してください。

応答するまでの呼び出し回数を設定する

HP all-in-one が自動的に着信に応答する前に、呼び出し回数を指定することができます。

注記 この設定は、HP all-in-one がファクスの自動受信をするよう設定されている場合のみ適用されます。

「応答呼び出し回数」 設定は、特に HP all-in-one と同じ電話回線で留守番電話を使用している場合に重要です。留守番電話は、HP all-in-one より先に応答するように設定する必要があります。プリンタの [応答するまでの呼び出し回数] には、留守電に応答する回数よりも多い回数を設定しなければなりません。

たとえば、留守番電話の呼び出し回数を 4 回に設定し、HP all-in-one の呼び出し回数を、お使いの機器でサポートされている最大回数に設定してください。(呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。この設定では、留守番電話が電話に応答し、HP all-in-one が電話回線を監視します。HP all-in-one がファクス トーンを検出すると、HP all-in-one はファクスを受信します。音声の場合には、留守番電話が着信メッセージを録音します。

コントロール パネルで応答までの呼び出し回数を設定するには

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**4**」 を押し、次に 「**3**」 を押します。
「ファクスの基本設定」 メニューが表示され、「応答呼び出し回数」 が選択されます。
3 キーパッドを使用して、適切な呼び出し回数を入力します。
4 「**[OK]**」 ボタンを押して設定を確定します。

HP all-in-one を設定して片面および両面ファクスを印刷する

HP の両面印刷用のオプション トレイがインストールされている場合、両面ファクスを印刷することができます。

このオプション トレイに用紙をセットする方法については、このトレイに付属する説明書を参照してください。

ヒント　自動ドキュメント フィーダを使用して、両面原稿を送信することもできます。詳しくは、両面原稿を送信するを参照してください。

1　用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2　「**両面**」 を押し、次に 「**3**」 を押します。
「機能選択」 メニューが表示され、次に 「ファクスの印刷」 が選択されます。

ヒント　ファクスの両面印刷を行うには、「**セットアップ**」、「**4**」、「**6**」 の順に押します。

3　次のいずれかを選択します。
– 片面のみを印刷する場合、「**1**」 を押して 「片面出力」 を選択します。
– 両面を印刷する場合、「**2**」 を押して 「両面出力」 を選択します。

注記　「**2**」 を選択する場合、ファクスの印刷が終わるまで出力トレイから原稿を取り除かないよう注意してください。HP all-in-one は、まず原稿の表面をスキャンし、アウトプット領域に一時的に置いてから、再び取り込んで裏面のスキャンをします。各ページごとに両面の印刷が終わったら、原稿を取り除くことができます。

4　「**OK**」を押します。
HP all-in-one はすべてのファクスの印刷に、この設定を適用します。

手動でファクスを受信する

ファクスを手動で受信するように HP all-in-one を設定した場合 (「**自動応答**」 ランプが点灯していない状態)、または電話を取って、ファクスのトーンが聞こえた場合、このセクションの説明を参照してファクスを受信してください。

次のように設定した電話で、ファクスを手動受信することができます。

- HP all-in-one の「2-EXT」ポートに直接接続された電話
- 同じ電話回線上にあるが、直接 HP all-in-one に接続されていない電話

1　HP all-in-one の電源がオンになっていて、用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2　ドキュメント フィーダ トレイから原稿を取り除きます。
3　HP all-in-one が応答する前に、ユーザーが着信に応答できるように、「応答呼び出し回数」 を多めに設定します。または、ファクスの着信に手動で応答するように HP all-in-one を設定します。
応答までの呼出し回数の設定についての詳細は、応答するまでの呼び出し回数を設定する を参照してください。ファクスを手動で応答するのた

ファクス機能の使用

めの HP all-in-one の設定方法については、応答モードを設定する を参照してください。

4 以下のいずれかを実行してください。
   – ご使用の電話が同じ電話回線につながっていて、HP all-in-one の背面につながっていない場合、送信元のファクス機からのファクス受信音が聞こえたら、5～10 秒待ってから、電話のキーを 「**[1 2 3]**」 と押します。HP all-in-one のファクス受信が始まらない場合、もう数秒後に再び 「**[1 2 3]**」 と押します。

     注記 HP all-in-one が着信に応答する場合、カラー グラフィック ディスプレイに 「呼び出し中」 と表示されます。受話器を取ると、数秒後に 「受話器が外れています」 と表示されます。このメッセージが表示されるまで待ってから、電話機を 「**[1 2 3]**」 と押さなければ、ファクスを受信できません。

   – 電話が HP all-in-one の背面に直接に接続されており、送信するファクス機からファクス音が聞こえる場合、コントロール パネルの 「**スタート - モノクロ**」 ボタンまたは 「**スタート - カラー**」 ボタンを押します。
   – HP all-in-one に接続した電話を使用している送信者と電話がつながっている場合は、最初に相手のファクス機で [スタート] を押すよう指示します。送信するファクス機器からファクス音が聞こえたら、コントロール パネルの 「**スタート - モノクロ**」 ボタンまたは 「**スタート - カラー**」 ボタンを押します。

     注記 「**スタート - カラー**」 を押しても、送信者がモノクロでファクスを送信した場合、HP all-in-one では、ファクスはモノクロで印刷されます。

ポーリングしてファクスを受信する

ポールすることで HP all-in-one は現在キューに入っているファクスを送信するよう、他のファクス機に依頼することができます。「ポーリング受信」 の機能を使用すると、HP all-in-one は指定された他のファクス機にコールし、ファクスの送信を依頼して受信することができます。指定されたファクス機はポーリングの設定がされ、ファクスを送信できる状態である必要があります。

注記　HP all-in-one は、ポーリング パス コードをサポートしていません。ポ ーリング パス コードは、受信側のファクス機 (ご使用の HP all-in-one) に対し、ファクスを受信するために、ポーリングしているデバイスに パス コードを送信するよう要求するセキュリティ機能です。 ポーリン グしているデバイスでパス コードが設定されていないこと (またはデ フォルト パス コードが変更されていること) を確認してください。パス コードが設定されている場合、HP all-in-one はファクスを受信でき ません。

1　ファクス領域にある、「**メニュー**」 を押します。
　「ファクス メニュー」 が表示されます。
2　「**6**」 を押して、「ポーリング受信」 を選択します。
3　他のファクス機のファクス番号を入力します。
4　「**スタート - モノクロ**」 または 「**スタート - カラー**」 を押します。

　注記　「**スタート - カラー**」 を押して、送信者がモノクロでファクスを送信した場合、HP all-in-one では、ファクスはモノクロで印刷されます。

日付と時刻を設定する

コントロール パネルから日付と時刻を設定することができます。ファクスを送信すると、その時の日付と時刻がファクスの見出しに印刷されます。この日付と時刻の形式は、言語と国/地域の設定に基づいています。

注記　HP all-in-one の電源が切れると、日付と時刻の再設定が必要になります。

1　「**セットアップ**」 を押します。
2　「**4**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
　「ファクスの基本設定」 メニューが表示され、「日付と時刻」 が選択されます。
3　キーパッドの数字を押して、年、月、日を入力します。言語と国/地域の設定によっては、入力する順序が異なることがあります。
　アンダーライン カーソルは最初の桁の下にあり、ボタンを押すと自動的に次の桁に進みます。また、日付の最後の桁を入力するとタイム プロンプトが自動的に表示されます。
4　時間と分を入力してください。

ファクス ヘッダーを設定する

ファクスのヘッダーを使用すると、すべての送信ファクスの上部に名前とファクス番号が印刷されます。「**HP Image Zone**」ソフトウェアのインストール中に、「**ファクス セットアップ ウィザード**」 (Windows ユーザー) か「**設定アシスタント**」 (Macintosh ユーザー) で、ファクス ヘッダーを設定することをおすすめします。

また、コントロール パネルからファクスのヘッダーを設定することもできます。

ファクスのヘッダーの情報表示は、多くの国/地域の法律で求められています。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**4**」 を押し、次に 「**2**」 を押します。
 「ファクスの基本設定」 メニューが表示され、「ファクスのヘッダ」 が選択されます。
3 個人または会社の名前を入力します。
 コントロール パネルからテキストを入力する方法については、文字と記号を入力するを参照してください。
4 個人または会社の名前の入力が終わったら、ビジュアル キーボード上の「完了」 ボタンを選択して、「**OK**」 を押します。
5 キーパッドを使用して、ファクス番号を入力します。
6 「**OK**」を押します。

ファクスのヘッダー情報を入力するには、コントロール パネルよりも「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属する 「**HP ディレクタ**」 を使用する方が簡単です。ファクスのヘッダー情報、カバー ページの情報も入力できます。この情報は、コンピュータからファクスを送信する際のカバー ページに印刷されます。詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

文字と記号を入力する

ファクスのヘッダー情報や短縮ダイヤルを設定するとき、カラー グラフィック ディスプレイに自動的に表示されるビジュアル キーボードを利用して、コントロール パネルから文字と記号を入力することができます。また、コントロール パネルのキーパッドを使用して、文字と記号を入力することもできます。

ファクス番号や電話番号をダイヤルするときも、キーパッドから記号を入力することができます。HP all-in-one は、番号をダイヤルするときに、記号に応じた動作をします。たとえば、ファクス番号の途中にダッシュがある場合は、HP all-in-one はダイヤルするときに、その場所で一定の間隔を置きます。この間隔は、ファクス番号をダイヤルする前に、外線番号を入力する必要がある場合などに役に立ちます。

注記 ファクス番号にダッシュなどの記号を含める場合は、キーパッドからその記号を入力する必要があります。

ビジュアル キーボードを使用した文字の入力

文字を入力する場合、カラー グラフィック ディスプレイに自動的に表示されるビジュアル キーボードを利用して、コントロール パネルから文字と記号を

入力することができます。たとえば、ファクスのヘッダー情報や短縮ダイヤルの設定の際に、ビジュアル キーボードは自動的に表示されます。

- ビジュアル キーボードの文字、数字、記号は、◀、▶、▲、▼ を押して選択します。
- 入力する文字、数字、記号を強調表示した後で、コントロール パネルの「**OK**」 を押して確定します。
  選択した文字などが、カラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
- 小文字を入力するには、ビジュアル キーボード上の 「**abc**」 ボタンを選択して、「**OK**」 を押します。
- 大文字を入力するには、ビジュアル キーボード上の 「**ABC**」 ボタンを選択して、「**OK**」 を押します。
- 数字と記号を入力するには、ビジュアル キーボード上の 「**123**」 ボタンを選択して、「**OK**」 を押します。
- 文字、数字、記号を消去するには、ビジュアル キーボード上の 「**クリア**」 ボタンを選択して、「**OK**」 を押します。
- スペースを入力するには、ビジュアル キーボードの ▶ を押して、「**OK**」 を押します。

  注記 スペースを入力するには、必ずビジュアル キーボードの ▶ を使用してください。コントロール パネル上の矢印ボタンからは、スペースを入力できません。

- 文字、数字、記号の入力が終わったら、ビジュアル キーボード上の 「**完了**」 ボタンを選択して、「**OK**」 を押します。

コントロール パネルのキーパッドからの文字の入力

コントロール パネルのキーパッドから文字と記号を入力することもできます。選択した文字などは、カラー グラフィック ディスプレイのビジュアル キーボードに表示されます。

- 名前の文字に対応するキーパッドの数字を押します。以下に示すように、A、B、C の文字は数字 [2] に対応しています。

  2 abc

- 何度もボタンを押すと、そのボタンで入力可能な文字が順に表示されます。

  注記 選択した言語と国/地域によって、その他の文字が使用できることもあります。

- 正しい文字が表示された後で、しばらくしてカーソルが自動的に右に進んで文字が確定されます。または ▶ を押して手動で確定します。名前の次の文字に対応する数字を押します。正しい文字が出てくるまでまた何回か数字ボタンを押してください。

- スペースを挿入するには、「**スペース (#)**」 ボタンを押します。
- ポーズを入力するには、「**リダイヤル/ポーズ**」 ボタンを押します。番号にダッシュが入力されます。
- 誤りを修正するには、矢印ボタンを押してビジュアル キーボード上の「クリア」 ボタンを選択し、「**OK**」 を押します。ビジュアル キーボードを使用しない場合、コントロール パネルの ◀ を押します。
- 文字、数字、記号の入力が終わったら、矢印ボタンを押してビジュアル キーボード上の 「完了」 ボタンを選択し、「**OK**」 を押します。

レポートを印刷する

HP all-in-one を、エラー レポートを自動印刷し、かつファクスの送受信のたびに確認のレポートを印刷するよう設定できます。必要に応じて、システムのレポートも手動で印刷できます。 これらのレポートから HP all-in-one について有用なシステム情報を知ることが出来ます。

デフォルト設定では、ファクスの送受信に問題があった場合にのみ、HP all-in-one でレポートが印刷されます。ファクスの送信に成功したかどうかを示す確認メッセージは、送信処理後にカラー グラフィック ディスプレイに簡単に表示されます。

レポートを自動で作成する

HP all-in-one で、自動的にエラー レポートと確認レポートを印刷する設定ができます。

注記 ファクスを送信するたびに確認メッセージを紙に印刷する必要がある場合は、次の手順を実行して、ファクスを送信する前に 「送信のみ」 を選択します。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**2**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「レポートの印刷」 メニューが表示され、次に 「ファクス レポートの設定」 が選択されます。
3 レポートには次のような種類があり、▼ を押すことでスクロールできます。
   – 「**1.すべてのエラー**」:各種ファクス エラーが発生するたびにレポートが印刷されます (デフォルト)。
   – 「**2.送信エラー**」:送信エラーが発生するたびにレポートが印刷されます。
   – 「**3.受信エラー**」:受信エラーが発生するたびにレポートが印刷されます。
   – 「**4.すべてのファクス**」:ファクスの送受信が行われるたびに確認のレポートが印刷されます。

ファクス機能の使用

– 「5.送信のみ」:ファクスを送信するたびにファクス送信が成功したかどうかを示すメッセージが印刷されます。
– 「6. オフ」:エラーまたは確認レポートは印刷しません。

4 目的のレポートが選択されたら 「**[OK]**」 を押してください。

レポートを手動で作成する

以前に送信したファクスの状態、短縮ダイヤル一覧、自己診断テストなどの HP all-in-one についてのレポートを手動で生成することができます。

1 「**セットアップ**」 を押し、次に 「**2**」 を押します。
「レポートの印刷」 メニューが表示されます。
2 レポートには次のような種類があり、▼ を押すことでスクロールできます。
– 「1.ファクス レポート設定」:レポートを自動で作成するで説明されている自動ファクス レポートの方法を印刷します。
– 「2.最終の処理」:最後のファクス処理についての詳細を印刷します。
– 「3.ファクスログ」:最近の約 30 件のファクス送受信の一覧が印刷されます。
– 「4.短縮ダイヤル一覧」:プログラムされている短縮ダイヤルのエントリ一覧を印刷します。
– 「5.セルフテスト レポート」印刷に関する問題や調整に関する問題を特定できるレポートを印刷します。詳しくは、セルフ テスト レポートの印刷を参照してください。
3 目的のレポートが選択されたら 「**[OK]**」 を押してください。

短縮ダイヤルを設定する

短縮ダイヤル エントリをよく使うファクス番号に登録できます。コントロール パネルのワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを使用して、ファクスをすばやく送信できます。また、「**短縮ダイヤル**」 を押して短縮ダイヤル番号をスクロールし、一覧の中から選択することができます。

最初の 5 件の短縮ダイヤル番号が、コントロール パネルのワンタッチ短縮ダイヤル ボタンに自動的に保存されます。

短縮ダイヤルでファクスを送信する詳細については、短縮ダイアルを使用してファクスを送信するを参照してください。

グループ短縮ダイヤルも設定できます。各受信者に個々にファクスを送信するのではなく、あるグループに属する複数の受信者に一度にファクスを送信できるので、時間の節約になります。

「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属する 「**HP ディレクタ**」 を使用すると、短縮ダイヤルをコンピュータから簡単に設定できます。詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

短縮ダイヤルを登録する

よく使うファクス番号について短縮ダイヤル番号を作成できます。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**3**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「短縮ダイヤルのセットアップ」 メニューが表示され、次に 「個別の短縮ダイヤル」 が選択されます。
まだ登録されていない短縮ダイヤルが、カラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
3 表示された短縮ダイヤル番号を選択するには 「**OK**」 ボタンを押します。まだ登録されていない別の短縮ダイヤルを選択するには、▼ または ▲ を押してから、「**OK**」 を押します。
4 その短縮ダイヤル番号に登録するファクス番号を入力し、「**OK**」 ボタンを押します。

ヒント　ファクス番号にポーズを入れるには、「**リダイヤル/ポーズ**」 を押します。

ビジュアル キーボードが、カラー グラフィック ディスプレイに自動的に表示されます。
5 名前を入力します。名前の入力が終わったら、ビジュアル キーボード上の 「完了」 ボタンを選択して、「**OK**」 を押します。
ビジュアル キーボードを使用した文字の入力の詳細については、文字と記号を入力するを参照してください。
6 別の番号を設定する場合は 「**1**」 を、「短縮ダイヤルのセットアップ」 メニューを終了する場合は 「**キャンセル**」 を押します。

グループ短縮ダイヤル番号を登録する

グループ短縮ダイヤル番号を作成し、この番号に個別の短縮ダイヤル番号を登録することができます。これにより、特定のグループに属する複数の人に、単一の短縮ダイヤル番号を使用してモノクロ ファクスを送信することができます。

注記　グループに対してファクスを送信する場合、モノクロ ファクスのみ可能です。「超高画質」 解像度はこの機能ではサポートされていません。

グループに登録することができる短縮ダイヤル番号は、既に個別の短縮ダイヤルとして登録済みのものに限られます。さらに、個別の短縮ダイヤルのみがグループに登録できます。あるグループを別のグループに登録することはできません。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**3**」 を押し、次に 「**2**」 を押します。
「短縮ダイヤルのセットアップ」 メニューが表示され、次に 「グループ短縮ダイヤル」 が選択されます。
まだ登録されていない短縮ダイヤルが、カラー グラフィック ディスプレイに表示されます。

ファクス機能の使用

3 表示された短縮ダイヤル番号を選択するには 「**OK**」 ボタンを押します。まだ登録されていない別の短縮ダイヤルを選択するには、▼ または ▲ を押してから、「**OK**」 を押します。
4 ▼ または ▲ を押して、個別の短縮ダイヤル番号をそのグループ短縮ダイヤルに追加します。
5 「**OK**」を押します。
6 すべての番号を追加したら、▲ を押して、「選択の完了」 を選択し、次に 「**OK**」 を押します。
ビジュアル キーボードが、カラー グラフィック ディスプレイに自動的に表示されます。
7 グループ短縮ダイヤル名を入力します。名前の入力が終わったら、ビジュアル キーボード上の 「完了」 ボタンを選択して、「**OK**」 を押します。
ビジュアル キーボードを使用した文字の入力の詳細については、文字と記号を入力するを参照してください。

短縮ダイヤルを更新する

個別の短縮ダイヤルの電話番号や名前を、変更することができます。

注記 その個別の短縮ダイヤル番号がある短縮ダイヤル グループに属している場合、そのグループへの変更が、その個別の短縮ダイヤル番号にも反映されます。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**3**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「短縮ダイヤルのセットアップ」 メニューが表示され、次に 「個別の短縮ダイヤル」 が選択されます。
3 ▼ または ▲ を押して短縮ダイヤルをスクロールして目的の項目を探し、「**OK**」 を押して選択します。
4 現在のファクス番号が表示されたら、◀ を押してそれを消去します。
5 新しいファクス番号を入力します。
6 「**OK**」 を押して新しい番号を保存します。
ビジュアル キーボードが、カラー グラフィック ディスプレイに自動的に表示されます。
7 ビジュアル キーボードを使用して、名前を変更します。
ビジュアル キーボードの使用の詳細については、文字と記号を入力するを参照してください。
8 「**OK**」を押します。
9 別の短縮ダイヤルを更新するには 「**1**」 を、終了するには 「**キャンセル**」 を押します。

短縮ダイヤルを削除

短縮ダイヤルは、個別に、またグループで削除できます。グループ短縮ダイヤルに所属する個別の短縮ダイヤル番号を削除する場合、そのグループからも同時に削除されます。

1 「**セットアップ**」 を押します。

2 「**3**」 を押し、もう一度 「**3**」 を押します。
「短縮ダイヤルのセットアップ」 メニューが表示され、次に 「短縮ダイヤルを削除」 が選択されます。
3 削除する短縮ダイヤルが表示されるまで ▼ か ▲ を押し、次に 「**OK**」 ボタンを押して削除します。またコントロール パネルのキーパッドから短縮ダイヤルを入力することもできます。
4 別の短縮ダイヤルを削除するには 「**3**」 を、終了するには 「**キャンセル**」 を押します。

ファクスの解像度と濃淡を変更するには

ファクス送信する文書の 「解像度」 と 「薄く/濃く」 の設定は変更することができます。

ファクスの解像度を変更する

「解像度」 の変更は、ファクス送信されるモノクロ文書の送信速度と印字品質に影響します。HP all-in-one の解像度の上限は、受信側のファクスでサポートされている解像度で決定します。解像度やコントラストの変更はモノクロ文書に限ります。カラー ファクスはすべて 「高画質」 の解像度で送信されます。次の解像度設定を選択できます。

- 「高画質」:ほとんどの文書でファクス送信するのに適した高品質な文字です。これがデフォルト設定値です。
- 「超高画質」-極めて精密な画像の文書をファクス送信する場合に、最高の品質が得られます。「超高画質」 を選択する場合、ファクスの送信に通常より時間がかかり、またモノクロでのみ送信可能であるということにご注意ください。カラー ファクスを送信する場合、代わりに 「高画質」 解像度で送信されます。
- 「写真」:写真のファクス送信に適した最高画質です。写真を選択した場合は、ファクス送信が完了するまでに通常よりも時間がかかります。写真をファクスするときは「写真」 を選択することをお勧めします。
- 「標準」:ファクス品質は下がりますが、最も速くファクスを送信することができます。

この設定は、新規デフォルトとして保存されない限り、処理が終了するとデフォルト値に戻ります。詳細については、新規デフォルトを設定するを参照してください。

コントロール パネルで解像度を変更するには

1 送信する原稿の表を上にし、ページの上部を左側にしてドキュメント フィーダ トレイにセットします。
2 キーパッドを使用してファクス番号を入力し、ワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押すか、または 「**短縮ダイヤル**」 から選択します。
3 ファクス領域にある、「**メニュー**」 を押します。
「ファクス メニュー」 が表示されます。
4 「**1**」 を押して 「解像度」 を選択します。

5 ▼ を押して、解像度設定を選択します。次に 「**OK**」 を押します。
6 「**スタート - モノクロ**」 を押します。

注記 「**スタート - カラー**」 を押すと、ファクスは 「高画質」 設定で送信されます。

これでファクスが 「高画質」 で送信されます。これ以降もこの設定でファクスを送りたい場合は、デフォルトを変更してください。詳しくは、新規デフォルトを設定するを参照してください。

濃淡の設定を変更する

ファクスのコントラストの明暗を変更することができます。かすれた文書や色あせた文書、手書きの文書などをファクスするときに役に立ちます。原稿の濃度を濃くするには、コントラストを調整します。

この設定は、新規デフォルトとして保存されない限り、処理が終了するとデフォルト値に戻ります。詳細については、新規デフォルトを設定するを参照してください。

1 送信する原稿の表を上にし、ページの上部を左側にしてドキュメント フィーダ トレイにセットします。
2 キーパッドを使用してファクス番号を入力し、ワンタッチ短縮ダイヤルボタンを押すか、または 「**短縮ダイヤル**」 を送信する短縮ダイヤル番号が表示されるまで押します。
3 ファクス領域にある、「**メニュー**」 を押します。
「ファクス メニュー」 が表示されます。
4 「**2**」 を押して、「薄く/濃く」 を選択します。
5 ファクスを明るくするには ◀ を、暗くするには ▶ を押します。
押した矢印ボタンに応じて、インジケータが左右に動きます。
6 「**スタート - モノクロ**」 または 「**スタート - カラー**」 を押します。
これでファクスが「薄く/濃く」 設定で送信されます。これ以降もこの設定でファクスを送りたい場合は、デフォルトを変更してください。詳しくは、新規デフォルトを設定するを参照してください。

新規デフォルトを設定する

コントロール パネルから、「**両面**」 (ファクスの送信時)、「解像度」、「薄く/濃く」 のデフォルト値をそれぞれ変更することができます。

1 「**両面**」 (ファクスの送信時)、「解像度」または「薄く/濃く」を変更します。
2 「ファクス メニュー」 がまだ開いていない場合は、[ファクス] 領域から「**メニュー**」 を押してください。
3 「**7**」を押して、「新しいデフォルトの設定」を選択します。
4 「**OK**」を押します。

ファクス オプションを設定する

ビジー状態の番号に HP all-in-one で自動的にリダイヤルするかどうかを制御する、HP all-in-one の音量を調整する、別の番号にファクスを転送するなど、数々のファクス オプションがあります。次のオプションに変更を加えた場合、新しい設定がデフォルトになります。ファクス オプションの変更については、このセクションを参照してください（日本では 250 シート用普通紙トレイは販売しておりません）。

ファクスの印刷用給紙トレイを選択する

インストールされた各種用紙トレイがサポートされたものである場合、ファクスおよびレポートを印刷する際に給紙トレイを指定することができます。

- フォト用紙や OHP フィルムなどの、サポートされているすべての用紙タイプおよびサイズをメイン用紙トレイ (「上段トレイ」) にセットすることができます。
- オプションの 250 シート用普通紙トレイ （「下段トレイ」） なら、普通サイズの白紙の普通紙で 250 枚までセットすることができます。

たとえば、多数の写真を印刷する場合、フォト用紙をメイン用紙トレイにセットし、オプションの下段トレイにはレター用紙または A4 用紙をセットできます。オプションの給紙トレイを使用することで、印刷ジョブを切り替えるたびに用紙の入れ替えをする必要がなくなり、時間の節約になります。

このオプション トレイに用紙をセットする方法については、このトレイに付属する説明書を参照してください。

デフォルトでは、下段の給紙トレイが選択されています。デフォルトの給紙トレイを変更したい場合は、次の手順に従ってください。

コントロール パネルから給紙トレイを選択するには

1. 「**トレイを選択**」 を押し、次に 「**3**」 を押します。
   「機能選択」 メニューが表示され、次に 「ファクスの印刷」 が選択されます。
2. 以下のいずれかを実行してください。
   – ファクスの印刷にメイン用紙トレイを使用するには、「1」 を押してください。
     これにより、「上側トレイ」 が選択されます。
   – ファクスの印刷に 250 シート用普通紙トレイを使用するには、「2」 を押してください。
     これにより、「下側トレイ」 が選択されます。
3. 「**OK**」 を押します。
   HP all-in-one は以後のすべてのファクスを印刷するのに、この設定を適用します。

受信するファクスの用紙サイズを設定する

受信ファクスの用紙サイズを選択できます。用紙サイズは、給紙トレイにセットした用紙に合わせます。ファクスはレター用紙、A4 用紙、またはリーガル用紙にのみ印刷できます。

注記 ファクスを受信したときにこの他の用紙サイズが給紙トレイにセットされていると、ファクスを印刷しないで、カラー グラフィック ディスプレイにエラー メッセージが表示されます。ファクスを印刷するには、レター用紙、A4 用紙、リーガル用紙のいずれかをセットして「**[OK]**」 を押してください。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**4**」 を押し、次に 「**5**」 を押します。
「ファクスの基本設定」 メニューが表示され、「ファクスの用紙サイズ」 が選択されます。
3 ▼ を押してオプションを選択してから 「**OK**」 を押します。

トーン ダイヤルかパルス ダイヤルをセットする

HP all-in-one のダイヤル モードを、トーン ダイヤルまたはパルス ダイヤルに設定できます。ほとんどの電話機は、トーン ダイヤルとパルス ダイヤルのどちらかを使用します。ご使用の電話でパルス ダイヤルが不要なときは、デフォルト設定のトーン ダイヤルの使用をおすすめします。公衆電話か構内交換機 (PBX) システムの場合は、「パルス ダイヤル」 を選択します。どちらの設定を使用しているかわからないときは、最寄りの電話会社にお問い合わせください。

注記 「パルス ダイヤル」 を選択した場合は、いくつかの電話システム機能が使用できないことがあります。また、ファクスや電話番号をダイヤルするのに時間がかかることがあります。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**4**」 を押し、次に 「**7**」 を押します。
「ファクスの基本設定」 メニューが表示され、「トーン、パルス選択」 が選択されます。
3 ▼ を押してオプションを選択してから 「**OK**」 を押します。

音量を調整する

HP all-in-one では、呼び出し音およびスピーカの音量を 3 段階で調整できます。呼び出し音のボリュームとは、電話がかかってきたときに鳴る音のボリュームです。スピーカのボリュームとは、ダイヤル トーンやファクス トーン、ボタンを押したときに鳴る音など、それ以外の音のレベルのことです。デフォルトの設定は 「小さい」 です。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**4**」 を押し、次に 「**8**」 を押します。

「ファクスの基本設定」 メニューが表示され、「呼出し音とプッシュ音の音量」 が選択されます。

3 ▼を押し、「小さい」、 「大きい」、 「オフ」の中からいずれかを選択します。

注記 「オフ」 を選択すると、ダイヤル トーン、ファクス受信音、着信の呼び出し音がまったく聞こえなくなります。

4 「**OK**」を押します。

ファクスを他の番号に転送する

受信するファクスを他のファクス番号に転送するように HP all-in-one を設定することができます。カラー ファクスを受信した場合でも、ファクスはモノクロで転送されます。

注記 HP all-in-one がファクスを転送中は、問題がある場合を除いて受信したファクスを印刷しません。HP all-in-one が指定されたファクス機にファクスを転送できない場合 (たとえば、電源が入っていない場合等)、HP all-in-one はファクスとエラー レポートを印刷します。

転送の前に、転送先の番号を確認することをおすすめします。テストでファクスを送信し、ファクス機がファクスの転送を受信できるか確認してください。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**4**」 を押し、次に 「**9**」 を押します。
「ファクスの基本設定」 メニューが表示され、「ファクスの転送」 が選択されます。
3 プロンプトから、転送先ファクス機の番号を入力します。
4 「**OK**」を押します。
「ファクス転送オン」 がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。

ファクス転送を編集またはキャンセルする

転送先番号の変更、またはファクスの転送設定のキャンセルを行うことができます。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**4**」 を押し、次に 「**9**」 を押します。
「ファクスの基本設定」 メニューが表示され、「ファクスの転送」 が選択されます。
3 以下のいずれかを実行してください。
– 「**オン**」 を押してファクス番号の編集をします。番号を入力してから、「**OK**」 をクリックします。
– 「**オフ**」 を押してファクス転送をキャンセルし、次に 「**OK**」 を押します。

応答呼び出し音のパターン (着信識別音) を変更する

多くの電話会社から、1 本の電話回線に複数の電話番号を持てる着信識別音機能が提供されています。この着信識別サービスでは、シングル呼び出し音、ダブル呼び出し音、トリプル呼び出し音など、番号によって違う呼び出し音パターンを使用できます。HP all-in-one は、特定の呼び出し音のパターンの着信に応答するようにセットアップすることができます。

着信識別音が設定されている電話回線に HP all-in-one を接続する場合は、電話会社に音声着信の呼び出し音とファクス受信の呼び出し音を、それぞれ別に割り当ててもらいます。ファクス番号にはダブル呼び出し音あるいはトリプル呼び出し音を割り当てるのが一番よいでしょう。HP all-in-one は、指定した呼び出し音のパターンを検出したときに、ファクスの受信を開始します。

たとえば、電話会社にファクス番号に 2 回の呼び出し音パターン、電話に 1 回の呼び出し音パターンを割り当ててもらうことができます。このセットアップでは、HP all-in-one の 「応答呼び出し音のパターン」 を 「呼び出し 2 回」 に設定します。また、「応答呼び出し回数」 設定を 「[3」 に設定できます。2 回の呼び出し音パターンで電話があると、呼び出し音 3 回で HP all-in-one が応答し、ファクスを受信します。

この着信識別サービスを使用していない場合は、デフォルトの呼び出し音パターン、すなわち 「すべての呼び出し」 を使用してください。

コントロール パネルで応答呼び出し音のパターンを変更するには

1 HP all-in-one がファクスの呼び出しに自動応答するよう設定されていることを確認してください。詳細については、応答モードを設定するを参照してください。
2 「**セットアップ**」 を押します。
3 「**5**」 を押し､次に 「**1**」 を押します。
「ファクスの詳細設定」 メニューが表示され､「応答呼出し音のパターン」 が選択されます。
4 ▼ を押してオプションを選択してから 「**OK**」 を押します。
ファクス電話回線に割り当てられた呼び出し音で電話が鳴ると、HP all-in-one は着信に応答して、ファクスを受信します。

ビジー状態または応答のない番号を自動的にリダイヤルする

HP all-in-one を、ビジー状態あるいは応答のない番号に自動的にリダイヤルするよう設定できます。[ビジー リダイヤル] のデフォルト設定は 「リダイヤル」 です。「 [応答なし リダイヤル]」 のデフォルト設定は 「リダイヤルしない」 です。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 以下のいずれかを実行してください。
   – 「ビジー リダイヤル」 設定を変更するには､「**5**」 を押してから 「**2**」 を押します。

「ファクスの詳細設定」 メニューが表示され、「ビジー リダイヤル」 が選択されます。
– 「応答なし リダイヤル」 設定を変更するには、「**5**」 を押してから、もう一度 「**3**」 を押します。
「ファクスの詳細設定」 メニューが表示され、「応答なし リダイヤル」 が選択されます。

3 必要に応じて、▼ を押して 「リダイヤル」 または 「リダイヤルしない」 を選択してください。
4 「**OK**」を押します。

着信ファクスを自動縮小するよう設定する

これは、受信したファクスがデフォルトの用紙サイズよりも大きい場合に HP all-in-one がどう対応するかの設定です。この設定をオン (デフォルトの設定) にすると、受信したファクスの画像を 1 ページに収まるように縮小します。この機能がオフの場合は、1 ページ目からはみ出した内容は 2 ページ目に印刷されます。「自動縮小」 は、A4 サイズまたはレター サイズの用紙が給紙トレイにセットされていて、リーガル サイズのファクスを受信する場合に役に立ちます。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**5**」 を押し、次に 「**4**」 を押します。
「ファクスの詳細設定」 メニューが表示され、「自動縮小」 が選択されます。
3 ▼ を押して 「オフ」 または 「オン」 を選択してください。
4 「**OK**」を押します。

バックアップ ファクス受信を設定する

HP all-in-one は、すべての受信したファクスをメモリに保存します。エラーが発生して HP all-in-one がファクスを印刷できない場合、「バックアップ ファクス受信」 機能でファクスを受信することができます。エラー状態では、「バックアップ ファクス受信」 が有効の場合、ファクスはメモリに保存されます。

たとえば、HP all-in-one の紙が不足した状態で 「バックアップ ファクス受信」 が有効な場合、すべての受信したファクスはメモリに保存されます。用紙がセットすると、保存されたファクスを印刷することができます。この機能が無効な場合、HP all-in-one はエラーが解決するまで着信に応答しません。

通常の運用では (「バックアップ ファクス受信」 が 「オン」 または 「オフ」 にかかわらず)、HP all-in-one はすべてのファクスをメモリに保存します。メモリがいっぱいになると、HP all-in-one は新たにファクスを受信するにしたがって、印刷済みのファクスを古い順に消去します。メモリに保存されているすべてのファクスを消去したい場合、「**On**」 ボタンを押して HP all-in-one の電源をオフにします。

注記 「バックアップ ファクス受信」 が 「オン」 に設定され、エラーが発生していない状態の場合、HP all-in-one は受信したファクスを「未印刷」としてメモリに保存します。まだ印刷されていないファクスは、印刷するか削除されない限りメモリに残ります。印刷済みでないファクスでメモリがいっぱいになると、それらのファクスを印刷するかメモリから削除するまで、HP all-in-one はファクスの受信ができなくなります。メモリに保存されたファクスを印刷または削除するには、メモリ内のファクスを再印刷または削除する を参照してください。

デフォルトでは、「バックアップ ファクス受信」 設定は 「オン」 になっています。

コントロール パネルでバックアップ ファクス受信を設定するには

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**5**」 を押し、そしてもう一度 「**5**」 を押します。
「ファクスの詳細設定」 メニューが表示され、「バックアップ ファクス受信」 が選択されます。
3 ▼ を押して 「オン」 または 「オフ」 を選択してください。
4 「**OK**」を押します。

エラー補正モードを使用する

「エラー補正モード」 (ECM) は、電話回線の問題により、送受信中に喪失したデータを排除し、検出されたエラー部分を再送信するよう自動的に要求する機能です。良好な状態の電話回線においては電話料金に影響が及ぶことはなく、場合によってはむしろ安くなることさえあります。電話回線の状態が悪い場合、ECM にすることで送信時間と電話料金は増えますが、送信するデータの信頼性が上がります。デフォルトの設定はオンです。電話料金を安くするためにファクスの品質を問わないという場合のみ、ECM をオフにしてください。

以下の規則が ECM に適用されます:

- ECM がオンに設定されている場合、送信するファクスのみに適用されます。受信するファクスには適用されません。
- ECM がオン設定されている場合、「ファクス速度」 を 「標準」 にセットします。「ファクス速度」 が 「はやい」 にセットされていると、ECM がオンの場合にファクスが自動的に送信されます。「ファクス速度」 の詳細については、ファクス速度を設定する を参照してください。
- ファクスをカラーで送信する場合、現在 ECM がどちらにセットされていても、オンの状態になってファクスが送信されます。

コントロール パネルで ECM 設定を変更するには

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**5**」 を押し、次に 「**6**」 を押します。
「ファクスの詳細設定」 メニューが表示され、「エラー補正モード」 が選択されます。
3 ▼ を押して 「オフ」 または 「オン」 を選択してください。

4 「**OK**」を押します。

ファクス速度を設定する

ファクスを送受信するときに HP all-in-one と相手のファクス機の間で通信する、ファクス速度を設定することができます。デフォルトのファクス速度は「はやい」 です。

以下のサービスを使用している場合は、ファクス速度をおそい設定にする必要があることがあります。

- インターネット電話サービス
- PBX システム
- Fax over Internet Protocol (FoIP)
- ISDN (総合デジタル通信網) サービス

ファクスの送受信に問題がある場合は、「ファクス速度」 設定を 「標準」 または 「おそい」 に設定することをおすすめします。以下の表に、選択できるファクス速度の設定を示します。

ファクス速度の設定	ファクス速度
「はやい」	v.34 (33600 ボー)
「標準」	v.17 (14400 ボー)
「おそい」	v.29 (9600 ボー)

コントロール パネルからファクス速度を設定するには

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**5**」 を押し、次に 「**7**」 を押します。
「ファクスの詳細設定」 メニューが表示され、「ファクス速度」 が選択されます。
3 ▼ を押してオプションを選択してから 「**OK**」 を押します。

メモリ内のファクスを再印刷または削除する

メモリに保存されたファクスは、再印刷または削除できます。HP all-in-one がファクスを受信している間に用紙がなくなった場合は、いったんメモリにファクスを保存して、後で再印刷する必要があります。HP all-in-one のメモリが満杯になった場合、引き続きファクスを受信するにはメモリをクリアする必要がある場合があります。

注記 HP all-in-one では、すでに印刷されたものも含むすべてのファクスがメモリに保存されます。これにより、必要に応じて、後でファクスを再印刷することができます。メモリがいっぱいになると、HP all-in-one は新たにファクスを受信するにしたがって、印刷済みのファクスを古い順に消去します。

コントロール パネルで、メモリに保存されたファクスを再印刷するには

1 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2 「**セットアップ**」 を押します。
3 「**6**」 を押し、次に 「**4**」を押します。
「ツール」 メニューが表示され、「メモリのファクスを再印刷」 が選択されます。
受信したときとは逆の順序で、直前に受信したファクスが最初に印刷されます。
4 再印刷するファクスがこれ以上ない場合は、「**キャンセル**」 を押します。
がメモリ内の次のファクスを印刷し始めます。

注記 印刷を中止するには、保存されているファクスごとに 「**[キャンセル]**」 を押してください。

コントロール パネルで、メモリに保存されたすべてのファクスを削除するには

➔ メモリに保存されているすべてのファクスを消去するには、「**On**」 ボタンを押して HP all-in-one の電源をオフにします。

HP all-in-one の電源をオフにすると、メモリに保存されているファクスはすべて削除されます。

インターネット経由でファクスする

HP all-in-one を使用して、インターネット経由でファクスを送受信できる低コスト電話サービスを利用できる場合があります。この方法は、Fax over Internet Protocol (FoIP) と呼ばれます。次のような場合は、(電話会社が提供する) FoIP サービスを使用しているはずです。

- ファクス番号と一緒に特別のアクセス コードをダイヤルしている
- インターネットに接続する IP コンバータ ボックスがあり、ファクス接続用のアナログ電話ポートがある

注記 電話コードを HP all-in-one の「1-LINE」と書かれたポートに接続した場合だけファクスの送受信が可能で、 Ethernet ポートは使用できません。つまり、インターネット接続は、コンバータ ボックス (ファクス接続用に通常のアナログ電話ジャックを装備) または電話会社経由で行う必要があるということです。

インターネット ファクス サービスには、HP all-in-one が高速 (33600bps) でファクスの送受信をすると、正常に動作しないものもあります。インターネット ファクス サービスを使用して、ファクスの送受信で問題が起きたら、ファクス速度を遅くしてください。「ファクス速度」 の設定を 「はやい」 (デフォルト) から 「標準」 にすれば、ファクス速度が遅くなります。この設定の変更については、ファクス速度を設定する を参照してください。

また、インターネット ファクス サービスがファクスをサポートしているか電話会社に確認してください。

ファクス機能の使用

ファクスを中止する

送受信中のファクスはいつでもキャンセルすることができます。

コントロール パネルでファクス送信を中止するには

➔ 送受信しているファクスを中止するには、コントロール パネルで 「**キャンセル**」 を押します。カラー グラフィック ディスプレイに表示される「ファクス取消済」 メッセージを確認します。このメッセージが表示されない場合は、「**キャンセル**」 ボタンをもう一度押します。
HP all-in-one は、既に印刷を開始したページをすべて印刷してから、残りのファクスをキャンセルします。これにはしばらく時間がかかる場合があります。

番号のダイヤルを中止するには

➔ ダイヤルを中止するには、「**キャンセル**」 を押します。

12 HP Instant Share (USB)

HP Instant Share を使用すると、家族や友人と写真を簡単に共有できます。写真をスキャンする、または HP all-in-one のカード スロットにメモリ カードを挿入した後、共有する写真を選択し、送信先を選択して写真を送信するだけです。また、オンライン フォト アルバムや、オンライン写真仕上げサービスに写真をアップロードすることもできます。利用できるサービスは、国/地域によって異なります。

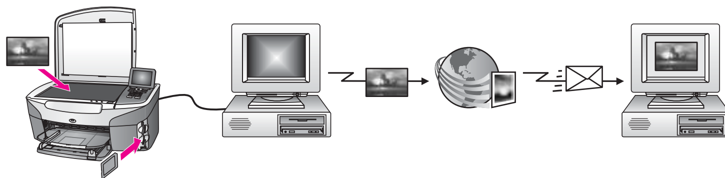
「**HP Instant Share メール送信**」 を使用すると、いつでも写真を家族や友人と楽しむことができます。ダウンロードしたファイルのサイズや受け取った画像が大きすぎて開けないといったことはなくなります。送信されるのは、写真のサムネイル画像が添付された電子メール メッセージです。これにはセキュリティで保護された Web ページへのリンクが記されていて、このページで写真を簡単に表示、共有、印刷、保存できます。

注記 HP all-in-one がネットワークに接続されていて、HP Instant Share をすでにセットアップしてあるなら、HP Instant Share を使用する （ネットワーク） にある情報を参照してください。この章にある説明は、USB ケーブルで一台のコンピュータに接続され、ネットワークに接続したり HP Instant Share をセットアップしたことのない場合にだけ当てはまります。

概要

HP all-in-one が USB で接続されている場合、友人や家族と写真を共有するには、本体と、コンピュータにインストールされている HP ソフトウェアを使用します。Windows ベースのコンピュータを使用している場合は、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用します。Macintosh コンピュータを使用している場合は、「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアを使用します。

注記 USB 接続の本体とは、USB ケーブルでコンピュータに接続して、インターネットにアクセスするにはそのコンピュータを使用する必要がある HP All-in-One のことです。



HP Instant Share を使用すると、HP all-in-one から指定の送信先へ画像を送信できます。送信先に指定できるのは、電子メール アドレス、オンライン フ

ォト アルバム、またはオンライン写真仕上げサービスなどです。利用できるサービスは、国/地域によって異なります。

注記 画像は、友人や家族が使用しているネットワーク接続の HP All-in-One (またはフォト プリンタ) にも送信できます。本体への送信には、HP Passport のユーザー ID とパスワードが必要です。受信側のデバイスは、セットアップして、HP Instant Share に登録する必要があります。また、送信者が受信側デバイスに割り当てている名前を入手する必要があります。詳しい説明は、 HP all-in-one を使用して画像を送信する のステップ 5 に出ています。

はじめに

HP Instant Share を HP all-in-one で利用するには、次のものが必要です。

- USB ケーブルでコンピュータと接続した HP all-in-one
- HP all-in-one の接続先コンピュータからのインターネット アクセス
- ご使用のオペレーティング システムに応じて以下のものが必要です。
  - Windows:コンピュータにインストール済みの 「**HP Image Zone**」 ソフトウェア
  - Macintosh:コンピュータにインストール済みの 「**HP Image Zone**」 ソフトウェア。「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアを含む。

HP all-in-one をセットアップし、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアをインストールしたら、HP Instant Share を使用して、写真を共有する作業を開始できます。HP all-in-one をセットアップする方法の詳細については、デバイス付属のセットアップ ガイドを参照してください。

HP all-in-one を使用して画像を送信する

画像には、写真やスキャンした文書があります。どちらも、HP all-in-one と HP Instant Share を使用して友人や家族と共有できます。メモリ カードから写真を選択するか、画像をスキャンした後で、HP all-in-one のコントロール パネルにある 「**HP Instant Share**」 を押し、送信先を選んで画像を送信してください。詳細については、次のトピックを参照してください。

メモリ カードからの写真を送信する

HP all-in-one では、メモリ カードを挿入した後、すぐに写真を共有することも、あとで共有することもできます。すぐに写真を共有する場合は、メモリ カードをカード スロットに挿入して、写真を 選択し、本体のコントロール パネルにある 「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。

メモリ カードを挿入してから、あとで写真を送信する場合、HP all-in-one はアイドル モードになっています。「**HP Instant Share**」 を押し、指示に従えば、写真を選択して共有できます。

注記　メモリ カードの使用方法については、メモリ カードの使用または PictBridge の使用を参照してください。

メモリ カードを挿入して、すぐに写真を送信するには

1　メモリ カードが HP all-in-one のカード スロットに挿入されていることを確認します。
2　写真を 1 枚以上選択します。
写真の選択方法については、メモリ カードの使用または PictBridge の使用を参照してください。

注記　動画ファイル タイプは、HP Instant Share サービスではサポートされない場合があります。

3　HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。
Windows をご使用の場合、コンピュータで 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアが起動します。「**HP Instant Share**」 タブが開きます。[選択トレイ] に各写真のサムネイルが表示されます。「**HP Image Zone**」 の詳細については、オンスクリーン ヘルプの「「**HP Image Zone**」 の使用」を参照してください。
Macintosh をご使用の場合、コンピュータで 「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアが起動します。「**HP Instant Share**」 ウィンドウに各写真のサムネイルが表示されます。

注記　Macintosh OS X v10.1.5 以前 (または OS 9 v9.1.5) をご使用の場合、Macintosh 上の 「**HP ギャラリ**」に写真がアップロードされます。「**[電子メール]**」 をクリックします。コンピュータの画面に表示される指示に従うと、写真を電子メールの添付ファイルとして送信できます。

4　以下のうち、ご使用のオペレーティング システムに適した手順に従ってください。

Windows ベースのコンピュータをご使用の場合

a　「**HP Instant Share**」 タブの 「**コントロール**」 または 「**作業**」 から写真を送信するために使用するリンクまたはサービスのアイコンをクリックします。

注記　「**すべてのサービスを見る**」をクリックすると、お住まいの国/地域で利用できるサービスすべての中から、いずれかを選択できます。たとえば、「**HP Instant Share メール送信**」 および 「**オンライン アルバムの作成**」 などです。画面上の指示に従って操作してください。

「**インターネットに接続**」 画面が作業領域に表示されます。
b　「**次へ**」 をクリックし、画面上の指示に従って操作します。

Macintosh をご使用の場合

a 共有する写真が 「**HP Instant Share**」 ウィンドウに表示されていることを確認します。
写真を削除するには 「**-**」 ボタンを使用し、ウィンドウに写真を追加するには 「**+**」 ボタンを使用します。
b 「**続行**」 をクリックし、画面上の指示に従って操作します。
c HP Instant Share サービス一覧から、写真を送信するために使用するサービスを選択します。
d 画面上の指示に従って操作してください。

5 「**HP Instant Share メール送信**」 サービスからは次のことが可能です。
– 写真のサムネイル画像が添付された電子メール メッセージを送信。画像は Web で表示、印刷、保存できる。
– 電子メールのアドレス帳を開いて利用。「**アドレス帳**」 をクリックし、HP Instant Share の登録を行って、HP Passport アカウントを作成。
– 電子メールを複数のアドレスに送信。複数のアドレスのリンクをクリック。
– 複数の画像をまとめて友人または家族のネットワーク接続デバイスに送信。「**電子メール アドレス**」 フィールドの@send.hp.com の前に、受信者がデバイスに割り当てた名前を入力してください。HP Passport の 「**ユーザー ID**」 と 「**パスワード**」 を使用して HP Instant Share にサインインするように要求されます。

注記 HP Instant Share をまだセットアップしていない場合には、「**HP Passport サインイン**」 画面の 「**HP Passport のアカウントを作成する** 」 をクリックします。HP Passport のユーザー ID とパスワードを取得します。

注記 コントロール パネルの 「**フォト**」 領域にある 「**メニュー**」 ボタンを使用してメモリ カードから画像を送信することもできます。詳細については、メモリ カードの使用または PictBridge の使用 を参照してください。

メモリ カードを挿入してあとから写真を送信するには

1 メモリ カードを HP all-in-one の適切なスロットに挿入します。
しばらくすると、HP all-in-one がアイドル モードになります。カラー グラフィック ディスプレイにアイドル画面が表示されると、HP all-in-one はアイドル モードです。
2 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。
「**どこから送信しますか?**」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
3 「**1**」 を押して 「**メモリ カード**」 を選択します。

メモリ カードの最初の写真がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。

4 メモリ カードを挿入して、すぐに写真を送信するには のステップに従ってください (ステップ 2 から開始)。

スキャンした画像を送信する

スキャンした画像を共有するには、本体のコントロール パネルにある 「**HP Instant Share**」 を押します。「**HP Instant Share**」 ボタンを使用する場合は、ガラス板の上に画像を置いて、画像を送信する手段としてスキャナを選択し、さらに送信先を選択してから、スキャンを開始します。

注記 画像をスキャンする方法については、スキャン機能の使用を参照してください。

スキャンした画像を HP all-in-one から送信するには

1 表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を乗せます。

2 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。
「**どこから送信しますか?**」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。

3 「**2**」 を押して 「**スキャナ**」 を選択します。
画像がスキャンされ、コンピュータにアップロードされます。
Windows をご使用の場合、コンピュータで 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアが起動します。「**HP Instant Share**」 タブが開きます。[選択トレイ] に、スキャンした画像のサムネイルが表示されます。「**HP Image Zone**」 の詳細については、オンスクリーン ヘルプの「「**HP Image Zone**」 の使用」を参照してください。
Macintosh をご使用の場合、コンピュータで 「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアが起動します。「**HP Instant Share**」 ウィンドウに、スキャンした画像のサムネイルが表示されます。

注記 Macintosh OS X v10.1.5 以前 (または OS 9 v9.1.5) をご使用の場合、Macintosh 上の 「**HP ギャラリ**」に写真がアップロードされます。「**[電子メール]**」 をクリックします。コンピュータの画面に表示される指示に従うと、スキャンした画像を電子メールの添付ファイルとして送信できます。

4 以下のうち、ご使用のオペレーティング システムに適した手順に従ってください。

Windows ベースのコンピュータをご使用の場合

a 「**HP Instant Share**」 タブの 「**コントロール**」 または 「**作業**」 からスキャンした画像を送信するために使用するリンクまたはサービスのアイコンをクリックします。

注記 「**すべてのサービスを見る**」をクリックすると、お住まいの国/地域で利用できるサービスすべての中から、いずれかを選択で

HP Instant Share (USB)

きます。たとえば、「**HP Instant Share メール送信**」 および「**オンライン アルバムの作成**」 などです。画面上の指示に従って操作してください。

「**インターネットに接続**」 画面が作業領域に表示されます。

b 「**次へ**」 をクリックし、画面上の指示に従って操作します。

Macintosh をご使用の場合

a 共有するスキャンした画像が 「**HP Instant Share**」 ウィンドウに表示されていることを確認します。
写真を削除するには 「**-**」 ボタンを使用し、ウィンドウに写真を追加するには 「**+**」 ボタンを使用します。

b 「**続行**」 をクリックし、画面上の指示に従って操作します。

c HP Instant Share サービス一覧から、スキャンした画像を送信するために使用するサービスを選択します。

d 画面上の指示に従って操作してください。

5 「**HP Instant Share メール送信**」 サービスからは次のことが可能です。

– 写真のサムネイル画像が添付された電子メール メッセージを送信。画像は Web で表示、印刷、保存できる。

– 電子メールのアドレス帳を開いて利用。「**アドレス帳**」 をクリックし、HP Instant Share の登録を行って、HP Passport アカウントを作成。

– 電子メールを複数のアドレスに送信。複数のアドレスのリンクをクリック。

– 複数の画像をまとめて友人または家族のネットワーク接続デバイスに送信。「**電子メール アドレス**」 フィールドの@send.hp.com の前に、受信者がデバイスに割り当てた名前を入力してください。HP Passport の 「**ユーザー ID**」 と 「**パスワード**」 を使用して HP Instant Share にサインインするように要求されます。

注記 HP Instant Share をまだセットアップしていない場合には、「**HP Passport サインイン**」 画面の 「**HP Passport のアカウントを作成する** 」 をクリックします。HP Passport のユーザー ID とパスワードを取得します。

注記 「**スキャン to**」 ボタンを使用してスキャンした画像を送信することもできます。詳しくは、スキャン機能の使用を参照してください。

コンピュータを使用して画像を送信する

画像は、HP all-in-one を使用して HP Instant Share を介して送信できます。また、コンピュータにインストールされている 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して送信することもできます。「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用すると、画像を選択して編集でき、それから HP Instant Share にア

クセスして、サービス (たとえば、「**HP Instant Share メール送信**」) を選択して、画層を送信できます。少なくとも、以下の方法で画像を共有できます。

- HP Instant Share メール送信 (電子メール アドレスへ送信)
- HP Instant Share メール送信 (本体への送信)
- オンライン アルバム
- オンライン写真仕上げサービス (国/地域によってはご利用になれないことがあります)

「HP Image Zone」 ソフトウェアを使用して画像を送信する (Windows)

友人や家族と画像を共有するには、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用します。「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを起動して共有する画像を選択し、「**HP Instant Share メール送信**」 サービスを使用してその画像を送信します。

注記 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアの使用方法については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

「HP Image Zone」 ソフトウェアを使用するには

1 デスクトップにある 「**HP Image Zone**」 のアイコンをダブルクリックします。
コンピュータに 「**HP Image Zone**」 のウィンドウが表示されます。このウィンドウに 「**マイ イメージ**」 タブが表示されます。
2 画像が保存されているフォルダから、画像を選択します。
詳細については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

注記 「**HP Image Zone**」 の画像編集ツールを使用すると、画像を編集することができます。詳細については、オンスクリーンの「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

3 「**HP Instant Share**」 タブをクリックします。
「**HP Image Zone**」 のウィンドウに 「**HP Instant Share**」 タブが表示されます。
4 「**HP Instant Share**」 タブの 「**コントロール**」 または 「**作業**」 からスキャンした画像を送信するために使用するリンクまたはサービスのアイコンをクリックします。

注記 「**すべてのサービスを見る**」をクリックすると、お住まいの国/地域で利用できるサービスすべての中から、いずれかを選択できます。たとえば、「**HP Instant Share メール送信**」 および 「**オンライン アルバムの作成**」 などです。画面上の指示に従って操作してください。

「**HP Instant Share**」 タブの「**作業**」領域に、「**インターネットに接続**」画面が表示されます。
5 「**次へ**」 をクリックし、画面上の指示に従って操作します。

6 「**HP Instant Share メール送信**」 サービスからは次のことが可能です。
   – 写真のサムネイル画像が添付された電子メール メッセージを送信。画像は Web で表示、印刷、保存できる。
   – 電子メールのアドレス帳を開いて利用。「**アドレス帳**」 をクリックし、HP Instant Share の登録を行って、HP Passport アカウントを作成。
   – 電子メールを複数のアドレスに送信。複数のアドレスのリンクをクリック。
   – 複数の画像をまとめて友人または家族のネットワーク接続デバイスに送信。「**電子メール アドレス**」 フィールドの@send.hp.com の前に、受信者がデバイスに割り当てた名前を入力してください。HP Passport の 「**ユーザー ID**」 と 「**パスワード**」 を使用して HP Instant Share にサインインするように要求されます。

   注記 HP Instant Share をまだセットアップしていない場合には、「**HP Passport サインイン**」 画面の 「**HP Passport のアカウントを作成する**」 をクリックします。HP Passport のユーザー ID とパスワードを取得します。

HP Instant Share クライアント アプリケーション ソフトウェアによる画像の送信 (Macintosh OS X v10.1.5 以降)

注記 Macintosh OS X v10.2.0 および v10.2.1、v10.2.2 は、サポートされて「**いません**」。

友人や家族と画像を共有するには、HP Instant Share クライアント アプリケーションを使用します。HP Instant Share ウィンドウを起動して共有する画像を選択し、「**HP Instant Share メール送信**」 サービスを使用してその画像を送信します。

注記 「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーションの使用方法については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

HP Instant Share クライアント アプリケーションを使用するには

1 Dock の 「**HP Image Zone**」 のアイコンを選択します。
   すると、「**HP Image Zone**」 が起動します。
2 「**HP Image Zone**」 で、ウィンドウの上部にある 「**サービス**」 ボタンをクリックします。
   すると、「**HP Image Zone**」 の下部にアプリケーションの一覧が表示されます。
3 アプリケーションのリストから、「**HP Instant Share**」 を選択します。
   コンピュータで 「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアが起動します。
4 「**+**」 ボタンを使用してウィンドウに画像を追加するか、「**-**」 ボタンを使用して画像を削除します。

注記 「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーションの使用方法については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

5 共有する画像が 「**HP Instant Share**」ウィンドウに表示されていることを確認します。
6 「**続行**」 をクリックし、画面上の指示に従って操作します。
7 HP Instant Share サービス一覧から、スキャンした画像を送信するために使用するサービスを選択します。
8 画面上の指示に従って操作してください。
9 「**HP Instant Share メール送信**」 サービスからは次のことが可能です。
   – 写真のサムネイル画像が添付された電子メール メッセージを送信。画像は Web で表示、印刷、保存できる。
   – 電子メールのアドレス帳を開いて利用。「**アドレス帳**」 をクリックし、HP Instant Share の登録を行って、HP Passport アカウントを作成。
   – 電子メールを複数のアドレスに送信。複数のアドレスのリンクをクリック。
   – 複数の画像をまとめて友人または家族のネットワーク接続デバイスに送信。「**電子メール アドレス**」 フィールドの@send.hp.com の前に、受信者がデバイスに割り当てた名前を入力してください。HP Passport の 「**ユーザー ID**」 と 「**パスワード**」 を使用して HP Instant Share にサインインするように要求されます。

     注記 HP Instant Share をまだセットアップしていない場合には、「**HP Passport サインイン**」 画面の 「**HP Passport のアカウントを作成する** 」 をクリックします。HP Passport のユーザー ID とパスワードを取得します。

「HP ディレクタ」 を使用して画像を共有する (Machintosh OS X v10.1.5 以前)

注記 Macintosh OS X v10.0 および v10.0.4 は、サポートされて「**いません**」。

電子メール アカウントを持っている相手であれば誰とでも画像を共有できます。操作は簡単です。まず、「**HP ディレクタ**」を起動し、「**HP ギャラリ**」を開きます。次に、コンピュータにインストールされている電子メール アプリケーションで、電子メール メッセージを新規作成します。

注記 詳細については、オンスクリーンの 「**HP フォト イメージング ヘルプ**」で、HP イメージング ギャラリに関するセクションを参照してください。

「HP ディレクタ」で電子メール オプションを使用するには

1 次の方法で 「**HP ディレクタ**」のメニューを表示します。
   – OS X では、Dock にある 「**HP ディレクタ**」のアイコンを選択します。
   – OS 9 では、デスクトップにある 「**HP ディレクタ**」へのショートカットをダブルクリックします。
2 次の方法で 「**HP フォト イメージング ギャラリ**」を開きます。
   – OS X では、HP　ImageZone から HP ギャラリ を選択します。
   – OS 9 では、[「**HP ギャラリ**」] をクリックします。
3 共有する画像を選択します。
   詳細については、オンスクリーンの 「**HP フォト イメージング ヘルプ**」を参照してください。
4 「**[電子メール]**」 をクリックします。
   Macintosh で電子メール プログラムが開きます。
   コンピュータの画面に表示される指示に従うと、画像を電子メールの添付ファイルとして共有できます。

13 HP Instant Share を使用する（ネットワーク）

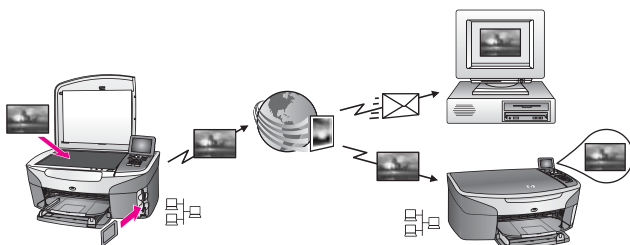
HP Instant Share を使用すると、家族や友人と写真を簡単に共有できます。写真をスキャンする、または HP all-in-one のカード スロットにメモリ カードを挿入した後、共有する写真を選択し、送信先を選択して写真を送信するだけです。また、オンライン フォト アルバムや、オンライン写真仕上げサービスに写真をアップロードすることもできます。利用できるサービスは、国/地域によって異なります。

概要

HP all-in-one がネットワークに接続していて、インターネットに直接アクセスできる場合 (インターネットの接続にコンピュータを使用しない場合) には、デバイスが提供する HP Instant Share の機能を制限なく利用することができます。利用できる機能には、HP all-in-one で画像を送受信する機能や、リモート印刷をする機能があります。次に、各機能について説明します。

注記　画像には、写真やスキャンした原稿があります。どちらも、HP all-in-one と HP Instant Share を使用して友人や家族と共有できます。

HP Instant Share Send



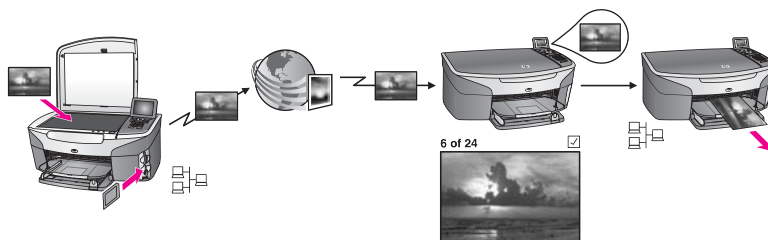
HP Instant Share Send を使用して、HP all-in-one から指定の送信先に、HP Instant Share サービス経由で画像を送信できます。(コンピュータにインストールした、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアからも画像を送信できます。)送信先に指定できるのは、電子メール アドレス、友人や家族が使用しているネットワークに接続しているプリンタ、オンライン フォト アルバム、またはオンライン写真仕上げサービスです。利用できるサービスは、国/地域によって異なります。詳しくは、HP all-in-one から直接画像を送信するを参照してください。

注記　HP All-in-One に HP Instant Share 機能がある場合、ネットワークに接続しているプリンタとは、ホーム ネットワークを介してインターネットに接続する、またはコンピュータを使用しないでインターネットに

接続するもののことです。デバイスがネットワークに接続されていて、USB ケーブルでコンピュータにも接続されている場合は、ネットワーク接続が優先されます。

ネットワークに接続できることを表す記号は です。

HP Instant Share Receive



HP Instant Share Receive を使用すると、HP Instant Share サービスにアクセスして、HP Passport のユーザー ID とパスワードを取得した友人や家族なら、誰からでも画像を受信できます。

任意の送信者または特定の送信者から画像を受信

HP Passport アカウントがある任意の送信者 (オープン モード) または特定の送信者 (プライベート モード) からでも画像を受信できます。

- 任意の送信者から受信する場合、画像の送信者に、使用している HP all-in-one の名前を知らせる必要があります。デバイスに名前が割り当てられるのは、HP all-in-one で HP Instant Share をセットアップして、使用しているプリンタを登録するときです。デバイス名は、大文字と小文字を区別しません。
  オープン モード (任意の送信者から受信) はデフォルトの受信モードです。オープン モードでの受信の詳細については、任意の送信者から受信する (オープン モード)を参照してください。
  HP Instant Share アクセス リストを使用して、特定の相手から HP all-in-one への送信を防ぐことができます。アクセス リストの使用の詳細については、HP Instant Share サービス オンスクリーン ヘルプを参照してください。
- 特定の送信者からの受信を選択する場合、画像を受信する相手を HP Instant Share アクセス リストに追加してから、各送信者にアクセス権限を割り当てます。アクセス権限割り当ての詳細については、HP Instant Share サービス オンスクリーン ヘルプを参照してください。

受信画像のプレビューまたは自動印刷

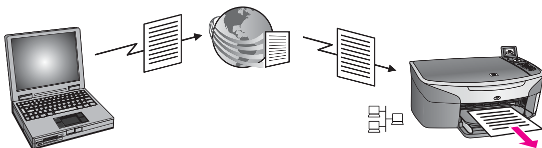
HP Instant Share では、画像コレクションをプレビューしてから印刷することも、自動的に画像コレクションを HP all-in-one で印刷することもできま

す。自動印刷権限は、HP Instant Share アクセス リストから送信者ごとに有効にすることができます。

自動印刷権限を割り当てた送信者からのコレクションだけが自動的にデバイスで印刷されます。それ以外のコレクションは、いずれもプレビュー モードで受信されます。

注記 HP Instant Share Receive の詳細については、画像を受信するを参照してください。

HP リモート印刷



HP リモート印刷を使用すると、Windows アプリケーションから、別の場所にあるネットワーク接続プリンタに出力できます。たとえば、HP リモート プリンタ ドライバを使用すれば、喫茶店でノートパソコンを操作して、自宅にある HP all-in-one で印刷できるようになります。また、家から、仮想プライベート ネットワーク (VPN) を経由して会社にあるプリンタで印刷することもできます。詳しくは、ドキュメントをリモート印刷するを参照してください。

さらに、ネットワークに接続しているプリンタを持っていない友人や家族がリモート プリンタ ドライバを自分のコンピュータにダウンロードすると、お客様がお使いの HP all-in-one で印刷できるようになります (ただし、プリンタの名前を相手に知らせている場合に限ります)。詳しくは、ドキュメントをリモート印刷するを参照してください。

はじめに

HP all-in-one で HP Instant Share を使用するには、次のものが必要です。

- ローカル エリア ネットワーク (LAN)またはワイヤレス LAN
- LAN または WAN に接続された HP all-in-one
- インターネット サービス プロバイダ (ISP) を利用した、インターネットへの直接アクセス
- HP Passport のユーザー ID とパスワード
- デバイスへの HP Instant Share のセットアップ

次の方法で、HP Instant Share をセットアップして、HP Passport のユーザー ID とパスワードを取得できます。

- コンピュータの 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアから
- HP all-in-one のコントロール パネルの [HP Instant Share] ボタンを押して
- ソフトウェアのインストールの最後に表示されるオプションを使用する (Macintosh のみ)

詳細については、「**HP Instant Share セットアップ ウィザード**」 オンスクリーン ヘルプを参照してください。

注記　HP all-in-one のソフトウェアをインストールするときに 「**標準**」インストールを選択したかどうかを確認してください。HP Instant Share は、最小インストールをするとプリンタでは「**機能しません**」。

HP Passport ユーザー ID とパスワードを取得し、HP all-in-one に固有の名前を付けて、デバイスを登録したら、任意でアクセス リストに送信者を追加して送信先を作成できます。あとからアクセス リストを使用して送信者を追加して送信先を作成する場合、次のトピックの指示に従ってください。

注記　HP Instant Share でサインアップして、使用している HP all-in-one を登録すると、自動的にデバイスのアクセス リストに登録されて、自動印刷権限が与えられます。HP Instant Share メンバになり、デバイスを登録する方法の詳細については、はじめに を参照してください。

送信先を作成する

送信先を作成して、送信者が画像を送信する先を指定できるようにします。送信先に指定できるのは、電子メール アドレス、友人や家族が使用しているネットワーク接続デバイス、オンライン フォト アルバム、またはオンライン写真仕上げサービスなどです。利用できるサービスは、国/地域によって異なります。

注記　送信先は、HP Instant Share サービスに作成しますが、HP all-in-one からアクセスします。

送信先を作成するには

1. HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。
   「**HP Instant Share**」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2. 「**4**」 を押し、 「**新しい送信者の追加**」を選択します。
   「**コンピュータの選択**」 メニューが表示され、お使いのネットワークに接続されているコンピュータがリスト表示されます。
3. リストからコンピュータを選択します。

注記　選択したコンピュータには「**HP Image Zone**」ソフトウェアがインストールされている必要があり、そのコンピュータは HP Instant Share サービスにアクセスできる必要があります。

コンピュータのウィンドウに HP Instant Share サービス画面が表示されます。

4 HP Passport の「**ユーザー ID**」と「**パスワード**」を使用して、HP Instant Share にサインインします。
HP Instant Share マネージャが表示されます。

注記　HP Instant Share サービスに HP Passport「**ユーザー ID**」と「**パスワード**」を記憶させておけば、要求メッセージは表示されません。

5 「**共有**」タブを選択してオンスクリーンの指示に従い、新しい送信先を作成します。
詳細については、オンスクリーン ヘルプを参照してください。
複数の画像をまとめて友人または家族のネットワーク接続デバイスに送信する場合、「**電子メール アドレス**」フィールドの@send.hp.com の前に、受信者がデバイスに割り当てた名前を入力してください。

注記　本体へ送信するには 1) 送信者と受信者両方が、HP Passport のユーザー ID とパスワードが必要です。2) 画層送信先のデバイスは、HP Instant Share に登録されている必要があります。3) 画像は、「**HP Instant Share メール送信**」または HP リモート印刷を使用して送信する必要があります。

「**HP Instant Share メール送信**」にデバイス送信先を設定したり、HP リモート印刷で使用するプリンタを追加したりする前に、受信者がネットワーク接続デバイスに割り当てた固有の名前を尋ねてください。プリンタに名前が作成されるのは、ユーザーが HP Instant Share でサインアップして、使用しているプリンタを登録するときです。詳しくは、はじめにを参照してください。

6 送信先の作成後は、HP all-in-one に戻ると、画像を送信できます。
詳しくは、HP all-in-one から直接画像を送信するを参照してください。

HP Instant Share アクセス リストを使用する

アクセス リストは、 HP all-in-one の設定が、オープン モードでも、プライベート モードでも使用できます。

- オープン モードでは、HP Passport アカウントがあり、受信者のデバイスに割り当てた名前を知っている任意の送信者から画像コレクションを受信します。オープン モードでの受信を選択すると、送信者にデバイスへの画像送信を許可することになります。

自動印刷権限の割り当てにはアクセス リストを使用します。画像の受信を拒否するように指定することもできます。

- プライベート モードでは、アクセス リストで指定した送信者からだけ画像を受信します。リストに追加する相手には、HP Passport のユーザー ID とパスワードが必要です。
  送信者をリストに追加する場合、次のアクセス権限のうち 1 つの権限を与えます。
  - 許可:送信者から受信した画像を印刷する前にプレビューできる。
  - 自動受信:送信者から受信した画像を自動的にデバイスで印刷できる。
  - 拒否:送信者から不必要な画像を受信しない。

アクセス リストを使用するには

1. HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。
   「**HP Instant Share**」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2. 「**3**」 を押し、次に 「**5**」 を押します。
   「**Instant Share のオプション**」 メニューが表示され、「**アカウントを管理**」 が選択されます。
   「**コンピュータの選択**」 メニューが表示され、お使いのネットワークに接続されているコンピュータがリスト表示されます。
3. リストからコンピュータを選択します。

   注記 選択したコンピュータには 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアがインストールされている必要があり、そのコンピュータは HP Instant Share サービスにアクセスできる必要があります。

   コンピュータのウィンドウに HP Instant Share サービス画面が表示されます。
4. メッセージに従い、HP Passport の「**ユーザー ID**」 と「**パスワード**」を使用して HP Instant Share にサインインします。
   HP Instant Share マネージャが表示されます。

   注記 HP Instant Share サービスに HP Passport 「**ユーザー ID**」 と 「**パスワード**」 を記憶させておけば、要求メッセージは表示されません。

5. オンスクリーンの指示に従い、送信者を追加または削除し、アクセス リストを使用してアクセス権限を変更します。
   詳細については、オンスクリーン ヘルプを参照してください。

注記 アクセス リストに追加する各送信者の HP Passport のユーザー ID を取得する必要があります。送信者をリストに追加するには、ユーザー ID が必要です。送信者をリストに追加して、アクセス権限を許可すると、アクセス リストに送信者の情報が次のように表示されます。許可されたアクセス権限、名、姓、HP Passport ユーザー ID。

HP all-in-one から直接画像を送信する

画像には、写真やスキャンした文書があります。どちらも、HP all-in-one と HP Instant Share を使用して友人や家族と共有できます。メモリ カードから写真を選択するか、画像をスキャンした後で、HP all-in-one のコントロール パネルにある 「**HP Instant Share**」 を押し、送信先を選んで画像を送信してください。詳細については、次のトピックを参照してください。

注記　ネットワークに接続しているプリンタに送信する場合、受信側のプリンタを HP Instant Share に登録する必要があります。

メモリ カードから写真を送信する

HP all-in-one では、メモリ カードを挿入して、すぐに写真を送信することも、後から送信することもできます。すぐに写真を送信する場合は、メモリ カードをカード スロットに挿入して、写真を 選択し、本体のコントロール パネルにある 「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。

メモリ カードを挿入してから、あとで写真を送信する場合、HP all-in-one はアイドル モードになっています。「**HP Instant Share**」 を押し、指示に従えば、写真を選択して共有できます。

注記　メモリ カードの使用方法については、メモリ カードの使用または PictBridge の使用を参照してください。

友人や家族が使用しているネットワーク接続プリンタに写真を送信するには

1　友人や家族 (受信者) から、使用しているネットワークに接続しているプリンタの名前を入手します。

　注記　プリンタに名前が割り当てられるのは、HP Instant Share をセットアップして HP all-in-one を登録したときです。デバイス名は、大文字と小文字を区別しません。

2　受信者が、オープン モードで受信していること、または受信側のデバイスのアクセス リストに、自分の HP Passport のユーザー ID が追加されているか確認します。
　詳細については、任意の送信者から受信する (オープン モード)および HP Instant Share アクセス リストを使用するを参照してください。
3　受信者から取得したデバイス名を使用して送信先を作成します。
　詳しくは、送信先を作成するを参照してください。
4　「**HP Instant Share**」 ボタンを押して、写真を送信します。
　詳細については、次の手順を参照してください。

メモリ カードを挿入して、すぐに写真を送信するには

1　メモリ カードが HP all-in-one のカード スロットに挿入されていることを確認します。
2　写真を 1 枚以上選択します。
　写真の選択方法については、メモリ カードの使用または PictBridge の使用を参照してください。

注記 動画ファイル タイプは、HP Instant Share サービスではサポートされない場合があります。

3 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。
「共有メニュー」 がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
「共有メニュー」 に、HP Instant Share サービスに作成した送信先が表示されます。詳しくは、送信先を作成するを参照してください。
4 矢印 (▲ と ▼) を使用すると、写真の送信先を強調表示できます。
5 「**OK**」 ボタンを押して、送信先を指定し、写真を送信します。

注記 コントロール パネルの 「**フォト**」 領域にある 「**メニュー**」 ボタンを使用してメモリ カードから画像を送信することもできます。詳細については、メモリ カードの使用または PictBridge の使用 を参照してください。

メモリ カードを挿入してあとから写真を送信するには

1 メモリ カードを HP all-in-one の適切なスロットに挿入します。
しばらくすると、HP all-in-one がアイドル モードになります。カラー グラフィック ディスプレイにアイドル画面が表示されると、HP all-in-one はアイドル モードです。
2 写真を送信する準備ができたら、HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 を押します。.
「**HP Instant Share**」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
3 「**1**」 を押して 「**[送信]**」 を選択します。
「**どこから送信しますか?**」 メニューが表示されます。
4 「**1**」 を押して 「メモリ カード」 を選択します。
メモリ カードの最初の写真がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
5 写真を 1 枚以上選択します。
写真の選択方法については、メモリ カードの使用または PictBridge の使用を参照してください。
6 コントロール パネルの 「**フォト**」 領域にある 「**メニュー**」 ボタンを押します。
「共有メニュー」 が表示されます。
「共有メニュー」 に、HP Instant Share サービスに作成した送信先が表示されます。詳しくは、送信先を作成するを参照してください。
7 矢印 (▲ と ▼) を使用すると、写真の送信先を強調表示できます。
8 「**OK**」 ボタンを押して、送信先を指定し、写真を送信します。

送信先ファイルから写真を送信する

ご使用の HP デジタル カメラが HP Instant Share をサポートしている場合、メモリ カードの写真に送信先を割り当てることができます。割り当てられた写真は送信先ファイルに保存されます。カメラからメモリ カードを取り出し

て、HP all-in-one のカード スロットにメモリ カードを挿入すると、HP all-in-one がメモリ カードを読み取り、割り当てられた送信先に写真を送信します。

HP デジタル カメラで割り当てた送信先に写真を送信するには

1 メモリ カードが HP all-in-one のカード スロットに挿入されていることを確認します。
詳しくは、メモリ カードの使用または PictBridge の使用を参照してください。
「送信先が見つかりました」 ダイアログ ボックスがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2 「**1**」 を押して、「はい、写真を HP Instant Share に送信します」 を選択します。
写真は割り当てられた送信先に送信されます。

注記 多数の送信先に写真を送信すると、時間がかかり、HP all-in-one が一度の処理で送信できる送信先の最大数を超過する可能性があります。

スキャンした画像を送信する

スキャンした画像を共有するには、本体のコントロール パネルにある 「**HP Instant Share**」 を押します。「**HP Instant Share**」 ボタンを使用する場合は、ガラス板の上に画像を置いて、画像を送信する手段としてスキャナを選択し、さらに送信先を選択してから、スキャンを開始します。

注記 画像をスキャンする方法については、スキャン機能の使用を参照してください。

スキャンした画像を友人や家族が使用しているネットワーク接続デバイスに送信するには

1 友人や家族 (受信者) から、使用しているネットワークに接続しているプリンタの名前を入手します。

注記 プリンタに名前が割り当てられるのは、HP Instant Share をセットアップして HP all-in-one を登録したときです。デバイス名は、大文字と小文字を区別しません。

2 受信者が、オープン モードで受信していること、または受信側のデバイスのアクセス リストに、自分の HP Passport のユーザー ID が追加されているか確認します。
詳細については、任意の送信者から受信する (オープン モード)および HP Instant Share アクセス リストを使用するを参照してください。
3 友人や家族から入手したプリンタの名前を使用して、送信先を作成します。
詳しくは、送信先を作成するを参照してください。
4 「**HP Instant Share**」 ボタンを押して、写真を送信します。
詳細については、次の手順を参照してください。

スキャンした画像を HP all-in-one から送信するには

1 表を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿を乗せます。
2 プリンタのコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。
「HP Instant Share」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
3 「**1**」 を押して 「送信」 を選択します。
「どこから送信しますか?」 メニューが表示されます。
4 「**2**」 を押して 「スキャナ] または [フィーダ」 を選択します。
「共有メニュー」 が表示されます。
「共有メニュー」 に、HP Instant Share サービスに作成した送信先が表示されます。詳しくは、送信先を作成するを参照してください。
5 矢印 (▲ と ▼) を使用して、画像の送信先を強調表示します。
6 「**OK**」 ボタンを押して、送信先を選択し、スキャンを開始します。

注記 自動ドキュメント フィーダに原稿が検出されたら、1 ページ以上がスキャンされます。自動ドキュメント フィーダに原稿が検出されなければ、スキャナ ガラス面から 1 ページだけがスキャンされます。

画像がスキャンされ、選択した送信先に送信されます。

注記 自動ドキュメント フィーダから複数のページをスキャンした場合、画像が数枚ずつに分かれて送信される場合があります。数枚ずつに分かれて画像が送信される場合、受信者は複数の画像コレクションや電子メール メッセージを受信することになります。

注記 「**スキャン to**」 ボタンを使用してスキャンした画像を送信することもできます。詳しくは、スキャン機能の使用を参照してください。

画像の送信をキャンセルする

画像の送信は、送信先の数に関係なく、プリンタのコントロール パネルの「**キャンセル**」 ボタンを押すと、いつでもキャンセルできます。キャンセルは、画像のコレクションがすでに HP Instant Share サービスにアップロードされているかどうかで異なります。

- コレクションが HP Instant Share サービスに完全にアップロードされている場合、そのコレクションは送信先に送信されます。
- コレクションが HP Instant Share サービスにアップロードされている途中の場合、そのコレクションは送信先に送信されません。

コンピュータを使用して画像を送信する

画像は、HP all-in-one を使用して HP Instant Share を介して送信できます。また、コンピュータにインストールされている 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して送信することもできます。「**HP Image Zone**」 ソフトウェアでは、画像を選択して編集した後、HP Instant Share にアクセスしてサー

ビス (「**HP Instant Share メール送信**」 など) を選択し、画像を送信することができます。少なくとも、以下の方法で画像を共有できます。

- HP Instant Share メール送信 (電子メール アドレスへ送信)
- HP Instant Share メール送信 (プリンタへ送信)
- オンライン アルバム
- オンライン写真仕上げサービス (国/地域によってはご利用になれないことがあります)

注記 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して、画像コレクションを受信することはできません。

HP Instant Share メール送信 (本体への送信) を使用して画像を共有する場合、以下のタスクを実行してください。

- 受信者がネットワーク接続デバイスに割り当てた名前を入力してください。

  注記 プリンタに名前が割り当てられるのは、HP Instant Share をセットアップして HP all-in-one を登録したときです。詳しくは、はじめにを参照してください。

- 受信者が、オープン モードで受信していること、または受信側のデバイスのアクセス リストに、自分の HP Passport のユーザー ID が追加されているか確認します。
  詳細については、任意の送信者から受信する (オープン モード)およびHP Instant Share アクセス リストを使用するを参照してください。
- オペレーティング システム別の指示に従ってください。

「HP Image Zone」 から画像を送信するには (Windows をご使用の場合)

1 デスクトップにある 「**HP Image Zone**」 のアイコンをダブルクリックします。
コンピュータに 「**HP Image Zone**」 のウィンドウが表示されます。このウィンドウに 「**マイ イメージ**」 タブが表示されます。
2 画像が保存されているフォルダから、画像を選択します。
詳細については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

   注記 「**HP Image Zone**」 の画像編集ツールを使用すると、画像を編集することができます。詳細については、オンスクリーンの「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

3 「**HP Instant Share**」 タブをクリックします。
「**HP Image Zone**」 のウィンドウに 「**HP Instant Share**」 タブが表示されます。
4 「**コントロール**」 で、「**すべてのサービスを見る**」 をクリックします。
「**HP Instant Share**」 タブの「**作業**」 に、「**インターネットに接続**」 画面が表示されます。
5 「**[次へ]**」 をクリックします。

6 サービス一覧から、画像を送信するために使用するサービスを選択します。
7 画面上の指示に従って操作してください。
詳細については、オンスクリーン ヘルプを参照してください。
複数の画像をまとめて友人または家族のネットワーク接続デバイスに送信する場合、「**HP Instant Share メール送信**」 を選択します。 「**電子メール アドレス**」 フィールドの@send.hp.com の前に、受信者がデバイスに割り当てた名前を入力してください。 HP Passport の 「**ユーザー ID**」 と 「**パスワード**」 を使用して HP Instant Share にサインインするように要求されます。

注記 HP Instant Share をまだセットアップしていない場合には、「**HP Passport サインイン**」 画面の 「**HP Passport のアカウントを作成する** 」 をクリックします。HP Passport のユーザー ID とパスワードを取得します。「**地域と使用条件**」 画面で、お住まいの国/地域を選択し、「**使用条件**」 に同意します。

「HP Image Zone」 から画像を送信するには (Macintosh OS X v10.1.5 以降をご使用の場合)

注記 Macintosh OS X v10.2.0 および v10.2.1、v10.2.2 は、サポートされていません。

1 Dock の 「**HP Image Zone**」 のアイコンを選択します。
すると、「**HP Image Zone**」 が起動します。
2 「**HP Image Zone**」 で、ウィンドウの上部にある 「**サービス**」 ボタンをクリックします。
すると、「**HP Image Zone**」 の下部にアプリケーションの一覧が表示されます。
3 アプリケーションの一覧から、「**HP Instant Share**」 を選択します。
コンピュータで 「**HP Instant Share**」 クライアント アプリケーション ソフトウェアが起動します。
4 共有する画像を 「**HP Instant Share**」 ウィンドウに追加します。
詳細については、「**HP Image Zone ヘルプ**」の HP Instant Share に関する章を参照してください。
5 画像をすべて追加したら、「**続行**」 をクリックします。
6 画面上の指示に従って操作してください。
7 サービス一覧から、画像を送信するために使用するサービスを選択します。
8 画面上の指示に従って操作してください。
詳細については、オンスクリーン ヘルプを参照してください。
複数の画像をまとめて友人または家族のネットワーク接続デバイスに送信する場合、「**HP Instant Share メール送信**」 を選択します。「**電子メール アドレス**」 フィールドの@send.hp.com の前に、受信者がデバイスに割り当てた名前を入力してください。 HP Passport の 「**ユーザー ID**」 と 「**パスワード**」 を使用して HP Instant Share にサインインするように要求されます。

注記　HP Instant Share をまだセットアップしていない場合には、「**HP Passport サインイン**」 画面の 「**HP Passport のアカウントを作成する** 」 をクリックします。HP Passport のユーザー ID とパスワードを取得します。「**地域と使用条件**」 画面で、お住まいの国/地域を選択し、「**使用条件**」 に同意します。

画像を受信する

画像は、ネットワークに接続しているプリンタから、ほかのネットワークに接続しているプリンタに送信できます。HP Passport ユーザー ID とパスワードがある任意の送信者 (オープン モード) または特定グループの送信者 (プライベート モード) から画像のコレクションを受信できます。デフォルトの受信モードはオープン モードです。詳しくは、HP Instant Share Receive を参照してください。

注記　画像コレクション (または複数の画像) とは、相手から特定の送信先、この場合はご使用のデバイスに送信されるまとまった画像です。

任意の送信者から受信する (オープン モード)

HP all-in-one は、デフォルトではオープン モードに設定されています。使用しているデバイスの名前を教えると、有効な HP Passport アカウントを持っている友人や家族が、画像コレクションを送信できます。HP Instant Share アクセス リストで送信者に自動印刷権限を与えない限り、コレクションが自動的に印刷されることはあり「**ません**」。詳しくは、HP Instant Share アクセス リストを使用するを参照してください。

注記　HP all-in-one が、任意の相手からの受信を設定している場合でも、特定の相手からの画像の受信を防ぐことができます。アクセス リストを使用すると簡単に防ぐことができます。詳しくは、HP Instant Share アクセス リストを使用するを参照してください。

HP Instant Share サービスの印刷ジョブ リストにアクセスして、デバイスに送信された画像を防ぐこともできます。

任意の送信者から画像を受信するには

1 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。
「**HP Instant Share**」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2 「**3**」 を押して 「**HP Instant Share のオプション**」 を選択します。
「**Instant Share のオプション**」 メニューが表示されます。
3 「**1**」 を押して 「**受信オプション**」 を選択します。
「**受信オプション**」 メニューが表示されます。
4 「**2**」 を押して 「**開いてすべてを受信**」 を選択します。

HP all-in-one は、デフォルトでは、画像コレクションの画像を印刷前にプレビューする設定されています。受信した画像を自動的に印刷する場合は、受信した画像を自動的に印刷するにはを参照してください。

特定グループの送信者から受信する (プライベート モード)

HP all-in-one をプライベート モードに設定すると、各自が HP Passport アカウントを持っている、許可された特定グループの送信者からだけ画像コレクションを受信できます。各送信者をアクセス リストに追加する必要があります。送信者をリストに追加して、アクセス権限を与えます。詳しくは、HP Instant Share アクセス リストを使用するを参照してください。

注記　プライベート モードでは、HP Passport アカウントがあり、権限を与えられるか自動印刷権限を許可された送信者からだけ画像コレクションを受信します。

プライベート モードでは、アクセス リストで自動印刷権限が与えられていない限り、受信した画像は手動で印刷されます。詳しくは、受信した画像を印刷するを参照してください。

To receive images from a specified group of allowed senders

1　送信者を HP Instant Share アクセス リストに追加して、権限を与えます。
詳しくは、HP Instant Share アクセス リストを使用するを参照してください。
2　リストの作成が完了したら、HP all-in-one のコントロール パネルの「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。
「**HP Instant Share**」 メニューが、カラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
3　「**3**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「**Instant Share のオプション**」 メニューが表示されて、「**受信オプション**」 が選択されます。
「**受信オプション**」 メニューが表示されます。
4　「**1**」 を押して、「**プライベート、許可した送信者から受信**」 を選択します。
5　画像コレクションの画像をプレビューしてから印刷する、または受信した画像をすべて自動的に印刷することを、HP all-in-one で設定します。
詳しくは、受信した画像を印刷するを参照してください。

受信した画像を印刷する

HP Instant Share サービスでは、デバイスに送信された画像コレクションを受信し、送信者に割り当てられた権限を (コレクションごとに) 表示します。HP all-in-one が、HP Instant Share サービスで受信した画像をチェックする方法には 2 通りあります。

- HP all-in-one がネットワーク接続で、HP Instant Share をセットアップしていれば、自動的に HP Instant Share サービスを一定間隔 (たとえば、

20 分ごと) で新しい画像コレクションがないかチェックします。このプロセスは、自動チェックと呼ばれ、デバイスではデフォルトで有効になっています。
HP all-in-one が、HP Instant Share サービスでコレクションの受信を検出したら、カラー グラフィック ディスプレイにアイコンが表示されて、コレクションを受信したことを知らせます。受信したコレクションが、自動印刷権限を許可した送信者からのものであれば、自動的に印刷されます。受信したコレクションが、許可した送信者で、自動印刷権限を「**持たない**」 送信者の場合、コレクションについての情報が HP all-in-one の 「**受信済**」 コレクション リストに表示されます。

- 自動チェックが有効でなければ、または自動チェックと自動チェックの間にコレクションを受信したか確認したい場合、「**HP Instant Share**」 メニューの 「**HP Instant Share**」 を押して、 「**受信**」 を選択します。「**受信**」 を選択すると、HP all-in-one は新しい画像コレクションをチェックし、デバイスの 「**受信済**」 コレクション リストにダウンロードします。受信したコレクションが、自動印刷権限を許可した送信者からのものであれば、「**今すぐ印刷**」 または 「**後で印刷**」 のメッセージが表示されます。「**今すぐ印刷**」 を選択すると、コレクションの画像が印刷されます。「**後で印刷**」 を選択すると、「**受信済**」 コレクション リストにコレクションの情報が表示されます。

次のセクションでは、受信した画像を印刷する方法、印刷サイズと関連した印刷オプションを設定する方法、印刷ジョブをキャンセルする方法を説明します。

受信した画像を自動的に印刷する

自動チェックをデバイスで有効にしていれば、自動印刷権限を許可した送信者から受信した画像は自動的に HP all-in-one で印刷されます。

受信した画像を自動的に印刷するには

1 送信者を HP Instant Share アクセス リストに追加して、自動印刷権限を与えます。
詳しくは、HP Instant Share アクセス リストを使用するを参照してください。
2 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。
「**HP Instant Share**」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
3 「**3**」 を押し、次に 「**2**」 を押します。
「**Instant Share のオプション**」 メニューが表示され、「**自動チェック**」 が選択されます。
「**自動チェック**」 メニューが表示されます。
4 「**1**」 を押して、「**オン**」 を選択します。
「**自動チェック**」 を [オン] にすると、HP all-in-one から HP Instant Share サービスに対して、お客様宛てに画像コレクションが届いているか、定期的に問い合わせます。コレクションが見つかり、自動印刷権限

を持つ送信者からのコレクションであれば、使用しているデバイスにダウンロードされて印刷されます。

注記 HP Instant Share サービスに手動で問い合わせるには、「**HP Instant Share**」 ボタンを押し、次に 「**2**」 を押して 「**HP Instant Share**」 メニューから 「**受信**」 を選択します。HP all-in-one から HP Instant Share サービスに対して問い合わせます。自動印刷対象の画像コレクションが見つかると、「**プリントジョブの準備完了**」 画面がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。「**1**」 を押して 「**今すぐ印刷**」 を選択すると、コレクションは印刷されます。さらに 「**受信済**」 コレクション 一覧に追加されます。「**2**」 を押して 「**後で印刷**」 を選択すると、コレクションは 「**受信済**」 コレクション 一覧に追加されるだけです。

受信した画像を手動で印刷するには

デバイスへの送信は許可されていて、自動印刷権限がない送信者から受信した画像のコレクションは、HP Instant Share サービスに保留され、HP all-in-one での処理決定待ちとなります。コレクションの画像をプレビューしてから印刷するかまたは画像をプレビューせずにコレクション全体を印刷できます。

画像をプレビューしてから印刷するには

1 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。
「**HP Instant Share**」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2 「**2**」 を押して、「**受信**」 を選択します。
HP all-in-one から HP Instant Share サービスに対して、お客様宛ての画像コレクションが届いているか問い合わせます。コレクションが見つかると、使用しているプリンタにダウンロードされます。カラー グラフィック ディスプレイには、「**受信済**」 コレクション一覧が表示されます。
3 矢印 (▲ と ▼) を使用して、表示するコレクションを選択します。
4 「**OK**」を押します。
5 コレクションから画像を選択します。
6 [フォトプリント]を押します
   – 「**フォト メニュー**」 ボタンを押すと、印刷前に印刷オプション (部数、画像サイズ、用紙サイズ、用紙の種類など) を選択することができます。オプションを選択したら、「**写真の印刷**」 ボタンを押します。
   – 「**フォトプリント**」 を押すと、「**印刷オプション**」 の設定に従い、選択した画像が印刷されます。

注記 印刷オプションの詳細については、写真の印刷オプションの設定を参照してください。

画像コレクションをプレビューしないで印刷するには

1. HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。
   「**HP Instant Share**」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2. 「**2**」 を押して、「**受信**」 を選択します。
   HP all-in-one から HP Instant Share サービスに対して、お客様宛ての画像コレクションが届いているか問い合わせます。コレクションが見つかると、使用しているプリンタにダウンロードされます。また、「**受信済**」 コレクション一覧が表示されます。
3. 矢印 (▲ と ▼) を使用して、印刷するコレクションを選択します。
4. [フォトプリント]を押します
   各画像の印刷情報に従って印刷されます。印刷情報がなければ、「**Instant Share のオプション**」 メニューで指定されたリモート印刷オプションで、画像が印刷されます。

印刷オプションを設定する

HP All-in-One でスキャンした画像は、指定された印刷サイズで、受信側のデバイスに転送されます。また、HP リモート印刷ドライバから転送された画像やドキュメントも、受信時には印刷サイズがすでに決まっています。受信したドキュメントや画像コレクションの印刷サイズが決められている場合には、次の規則に従って印刷されます。

- コレクションやドキュメントが自動印刷に設定されていれば、HP all-in-one では指定された印刷サイズが使用されます。
- コレクションやドキュメントをプレビューしてから印刷する場合は、HP all-in-one では、フォトメニューの「**印刷オプション**」 メニュー (デフォルトまたはユーザー選択) で指定したオプションが使用されます。
- コレクションやドキュメントをプレビューせずに印刷する場合は、HP all-in-one では指定された印刷サイズが使用されます。

カメラやメモリ カードから送信された画像は、印刷情報 「**なしで**」 受信側デバイスに転送されます。受信した画像や画像コレクションに「**印刷情報がない**」場合には、次の規則に従ってその画像や画像コレクションが印刷されます。

- 画像やコレクションが自動印刷に設定されていれば、HP all-in-one では、「**Instant Share のオプション**」 メニューで指定したリモート印刷のサイズオプションが使用されます。
- 画像やコレクションをプレビューしてから印刷する場合は、HP all-in-one では、フォトメニューの「**印刷オプション**」 メニュー (デフォルトまたはユーザー選択) で指定したオプションが使用されます。
- 画像コレクションをプレビューしないで印刷する場合は、HP all-in-one では、「**Instant Share のオプション**」 メニューで指定したリモート印刷のサイズオプションが使用されます。

上記の各規則に関するオプションの詳細は、以下のタスクで説明します。

自動印刷される画像コレクション用にリモート印刷のサイズオプションを設定するには

1 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。
「HP Instant Share」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2 「**3**」 を押し、次に 「**6**」 を押します。
「Instant Share のオプション」 メニューが表示され、「リモート印刷のサイズ」 が選択されます。
「画像サイズ」 メニューが表示されます。
3 矢印 (▲ と ▼) を使用して、適切な画像サイズを選択します。デフォルトの設定は 「ページに合わせる」 です。
詳しくは、写真の印刷オプションの設定を参照してください。

プレビューしてから印刷するコレクションに印刷オプションを設定するには

1 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。
「HP Instant Share」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2 「**2**」 を押して、「受信」 を選択します。
HP all-in-one から HP Instant Share サービスに対して、お客様宛ての画像コレクションが届いているか問い合わせます。コレクションが見つかると、使用しているプリンタにダウンロードされます。カラー グラフィック ディスプレイには、「受信済」 コレクション一覧が表示されます。
3 矢印 (▲ と ▼) を使用して、表示するコレクションを選択します。
4 「**OK**」を押します。
5 コレクションから画像を選択します。
6 コントロール パネルの 「**フォト**」 領域にある 「**メニュー**」 ボタンを押します。
「印刷オプション」 メニューが表示されます。
7 設定する項目を選択して (たとえば、部数、画像サイズ、用紙サイズ、用紙タイプ)、設定を選択します。

注記 印刷オプションの詳細については、写真の印刷オプションの設定を参照してください。

8 [フォトプリント]を押します

プレビューしないで印刷するコレクションに印刷オプションを設定するには

➔ 自動印刷される画像コレクション用にリモート印刷のサイズオプションを設定するには の指示に従ってください。

印刷ジョブをキャンセルする

HP all-in-one では、すべての処理をいつでもキャンセルできます。「**キャンセル**」 ボタンを押すと、受信ジョブ、プレビュー ジョブ、および印刷ジョブを停止できます。

- 「**HP Instant Share**」 メニューから 「**受信**」 を選択した後で、「**キャンセル**」 ボタンを押すと、デバイスは HP Instant Share サービスに、新しい画像コレクションが届いているかの確認を中止します。ディスプレイの表示は 「**HP Instant Share**」 メニューに戻ります。
- 画像コレクションをプレビュー中に 「**キャンセル**」 ボタンを押すと、印刷するために選択した画像は、すべて選択解除されます。ディスプレイの表示は 「**受信済**」 コレクション 一覧に戻ります。
- 画像コレクションの印刷を開始してから 「**キャンセル**」 を押すと、印刷ジョブは終了します。印刷中の画像と残りの画像は印刷されません。HP all-in-one はアイドル モードになります。

注記　キャンセルした印刷ジョブは自動的に再印刷されません。

受信した画像を削除する

HP all-in-one に表示される 「**受信済**」 コレクション リストには、最後に受信したコレクションから順に画像コレクションが表示されます。以前に受信したコレクションは、30 日で無効になります。(指定日数は変更される場合があります。最新の情報については、HP Instant Share サービスにある [サービス条件] を参照してください。)

多数のコレクションを受信した場合、表示されるコレクションの数を自分で減らすことができます。HP all-in-one には、「**受信済**」 コレクション 一覧から画像コレクションを削除する方法があります。

画像コレクションを削除するには

1. HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。
   「**HP Instant Share**」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2. 「**3**」 を押して 「**HP Instant Share のオプション**」 を選択します。
   「**Instant Share のオプション**」 メニューが表示されます。
3. 「**3**」 を押して、「**コレクションを削除**」 を選択します。
   「**コレクションを削除**」 一覧が表示されます。
4. 矢印 (▲ と ▼) を使用して、削除するコレクションを強調表示します。
5. 「**OK**」 ボタンを押して、削除するコレクションを選択します。
   もう一度 「**OK**」 ボタンを押すと、コレクションの選択を解除できます。
6. 削除するコレクションをすべて選択します。
7. 選択が完了したら、「**選択完了**」 ラベルを強調表示し、「**OK**」 ボタンを押します。
   選択した項目が 「**受信済**」 コレクション 一覧から削除されます。

ドキュメントをリモート印刷する

HP リモート プリンタ ドライバを使用すると、Windows アプリケーションから、別の場所にあるネットワーク接続の印刷デバイスに印刷ジョブを送信できます。たとえば、ノートパソコンなどのコンピュータを使用して HP all-in-one でリモート印刷したり、作業しているコンピュータから VPN を経由してプリンタで印刷したり、別の場所にある他のネットワークに接続しているプリンタからご使用の HP All-in-One に印刷ジョブを送信したりできます。印刷ジョブの送信元は、いずれも HP リモート プリンタ ドライバがインストールされている必要があります。

HP リモート プリンタ ドライバは、デバイス用ソフトウェアをインストールしたコンピュータ (ノートパソコンなど) にインストールされます。別のノートパソコンに HP リモート プリンタ ドライバをインストールする必要がある場合は、デバイス用ソフトウェアをインストールするか、HP の Web サイトからドライバをダウンロードしてください。

注記　HP Web サイトから、HP リモート プリンタ ドライバをダウンロードするには、必ずブロードバンド接続を使用してください。ダイアルアップ接続は使用しないでください。

HP リモート プリンタ ドライバを使用するには

1　Windows アプリケーションで、「**ファイル**」 を選択し、「**印刷**」 を選択します。
　コンピュータの画面に 「**印刷**」 ウィンドウが表示されます。
2　「**HP リモート プリンタ**」 になっているプリンタを選択します。
3　プリンタの 「**プロパティ**」 をクリックし、印刷オプションを設定します。
4　「**OK**」 をクリックして印刷します。
　HP Instant Share の 「**ようこそ**」 画面がコンピュータのウィンドウに表示されます。「**ようこそ**」 画面は、以前に 「**今後、この画面を表示しない**」 を選択していない場合だけ表示されます。
5　画面上の指示に従って操作してください。
6　メッセージに従い、HP Passport の「**ユーザー ID**」 と「**パスワード**」を入力し、「**次へ**」 をクリックします。

　ヒント　サービスをユーザー ID とパスワードを記憶する設定にしていない場合だけ、HP Passport のユーザー ID とパスワードの要求メッセージが表示されます。

　注記　HP Instant Share をまだセットアップしていない場合には、「**HP Passport サインイン**」 画面の 「**アカウントをお持ちでない方はここをクリック** 」 をクリックします。HP Passport のユーザー ID とパスワードを取得します。「**地域と使用条件**」 画面で、お住まいの国/地域を選択し、「**使用条件**」 に同意します。

「**リモート プリンタの選択**」 画面が表示されます。

7 ご使用の HP all-in-one で印刷する場合は、プリンタのリストから選択してください。

注記 プリンタは、セットアップして HP Instant Share に登録したときに割り当てられた固有の名前でリストに表示されます。アクセスが許可された任意のプリンタがリストに表示されます。

ご自分のデバイス以外のネットワークに接続しているデバイスで印刷する場合は、プリンタのリストからそのプリンタの名前を選択してください。初めて印刷するプリンタの場合、「**プリンタの追加**」 をクリックして、デバイスをリストに追加します。プリンタへの送信の詳細については、友人や家族が使用しているネットワーク接続プリンタに写真を送信するにはの手順のステップ 1 と 2 を参照してください。

8 画面上の指示に従って操作してください。

注記 リモート印刷ジョブを受信する方法については、画像を受信するを参照してください。

HP Instant Share オプションを設定する

HP all-in-one では、次のことができます。

- 画像コレクションをオープン モードで受信するかプライベート モードで受信するか選択する
- 自動チェックを有効または無効にする
- 「受信済み」 コレクション リストから、印刷済みまたは不要な画像コレクションを削除する
- アクセス リストに送信者を追加する、送信者をリストから削除する、アクセス権限を割り当てる
- 使用しているデバイスに割り当てた固有の名前を表示する
- HP Instant Share デバイス設定を出荷時デフォルトにリセットする

HP Instant Share のオプションを設定するには

1 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。
「**HP Instant Share**」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2 「**3**」 を押して 「**HP Instant Share のオプション**」 を選択します。
「**Instant Share のオプション**」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
3 矢印 (▲ と ▼) を使用して、操作するオプションを強調表示します。
各オプションの説明を、次の表に示します。

Instant Share のオプション	
受信オプション	「受信オプション」 を選択すると、HP all-in-one で、有効な HP Passport アカウントを持っている任意の送

(続き)

Instant Share のオプション	
	信者 (オープン モード) と特定グループの送信者 (プライベート モード) のどちらから画像コレクションを受信するか選択できます。デフォルトは、「開いてすべてを受信」 に設定されています。詳細については、特定グループの送信者から受信する (プライベート モード) および任意の送信者から受信する (オープン モード)を参照してください。
自動チェック	「自動チェック」 を選択すると、HP all-in-one に、HP Instant Share サービス上の新しいメッセージの有無をあらかじめ定めた間隔で確認させるかどうかを指定できます。自動チェックが 「オン」 に設定すると、画像コレクションを受信する際に、そのことを通知するアイコンがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。(アイコンの説明は HP all-in-one の概要 にあります。詳細については、画像をプレビューしてから印刷するにはおよび受信した画像を自動的に印刷するにはを参照してください。 注記　画像の送受信をしない場合、または「**HP Instant Share**」 ボタンを押して手動でメッセージの有無を確認する方が便利な場合には、自動チェックを 「オフ」 に設定してください。
コレクションを削除	「コレクションを削除」 を選択すると、「受信済み」 コレクション リストから、画像コレクションを削除できます。詳しくは、受信した画像を削除するを参照してください。
デバイス名を表示	「デバイス名を表示」 を選択すると、HP Instant Share にサインアップしてデバイスを登録したときに、ご使用の HP all-in-one に割り当てた名前を表示できます。このプリンタ名は、他の人がお客様のプリンタに送信するときに使用されます。詳しくは、友人や家族が使用しているネットワーク接続プリンタに写真を送信するにはを参照してください。
アカウントを管理	ご使用の HP all-in-one に HP Instant Share をセットアップしていない場合、「アカウントの管理」 を選択すると、「**HP Instant Share セットアップ ウィザード**」 が起動します。 デバイスがセットアップ済みであれば、「アカウントの管理」 を使用して、コンピュータから HP Instant

Instant Share のオプション	
	Share のアカウントを管理できます。HP Passport の「**ユーザー ID**」と「**パスワード**」を使用してサインインすると、HP Instant Share マネージャが表示されます。オプションには、送信先の作成やアクセス リストへの送信者の追加などの機能があります。詳細については、はじめにの各トピックを参照してください。
リモート印刷のサイズ	「**リモート印刷のサイズ**」を選択すると、受信画像の印刷サイズを設定できます。詳しくは、印刷オプションを設定するを参照してください。
HP Instant Share をリセット	「**HP Instant Share のリセット**」を選択すると、HP Instant Share のプリンタ設定を工場出荷時のデフォルトにリセットできます。従って、HP all-in-one は HP Instant Share に登録されていない状態になります。 注記　HP Instant Share のプリンタの設定をリセットすると、HP all-in-one では、もう一度 HP Instant Share がセットアップされるまで、画像の送受信ができなくなります。 ご使用のデバイスを他人に譲渡する場合や、HP all-in-one をネットワーク接続または USB 接続デバイスから切り替える場合に、このオプションを選択してください。

14 サプライ品の注文

HP 推奨の印刷用紙、プリント カートリッジ、HP all-in-one のアクセサリは、HP Web サイトでオンライン注文できます。

用紙の注文、OHP フィルムまたはその他のメディア

HP プレミアム用紙、HP プレミアム プラスフォト用紙、HP プレミアム OHP フィルム、HP アイロン プリント紙 などのメディアを注文するときは、www.hp.com/jp/hho にアクセスしてください。入力を要求されたら、国または地域を選択して、質問内容にしたがって製品を選択したのち、ページ上のショッピング リンクの一つをクリックしてください。

プリント カートリッジの注文

HP all-in-one 用のプリント カートリッジを注文するには、www.hp.com/jp/hho にアクセスしてください。ページのオンラインストアをクリックします。

ご使用の HP all-in-one では、次のプリント カートリッジがサポートされています。

プリント カートリッジ	HP 注文番号
HP モノクロ プリント カートリッジ	**#130**, 黒プリント カートリッジ l
HP カラー プリント カートリッジ	**#134**, カラー プリント カートリッジ **#135**, カラー プリント カートリッジ
HP フォト プリント カートリッジ	**#138**, カラー フォト プリント カートリッジ
HP モノクロ フォト プリント カートリッジ	**#100**, グレー プリント カートリッジ

注記　プリント カートリッジの注文番号は国/地域によって異なります。このガイドに出ている注文番号が、ご使用の HP all-in-one に現在取り付けられているプリント カートリッジの番号と一致しない場合は、現在取り付けられているものと同じ番号の新しいプリント カートリッジを注文してください。

また、最寄りの HP 販売代理店にお尋ねいただくか、www.hp.com/support にアクセスして、お住まいの国/地域の正しいプリント カートリッジ注文番号を確認できます。

アクセサリの注文

追加の用紙トレイや自動両面印刷モジュールなどの HP all-in-one 用アクセサリを注文するときは、www.hp.com にアクセスしてください。入力を要求されたら、国または地域を選択して、質問内容にしたがって製品を選択したのち、ページ上のショッピング リンクの一つをクリックしてください。

国/地域により、HP all-in-one は、次のアクセサリをサポートしています。

アクセサリと HP モデル番号	説明
HP 自動両面印刷モジュール ph5712	自動的に用紙の両面に印刷できます。このアクセサリを取り付けると、印刷ジョブの途中で用紙を手動で裏返してセットし直さなくても、用紙の両面に印刷できます。
HP 小型用紙トレイ付き自動両面印刷モジュール (自動両面印刷対応ハガキトレイ) ph3032	小さい用紙や封筒の専用トレイです。HP all-in-one の後部に追加すると、通常サイズの用紙と小さい用紙の両面に、自動印刷できるようになります。アクセサリを取り付けると、通常サイズの用紙をメイン給紙トレイにセットして、はがきなどの小さい用紙を後部給紙トレイにセットできます。用紙のサイズを切り替えながら印刷するときに、用紙をその都度セットし直す必要がなくなるので、時間を節約できます。
HP 250 枚普通紙トレイ pt6211（日本では未発売）	HP all-in-one に追加する、通常サイズの普通紙専用トレイで、250 枚までセットできます。このアクセサリを取り付けると、下側給紙トレイに普通紙をセットして、上側給紙トレイに特殊紙をセットできます。用紙の種類を切り替えながら印刷する場合に、用紙をその都度セットし直す必要がなくなるので、時間を節約できます。
HP bt300 Bluetooth® ワイヤレス プリンタ アダプタ bt300	Bluetooth デバイスから、ご使用の HP all-in-one で印刷できます。このアクセサリを HP all-in-one の前部にあるカメラ ポートに接続すると、デジタル カメラ付き携帯電話や携帯情報端末 (PDA) など、サポートされている Bluetooth デバイスからの印刷ジョブが可能になります。Bluetooth 対応 PC や Macintosh コンピュータからの印刷はサポートしていません。

15 HP all-in-one のメンテナンス

HP all-in-one にはメンテナンスがほとんど不要です。時々ガラス板とふたの裏側に付着したほこりを掃除し、コピーとスキャンがきれいに行えるようにしてください。また、プリント カートリッジの交換、調整、クリーニングを適宜行う必要があります。この章では、HP all-in-one を最高の状態に保つための方法について説明します。必要に応じてこれらの簡単な保守手順を実行してください。

HP all-in-one のクリーニング

指紋、汚れ、髪の毛などのごみがガラス板やカバーの裏側に付着していると、パフォーマンスが低下したり、「ページに合わせる」 などの特別な機能の精度に影響する可能性があります。きれいにコピーやスキャンをするには、ガラス板とカバーの裏側をクリーニングしてください。また、外側のほこりも拭き取ってください。

ガラス板のクリーニング

指紋、汚れ、髪の毛、およびほこりでガラス板が汚れていると、パフォーマンスが低下したり、「ページに合わせる」 などの機能の精度に影響する可能性があります。

1 HP all-in-one の電源をオフにし、電源ケーブルを抜き、ふたを上げます。

注記 電源コードを抜くと、日付と時刻は消去されます。電源コードを再度接続したときに、日付と時刻を再設定する必要があります。メモリに格納されているファクスも消去されます。

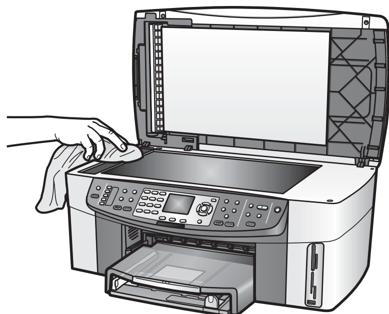
2 非摩耗性のガラス クリーナで少し湿らせた柔らかい布かスポンジでコピー ガラス板を拭きます。



警告 研磨剤やアセトン、ベンゼン、四塩化炭素などでコピー ガラス板を拭かないでください。 コピー ガラス板を傷める可能性があります。また、液体を直接ガラス板にかけないでください。ガラス板の下に液体が入り込んで本体を傷める可能性があります。

3 しみにならないよう、セーム革かセルロース スポンジでコピー ガラス板を拭いてください。

注記 メイン ガラス板表面の左側にあるガラスの細片がきれいになっていることを確認してください。この細片は自動ドキュメント フィーダからのジョブを処理するためのものです。ガラスの細片が汚れていると縦筋が生じることがあります。



カバーの裏側のクリーニング

HP all-in-one のふたの裏側にある白い原稿押さえの表面に微少な塵がたまることがあります。

1 HP all-in-one の電源をオフにし、電源ケーブルを抜き、ふたを上げます。
2 刺激性の少ない石鹸とぬるま湯で少し湿らせた柔らかい布かスポンジで原稿押さえを拭きます。
3 原稿押さえを軽く拭いて汚れを落とします。力を入れてこすらないでください。
4 セーム革あるいは柔らかい布でふた裏を拭いて乾かしてください。



警告 カバーの裏側を傷つける可能性があるので、紙でできたクロスは使用しないでください。

5 さらにクリーニングが必要な場合には、イソプロピル (消毒用) アルコールを使用して上記の手順を繰り返してから、湿らせた布でカバーの裏側に残ったアルコールを完全に拭き取ってください。



警告 ガラス板または HP all-in-one の塗装部品にアルコールをこぼさないように注意してください。デバイスに損傷を与える場合があります。

外側のクリーニング

柔らかい布か、または少し湿らせたスポンジで、外側の塵やしみ、汚れを拭き取ります。プリンタの内側はクリーニングの必要はありません。HP all-in-one のコントロール パネルや内側に液体がかからないようにしてください。



警告 HP all-in-one の塗装部品を傷めますので、コントロール パネル、ドキュメント フィーダ トレイ、ふた、デバイスのその他の塗装部品に対してアルコールやアルコールベースの洗浄液を使用しないでください。

推定インク量の確認

インク残量を簡単にチェックして、いつ頃プリント カートリッジを交換すれば良いか知ることができます。インク残量には、プリント カートリッジの推定インク残量が表示されます。

本体のコントロール パネルからインク レベルを確認するには

➔ カラー グラフィック ディスプレイの下部に表示されている 2 つのアイコンを確認します。これらのアイコンは、取り付け済みの 2 種類のプリント カートリッジのインク残量のレベルを示します。
   – 緑のアイコンは、カラー プリント カートリッジの推定インク残量を示しています。
   – 黒のアイコンは、黒プリント カートリッジの推定インク残量を示しています。
   – オレンジのアイコンは、フォト プリント カートリッジの推定インク残量を示しています。
   – ブルーのアイコンは、モノクロ フォト プリント カートリッジの推定インク残量を示しています。

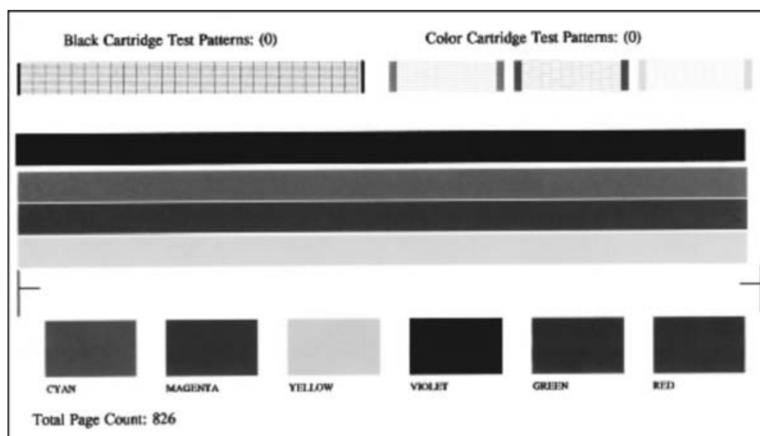
   HP 以外のプリント カートリッジまたは詰め替えたプリント カートリッジを使用している場合、またはいずれかのカートリッジ取り付け位置にカートリッジが挿入されていない場合には、アイコンがアイコン バーに表示されないことがあります。HP all-in-one では、HP 以外のプリント カートリッジや詰め替えたプリント カートリッジのインク残量を検出できません。
   ほとんど空を示すアイコンが表示されたら、そのアイコンのプリント カートリッジのインクが残りわずかになっているので、交換が必要になります。印刷品質が低下し始めたら、プリント カートリッジを交換してください。
   カラー グラフィック ディスプレイのインク レベル アイコンの詳細については、[カラー グラフィック ディスプレイ] アイコンを参照してください。

プリント カートリッジの推定インク残量は、コンピュータからも確認できます。コンピュータと HP all-in-one を USB 接続している場合、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」 から 「**プリンタ ツールボックス**」 でインク残量を確認する方法を参照できます。ネットワーク接続の場合、内蔵 Web サーバー (EWS) からインク残量を確認できます。EWS にアクセスする方法については、ネットワーク ガイドを参照してください。

セルフ テスト レポートの印刷

印刷時に問題が発生した場合は、プリント カートリッジを交換する前に、セルフテスト レポートを印刷してください。このレポートには、プリンタ カートリッジなど、本体の役立つ情報があります。

1　給紙トレイに、A4、レターまたはリーガルの未使用の白い普通紙をセットします。
2　「**セットアップ**」 を押します。
3　「**2**」 を押し、次に 「**5**」 を押します。
　「レポートの印刷」 メニューが表示され、「セルフテスト レポート」 が選択されます。
　HP all-in-one でセルフテスト レポートが印刷されます。このレポートから印刷時の問題の原因が分かることがあります。セルフテスト レポートにインク テストのサンプルがある場合は以下のことを示しています。



4　テスト パターンが均一でグリッドがきちんと印刷されていることを確認します。
　ひとつのパターン内に 2,3 以上のラインが壊れているときは、ノズルに問題がある場合があります。プリント カートリッジをクリーニングする必要があります。詳しくは、プリント カートリッジのクリーニングを参照してください。
5　カラー ラインがページ幅いっぱいに印刷されていることを確認します。
　黒のラインが欠けている、かすれている、筋が出ている状態の場合、右スロットの黒プリント カートリッジあるいはフォト プリント カートリッジに問題がある可能性があります。
　残りの 3 本のラインが欠けている、かすれている、筋が出ている、または縞模様が現れている状態の場合、左スロットのカラー プリント カートリッジに問題がある可能性があります。
6　カラー ブロックが均一で、次の色が表示されていることを確認します。
　シアン、マゼンタ、黄色、紫、緑、赤のカラー ブロックが表示されます。

カラー ブロックが欠けているか、カラーの一つのブロックがはっきりしない、または以下のブロックに示されているラベルにマッチしない場合は、カラー プリント カートリッジのインク切れを示していることがあります。プリント カートリッジを交換してください。プリント カートリッジの交換の詳細については、プリント カートリッジの交換を参照してください。

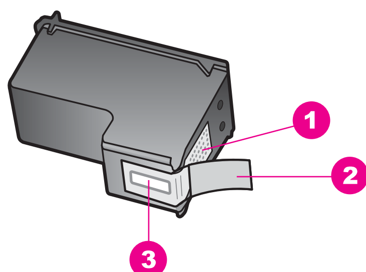
注記　正常なプリント カートリッジと故障しているプリント カートリッジのテスト パターン、カラー ライン、カラーブロックの例については、ソフトウェア付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

プリント カートリッジの作業

HP all-in-one から最高の印刷品質を得るために、簡単なメンテナンス手順を実行する必要があります。このセクションでは、プリント カートリッジの扱い方のガイドラインおよびプリント カートリッジのクリーニング、調整、交換について説明します。

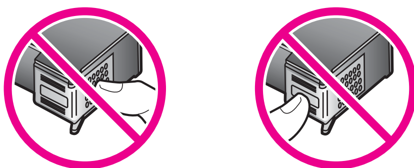
プリント カートリッジの取扱い

プリント カートリッジを交換したり、クリーニングしたりする前に、プリント カートリッジの部品の名前や取り扱い方を知っておく必要があります。



1	銅色の接点
2	ピンクのつまみの付いたプラスチック テープ (本体に取り付ける前に取り外してください)
3	テープの下にあるインク ノズル

ラベルを上にして、プリント カートリッジの黒いプラスチックの部分の横を持ちます。銅色の接触部やインク ノズルには触れないでください。



警告　プリント カートリッジを落とさないように注意してください。破損して使用できなくなることがあります。

プリント カートリッジの交換

プリント カートリッジのインク レベルが低下すると、カラー グラフィック ディスプレイにメッセージが表示されます。

注記　インク レベルは、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアに付属の 「**HP ディレクタ**」を使用して、コンピュータで確認することもできます。詳しくは、推定インク量の確認を参照してください。

インク量の低下を警告するメッセージが、カラー グラフィック ディスプレイに表示されたら、プリント カートリッジを交換してください。文字がかすれたり、プリント カートリッジが原因で印刷の品質に問題が生じたりした場合にも、プリント カートリッジを交換してください。

ヒント　黒プリント カートリッジをフォト プリント カートリッジやモノクロ フォト プリント カートリッジと交換して、高品質のカラー写真やモノクロ写真を印刷する場合も、次の手順を使用できます。

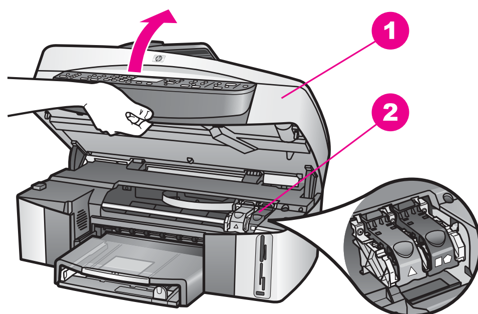
お使いの HP all-in-one をサポートしているすべてのプリント カートリッジの再注文番号を調べるには、プリント カートリッジの注文を参照してください。HP all-in-one 用のプリント カートリッジを注文するには、www.hp.com にアクセスしてください。入力を要求されたら、国または地域を選択して、質問内容にしたがって製品を選択したのち、ページ上のショッピング リンクの一つをクリックしてください。

プリント カートリッジを交換するには

1　HP all-in-one の電源がオンになっていることを確認します。

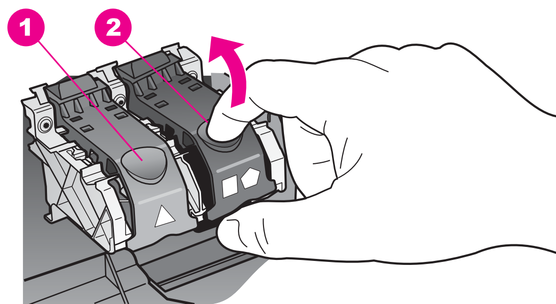
　警告　HP all-in-one の電源がオフのときにプリント カートリッジのアクセス ドアを上げた場合、HP all-in-one はカートリッジ交換を許可しません。プリント カートリッジを取り除く際、きちんと右側にドッキングされない場合は、HP all-in-one に損傷を与えるおそれがあります。

2　プリント キャリッジのアクセス ドアを本体前面の中央から持ち上げて、所定の位置で止まるまで開きます。
プリント キャリッジは HP all-in-one の右端にあります。



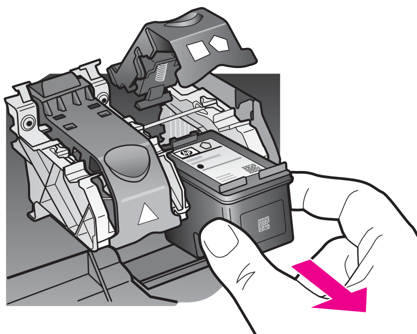
1	プリント カートリッジ交換用カバー
2	プリント キャリッジ

3 プリント キャリッジが停止して静かになったら押し下げ、それから HP all-in-one 内側のラッチを上げます。
カラー プリント カートリッジを交換する場合は、左側の緑のラッチを上げます。
黒プリント カートリッジ、フォト プリント カートリッジ、またはグレー プリント カートリッジを交換する場合は、右側の黒のラッチを上げます。



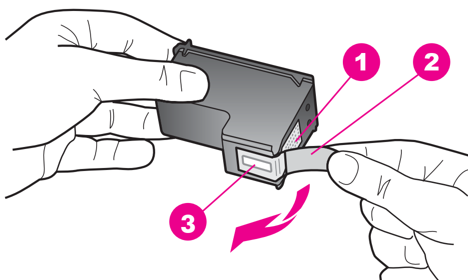
1	カラー プリント カートリッジのプリント カートリッジ ラッチ
2	黒、フォト、およびグレー プリント カートリッジのプリント カートリッジ ラッチ

4 プリント カートリッジを下げて固定解除し、それからカートリッジを手前に引いてカートリッジ スロットから取り外します。



5　黒プリント カートリッジを取り外してフォト プリント カートリッジまたはグレー プリント カートリッジを取り付ける場合には、取り外した黒プリント カートリッジをプリント カートリッジ ケースに入れて保存してください。詳しくは、プリント カートリッジ ケースの使用を参照してください。
インク不足またはインク切れで取り外したプリント カートリッジはリサイクルしてください。HP のインクジェット消耗品リサイクル プログラムは多くの国/地域で利用可能であり、これを使用すると使用済みのプリント カートリッジを無料でリサイクルすることができます。詳しくは、次の Web サイトを参照してください。
www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/inkjet.html

6　新しいプリント カートリッジの包装を除去し、黒いプラスチックの部分のみを注意深く持って、ピンクのつまみからプラスチック テープをゆっくり取り外します。

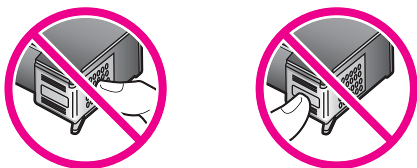


1	銅色の接点
2	ピンクのつまみの付いたプラスチック テープ (本体に取り付ける前に取り外してください)
3	テープの下にあるインク ノズル

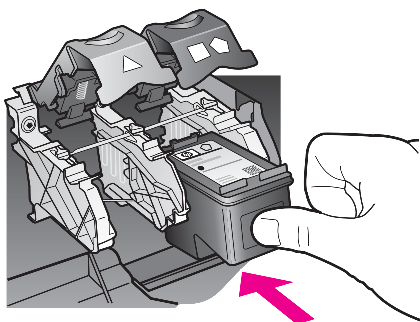


注意　銅色の接触部やインク ノズルにはさわらないでください。この部分に手を触れると、目詰まり、インクの吹き付け不良、および電気的な接触不良が発生することがあります。

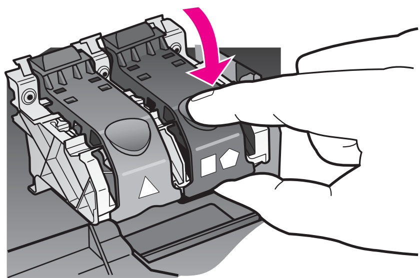
HP all-in-one のメンテナンス



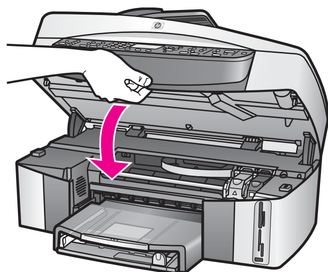
7　新しいプリント カートリッジを、空きスロットの底の傾斜に沿ってスライドさせながら挿入します。きちんとはまるまでプリント カートリッジを押し込んでください。
取り付けているプリント カートリッジのラベルに白い三角形が付いている場合は、左側のスロットにプリント カートリッジをスライドしてください。ラッチは緑色で白い三角形が付いています。
取り付けるプリント カートリッジのラベルに白い四角形または白い五角形が付いている場合は、右側のスロットにプリント カートリッジをスライドしてください。ラッチは黒で白い四角形と白い五角形が付いています。



8　きちんとはまるまでラッチを押し下げます。ラッチが下側のつまみに留まっていることを確認してください。



9　プリント キャリッジのアクセス ドアを閉じます。



フォト プリント カートリッジの使用

フォト プリント カートリッジを購入すると、HP all-in-one で印刷またはコピーされるカラー写真の品質を向上させることができます。黒プリント カートリッジを取り外して代わりにフォト プリント カートリッジをセットしてください。カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジの両方をセットすると、6 色インク システムになり、写真の品質がさらに向上します。

通常のテキスト文書を印刷するには、モノクロ プリント カートリッジに入れ替えてください。 使用していないプリント カートリッジを安全に保護しておくプリント カートリッジ ケースを使用してください。

- フォト プリント カートリッジの購入方法については、プリント カートリッジの注文 を参照してください。
- プリント カートリッジの交換の詳細については、プリント カートリッジの交換を参照してください。
- プリント カートリッジ ケースの使用方法については、プリント カートリッジ ケースの使用を参照してください。

グレー フォト プリント カートリッジの使用

グレー プリント カートリッジを利用すると、HP all-in-one でモノクロ写真を美しく印刷またはコピーすることができます。黒プリント カートリッジを取り外し、代わりにグレー プリント カートリッジを取り付けてください。これで、カラー プリント カートリッジとグレー プリント カートリッジが本体に取り付けられ、グレーをさまざまな濃度で印刷することができ、モノクロ写真の品質が向上します。

通常のテキスト文書を印刷するには、モノクロ プリント カートリッジに入れ替えてください。 使用していないプリント カートリッジを安全に保護しておくプリント カートリッジ ケースを使用してください。

- グレー プリント カートリッジの購入方法については、プリント カートリッジの注文を参照してください。
- プリント カートリッジの交換の詳細については、プリント カートリッジの交換を参照してください。
- プリント カートリッジ ケースの使用方法については、プリント カートリッジ ケースの使用を参照してください。

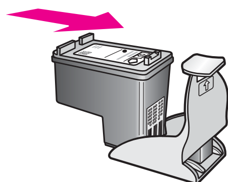
プリント カートリッジ ケースの使用

国/地域によっては、フォト プリント カートリッジを購入するとプリント カートリッジ ケースも付属してきます。付属していない国/地域では、プリント カートリッジ ケースは、HP all-in-one に付属しています。プリント カートリッジにも HP all-in-one にもプリント カートリッジ ケースが付属していない場合は、HP サポートで購入することができます。www.hp.com/support にアクセスしてください。

プリント カートリッジ ケースは、使用していないプリント カートリッジを安全に保管できて、乾燥を防止できるように設計されています。HP all-in-one からプリント カートリッジを取り外し、後でまた利用する場合、プリント カートリッジ ケースに入れて保管してください。たとえば、カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジを使用して、高品質の写真を印刷するために黒プリント カートリッジを外す場合、黒プリント カートリッジはプリント カートリッジ ケースに保管します。

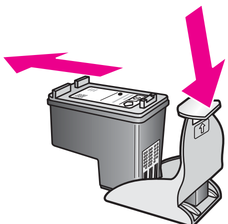
プリント カートリッジをプリント カートリッジ ケースに入れるには

➔ プリント カートリッジを少し角度を付けてスライドさせながら、プリント カートリッジ ケースに差し込み、パチンと音がするまで押し込みます。



プリント カートリッジをプリント カートリッジ ケースから取り外すには

➔ プリント カートリッジ ケースの上部を後方に押し下げ、プリント カートリッジの固定を解除します。その後、プリント カートリッジ ケースからプリント カートリッジをスライドさせて取り出します。



プリント カートリッジの調整

HP all-in-one では、プリント カートリッジを取り付けたり取り換えたりするたびに、カートリッジの調整を求めるメッセージが表示されます。コントロ

ール パネルまたはコンピュータの 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して、いつでもプリント カートリッジを調整できます。プリント カートリッジを調整することで高品質の出力が得られます。

注記　プリント カートリッジを取り外した後、もう一度 HP all-in-one に取り付けた場合には、プリント カートリッジの調整のメッセージは表示されません。HP all-in-one にはプリント カートリッジに合わせて調整した値が記憶されるので、プリント カートリッジの再調整は必要ありません。

メッセージに従って本体のコントロール パネルからプリント カートリッジを調整するには

➔ A4 またはレターの未使用の白い普通紙が、給紙トレイにセットされていることを確認してから、「**OK**」 ボタンを押します。
HP all-in-one によってプリント カートリッジ調整シートが印刷されて、プリント カートリッジが調整されます。この用紙は再利用するか捨てるかしてください。

注記　プリント カートリッジを調整するときに、色付きの用紙が給紙トレイにセットされていると、調整に失敗します。その場合は、給紙トレイに未使用の白い普通紙をセットしてから、調整をやり直してください。

調整にもう一度失敗した場合、センサーまたはプリント カートリッジに問題がある可能性があります。HP サポートにお問い合わせください。

任意の時点で本体のコントロール パネルからカートリッジを調整するには

1 給紙トレイに、A4 またはレターの未使用の白い普通紙をセットします。
2 「**セットアップ**」 を押します。
3 「**6**」 を押し、次に 「**2**」 を押します。
「ツール」 メニューが表示され、「カートリッジの調整」 が選択されます。
HP all-in-one によってプリント カートリッジ調整シートが印刷されて、プリント カートリッジが調整されます。この用紙は再利用するか捨てるかしてください。

HP all-in-one に付属の 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して、プリント カートリッジを調整する方法については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

プリント カートリッジのクリーニング

セルフテスト レポートでカラー ラインのいずれかに筋や白線が表示されたときに、この機能を使用してください。不必要にプリント カートリッジのクリーニングをしないでください。インクの無駄になり、インク ノズルの寿命を縮めます。

本体のコントロール パネルからプリント カートリッジをクリーニングするには

1 給紙トレイに、A4 またはレターの未使用の白い普通紙をセットします。
2 「**セットアップ**」 を押します。
3 「**6**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「ツール」 メニューが表示され、「カートリッジ クリーニング」 が選択されます。
HP all-in-one で 1 枚の用紙が印刷されます。この用紙は再利用するか捨ててください。
プリント カートリッジをクリーニングしても、コピーや印刷の品質が上がらない場合は、プリント カートリッジを交換する前に、問題のプリント カートリッジの接触部をクリーニングしてください。プリント カートリッジの接触部をクリーニングする方法については、プリント カートリッジ接触部のクリーニングを参照してください。プリント カートリッジの交換方法については、プリント カートリッジの交換を参照してください。

HP all-in-one に付属の 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアを使用して、プリント カートリッジをクリーニングする方法については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

プリント カートリッジ接触部のクリーニング

プリント カートリッジの接触部のクリーニングは、プリント カートリッジのクリーニングと調整をしても、カラー グラフィック ディスプレイに、プリント カートリッジの確認のメッセージが繰り返し表示される場合にのみ実行してください。

プリント カートリッジの接触部をクリーニングする前に、プリント カートリッジを取り外し、プリント カートリッジの接触部に何も付着していないことを確認してから取り付け直してください。プリント カートリッジの確認のメッセージがその後も表示される場合、プリント カートリッジの接触部をクリーニングしてください。

次のものを用意してください。

- 乾いたスポンジ棒、糸くずの出ない布、繊維がちぎれたり残ったりしない柔らかい布
- 蒸留水、ろ過水、瓶詰水のいずれか (水道水にはプリント カートリッジを傷める汚染物質が含まれているおそれがあります)



警告　プリント カートリッジの接点のクリーニングには、プラテン クリーナやアルコールを「**使用しないでください**」。プリントカートリッジまたは HP all-in-one を傷める可能性があります。

プリント カートリッジの接触部をクリーニングするには

1 HP all-in-one の電源を入れ、プリント キャリッジのアクセス ドアを開きます。

プリント キャリッジは HP all-in-one の右端にあります。

2 プリント キャリッジが停止して静かになってから、HP all-in-one の後部から電源コードを抜きます。

注記 電源コードを抜くと、日付と時刻は消去されます。後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻の再設定が必要になります。詳細については、日付と時刻を設定するを参照してください。メモリに格納されているファクスも消去されます。

3 どちらかのラッチを上げて、プリント カートリッジを取り外します。

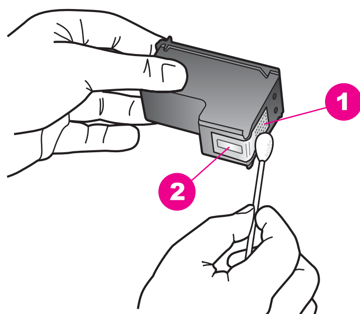
注記 両方のプリント カートリッジを同時に取り外さないでください。取り外してクリーニングする作業は一度に 1 つずつ行ってください 30 分以上プリント カートリッジを HP all-in-one の外側に放置しないでください。

4 プリント カートリッジの接点にインクや汚れが固着していないか調べます。

5 汚れていないスポンジ棒または糸くずの出ない布を蒸留水に浸し、余分な水分を絞ります。

6 プリント カートリッジの横を持ちます。

7 銅色の接触部のみをクリーニングします。インク ノズル領域のクリーニングについての情報は、インク ノズル周辺のクリーニングを参照してください。



1	銅色の接点
2	インク ノズル (クリーニングしないでください)

8 プリント カートリッジをプリント キャリッジのスロットに戻し、ラッチを閉じます。

9 必要であれば、もう一方のプリンタ カートリッジについても同じ作業を繰り返します。

10 プリント キャリッジのアクセス ドアをゆっくり閉め、HP all-in-one の後部に電源コードを差し込みます。

インク ノズル周辺のクリーニング

ほこりっぽい環境で HP all-in-one を使用している場合は、デバイスの中に少量のゴミがたまることがあります。このゴミには、ほこり、髪の毛、カーペットまたは衣料繊維が含まれることがあります。ゴミがプリント カートリッジの中に入った場合は、印刷されたページの上にインク縞やインクの汚れがつくことがあります。インク縞はここで説明されている通りにインク ノズル周辺のクリーニングを行うことにより修正されます。

注記 コントロール パネルまたは「**HP Image Zone**」を使用してプリント カートリッジのクリーニングを行った後も、引き続き印刷されたページにインク縞やインクの汚れがつく場合は、インク ノズル周辺をクリーニングしてください。詳しくは、プリント カートリッジのクリーニングを参照してください。

次のものを用意してください。

- 乾いたスポンジ棒、糸くずの出ない布、繊維がちぎれたり残ったりしない柔らかい布
- 蒸留水、ろ過水、瓶詰水のいずれか (水道水にはプリント カートリッジを傷める汚染物質が含まれているおそれがあります)



警告 銅色の接触部やインク ノズルにはさわらないでください。この部分に手を触れると、目詰まり、インクの吹き付け不良、および電気的な接触不良が発生することがあります。

インク ノズル周辺をクリーニングするには

1 HP all-in-one の電源を入れ、プリント キャリッジのアクセス ドアを開きます。
プリント キャリッジは HP all-in-one の右端にあります。

2 プリント キャリッジが停止して静かになってから、HP all-in-one の後部から電源コードを抜きます。

注記 電源コードを抜くと、日付と時刻は消去されます。後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻の再設定が必要になります。詳細については、日付と時刻を設定するを参照してください。メモリに格納されているファクスも消去されます。

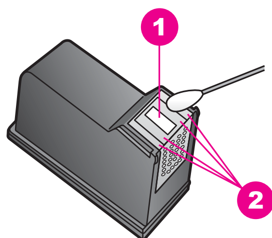
3 どちらかのラッチを上げて、プリント カートリッジを取り外します。

注記 両方のプリント カートリッジを同時に取り外さないでください。取り外してクリーニングする作業は一度に 1 つずつ行ってください 30 分以上プリント カートリッジを HP all-in-one の外側に放置しないでください。

4 インク ノズルの表面を上にして一枚の用紙の上にプリント カートリッジを置いてください。

5 きれいなスポンジ棒を蒸留水で軽く湿らします。

6 以下に示すように、スポンジ棒でインク ノズル周辺の端をクリーニングしてください。



1	ノズル プレート (クリーニングしないでください)
2	インク ノズル周辺 の表面と端


警告 ノズル プレートは「**クリーニングしない**」 でください。

7 プリント カートリッジをプリント キャリッジのスロットに戻し、ラッチを閉じます。
8 必要であれば、もう一方のプリンタ カートリッジについても同じ作業を繰り返します。
9 プリント キャリッジのアクセス ドアをゆっくり閉め、HP all-in-one の後部に電源コードを差し込みます。

本体の設定の変更

HP all-in-one の省電力時間やプロンプト遅延時間の設定は、お客様ご自身で変更することができます。また、本体の設定を、購入時の設定に戻すこともできます。この場合、新しく設定したデフォルト値はすべて消去されます。

省電力の時間設定

印刷要求があったときに HP all-in-one がすぐに応えられるよう、HP all-in-one のスキャナ部のバルブは指定した時間はオンになっています。指定した時間に HP all-in-one が使用されなかった場合は、電力を節約するためにバルブがオフになります。本体のコントロール パネルでいずれかのボタンを押すと、このモードを終了できます。

HP all-in-one は 12 時間後に省電力モードになります。が省電力モードに入る時間を早めたい場合は、次の手順に従います。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**7**」 を押し、次に 「**2**」 を押します。
「プリファレンス」 メニューが表示され、「省電力時間の設定」 が選択されます。
3 ▼ を押して適切な時間を選択し、「**OK**」 ボタンを押します。
1 時間、4 時間、8 時間、12 時間のいずれかを省電力時間として選択できます。

プロンプト遅延時間の設定

「プロンプト遅延時間」 オプションを使用すると、指示メッセージが表示されるまでの時間を管理できます。たとえば、コピー領域で「メニュー」 を押した後、他のボタンを押す前にプロンプト遅延時間が過ぎると、カラー グラフィック ディスプレイに 「**“[スタート] を押してコピー。[番号] か [OK] を押して選択”**」のメッセージが表示されます。設定値は 「はやい」、「標準」、「おそい」、「オフ」 のいずれかから選択できます。「オフ」 を選択すると、カラー グラフィック ディスプレイにヒントが表示されなくなります。ただし、インク レベルの低下に関する警告やエラー メッセージなどの他のメッセージは引き続き表示されます。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**7**」 を押し、次に 「**3**」 を押します。
「プリファレンス」 メニューが表示され、「プロンプト遅延時間の設定」 が選択されます。
3 ▼ を押して遅延時間を選択し、「**OK**」 ボタンを押します。

工場出荷時の初期設定に戻す

HP all-in-one を購入したときの、工場出荷時の初期設定に戻すことができます。

注記　工場出荷時の初期設定に戻しても、設定してあった日付情報は変更されませんし、スキャン設定、言語、国、地域設定に行った変更にも影響しません。

この作業は、本体のコントロール パネルからのみ実行できます。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**6**」 を押し、次に 「**3**」 を押します。
「ツール」 メニューが表示され、「工場出荷時の初期設定に戻す」 が選択されます。
これで工場出荷時の初期設定に戻されました。

セルフメンテナンス音

HP all-in-one は長期間（約 2 週間）使用しない場合に作動音が鳴ることがあります。これは、正常な動作で最高品質の出力を保証するために必要なことです。

16 トラブルシューティング情報

このセクションでは、HP all-in-one のトラブルシューティング情報について説明します。インストールおよび設定に関する問題や 動作時のトピックについて詳しく説明します。トラブルシューティングの詳細については、オンスクリーンの 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

HP all-in-one を USB ケーブルで接続してから、HP all-in-one ソフトウェアをコンピュータにインストールすると、いろいろな問題の原因になります。ソフトウェア インストール画面で指示される前に HP all-in-one をコンピュータに接続した場合、次の手順に従ってください。

1 コンピュータから USB ケーブルを取り外します。
2 ソフトウェアをアンインストールします (インストール済みの場合)。
3 コンピュータを再起動します。
4 HP all-in-one の電源をオフにし、1 分間待ってから再起動します。
5 HP all-in-one ソフトウェアを再インストールします。ソフトウェアのインストール画面で指示されるまで、USB ケーブルをコンピュータに接続しないでください。

ソフトウェアのアンインストールと再インストールの方法については、ソフトウェアのアンインストールと再インストール を参照してください。

この章では、次のトピックについて説明します。

- 「**セットアップに関するトラブルシューティング**」:ハードウェアの設定、ソフトウェアのインストール、ファクスのセットアップ、HP Instant Share のセットアップに関するトラブルシューティングについて説明します。
- 「**動作時のトラブルシューティング**」:HP all-in-one の機能を使用している、通常の運用で発生する可能性がある問題について説明します。
- 「**デバイスの更新**」:HP カスタマ サポートからのアドバイスやカラー グラフィック ディスプレイに表示されるメッセージに応じて、HP サポート Web サイトにアクセスして、ご使用のデバイスを更新する方法を取得できます。このセクションでは、ご使用のデバイスを更新する方法を説明します。

HP サポートに連絡する前に

問題が発生した場合は、以下の手順に従ってください。

1 HP all-in-one に付属するマニュアルを確認してください。
   - 「**セットアップ ガイド**」:セットアップ ガイドでは、HP all-in-one をセットアップする方法を説明します。
   - 「**ユーザー ガイド**」:ユーザー ガイドは本書です。本書では、HP all-in-one の基本的な機能やコンピュータに接続せずに HP all-in-one を

使用する方法、またセットアップや 動作時のトラブルシューティングについて説明します。
– 「**ネットワーク ガイド**」:ネットワーク ガイドでは、ネットワークで HP all-in-one をセットアップする方法を説明します。
– 「**HP Image Zone ヘルプ**」: オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 は、コンピュータと HP all-in-one を使用する方法を説明しており、ユーザー ガイドでカバーされていない、追加のトラブルシューティング情報もあります。
– 「**Readme ファイル**」:Readme ファイルには、インストール時に発生する問題についての情報が出ています。詳しくは、Readme ファイルを表示するを参照してください。

2 マニュアルの説明を参照しても問題が解決しないときは、「**www.hp.com/support**」 にアクセスして次のようにしてください。
– オンライン サポートのページにアクセスする。
– HP に、質問に対する答を求めるメッセージを電子メールで送信する。
– ソフトウェアのアップデートを確認する。

製品、国/地域、言語により、ご利用いただけるサポートは異なります。

3 オンスクリーン ヘルプや HP Web サイトで問題を解決できない場合は、お住まいの国/地域の HP サポート サービス電話番号までお問い合わせください。詳しくは、HP 製品サポートについてを参照してください。

Readme ファイルを表示する

インストール時に発生するその他の問題の詳細については、Readme ファイルを参照してください。

- Windows の場合は、タスク バーで 「**スタート**」 ボタンをクリックした後、「**プログラム**」 または 「**すべてのプログラム**」、「**HP**」、「**HP Officejet 7300/7400 series all-in-one**」 の順に選択して、「**Readme**」 をクリックします。
- Macintosh の OS 9 または OS X の場合は、HP all-in-one ソフトウェア CD-ROM の最上位のフォルダにあるアイコンをダブルクリックすると、Readme ファイルにアクセスできます。

Readme ファイルには、次のような情報が含まれています。

- インストールに失敗した後、再インストール ユーティリティを使用し、HP all-in-one を再インストールできる状態までコンピュータを戻す方法
- Windows 98 で再インストール ユーティリティを使用して、コンポジット USB システムドライバーが見つからないエラーから復帰する方法

セットアップに関するトラブルシューティング

このセクションでは、HP all-in-one のネットワーク接続、ファクスのセットアップ、ソフトウェアとハードウェアのインストール、および 「**HP Instant**

Share」 のセットアップに関連する一般的な問題のいくつかに関して、インストールおよび設定時のトラブルシューティングのヒントについて説明します。

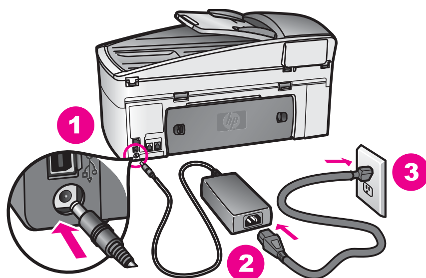
ハードウェアのセットアップに関するトラブルシューティング

このセクションは、HP all-in-one ハードウェアのセットアップ時に発生する可能性がある問題を解決する際に使用してください。

HP all-in-one の電源がオンにならない

解決方法

各電源コードがしっかりと接続されていることを確認した後、HP all-in-one の電源がオンになるまで数秒待ちます。初めて HP all-in-one の電源をオンにした場合は、オンになるまで 1 分ほどかかる場合があります。また、HP all-in-one がテーブルタップに接続されている場合は、テーブルタップの電源がオンになっていることも確認してください。



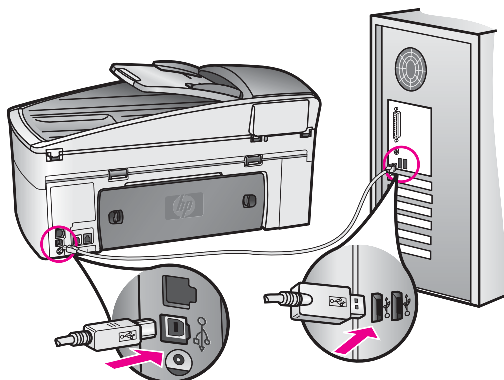
USB ケーブルが接続されていない

解決方法

初めに、HP all-in-one 付属のソフトウェアをインストールしてから、USB ケーブルを接続します。インストールしている間、画面上で指示されるまで、USB ケーブルは差し込まないでください。USB を指示される前に接続するとエラーが発生します。

ソフトウェアをインストールしたら、USB ケーブルを使ってコンピュータを HP all-in-one に接続するのは、簡単です。USB ケーブルの一方の端をコンピュータの背後に接続し、他方の端を HP all-in-one の背後に接続するだけで済みます。コンピュータの背後にある任意の USB ポートに接続できます。

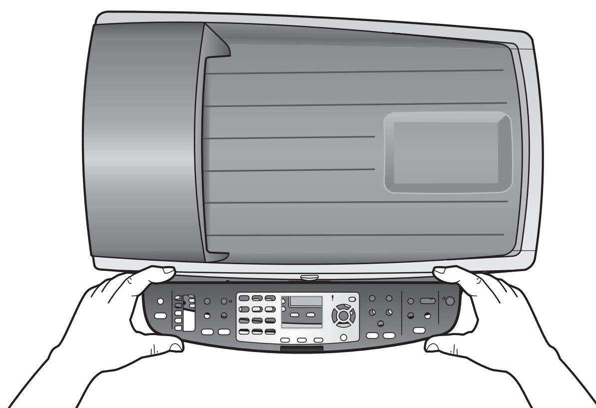
注記　AppleTalk は、サポートされていません。



カラー グラフィック ディスプレイに、コントロール パネル オーバーレイを取り付けるようにとメッセージが出力される

解決方法

コントロール パネル オーバーレイが取り付けられていないか、その取り付け方が正しくない可能性があります。HP all-in-one 上の一連のボタンにオーバーレイを合わせ、パチンと音がするまで押し込みます。





カラー グラフィック ディスプレイに表示される言語が正しくない

解決方法

言語および国/地域は通常、HP all-in-one を初めてセットアップする際に設定します。ただし、以下の手順に従うと、それらの設定値をいつでも変更できます。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**7**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「プリファレンス」 が選択されるので、次に 「言語と国/地域の設定」 を選択します。
言語がリスト表示されます。▲ と ▼ 矢印ボタンを押して、言語リストをスクロールできます。
3 言語を選択したら、「**OK**」 を押します。
4 プロンプトが表示されたら、[はい] の場合は 「**1**」、[いいえ] の場合は 「**2**」 を押します。
選択した言語に適した国/地域が表示されます。▲ か ▼ を押して、リストをスクロールします。
5 キーパッドを使用し、該当する国/地域の 2 桁の数字を入力します。
6 プロンプトが表示されたら、[はい] の場合は 「**1**」、[いいえ] の場合は 「**2**」 を押します。

「セルフテスト レポート」 を印刷して、言語と国/地域を確認します。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**1**」 を押し、次に 「**4**」を押します。
これで 「レポートの印刷」、そして 「セルフテスト レポート」 が選択されます。

カラー グラフィック ディスプレイに表示される単位が正しくない

解決方法

HP all-in-one をセットアップするときに不適切な国/地域を選択した可能性があります。選択する国/地域で、カラー グラフィック ディスプレイに表示される用紙サイズが決まります。

国/地域を変更するには、もう一度デフォルトの言語を設定する必要があります。言語および国/地域は通常、HP all-in-one を初めてセットアップする際に設定します。ただし、以下の手順に従うと、それらの設定値をいつでも変更できます。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**7**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「プリファレンス」 が選択されるので、次に 「言語と国/地域の設定」 を選択します。
言語がリスト表示されます。▲ と ▼ 矢印を押して、言語リストをスクロールできます。
3 言語を選択したら、「**OK**」 を押します。

4 プロンプトが表示されたら、[はい] の場合は 「**1**」、[いいえ] の場合は 「**2**」 を押します。
選択した言語に適した国/地域が表示されます。▲ か ▼ を押してリストをスクロールします。
5 キーパッドを使用し、該当する国/地域の 2 桁の数字を入力します。
6 プロンプトが表示されたら、[はい] の場合は 「**1**」、[いいえ] の場合は 「**2**」 を押します。

「セルフテスト レポート」 を印刷して、言語と国/地域を確認します。

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**1**」 を押し、次に 「**4**」を押します。
これで 「レポートの印刷」、そして 「セルフテスト レポート」 が選択されます。

プリント カートリッジの位置を調整するよう示すメッセージがカラー グラフィック ディスプレイに出力される

解決方法

HP all-in-one では、新しいプリント カートリッジを取り付けるたびに、カートリッジの調整を求めるメッセージが表示されます。詳しくは、プリント カートリッジの調整を参照してください。

注記 プリント カートリッジを取り外した後、もう一度 HP all-in-one に取り付けた場合には、プリント カートリッジの調整のメッセージは表示されません。HP all-in-one にはプリント カートリッジに合わせて調整した値が記憶されるので、プリント カートリッジの再調整は必要ありません。

カラー グラフィック ディスプレイにプリント カートリッジ調整の失敗したというメッセージが出力される

原因

給紙トレイに間違った種類の用紙がセットされています。

解決方法

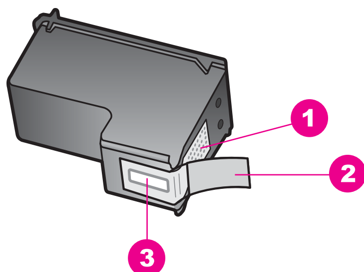
プリント カートリッジの調整を行うときに給紙トレイに色付き用紙をセットしていると、調整に失敗します。レターまたは A4 の白い普通紙を給紙トレイにセットして、カートリッジの調整をもう一度行ってください。調整にもう一度失敗した場合、センサーまたはプリント カートリッジに問題がある可能性があります。

原因

保護テープがプリント カートリッジをふさいでいます。

解決方法

各プリント カートリッジを確認してください。テープがインク ノズルをふさいでいる場合、ピンクのつまみを持ってテープを慎重に取り除いてください。銅色の接点やインク ノズルには触れないでください。



1	銅色の接点
2	ピンクのつまみの付いたプラスチック テープ (本体に取り付ける前に取り外してください)
3	テープの下にあるインク ノズル





もう一度プリント カートリッジを挿入し、カートリッジが所定の位置にしっかりと挿入され、ロックされていることを確認してください。

原因

プリント カートリッジの接点がプリント キャリッジの接点に接触していません。

解決方法

プリント カートリッジを取り出して、もう一度挿入してください。プリント カートリッジが所定の位置にしっかりと挿入され、ロックされていることを確認してください。

原因

プリント カートリッジまたはセンサーに問題があります。

解決方法

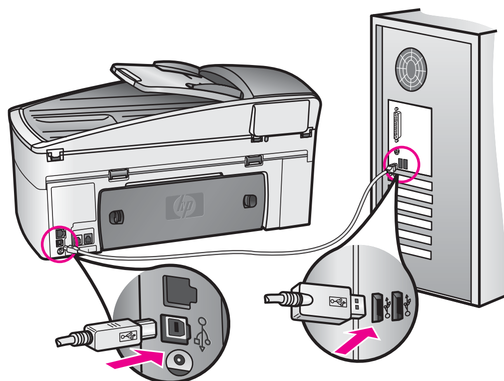
HP サポートにお問い合わせください。

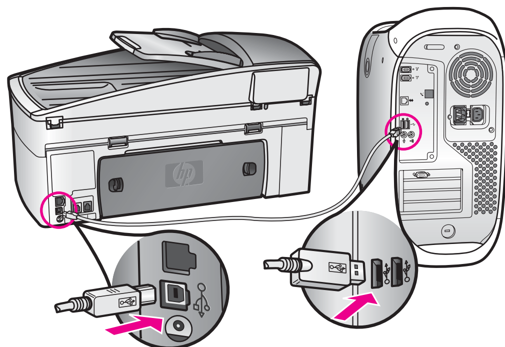
HP all-in-one が印刷しない

解決方法

HP all-in-one とコンピュータが互いに通信できない場合は、次のことを行ってください。

- USB ケーブルを確認します。古いケーブルの場合、使用できないことがあります。別の製品に接続して、USB ケーブルが使用できるかどうか確認してください。問題が発生した場合、USB ケーブルを交換する必要がある場合もあります。また、USB ケーブルの長さが 3 メートル 以下であることも確認してください。
- コンピュータで USB が使用可能であることを確認してください。Windows 95 や Windows NT など、オペレーティング システムによっては USB 接続をサポートしていないものもあります。詳細については、お使いのオペレーティング システムに付属しているマニュアルを参照して下さい。
- HP all-in-one からコンピュータまでの接続状態を確認します。USB ケーブルが HP all-in-one の後部にある USB ポートに正しく接続されていることを確認してください。また USB ケーブルのもう一方の端がコンピュータの USB ポートに正しく接続されていることを確認してください。USB ケーブルを正しく接続した後、HP all-in-one の電源を入れ直してください。





- 他のプリンタやスキャナを確認します。コンピュータから古い製品を削除しなければならない場合があります。
- HP all-in-one がネットワーク接続されている場合、HP all-in-one 付属のネットワーク ガイドを参照してください。
- 接続の確認が済んだらコンピュータを再起動してみてください。
- 必要なら、「**HP Image Zone**」 ソフトウェアをアンインストールしてから、インストールし直します。ソフトウェアのアンインストールの詳細については、HP all-in-one に付属の『ユーザー ガイド』（印刷物）を参照して下さい。

HP all-in-one のセットアップとコンピュータへの接続方法については、HP all-in-one に付属のセットアップ ガイドを参照してください。

紙詰まりやカートリッジのブロックに関するメッセージがカラー グラフィック ディスプレイに出力される

解決方法

紙詰まりやカートリッジのブロックに関するエラー メッセージがカラー グラフィック ディスプレイに出力される場合は、HP all-in-one の内部に梱包用材料が詰まっている可能性があります。プリント カートリッジ交換用カバーを開き、カートリッジをブロックしている梱包用材料 (テープや厚紙) や異物を取り除きます。

ソフトウェア インストール時のトラブルシューティング

ソフトウェアのインストール時に問題が検出された場合は、以下のトピックを参照して問題を解決してください。ハードウェアのインストール時に問題が検出された場合は、ハードウェアのセットアップに関するトラブルシューティングを参照してください。

HP all-in-one ソフトウェアの通常のインストール時は、以下の処理が実行されます。

1 HP all-in-one ソフトウェアの CD-ROM が自動的に実行される
2 ソフトウェアがインストールされる。
3 一連のファイルがハード ドライブにコピーされる。
4 HP all-in-one をコンピュータに接続するように要求される。

5 緑色の OK とチェック マークがインストールされる。
6 コンピュータを再起動するよう要求される(XP では再起動しない場合あり)。
7 ファクス セットアップ ウィザードが実行される。
8 登録プロセスが実行される。

これらのいずれかの処理が実行されない場合は、インストールに問題がある可能性があります。PC に対するインストールをチェックするには、以下の事柄を確認します。

- 「**HP ディレクタ**」 を起動し、次のアイコンが表示されることを確認してください。「**画像スキャン設定**」、「**ドキュメント スキャン**」、「**ファクスの送信**」、 「**HP ギャラリ**」。「**HP ディレクタ**」 の起動の詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。アイコンがすぐに表示されない場合は、お使いのコンピュータに HP all-in-one が接続されるまで数分待たなければならないこともあります。または、HP ディレクタ のアイコンのいくつかが表示されない を参照してください。

  注記 標準インストールではなく、ソフトウェアの最小インストールを行った場合、「**HP Image Zone**」 および 「**コピー**」 はインストールされず、「**HP ディレクタ**」 から使用できません。

- [プリンタ] ダイアログ ボックスを開き、HP all-in-one がリスト表示されることを確認します。
- Windows タスクバーの右端にあるシステム トレイで HP all-in-one のアイコンを確認してください。表示されていれば、HP all-in-one が待機中であることを示しています。

コンピュータの CD-ROM ドライブに CD-ROM を挿入したが、何も実行されない

解決方法

次の手順に従ってください:

1 Windows の 「**スタート**」 メニューの 「**ファイル名を指定して実行**」 をクリックします。
2 「**ファイル名を指定して実行**」 ダイアログ ボックスで、「**d:\setup.exe**」 と入力 (CD-ROM ドライブにドライブ文字 D が割り当てられていない場合は、該当するドライブ文字を入力してください) し、「**OK**」 をクリックします。

最小システム チェック画面が表示される

解決方法

お使いのシステムが、ソフトウェアのインストールに必要な最小の要件を満たしていません。「**詳細**」 をクリックして、具体的な問題点を確認して、ソフトウェアをインストールする前に問題を解決してください。

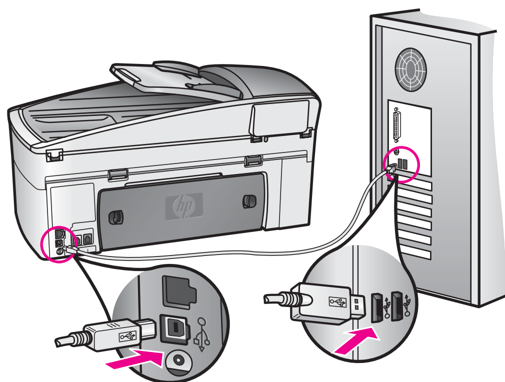
赤の X が USB 接続プロンプトに表示される

解決方法

通常は、プラグ アンド プレイが成功したことを示す緑のチェック記号が表示されます。赤の X は、プラグ アンド プレイ が失敗したことを示します。

次の手順に従ってください:

1 コントロール パネル オーバーレイがしっかりと取り付けられていることを確認した後、HP all-in-one の電源ケーブルをいったん抜き、再度差し込みます。
2 USB ケーブルおよび電源ケーブルが接続されていることを確認します。



3 「**再試行**」 をクリックして、プラグ アンド プレイの設定をやり直します。解決しなければ、次の手順に進みます。
4 USB ケーブルが正しくセットアップされていることを以下のように確認します。
   – USB ケーブルを、いったん抜き、再度差し込みます。
   – USB ケーブルを、キーボードや給電されないハブに接続してはいけません。
   – USB ケーブルは、3 m 以下の長さとしてください。
   – お使いのコンピュータに USB デバイスが複数個接続されている場合は、インストール中、ほかのデバイスの接続を解除した方がよい場合もあります。
5 インストール処理を継続し、指示されたらコンピュータを再起動します。それから、「**HP ディレクタ**」 を起動して、必須のアイコン (「**画像のスキャン**」、「**ドキュメントのスキャン**」、「**ファクスの送信**」、「**HP ギャラリ**」) を確認します。
6 必須のアイコンが表示されない場合は、本ソフトウェアを削除した後、再インストールしてください。詳しくは、ソフトウェアのアンインストールと再インストールを参照してください。

不明なエラーが発生したことを示すメッセージが出力される

解決方法

インストールを引き続き実行してみてください。解決しない場合、中止してインストールをやり直し、画面の指示に従います。エラーが発生した場合は、該当ソフトウェアをアンインストールした後、再インストールする必要があります。HP all-in-one のプログラム ファイルをハード ドライブから単に削除するだけでは不十分です。HP all-in-one プログラム グループに入っているアンインストール ユーティリティを使って、該当するファイルを正しく削除してください。

詳しくは、ソフトウェアのアンインストールと再インストールを参照してください。

「HP ディレクタ」 のアイコンのいくつかが表示されない

必須アイコン (「**画像のスキャン**」、「**ドキュメントのスキャン**」、「**ファクスの送信**」、「**HP ギャラリ**」) が表示されない場合は、インストールが完了していない可能性があります。

解決方法

インストールが未完の場合は、該当ソフトウェアをアンインストールした後、再インストールする必要があります。HP all-in-one のプログラム ファイルをハード ドライブから単に削除するだけでは不十分です。HP all-in-one プログラム グループに入っているアンインストール ユーティリティを使って、該当するファイルを正しく削除してください。詳しくは、ソフトウェアのアンインストールと再インストールを参照してください。

ファクス ウィザードが起動されない

解決方法

以下のようにファクス ウィザードを起動します。

1 「**HP ディレクタ**」 を起動します。詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。
2 「**設定**」 メニューをクリックし、「**ファクスの設定とセットアップ**」を選択した後、「**ファクス セットアップ ウィザード**」 を選択します。

登録画面が表示されない

解決方法

➔ Windows では、Windows タスクバーで [スタート] をクリックして、「**プログラム**」 または 「**すべてのプログラム**」 (XP)、「**HP**」、「**HP Officejet 7300/7400 series all-in-one**」 と進み、「**いますぐサインアップ**」 をクリックすると、登録画面にアクセスできます。

システム トレイに「デジタル イメージング モニタ」が表示されない

解決方法

システム トレイにデジタル イメージング モニタが表示されない場合は、「**HP ディレクタ**」 を起動して、必須アイコンがそこに表示されるかどうかを確認します。「**HP ディレクタ**」 の起動の詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」を参照してください。

「**HP ディレクタ**」 に必須アイコンが表示されない場合の詳細については、HP ディレクタ のアイコンのいくつかが表示されない を参照してください。

システム トレイは通常、デスクトップの右下隅に表示されます。



ソフトウェアのアンインストールと再インストール

インストールが不完全な場合、またはソフトウェア インストール画面で指示される前に USB ケーブルをコンピュータに接続した場合は、ソフトウェアをアンインストールしてから再インストールする必要があります。HP all-in-one のプログラム ファイルをハード ドライブから単に削除するだけでは不十分です。HP all-in-one プログラム グループに入っているアンインストール ユーティリティを使って、該当するファイルを正しく削除してください。

再インストールには、Windows コンピュータでも Macintosh コンピュータでも 20 ～40 分かかります。Windows コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法には、次の 3 つがあります。

Windows コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 1

1 お使いのコンピュータから HP all-in-one の接続を解除します。ソフトウェアのアンインストールが完了するまで、HP all-in-one をコンピュータに接続しないでください。
2 Windows タスクバーで、「**スタート**」 をクリックして、「**プログラムの開始**」 または 「**すべてのプログラム**」 (XP)、「**HP**」、「**HP Officejet 7300/7400 series all-in-one**」、「**ソフトウェアのアンインストール**」 と移動します。
3 画面上の指示に従って操作してください。
4 共有ファイルを削除するかどうか尋ねられたら、「**[いいえ]**」 をクリックします。
共有ファイルを削除すると、これらのファイルを使用する他のプログラムが動作しなくなってしまう可能性があります。
5 コンピュータを再起動します。

注記　コンピュータを再起動する前に HP all-in-one の接続を解除することが重要です。ソフトウェアのアンインストールが完了するまで、HP all-in-one をコンピュータに接続しないでください。

6 ソフトウェアを再インストールするには、HP all-in-one の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入し、画面の指示および HP all-in-one 付属のセットアップ ガイドの指示に従ってください。

ソフトウェアのインストールが完了したら、システム トレイに [ステータス モニタ] アイコンが表示されます。

ソフトウェアが正しくインストールされているかどうかを確認するには、デスクトップで 「**HP ディレクタ**」 アイコンをダブルクリックしてください。「**HP ディレクタ**」 に主要なアイコン (「**画像のスキャン**」、「**ドキュメント スキャン**」、「**ファクス送信**」、および 「**HP ギャラリ**」) が表示されている場合、ソフトウェアは正しくインストールされています。

Windows コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 2

注記　この方法は、Windows の [スタート] メニューから 「**ソフトウェアのアンインストール**」 が利用できない場合に使用します。

1 Windows のタスクバーで、「**スタート**」、「**設定**」、「**コントロール パネル**」の順にクリックします。
2 「**[アプリケーションの追加と削除]**」をダブルクリックします。
3 「**HP psc & Officejet 4.0**」 を選択して、「**変更と削除**」 をクリックします。
画面上の指示に従って操作してください。
4 お使いのコンピュータから HP all-in-one の接続を解除します。
5 コンピュータを再起動します。

注記　コンピュータを再起動する前に HP all-in-one の接続を解除することが重要です。ソフトウェアの再インストールが完了するまで、HP all-in-one をコンピュータに接続しないでください。

6 セットアップ プログラムを起動します。
7 画面の指示および HP all-in-one 付属のセットアップ ガイドの指示に従ってください。

Windows コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 3

注記　この方法は、Windows の [スタート] メニューで 「**ソフトウェアのアンインストール**」 が利用できない場合に使用します。

1 HP Officejet 7300/7400 series all-in-one ソフトウェア セットアップ プログラムを起動します。.
2 「**[アンインストール]**」 を選択して、画面上の指示に従って操作します。
3 お使いのコンピュータから HP all-in-one の接続を解除します。
4 コンピュータを再起動します。

注記　コンピュータを再起動する前に HP all-in-one の接続を解除することが重要です。ソフトウェアの再インストールが完了するまで、HP all-in-one をコンピュータに接続しないでください。

5 HP Officejet 7300/7400 series all-in-one ソフトウェアのセットアップ プログラムをもう一度実行します。
6 「**インストール**」 を起動します。
7 画面の指示および HP all-in-one 付属のセットアップ ガイドの指示に従ってください。

Macintosh コンピュータからアンインストールするには

1 Macintosh から HP all-in-one の接続を解除します。
2 「**アプリケーション**」 の「**HP All-in-One ソフトウェア**」 フォルダのアイコンをダブルクリックします。
3 「**HP アンインストーラ**」 をダブルクリックします。
画面上の指示に従って操作してください。
4 ソフトウェアのアンインストールが終了したら、HP all-in-one を切断し、コンピュータを再起動します。

注記　コンピュータを再起動する前に HP all-in-one の接続を解除することが重要です。ソフトウェアの再インストールが完了するまで、HP all-in-one をコンピュータに接続しないでください。

5 ソフトウェアを再インストールするには、コンピュータの CD-ROM ドライブに HP all-in-one の CD-ROM を挿入します。
6 デスクトップで、CD-ROM を開き、「**HP all-in-one インストーラ**」 をダブルクリックします。
7 画面の指示および HP all-in-one 付属のセットアップ ガイドの指示に従ってください。

ファクス セットアップのトラブルシューティング

このセクションでは、HP all-in-one のファクス セットアップに関するトラブルシューティング情報について説明します。HP all-in-one でファクスが正しくセットアップされていないと、ファクスの送信、ファクスの受信またはその両方で問題が発生する可能性があります。

ヒント　このセクションでは、セットアップに関連したトラブルシューティングだけを説明しています。印刷出力や受信が遅いなどの問題に関する追加のファクス トラブルシューティングについては、「**HP Image Zone**」 ソフトウェア付属のオンスクリーン トラブルシューティング ヘルプを参照してください。

ファクスに問題がある場合、ファクス テスト レポートを印刷して、HP all-in-one の状態を確認できます。HP all-in-one で正しくファクスがセットアップされていない場合、テストは失敗します。このテストは、HP all-in-one のファクス機能のセットアップが完了した後に実行してください。

ファクス セットアップをテストするには

1 「**セットアップ**」 を押します。
2 「**6**」 を押し、次に 「**5**」 を押します。
「ツール」 メニューが表示され、「ファクス テストを実行」 が選択されます。
HP all-in-one のカラー グラフィック ディスプレイにテストの状態が表示され、レポートが印刷されます。
3 レポートを確認します。
– テストに合格してもファクスの問題が解消されない場合は、レポートに記載されているファクス設定を調べて、正しく設定されていることを確認します。ファクス設定が行われていない、または不適切な場合は、ファクスの問題が発生する可能性があります。
– テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題の解決方法を確認してください。詳細については、次のセクション ファクス テストが失敗する も参照してください。
4 「**OK**」 を押して、「セットアップ メニュー」 に戻ります。

それでもファクスに問題がある場合は、次のセクションに進み、トラブルシューティング ヘルプの指示に従います。

ファクス テストが失敗する

ファクス テストを実行して失敗した場合、レポートを調べてエラーの基本情報を確認します。詳細については、テストのどの部分で失敗したか確認し、このセクションの該当箇所に移動して指示に従います。

- ファクス ハードウェア テストが失敗
- アクティブな壁側のモジュラー ジャックに接続したファクスがテストに失敗
- 電話コードをファクスの正しいポートに接続してもファクス テストに失敗
- ファクス回線状態テストに失敗
- ダイヤル トーン検出テストに失敗

ファクス ハードウェア テストが失敗

解決方法

- コントロール パネルの 「**On**」 ボタンを使用して、HP all-in-one の電源をオフにし、HP all-in-one の背面から電源コードを抜きます。数秒経ってから、電源コードを挿し直して、電源をオンにします。もう一度テストを実行します。またテストに失敗した場合、引き続きこのセクションのトラブルシューティング情報を調べてください。
- テスト ファクスを送信または受信してみてください。ファクスの送信または受信に成功したら、問題ない可能性があります。
- 「**ファクス セットアップ ウィザード**」 からテストを実行している場合、HP all-in-one が、ファクスの受信やコピー作成など別なタスクを完了しようとしてビジーになっていないことを確認します。カラー グラフィック ディスプレイのメッセージで、HP all-in-one がビジ

一状態であるか確認してください。ビジー状態の場合、タスクが終了してアイドル状態になってからテストを実行します。

問題が見つかったら解決してからもう一度ファクス テストを実行して、テストが成功したら、HP all-in-one でファクスを利用する準備ができています。「ファクス ハードウェア テスト」 が失敗し続け、ファクスができない場合、HP サポートにお問い合わせください。HP へのサポートのお問い合わせについては、HP 製品サポートについて を参照してください。

アクティブな壁側のモジュラー ジャックに接続したファクスがテストに失敗

解決方法

- 電話の壁側のモジュラー ジャックと HP all-in-one の接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認します。
- 必ず HP all-in-one 付属の電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと HP all-in-one を接続しないと、正常にファクスの送受信ができないことがあります。HP all-in-one 付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。
- HP all-in-one が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。HP all-in-one に付属の電話コードの一方の端を電話コンセントに、もう一方の端を HP all-in-one の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。HP all-in-one でファクスをするためのセットアップの詳細については、ファクスのセットアップ を参照してください。
- 電話スプリッターを使用している場合、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。)スプリッタを取り除き、HP all-in-one を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。
- 正常に機能する電話機と電話コードを、HP all-in-one に使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の検査を依頼してください。
- テスト ファクスを送信または受信してみてください。ファクスの送信または受信に成功したら、問題ない可能性があります。

問題が見つかったら解決してからもう一度ファクス テストを実行して、テストが成功したら、HP all-in-one でファクスを利用する準備ができています。

電話コードをファクスの正しいポートに接続してもファクス テストに失敗

解決方法

電話コードが、HP all-in-one 背面の間違ったポートに差し込まれています。

1 HP all-in-one に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP all-in-one の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。

 注記 「2-EXT」ポートを使用して壁側のモジュラー ジャックに接続すると、ファクスの送受信はできません。「2-EXT」ポートは、留守番電話や電話機などの機器接続専用です。

2 「1-LINE」と書かれたラベルのポートに電話コードを接続したら、もう一度ファクス テストを実行して、テストが成功したら、HP all-in-one でファクスを利用する準備ができています。

3 テスト ファクスを送信または受信してみてください。

ファクス回線状態テストに失敗

解決方法

- HP all-in-one をアナログ電話回線に接続していることを確認してください。アナログ電話回線に接続していないと、ファクスを送受信できません。電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。通常のダイヤルトーンが聞こえない場合は、その回線はデジタル電話用に設定された電話回線である可能性があります。HP all-in-one をアナログ回線に接続して、ファックスを送受信してみてください。
- 電話の壁側のモジュラー ジャックと HP all-in-one の接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認します。
- HP all-in-one が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。HP all-in-one に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP all-in-one の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。HP all-in-one でファクスをするためのセットアップの詳細については、ファクスのセットアップ を参照してください。
- HP all-in-one と同じ電話回線を使用している他の機器がテスト失敗の原因の可能性があります。他の機器が原因になっているかどうかを確認するために、電話回線からすべての機器を外し、もう一度テストを実行します。
  – 他の機器が無ければ、「ファクス回線状態テスト」 が成功する場合、いずれかの機器が問題の原因になっています。問題の原因になっている機器が特定できるまで、1 台ずつ接続してテストを繰り返します。
  – 他の機器が無くても、「ファクス回線状態テスト」 に失敗する場合は、正常に機能している電話回線に HP all-in-one を接続し

て、引き続きこのセクションのトラブルシューティング情報を調べてください。

- 電話スプリッターを使用している場合、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。)スプリッタを取り除き、HP all-in-one を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

問題が見つかったら解決してからもう一度ファクス テストを実行して、テストが成功したら、HP all-in-one でファクスを利用する準備ができています。「ファクス回線状態」 テストに引き続き失敗し続け、ファクスができない場合、電話会社に連絡して回線の検査を依頼してください。

ダイヤル トーン検出テストに失敗

解決方法

- HP all-in-one と同じ電話回線を使用している他の機器がテスト失敗の原因の可能性があります。他の機器が原因になっているかどうかを確認するために、電話回線からすべての機器を外し、もう一度テストを実行します。他の機器が無ければ、「ダイヤル トーン検出テスト」 が成功する場合、いずれかの機器が問題の原因になっています。問題の原因になっている機器が特定できるまで、1 台ずつ接続してテストを繰り返します。
- 正常に機能する電話機と電話コードを、HP all-in-one に使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の検査を依頼してください。
- HP all-in-one が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。HP all-in-one に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP all-in-one の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。HP all-in-one でファクスをするためのセットアップの詳細については、ファクスのセットアップ を参照してください。
- 電話スプリッターを使用している場合、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。)スプリッターを取り除き、HP all-in-one を壁側のモジュラージャックに直接接続してください。
- PBX システムなど、ご使用の電話システムが通常のダイヤル トーンを使用していない場合、テストに失敗する原因になる可能性があります。これは、ファクス送受信の問題の原因にはなりません。テスト ファクスを送信または受信してみてください。
- お住まいの国/地域に対して、国/地域の設定が適切に設定されていることを確認してください。国/地域が設定されてないか、正しく設定されてないと、テストに失敗し、ファクスの送受信に問題が発生することがあります。設定を確認するには、「**セットアップ**」 を押してから 「**7**」 を押します。言語および国/地域の設定が、カラー グラフィック ディスプレイに表示されます。国/地域の設定が不適切な場

合、「**OK**」 を押し、カラー グラフィック ディスプレイの指示に従って変更してください。

- HP all-in-one をアナログ電話回線に接続していることを確認してください。アナログ電話回線に接続していないと、ファクスを送受信できません。電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。通常のダイヤルトーンが聞こえない場合は、その回線はデジタル電話用に設定された電話回線である可能性があります。HP all-in-one をアナログ回線に接続して、ファックスを送受信してみてください。

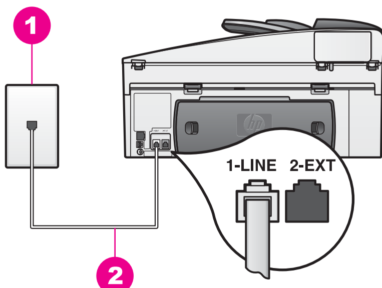
問題が見つかったら解決してからもう一度ファクス テストを実行して、テストが成功したら、HP all-in-one でファクスを利用する準備ができています。「**ダイヤル トーン検出**」 テストに引き続き失敗し続ける場合、電話会社に連絡して回線の検査を依頼してください。

HP all-in-one のファクス送受信に問題が発生する

解決方法

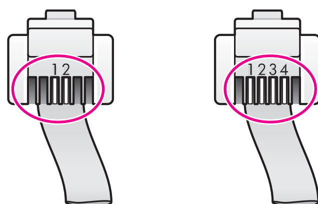
注記　この解決策が適用するのは、2 線式電話コードが HP all-in-one に同梱されている次のような国または地域のみです。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

- HP all-in-one に付属の電話コードを使用して、壁側のモジュラージャックに接続していることを確認してください。下図のように、専用 2 線式コードの一方の端を HP all-in-one の後部にある「1-LINE」と書かれたポートに接続し、もう一方の端を壁側のモジュラージャックに接続します。



1	壁側のモジュラージャック
2	HP all-in-one 付属の電話コード

これは特殊な 2 線式コードで、自宅やオフィスにある一般の 4 線式電話コードとは違います。コードの端を確認して、下図に示されている 2 種類のコードと比較してください。



4 線式コードを使用している場合は、それを取り外し、付属の 2 線式コードを HP all-in-one の後部にある「1-LINE」と書かれたポートに接続します。この電話コードの接続と HP all-in-one でのファクスのセットアップの詳細については、ファクスのセットアップ を参照してください。
付属電話コードでは不足な場合、延長可能です。詳細については、HP all-in-one 付属の電話コードの長さが足りないを参照してください。

- 正常に機能する電話機と電話コードを、HP all-in-one に使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の検査を依頼してください。
- HP all-in-one と同じ電話回線の他の機器が使用中である可能性があります。内線電話の受話器が外れている場合や、PC モデムを経由して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、HP all-in-one のファクス機能は使用できません。
- 電話回線の接続ノイズが発生している可能性があります。電話回線の音質が悪い (ノイズがある) と、ファクスの使用時に問題が発生することがあります。電話を壁側のモジュラー ジャックに接続し、静電ノイズなどのノイズに注意して、電話線の音質をチェックしてください。ノイズが聞こえたら、「エラー補正モード」 (ECM) をオフにして、もう一度ファクスしてみてください。詳細については、エラー補正モードを使用するを参照してください。問題が解決しない場合、電話会社に連絡してください。
- デジタル加入者線 (DSL) サービスの使用時は、DSL フィルタが接続されていることを確認してください。そうしないと、ファクスを使用することができません。DSL フィルタは、このデジタル信号を除去して、HP all-in-one が電話回線と正しく交信できるようにします。DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。DSL フィルタを入手済みの場合、正しく接続されていることを確認してください。詳細については、ケース B:DSL の環境で HP all-in-one をセットアップを参照してください。

- HP all-in-one が、デジタル電話用にセットアップされた壁側のモジュラージャックに接続されていないことを確認してください。電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。通常のダイヤルトーンが聞こえない場合は、その回線はデジタル電話用に設定された電話回線である可能性があります。
- 構内電話交換システム (PBX) または統合サービス デジタル通信網 (ISDN) コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合、HP all-in-one がファクスおよび電話用のポートに接続されていることを確認してください。また、ターミナル アダプタがお住まいの国/地域に対応したスイッチ タイプに設定されていることも確認してください。ISDN システムの中には、ユーザーが特定の電話機器に応じてポートを設定できるようになっているものがあります。たとえば、電話と G3 規格のファクスに 1 つのポートを割り当て、多目的用に別のポートを割り当てることができます。ファクス/電話ポートに接続しているときに問題が発生し続ける場合は、多目的用のポート (「多用途」と書かれている場合があります) を使用してください。PBX 電話システムや ISDN 回線で HP all-in-one をセットアップする方法については、ファクスのセットアップ を参照してください。
- HP all-in-one が DSL サービスと同じ電話回線を共有している場合、DSL モデムが正しく接地されていない可能性があります。DSL モデムが正しく接地されていない場合、電話回線でノイズが発生することがあります。電話回線の音質が悪い (ノイズがある) と、ファクスの使用時に問題が発生することがあります。電話機を壁側のモジュラージャックに接続して、静的ノイズなどのノイズの有無を聞き取ると、電話回線の音質を確認できます。ノイズが聞こえる場合は、DSL モデムをオフにして、少なくとも 15 分間電力を完全に除去します。DSL モデムをもう一度オンにして、ダイヤル トーンを聞きます。

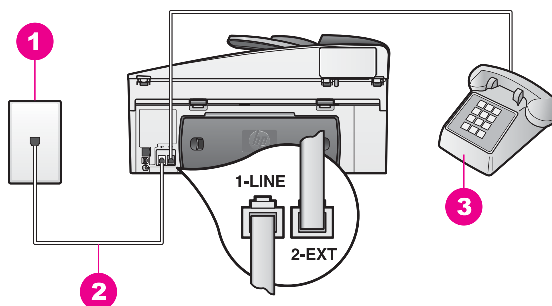
  注記　将来、電話で再び静電ノイズが聞こえることがあります。HP all-in-one でファクスの送受信ができない場合は、以下の作業を行ってください。

  電話回線でノイズが聞こえる場合、または DSL モデムをオフにする詳細については、DSL プロバイダにサポートを依頼してください。電話会社に問い合わせることも可能です。
- 電話スプリッターを使用している場合、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。)スプリッタを取り除き、HP all-in-one を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

HP all-in-one でファクスの手動送信で問題が発生する

解決方法

- ファクスを実行するために使用する電話機が、直接 HP all-in-one に接続されていることを確認してください。ファクスを手動で送信するには、下図のように、HP all-in-one の後部にある「2-EXT」と書かれたポートに電話機を直接接続してください。ファクスの手動送信についての詳細は、ファクスを電話から手動で送信するを参照してください。



1	壁側のモジュラージャック
2	HP all-in-one 付属の電話コード
3	電話

- HP all-in-one に直接接続された電話から手動でファクスを送信する場合、ファクス送信には電話機のキーパッドを使用する必要があります。HP all-in-one のコントロール パネルのキーパッドは使用できません。

HP all-in-one でファクス受信はできないが、ファクス送信は可能

解決方法

- 着信識別サービスを使用していない場合は、HP all-in-one の 「応答呼び出し音のパターン」 機能に 「すべての呼び出し」 が設定されていることを確認してください。詳細については、応答呼び出し音のパターン (着信識別音) を変更するを参照してください。
- 「自動応答」 が、「Off」 に設定されている場合、手動でファクスを受信する必要があります。手動でなければ HP all-in-one でファクス受信はできません。ファクスの手動受信についての詳細は、手動でファクスを受信するを参照してください。
- ファクスと同じ電話番号でボイスメール サービスをお使いの場合は、ファクスを手動で受信しなければなりません。自動受信することはできません。受信ファクスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。ボイスメール サービスをお使いの場合に HP all-in-one でファクスをセットアップする方法については、ファクスのセットアップ を参照してください。ファクスの手動受信についての詳細は、手動でファクスを受信するを参照してください。

- HP all-in-one と同じ電話回線上に PC モデムがある場合は、PC モデムのソフトウェアがファクスを自動受信するような設定になっていないことを確認してください。モデムのファクス自動受信機能がオンになっていると、モデムが代わりに電話を受けて、送信されたファクスをすべて受信します。そのため、HP all-in-one は、ファクスを受信することができません。
- HP all-in-one と同じ電話回線上に留守番電話がある場合は、以下のいずれかの問題が発生している可能性があります。
  - 留守番電話が HP all-in-one に対して適切にセットアップされていない可能性があります。
  - 発信メッセージが長すぎる、または発信メッセージの音量が大きすぎるために HP all-in-one がファクス トーンを検出できず、それが原因で送信元のファクス機が切断される。
  - ご使用の留守番電話は、外出メッセージを流した後に、相手がメッセージを録音したりファクスが着信したりするのを検出しない場合に、回線の切断が早すぎる可能性があります。この場合、HP all-in-one はファクス トーンを検出できません。この問題は、デジタル留守番電話の場合に最もよく発生します。

  以下の項目を確認すると、これらの問題が解決される場合があります。
  - ファクスと同じ電話回線で留守番電話を使用する場合、ファクスのセットアップ の説明のとおり、留守番電話を HP all-in-one に直接接続してください。
  - 必ず、HP all-in-one がファクスを自動受信するように設定してください。HP all-in-one でファクスを自動受信するように設定する方法については、HP all-in-one でファクスを受信するように設定する を参照してください。
  - 「応答呼び出し回数」 の設定が正しいことを確認してください。留守番電話の呼び出し回数を 4 回に設定し、HP all-in-one の呼び出し回数を、お使いの機器でサポートされている最大回数に設定してください。(呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。この設定では、留守番電話が電話に応答し、HP all-in-one が電話回線を監視します。HP all-in-one がファクス トーンを検出すると、HP all-in-one はファクスを受信します。音声の場合には、留守番電話が着信メッセージを録音します。応答までの呼出し回数の設定についての詳細は、応答するまでの呼び出し回数を設定する を参照してください。
  - 留守番電話の接続を解除し、ファクスを受信してみる。この状態でファクスを受信できる場合は、留守番電話が原因である可能性があります。
  - 留守番電話をもう一度接続し、発信メッセージを録音し直します。メッセージはできるだけ短くし (10 秒以下)、録音時はやさしくゆっくりとしゃべってください。外出メッセージの最後に、

背景ノイズを入れずに 4～5 秒間の無音部分を残してください。
もう一度ファクスを受信してください。

注記　デジタル留守番電話には、外出メッセージの最後に録音した無音部分を保持しないものもあります。外出メッセージを再生して確認してください。

- HP all-in-one が、留守番電話や PC モデム、マルチポート スイッチボックスなど、その他のタイプの電話機器と同じ電話回線を共有している場合は、ファクスの信号レベルが減衰することがあります。信号レベルの減衰により、ファクス受信時に問題が発生することがあります。
  ほかの機器が問題の原因となっているかどうかを調べるには、HP all-in-one 以外のすべてのものを電話回線から取り外し、ファクスを受信してみてください。ファクスの受信に成功した場合は、取り外した機器のいずれかに原因があります。問題の原因となっている機器がわかるまで、機器を 1 つずつ取り付け、ファクスを受信してください。
- ファクス用電話番号の呼び出し音のパターンが特殊な場合 (電話会社を通じて着信識別サービスを使用している場合) は、HP all-in-one の「応答呼び出し音のパターン」 機能がそれに合致するように設定されていることを確認してください。たとえば、電話会社からファクス番号にダブルの呼び出し音パターンが割り当てられている場合は、「応答呼び出し音のパターン」の設定値として「ダブル呼び出し音」が選択されていることを確認します。この設定の変更については、応答呼び出し音のパターン (着信識別音) を変更する を参照してください。

  注記　短い呼び出し音パターンと長い呼び出し音パターンが交互になっている場合など、HP all-in-one では一部の呼び出し音パターンを認識することができません。このようなタイプの呼び出し音パターンを使っているときに問題がある場合は、電話会社に、交互型でない呼び出し音パターンを割り当てを依頼してください。

留守番電話にファクス トーンが録音されている

解決方法

- ファクスと同じ電話回線で留守番電話を使用する場合、ファクスのセットアップ の説明のとおり、留守番電話を HP all-in-one に直接接続してください。 留守番電話を推奨される方法で接続しないと、ファクス トーンが留守番電話に録音される場合があります。
- 必ず、HP all-in-one がファクスを自動受信するように設定してください。HP all-in-one が手動でファクスを受信するように設定されていると、HP all-in-one が受信ファクスに応答しません。受信ファクスに応答するには、ユーザーが手動で受信操作をしなければなりません。この操作を行わないと、HP all-in-one はファクスを受信せ

ず、留守番電話にファクス トーンが録音されます。HP all-in-one でファクスを自動受信するように設定する方法については、HP all-in-one でファクスを受信するように設定する を参照してください。

- 「応答呼び出し回数」 の設定が正しいことを確認してください。の [応答するまでの呼び出し回数] には、留守電に応答する回数よりも多い回数を設定しなければなりません。留守番電話と HP all-in-one の応答するまでの呼び出し回数が同じ回数に設定されていると、電話とファクスの両方が着信に応答してしまうため、ファクス トーンが留守番電話に録音されます。
留守番電話の呼び出し回数を 4 回に設定し、HP all-in-one の呼び出し回数を、お使いの機器でサポートされている最大回数に設定してください。(呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。この設定では、留守番電話が電話に応答し、HP all-in-one が電話回線を監視します。HP all-in-one がファクス トーンを検出すると、HP all-in-one はファクスを受信します。音声の場合には、留守番電話が着信メッセージを録音します。応答までの呼出し回数の設定についての詳細は、応答するまでの呼び出し回数を設定する を参照してください。

HP all-in-one を接続したあと、電話回線上で静的ノイズが聞こえる

解決方法

注記　この解決策が適用するのは、2 線式電話コードが HP all-in-one に同梱されている次のような国または地域のみです。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

- 2 線式コード (HP all-in-one 付属) を HP all-in-one の背面の「1-LINE」と書かれたラベルのポートと壁側のモジュラー ジャックに接続していなければ、電話回線で静的ノイズが聞こえ、ファクスが使用できません。これは特殊な 2 線式コードで、自宅やオフィスにある一般の 4 線式電話コードとは違います。
- 電話スプリッターを使用している場合、電話回線で静的ノイズの原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。)スプリッタを取り除き、HP all-in-one を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。
- HP all-in-one の接続に、適切な電源コンセントを使用していない場合、電話回線で静的ノイズの原因になる場合があります。別の電源コンセントに接続してください。

HP all-in-one 付属の電話コードの長さが足りない

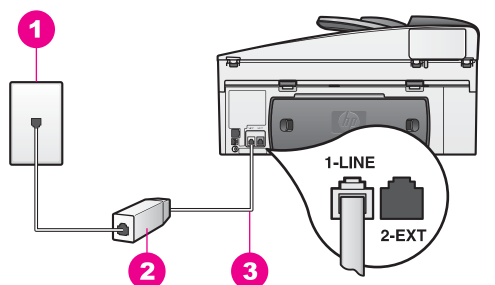
解決方法

HP all-in-one 付属の電話コードの長さが足りない場合、カプラーを使用して延長できます。カプラーは、電話のアクセサリを扱っている電器店で購入できます。自宅やオフィスで使用している通常の電話コードがもう 1 本必要です。

ヒント　HP all-in-one に 2 線式電話コード アダプタが付属していたら、4 線式電話コードと合わせて使用して長さを延長できます。2 線式電話コード アダプタの使用方法については、付属のマニュアルを参照してください(日本では付属しておりません)。

電話コードを延長するには

1 HP all-in-one に付属の電話コードの一方の端をカプラーに、もう一方の端を HP all-in-one の背面に「1-LINE」と書かれているポートに接続します。
2 もう 1 本の電話コードを、下図のとおりに、空いているカプラーのポートと壁側のモジュラー ジャックに接続します。



1	壁側のモジュラージャック
2	カプラー
3	HP all-in-one に付属の電話コードを使用

インターネットを介してファクスをすると問題が発生する

解決方法

次の点を確認してください。

- インターネット ファクス サービスには、HP all-in-one が高速 (33600bps) でファクスの送受信をすると、正常に動作しないものもあります。インターネット ファクス サービスを使用して、ファクスの送受信で問題が起きたら、ファクス速度を遅くしてください。「ファクス速度」 の設定を 「はやい」 (デフォルト) から 「標準」 にすれば、ファクス速度が遅くなります。この設定の変更については、ファクス速度を設定する を参照してください。
- 電話コードを HP all-in-one の「1-LINE」と書かれたポートに接続した場合だけファクスの送受信が可能で、 Ethernet ポートは使用できません。つまり、インターネット接続は、コンバータ ボックス (ファ

クス接続用に通常のアナログ電話ジャックを装備) または電話会社経由で行う必要があるということです。
- インターネット ファクス サービスがファクスをサポートしているか電話会社に確認してください。

HP Instant Share セットアップの問題

「**HP Instant Share**」 セットアップ時のエラー (「**HP Passport**」 のアカウントや 「**アドレス帳**」などの設定に関するもの) については、「**HP Instant Share**」 の画面に固有のヘルプを参照してください。動作時に固有なトラブルシューティングについては、次の HP Instant Share トラブルシューティング を参照してください。

ここでは、プリンタのセットアップによって発生した HP Instant Share のエラーの解決方法を説明します。

最小インストールによるエラー

解決方法

HP Instant Share を HP all-in-one にセットアップできません。
HP Instant Share 機能がインストールされてい ないためです。

→ HP Instant Share 機能を有効にするには、製品に付属するインストール CD をコンピュータにセットし、「**標準 (推奨)**」 を選択します。

注記　お使いのシステムが 「**標準**」 のソフトウェア インストールのシステム要件を満たしていない場合、HP Instant Share のインストールおよび使用はできません。

デバイス ソフトウェアをインストールする必要がある

解決方法

HP all-in-one ソフトウェアをインストールしていません。

→ HP all-in-one ソフトウェアをインストールするには、製品に付属するインストール CD をコンピュータにセットし、「**標準 (推奨)**」 を選択します。

(HP Instant Share 未設定

解決方法

「**HP Instant Share**」 ボタンを押しましたが、HP all-in-one に HP Instant Share が登録されていません。

1. 「**1**」 を押して、「**はい、写真を簡単に共有するために HP Instant Share を設定します**」 を選択します。
   コンピュータの画面に HP Instant Share セットアップ ウィザードが表示されます。
2. 画面上の指示に従って HP Passport のアカウントを取得し、HP Instant Share に対応するように HP all-in-one をセットアップします。

HP Instant Share がセットアップされていません、またはネットワークが利用できません。

解決方法

プリンタに HP Instant Share がセットアップされていません。

1 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。
2 「**1**」 を押して、「はい、写真を簡単に共有するために HP Instant Share を設定します」 を選択します。
コンピュータの画面に HP Instant Share セットアップ ウィザードが表示されます。
3 画面上の指示に従って HP Passport のアカウントを取得し、HP Instant Share に対応するように HP all-in-one をセットアップします。

解決方法

ネットワークが利用できません。

➔ 詳細については、HP all-in-one に付属のネットワーク ガイドを参照してください。

プリンタ上で送信先が未設定。ヘルプに関してマニュアルを参照.

解決方法

HP Instant Share サービスが送信先を検出しませんでした。送信先が設定されていません。

➔ 送信先を作成して、画像を送信する先を指定できるようにします。送信先に指定できるのは、電子メール アドレス、友人や家族が使用しているネットワーク接続デバイス、オンライン フォト アルバム、またはオンライン写真仕上げサービスです。利用できるサービスは、国/地域によって異なります。

送信先を作成するには

1 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。
「HP Instant Share」 メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2 「**4**」 を押し、 「新しい送信先の追加」を選択します。
「コンピュータの選択」 メニューが表示され、お使いのネットワークに接続されているコンピュータがリスト表示されます。
3 リストからコンピュータを選択します。

注記 選択したコンピュータには 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアがインストールされている必要があり、そのコンピュータは HP Instant Share サービスにアクセスできる必要があります。

コンピュータのウィンドウに HP Instant Share サービス画面が表示されます。

トラブルシューティング情報

4 HP Passport の「**ユーザー ID**」 と「**パスワード**」を使用して、HP Instant Share にサインインします。
HP Instant Share マネージャが表示されます。

注記 HP Instant Share サービスに HP Passport 「**ユーザー ID**」 と「**パスワード**」 を記憶させておけば、要求メッセージは表示されません。

5 「**共有**」 タブを選択してオンスクリーンの指示に従い、新しい送信先を作成します。
詳細については、オンスクリーン ヘルプを参照してください。
複数の画像をまとめて友人または家族のネットワーク接続デバイスに送信する場合、「**HP Instant Share メール送信**」 を選択します。「**電子メール アドレス**」 フィールドの@send.hp.com の前に、受信者がデバイスに割り当てた名前を入力してください。

注記 本体へ送信するには 1) 送信者と受信者両方が、HP Passport のユーザー ID とパスワードが必要です。2) 画層送信先のデバイスは、HP Instant Share に登録されている必要があります。3) 画像は、「**HP Instant Share メール送信**」 または HP リモート印刷を使用して送信する必要があります。

「**HP Instant Share メール送信**」 にデバイス送信先を設定したり、HP リモート印刷で使用するプリンタを追加したりする前に、受信者がネットワーク接続デバイスに割り当てた固有の名前を尋ねてください。プリンタに名前が作成されるのは、ユーザーが HP Instant Share でサインアップして、使用しているプリンタを登録するときです。詳しくは、はじめにを参照してください。

6 送信先の作成後は、HP all-in-one に戻ると、画像を送信できます。詳しくは、HP all-in-one から直接画像を送信するを参照してください。

動作時のトラブルシューティング

「**HP Officejet 7300/7400 series all-in-one** 」 の 「**HP Image Zone**」 にあるトラブルシューティング セクションには、HP all-in-one と関連したよくある問題についてのトラブルシューティングのヒントが出ています。

Windows コンピュータでトラブルシューティング情報にアクセスするには、「**HP ディレクタ**」 に移動し、 「**ヘルプ**」 をクリックした後、「**トラブルシューティングとサポート**」 を選択します。トラブルシューティング情報は、一部のエラー メッセージに表示される [ヘルプ] ボタンを使っても表示できます。

Macintosh OS X v10.1.5 以降でトラブルシューティング情報にアクセスするには、ドックで 「**HP Image Zone**」 アイコンをクリックし、メニュー バー

から「ヘルプ」 を選択し、「ヘルプ」 メニューから 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を選択してから、ヘルプ ビューアで 「**HP Officejet 7300/7400 series all-in-one トラブルシューティング**」 を選択します。

インターネットにアクセス可能な場合は、次の HP Web サイトからヘルプ情報を入手することができます

www.hp.com/jp/hho

この Web サイトには、よく寄せられる質問に対する回答も掲載されています。

用紙のトラブルシューティング

紙詰まりを防止するために、 ご使用の HP all-in-one で推奨している用紙の種類をお使いください。推奨用紙の一覧については、オンスクリーンの「**HP Image Zone ヘルプ**」、または HP Web サイト www.hp.com/support を参照してください。.

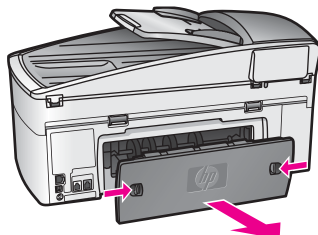
波打ったり、しわが寄ったりしている用紙や端が折れたり破れたりしている用紙は、給紙トレイにセットしないでください。詳しくは、紙詰まりの防止を参照してください。

デバイスの中で紙が詰まった場合、次の指示に従い、紙詰まりを取り除いてください。

HP all-in-one で用紙が詰まった

解決方法

1 下図のように、後部排出カバーにある両脇のタブを押し込んで、このカバーを取り外します。
ご使用の HP all-in-one に両面印刷モジュールが付属している場合、図の後部排出カバーが付いていない場合があります。紙詰まりを直すには、このモジュールを取り外す必要があります。詳細については、両面印刷モジュールに付属するマニュアルを参照してください。



注意 HP all-in-one の正面側から詰まった紙を取り除くと、プリンタが損傷する場合があります。必ず、後部排出カバーを開けて、詰まった紙を後部から取り除いてください。

2 詰まっている用紙をローラーからゆっくり引っ張り出します。

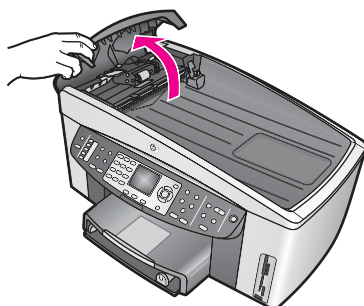
> **警告** ローラーから引き出している途中に用紙が破れてしまった場合、ローラーとホイールを点検して、本体の中に紙切れが残っていないか確認してください。HP all-in-one に紙切れが残っていると、紙詰まりが起こりやすくなります。

3 後部排出カバーを取り付けます。パチンと音がするまでカバーをゆっくり押し込みます。
4 現在のジョブを続行するには、「**[OK]**」 をクリックします。

用紙が自動ドキュメント フィーダに詰まった

解決方法

1 HP all-in-one からドキュメント フィーダ トレイを取り外そうとして引っ張る。
2 自動ドキュメント フィーダのカバーを外す。



3 詰まっている用紙をローラーからゆっくり引っ張り出します。

> **警告** ローラーから引き出している途中に用紙が破れてしまった場合、ローラーとホイールを点検して、自動ドキュメント フィーダの中に紙切れが残っていないか確認してください。HP all-in-one に紙切れが残っていると、紙詰まりが起こりやすくなります。

自動ドキュメント フィーダの正面から、面板を取り外して、ピック アセンブリを持ち上げて自動ドキュメント フィーダの奥から紙切れを取り除いてください。詳しくは、自動ドキュメント フィーダが一度に何枚も給紙する。またはまったく給紙しないを参照してください。

4 自動ドキュメント フィーダのカバーを閉じ、ドキュメント フィーダ トレイを付け直します。

オプションの両面印刷モジュールに用紙が詰まった

解決方法

両面印刷モジュールを取り外す必要があります。詳細については、両面印刷モジュールに付属するマニュアルを参照してください。

トラブルシューティング情報

注記　紙詰まりを直す前に HP all-in-one の電源をオフにした場合は、オンに戻してからプリント ジョブやコピー ジョブ、ファクス ジョブを再開してください。

自動ドキュメント フィーダが一度に何枚も給紙する。またはまったく給紙しない

原因

自動ドキュメント フィーダ内部のセパレータ パッドやローラーをクリーニングする必要があります。手書き原稿やインクを多量に使用した原稿をコピーする場合、あるいは長期間の使用後には、鉛筆の芯、ロウ、インクがローラーやセパレータ パッドに蓄積する場合があります。

- 自動ドキュメント フィーダがまったく給紙しない場合、自動ドキュメント フィーダ内のローラーをクリーニングする必要があります。
- 自動ドキュメント フィーダが、1 枚ずつではなく何枚も給紙する場合、自動ドキュメント フィーダ内のセパレータ パッドをクリーニングする必要があります。

解決方法

給紙トレイにフルサイズで未使用の白い普通紙を 1、2 枚セットしてから、「**コピー スタート - モノクロ**」 を押して、自動ドキュメント フィーダに用紙を通します。ローラーやセパレータ パッドから取れたカスが普通紙に吸着されます。

ヒント　自動ドキュメント フィーダが普通紙を給紙しない場合、前面ローラーをクリーニングしてみてください。柔らかく、糸くずの出ない布を蒸留水で湿らせてローラーを拭きます。

問題が解決しない場合や、 自動ドキュメント フィーダが普通紙を給紙しない場合、ローラーやセパレータ パッドを手動でクリーニングしてください。次の手順の説明に従い、自動ドキュメント フィーダの正面から、面板を取り外して、自動ドキュメント フィーダ内部のピック アセンブリにアクセスし、ローラーやセパレータ パッドをクリーニングしてから、面板を取り付けます。

自動ドキュメント フィーダの正面から、面板を取り外すには

1　ドキュメント フィーダ トレイから原稿をすべて取り除きます。

　　ヒント　自動ドキュメント フィーダを取り外してから作業した方が作業がしやすいかも知れません。

2　図 1 のように、自動ドキュメント フィーダのカバーを外します。

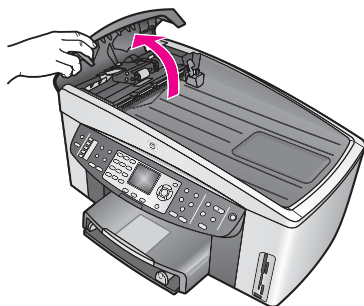


図 1

3　ガラス板に原稿をセットするように、HP all-in-one のカバーを持ち上げます。
図 2 は、カバーが開き、ノッチ (1) の場所が、カバーの裏側 (2) の右上の端であることを示しています。

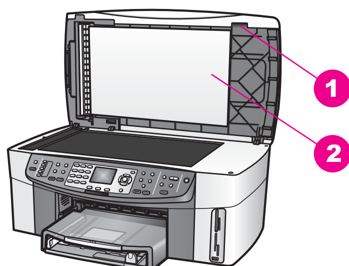


図 2

1	ノッチ
2	カバーの裏側

4　図 3 のとおりに指を 1、2 本当てます。

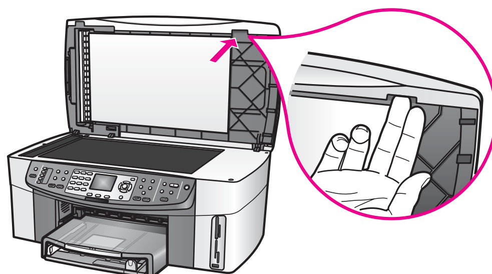


図 3

トラブルシューティング情報

5 カバーがほぼ閉まるまで、ノッチに指を当てて、カバーを押し下げます。

6 図 4 のように、親指で面板 (1) の上部に押し当てながら、指で引いて HP all-in-one の右側から底部を外します。
面板が外れやすいように、右側でわずかにひねりを加えます。

> **警告** まだ面板を完全に外さないでください。面板を固定するためのプラスチック製留め具が面板内部の左端にあります。面板をまっすぐに引っ張って外すと、面板内部の留め具を破損する可能性があります。

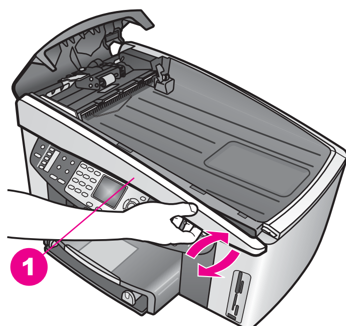


図 4

1	面板

7 図 5 のとおり、面板 (1) の左側をスライドして、プラスチック製の留め具を HP all-in-one の左側から完全に離してから、面板を本体 (2) から外します。

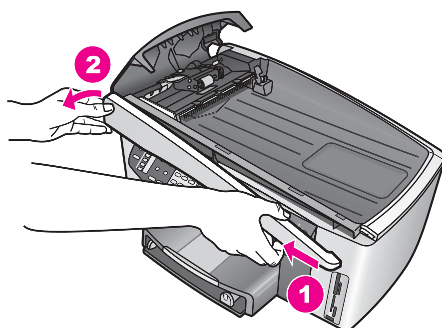


図 5

ローラーやセパレータ パッドをクリーニングするには

1 図 6 に出ている青緑のハンドル (1) を使用して、ピック アセンブリ (2) を持ち上げます。

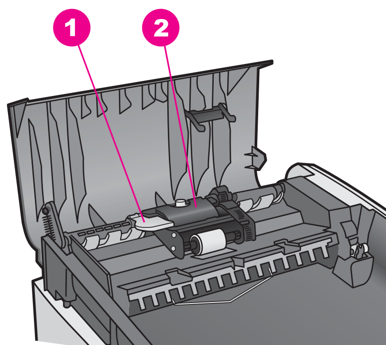


図 6

1	ハンドル
2	ピック アセンブリ

図 7 のとおり、このようにするとローラー (3) と (4) セパレータ パッドに簡単にアクセスできます。

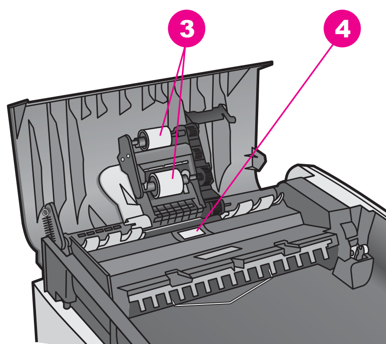


図 7

3	ローラー
4	セパレータ パッド

2　きれいな糸くずの出ない布を蒸留水に浸し、余分な水分を絞ります。
3　湿った布を使用して、ローラーやセパレータ パッドからカスを拭き取ります。
4　蒸留水でカスが取れない場合は、イソプロピル (消毒用) アルコールを使用してみます。
5　青緑のハンドルを使用して、ピック アセンブリを下げます。

自動ドキュメント フィーダの正面に、面板を付け直すには

1　図 8 に示すとおり、面板を HP all-in-one の左側に引っ掛け、面板内部左端のプラスチック留め具 (2) が、自動ドキュメント フィーダの前面にあるノッチ (1) に留まるようにします。

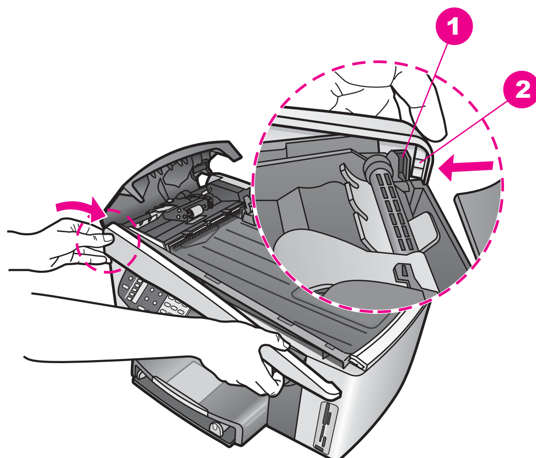


図 8

1	ノッチ
2	プラスチック留め具

2　図 9 のとおりに、面板の右端を HP all-in-one の右側と合わせて、パチンと音がするまで面板の右側を押し込みます。

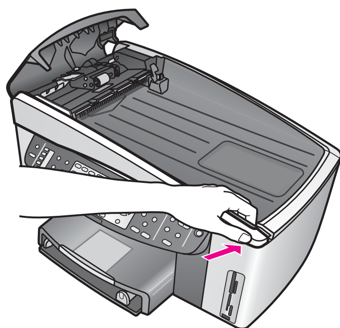


図 9

3　図 10 のとおり、面板の中央に向けて手を置き、パチンと音がするまで面板の中央を押し込みます。
左側および右側がはまれば、パチンとはまる音が聞こえます。

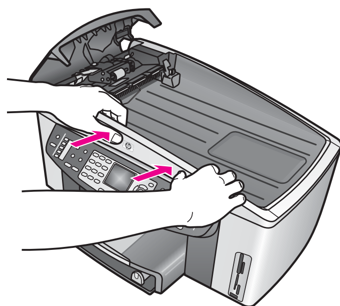


図 10

4　自動ドキュメント フィーダのカバーを閉じます。
5　ドキュメント フィーダ トレイを外した場合は、付け直します。

プリント カートリッジのトラブルシューティング

印刷時に問題が発生した場合は、プリント カートリッジの 1 つに問題がある可能性があります。次の指示に従います。

1　プリント カートリッジを取り外してからもう一度挿入し、カートリッジが所定の位置にしっかりと挿入され、ロックされていることを確認してください。
2　プリント カートリッジを装着し直しても問題が解決しない場合、セルフテスト レポートを印刷して、プリント カートリッジに問題がないか確認します。
　このレポートには、ステータス情報など、プリント カートリッジに関する役立つ情報が表示されます。
3　セルフテスト レポートで問題が確認された場合、プリント カートリッジのクリーニングを行ってください。
4　プリント カートリッジを装着し直しても問題が解決しない場合、プリント カートリッジの銅色の接触部をクリーニングしてください。
5　以上の操作を行っても印刷の問題が解決されない場合は、どのプリント カートリッジに問題があるか確認して交換します。

これらのトピックの詳細については、HP all-in-one のメンテナンスを参照してください。

HP Instant Share トラブルシューティング

このセクションで説明されるエラー メッセージは HP all-in-one のカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。以下で、HP Instant Share の基本的なトラブルシューティングのトピックをカバーしています。HP Instant Share サービスで表示されるどのエラー メッセージでもオンライン ヘルプが利用できます。

一般的なエラー

このセクションを使って、次の一般的な HP Instant Share のエラーを解決します。

HP Instant Share のエラー。ヘルプに関するマニュアルをご覧ください。

解決方法

HP all-in-one にエラーが発生しました。

➔ HP all-in-one をシャット ダウンしてから再起動します。

HP all-in-one をシャット ダウンするには

1 コントロール パネルにある 「**On**」 ボタンを使用して、HP all-in-one の電源をオフにします。
2 電源コードを HP all-in-one の後部から取り外します。

HP Instant Share のエラー。後で再度試みてください。

解決方法

HP Instant Share サービスから、HP all-in-one が認識できないデータが送信されました。

➔ 後でタスクをもう一度試みてください。うまく行かない場合、HP all-in-one をシャットダウンして再起動します。

HP all-in-one をシャット ダウンするには

1 コントロール パネルにある 「**On**」 ボタンを使用して、HP all-in-one の電源をオフにします。
2 電源コードを HP all-in-one の後部から取り外します。

接続エラー

このセクションを使って、HP all-in-one が HP Instant Share サービスとの接続に失敗したときに発生する次のエラーを解決します。

ネットワーク未接続。ネットワーク ドキュメントをご覧ください。

解決方法

「有線ネットワーク」

ネットワーク ケーブルがゆるんでいるか切断されています。

ネットワーク接続が不完全または不適切な場合は、プリンタの相互通信が妨害され、ネットワークに問題が発生します。

- HP all-in-one からゲートウェイ、ルータ、ハブまでのケーブル接続を確認して、きちんと接続されていることを確認してください。正しく接続されている場合、残りのケーブルを確認してください。またケーブルに損傷など問題がないことを確認してください。
- 次の接続部をすべて確認してください。電源ケーブル、HP all-in-one とハブまたはルータ間のケーブル、ハブまたはルータとコンピュ

トラブルシューティング情報

ータ間のケーブル、(該当する場合) モデムまたはインターネット接続の前後のケーブル。
- 上記の接続部がすべて正しく接続されている場合、ネットワークの正常に機能している部分に HP all-in-one をケーブルで接続して、ケーブルの不良であることを確認してください。または、不良ケーブルが判明するまで、残りのケーブルを (1 本ずつ) 交換してください。

注記　コンピュータから 「**HP ディレクタ**」 を起動して、「**状態**」 をクリックすることもできます。HP all-in-one の接続の有無を示すダイアログ ボックスがコンピュータに表示されます。

解決方法

「**ワイヤレス ネットワーク**」

何らかの干渉が存在します。

HP all-in-one がアクセス ポイントの範囲外です。

- 物理的障壁と他の形式の干渉が限定されていることを確認してください。
HP all-in-one とアクセス ポイントの間で送信される信号は、コードレス電話、電子レンジ、近隣のワイヤレス ネットワークなど、他のワイヤレス デバイスからの干渉の影響を受けます。コンピュータと HP all-in-one との間の物理的な物体も、送信される信号に影響します。干渉が発生している場合、ネットワーク コンポーネントを HP all-in-one の近くに移動してください。他の無線ネットワークからの干渉を最小限にするには、チャンネルを変更してみてください。
- アクセス ポイントと HP all-in-one の距離を近づけます。アクセス ポイントと HP all-in-one の距離が離れている場合は、距離を近づけてください(802.11b の範囲は、およそ 30.48 メートル (100 フィート) で、干渉がある場合はそれ以下です)。可能な場合、HP all-in-one とアクセス ポイントの間の障害物を取り除いて、無線の障害物を最小限にしてください。

解決方法

以前、HP all-in-one をネットワークに接続していました。現在は、USB ケーブルを使用して直接コンピュータに接続しています。HP Instant Share アプリケーションは過去のネットワーク設定を読み取っています。

➔ USB ケーブルを使用して HP Instant Share を使用する場合、HP all-in-one のネットワーク接続をリセットするかコンピュータの 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアから HP Instant Share にアクセスします。

注記　ネットワーク設定のリセット方法については、HP all-in-one 付属のネットワーク ガイドを参照してください。

HP Instant Share への接続に失敗

解決方法

ドメイン名サーバー (DNS) に URL のエントリがありませんでした。

➔ DNS 設定を確認し、後からタスクをもう一度試みてください。

DNS IP アドレスを確認するには

1 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**セットアップ**」 を押します。
「セットアップ メニュー」 がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2 「**8**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「ネットワーク」 が選択され、「ネットワーク設定の表示」 が選択されます。
「ネットワーク設定」 メニューが表示されます。
3 「**1**」 を押して 「詳細レポートの印刷」 を選択します。
HP all-in-one でネットワーク構成ページが印刷されます。
4 DNS サーバー情報を見つけて、ネットワークのドメイン名サーバーの IP アドレスが正しいことを確認します。
ご利用のインターネット サービス プロバイダ (ISP) に問い合わせて、DNS アドレスを確認してください。
5 IP アドレスが無効である場合、埋め込み Web サーバー (EWS) にアクセスして、正しい IP アドレスを入力します。

EWS に情報を入力するには

1 ネットワーク構成ページでデバイスの IP アドレスを見つけます。
2 デバイスの IP アドレスをコンピュータのブラウザの 「**アドレス**」 に入力します。
コンピュータの画面に、EWS の「**ホーム**」ページが表示されます。
3 「[**ネットワーク**]」タブをクリックします。
4 サイドバー ナビゲーションを使用して、変更する情報を探し、正しい情報を入力します。
詳細については、「**HP Image Zone ヘルプ**」 の 「**HP Officejet 7300/7400 series all-in-one**」 セクションを参照してください。

解決方法

HP Instant Share サービスが応答していません。サービスはメンテナンスのためにダウンしているか、プロキシの設定に誤りがあります。あるいは、ネットワーク ケーブルの 1 つが切断されています。

➔ 次のいずれかを実行してみてください。
- プロキシの設定を確認する (以下の手順を参照)
- ネットワーク接続を確認します。詳細は、HP all-in-one に付属の「セットアップ ガイド」と「ネットワーク ガイド」を参照してください。
- 後でタスクをもう一度試みてください。

注記　HP all-in-one は、認証を要求するプロキシはサポートしません。

プロキシの設定を確認するには

1　HP all-in-one のコントロール パネルの 「**セットアップ**」 を押します。
　「セットアップ メニュー」 がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2　「**8**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
　「ネットワーク」 が選択され、「ネットワーク設定の表示」 が選択されます。
　「ネットワーク設定」 メニューが表示されます。
3　「**1**」 を押して 「詳細レポートの印刷」 を選択します。
　HP all-in-one でネットワーク構成ページが印刷されます。
4　ネットワーク構成ページでデバイスの IP アドレスを見つけます。
5　デバイスの IP アドレスをコンピュータのブラウザの 「**アドレス**」 に入力します。
　ブラウザのウィンドウに埋め込み Web サーバー (EWS) の「**ホーム**」ページが表示されます。
6　「[**ネットワーク**]」タブをクリックします。
7　「**アプリケーション**」 から、「**Instant Share**」 をクリックします。
8　プロキシの設定を確認します。
9　設定が正しくない場合、EWS の該当するフィールドに正しい情報を入力します。
　詳細については、HP all-in-one に付属のネットワーク ガイドを参照してください。

HP Instant Share への接続失敗。DNS アドレスの確認

解決方法

HP all-in-one は HP Instant Share サービスに接続できません。この場合、次のような原因が考えられます。DNS IP アドレスが不明、DNS IP アドレスが未設定、DNS IP アドレスがすべてない。

→ HP all-in-one が使用する DNS IP アドレスを確認します。
　詳しくは、DNS IP アドレスを確認するにはを参照してください。

HP Instant Share への接続失敗。DNS サーバーが応答しない

解決方法

DNS サーバーが応答していないか、ネットワークがダウンしています。あるいは、DNS IP アドレスが無効です。

1　HP all-in-one が使用する DNS IP アドレスを確認します。
　詳しくは、DNS IP アドレスを確認するにはを参照してください。
2　DNS IP アドレスが無効である場合、もう一度接続を試みてください。

HP Instant Share への接続失敗。プロキシアドレスの確認

解決方法

DNS サーバーは、プロキシ URL または IP アドレスを解読できませんでした。

1 HP all-in-one が使用するプロキシ情報を確認します。
詳しくは、プロキシの設定を確認するにはを参照してください。
2 プロキシ情報が無効である場合、もう一度接続を試みてください。

HP Instant Share サービスへの接続が中断

解決方法

HP all-in-one による HP Instant Share サービスへの接続が中断されました。

1 物理的なネットワーク接続を確認し、ネットワークが機能していることを確認してください。
詳細は、HP all-in-one に付属の「セットアップ ガイド」と「ネットワーク ガイド」を参照してください。
2 ネットワーク接続を確認した後、タスクを再試行してください。

画像の送信エラー

このセクションを利用して、HP all-in-one から選択した送信先に画像を送信するときに問題が発生した場合に生成されるエラーを解決します。

壊れた送信先ファイルが見つかった

解決方法

メモリカードのファイルに問題があります。

➔ カメラに付属するマニュアルを参照してください。

プリンタにアクセスする権限がない送信先

解決方法

HP Instant Share の送信先に、デバイスの登録ユーザーに属していないものがあります。

➔ カメラと HP all-in-one が同じ HP Passport アカウントに登録されていることを確認してください。

メモリ カード エラー

解決方法

メモリ カードに問題がある可能性があります。

1 HP all-in-one からメモリ カードを取り出し、もう一度セットし直します。
2 うまく行かない場合、HP all-in-one をシャットダウンして再起動します。
3 状況が改善されない場合は、メモリ カードを再フォーマットします。

それでも問題が解決しない場合は、メモリ カードを交換してください。

HP Instant Share のストレージ制限を超過しています。ヘルプに関してはマニュアルを参照

解決方法

送信したジョブが失敗しました。HP Instant Share サービスで割り当てられているディスク容量を超えました。

注記　古いファイルがアカウントから自動的に削除されます。このエラーは、数日か数週で解決します。

HP Instant Share サービスからファイルを削除するには

1　HP all-in-one のコントロール パネルの 「**HP Instant Share**」 ボタンを押します。
「HP Instant Share」 メニューが、カラー グラフィック ディスプレイに表示されます。
2　「**3**」 を押し、次に 「**5**」 を押します。
「Instant Share オプション」 メニューが選択され、「アカウントの管理」 が選択されます。
コンピュータのウィンドウに HP Instant Share サービス画面が表示されます。
3　HP Passport の「**ユーザー ID**」 と「**パスワード**」を使用して、HP Instant Share にサインインします。

注記　HP Instant Share サービスに HP Passport 「**ユーザー ID**」 と 「**パスワード**」 を記憶させておけば、要求メッセージは表示されません。

4　画面上の指示に従って操作してください。
5　HP Instant Share のセットアップ メニューから、「**アカウントの管理**」 を選択します。
6　画面の指示に従って、アカウントからファイルを削除します。

画像の送受信エラー

このセクションを使って、HP Instant Share の送信機能と受信機能の両方に共通するエラーを解決します。

ログインに失敗しました。ヘルプに関してはマニュアルを参照

解決方法

HP all-in-one が HP Instant Share サービスへのログインに失敗しました。

- 後で再度試みてください。
- HP Instant Share を使用して、プリンタをもう一度セットアップしてください。

HP Instant Share サービスが停止

解決方法

HP Instant Share サービスが停止されました。

➔ サービスが停止されました。不明な点があれば、HP カスタマ サポートに連絡してください。

HP Instant Share サービスが一時使えません。後で再度試みてください。.

解決方法

HP Instant Share サービスは現在メンテナンスのためにダウンしています。

➔ 接続を後で再度試みてください。

HP Instant Share エラー レポート メッセージ

画像を送信先に送信しているときに問題が発生した場合、HP all-in-one で HP Instant Share のエラー レポートが印刷されます。このセクションを使って、エラー レポートに示されるファイルの問題を解決します。

ファイル形式がサポートされていない

解決方法

HP Instant Share サービスに送信されたファイルの 1 つが、サポートされているファイル形式ではありません。

➔ ファイルを JPEG 形式に変換してから、タスクを再試行してください。

ファイルの破損

解決方法

送信したファイルが破損しています。

➔ ファイルを差し替えてから、もう一度やり直します。たとえば、デジタル写真を撮り直すか、画像を再生成します。

サポートされるファイル サイズを超えている

解決方法

HP Instant Share サービスに送信されたファイルの 1 つが、サーバーのファイル サイズの制限を超えています。

➔ 画像を再処理して 5 MB 未満のファイル サイズにしてから、もう一度送信してください。

フォト メモリ カードのトラブルシューティング

次に示すトラブルシューティングのヒントは、Macintosh の iPhoto ユーザーにだけ適用されます。

メモリ カードをネットワークに接続された HP all-in-one に挿入したが、iPhoto がカードを検出できない

解決方法

iPhoto がメモリ カードを検出するためには、カードがデスクトップ上に表示されていることが必要ですが、ネットワークに接続された HP all-in-one に挿入されたメモリ カードは自動的にはデスクトップにマウントされません。フォルダから iPhoto を起動するか、別名をダブルクリックするだけでは、挿入されてはいるがマウントされていないメモリ カードをアプリケーションが検出できません。この場合は、「**HP ディレクタ**」 を起動し、「**その他のソフト**」 から 「**iPhoto**」 を選択します。この方法で「**HP ディレクタ**」 から iPhoto を起動した場合は、アプリケーションがメモリ カードを検出し、自動的にマウントします。

メモリ カードにビデオ クリップが保存されているが、メモリ カードの内容をインポートした後も iPhoto にクリップが表示されない

解決方法

iPhoto が処理できるのはスチル写真だけです。ビデオ クリップとスチル写真を同時に管理するには、「**HP ディレクタ**」 から 「**画像の転送**」 を使用します。

デバイスの更新

HP all-in-one は、複数の方法で更新できます。それぞれの方法で、コンピュータにファイルをダウンロードして、「**デバイスの更新ウィザード**」 を開始します。例えば次のようなことが行えます。

- HP カスタマ サポートからのアドバイスに従い、HP サポート Web サイトにアクセスして、デバイス用の更新を検索できます。
- HP all-in-one のカラー グラフィック ディスプレイにダイアログ ボックスが表示され、デバイスを更新するように指示される場合があります。

注記 Windows ユーザーであれば、「**ソフトウェアの更新**」 ユーティリティ (コンピュータにインストールされている 「**HP Image Zone**」 ソフトウェアの一部) を設定して、あらかじめ決めた間隔で自動的に HP サポート Web サイトを検索できます。「**ソフトウェアの更新**」 ユーティリティーの詳細については、オンスクリーン 「**HP Image Zone ヘルプ**」 を参照してください。

デバイスの更新 (Windows)

次のいずれかの方法で、デバイスの更新を検索します。

- Web ブラウザを使用して、ご使用の HP all-in-one 用の更新を www.hp.com/support からダウンロードします。
- 「**ソフトウェアの更新**」 ユーティリティーを使用して、あらかじめ決めた間隔で HP サポート Web サイトからデバイスの更新を検索します。

注記 コンピュータに 「**ソフトウェアの更新**」 ユーティリティーをインストールすると、デバイスの更新を検索します。インストールのと

きに 「**ソフトウェアの更新**」 ユーティリティーの最新バージョンがなければ、コンピュータにダイアログ ボックスが表示され、更新するように指示します。更新に同意します。

デバイスの更新 (Macintosh)

デバイス更新インストーラを使用すると、次のように HP all-in-one に更新を適用できます。

1 Web ブラウザを使用して、ご使用の HP all-in-one 用の更新を www.hp.com/support からダウンロードします。
2 ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
コンピュータにインストーラが表示されます。
3 画面の指示に従い、HP all-in-one に更新をインストールします。
4 HP all-in-one を再起動して、プロセスを完了します。

17 HP 製品サポートについて

弊社では、お使いの HP all-in-one のサポートをインターネットおよび電話で提供いたしております。

この章では、次の点について説明します。インターネットからのサポートの入手、HP カスタマ サポートへの問い合わせ、シリアル番号とサービス ID の確認、 HP Japan カスタマ サポートへの連絡、他国のサポートへの問い合わせ、HP all-in-one の発送準備。

製品に付属する印刷マニュアルまたはオンライン マニュアルで必要な答えが見つからない場合は、以下のページに記載されている HP サポート サービスに問い合わせることができます。一部のサポート サービスは米国およびカナダでしか利用できませんが、その他のサポート サービスは世界中の多くの国/地域で利用できます。お住まいの国/地域のサポート サービスの電話番号が記載されていない場合は、最寄りの HP 正規代理店までお問い合わせください。

インターネットを利用してサポートおよびその他の情報を得る

インターネットにアクセス可能な場合は、以下の HP Web サイトからヘルプ情報を入手することができます。

www.hp.com/jp/hho

この Web サイトには、技術サポート、ドライバ、消耗品、および注文に関する情報が用意されています。

HP カスタマ サポート

HP all-in-one には、他社のソフトウェア プログラムが付属している場合があります。このようなプログラムで問題が発生した場合は、そのメーカの担当技術者にお問い合わせになると最適な技術サポートが受けられます。

HP カスタマ サポートに問い合わせる必要がある場合は、連絡する前に以下の作業を行ってください。

1 以下の事項を確認します。
   a HP all-in-one が接続され、電源がオンになっていること。
   b 指定のプリント カートリッジが正しく取り付けられていること。
   c 推奨される用紙が給紙トレイに正しくセットされていること。
2 以下の手順に従って HP all-in-one をリセットします。
   a 「**On**」 ボタンを押して HP all-in-one の電源をオフにします。
   b 電源コードを HP all-in-one の後部から取り外します。
   c 電源コードを HP all-in-one に元通り差し込みます。
   d 「**On**」 ボタンを押して HP all-in-one の電源を入れます。
3 詳細については、www.hp.com/support にアクセスしてください。
   この Web サイトには、技術サポート、ドライバ、消耗品、および注文に関する情報が用意されています。
4 上記の作業を行っても問題が解決されず、HP カスタマ サポート担当に問い合わせる必要がある場合は、以下の作業を行います。
   a 本体のコントロール パネルに明記されている HP all-in-one のモデル名をメモします。

b　セルフテスト レポートを印刷してください。セルフテスト レポートの印刷方法については、セルフ テスト レポートの印刷を参照してください。
c　サンプル出力として利用できるカラー コピーを作成します。
d　発生した問題を詳しく説明するための準備を行います。
e　シリアル番号とサービス ID をメモします。シリアル番号とサービス ID を確認する方法については、シリアル番号とサービス ID を確認するを参照してください。

5　カスタマ サポートに連絡します。連絡するときは、HP all-in-one の近くで行ってください。

シリアル番号とサービス ID を確認する

HP all-in-one の 「情報メニュー」 を使用すると、重要な情報を確認できます。

注記　HP all-in-one の電源がオンになっていない場合は、デバイスの背面の左上隅に貼ってあるステッカーでシリアル番号を確認できます。シリアル番号は、ラベルの左上隅にある 10 桁のコードです。

1　「**OK**」 ボタンを押し続けます。「**OK**」 ボタンを押しながら 「**4**」 を押してください。「情報メニュー」 が表示されます。
2　「モデル番号」 が表示されるまで ▶ を押し、それから 「**OK**」 ボタンを押します。サービス ID が表示されます。
表示されたサービス ID を省略せずにメモしてください。
3　「**キャンセル**」 ボタンを押してから、「シリアル番号」 が表示されるまで ▶ を押します。
4　「**OK**」を押します。シリアル番号が表示されます。
表示されたシリアル番号を省略せずにメモしてください。
5　「**キャンセル**」 ボタンを押して 「情報メニュー」 を終了します。

世界各地での連絡

以下に記載されている電話番号は、このガイドの発行日の時点での番号です。各国向け HP サポート サービスの最新の電話番号一覧を参照するには、www.hp.com/support にアクセスし、お住まいの国/地域か、言語を選択してください。

以下の国/地域では、HP サポート センターに問い合わせることができます。お客様の国/地域が一覧にない場合は、地元の代理店か、最寄りの HP 営業サポート事務所にお問い合わせください。

ヨーロッパについては、国または地域によって電話でのサポート内容や条件が異なりますので、弊社の Web サイト www.hp.com/support でご確認ください。

あるいは、代理店に問い合わせる、またはこのガイドに記載されている電話番号の HP に連絡することもできます。

当社では、電話サポート サービスを向上させるために絶えず努力しています。 このため、定期的に当社の Web サイトを確認してサービスの機能や提供方法に関する新しい情報を入手することをお勧めします。

国/地域	HP 技術サポート	国/地域	HP 技術サポート
アイルランド	+353 1890 923 902	トルコ	+90 216 579 71 71

国/地域	HP 技術サポート	国/地域	HP 技術サポート
アメリカ合衆国	1-800-474-6836 (1-800-HP invent)	ドイツ (0.12 ユーロ/分)	+49 (0) 180 5652 180
アラブ首長国連邦	800 4520	ドミニカ共和国	1-800-711-2884
アルジェリア [1]	+213 61 56 45 43	ナイジェリア	+234 1 3204 999
アルゼンチン	(54)11-4778-8380, 0-810-555-5520	ニュージーランド	0800 441 147
イエメン	+971 4 883 8454	ノルウェー[2]	+47 815 62 070
イギリス	+44 (0) 870 010 4320	ハンガリー	+36 1 382 1111
イスラエル	+972 (0) 9 830 4848	バングラデシュ	ファクス番号 : +65-6275-6707
イタリア	+39 848 800 871	バーレーン	800 171
イングリッシュ インターナショナル	+44 (0) 207 512 5202	パキスタン	ファクス番号 : +65-6275-6707
インド	91-80-8526900	パナマ	001-800-711-2884
インド (通話料無料)	1600-4477 37	パレスチナ	+971 4 883 8454
インドネシア	62-21-350-3408	フィリピン	632-867-3551
ウクライナ、キエフ	+7 (380 44) 4903520	フィンランド	+358 (0) 203 66 767
エクアドル (Andinatel)	999119 +1-800-7112884	フランス (0.34 ユーロ/分)	+33 (0)892 69 60 22
エクアドル (Pacifitel)	1-800-225528 +1-800-7112884	ブラジル (その他の地域)	0800 157751
エジプト	+20 2 532 5222	ブラジル (リオグランデ、サンパウロ)	(11) 3747 7799
オマーン	+971 4 883 8454	ブルネイ	ファクス番号 : +65-6275-6707
オランダ (0.10 ユーロ/分)	0900 2020 165	プエルトリコ	1-877-232-0589
オーストラリア (保証期間内)	131047	ベトナム	84-8-823-4530
オーストラリア (保証期間後、1 回ごとに料金が発生)	1902 910 910	ベネズエラ	0-800-474-6836 (0-800-HP invent)

(続き)

国/地域	HP 技術サポート	国/地域	HP 技術サポート
オーストリア	+43 1 86332 1000	ベネズエラ (カラカス)	(502) 207-8488
カタール	+971 4 883 8454	ベルギー (オランダ語)	+32 070 300 005
カナダ (保証期間内)	(905) 206-4663	ベルギー (フランス語)	+32 070 300 004
カナダ (保証期間後、1 回ごとに料金が発生)	1-877-621-4722	ペルー	0-800-10111
カリブおよび中央アメリカ	1-800-711-2884	ボリビア	800-100247
カンボジア	ファクス番号 : +65-6275-6707	ポルトガル	+351 808 201 492
ギリシャ (キプロスからアテネ、通話料無料)	800 9 2649	ポーランド	+48 22 5666 000
ギリシャ (国内向け)	801 11 22 55 47	マレーシア	1-800-805405
ギリシャ (国外向け)	+30 210 6073603	メキシコ	01-800-472-6684
クウェート	+971 4 883 8454	メキシコ (メキシコ市)	(55) 5258-9922
グアテマラ	1800-999-5105	モロッコ [1]	+212 22 404747
コスタリカ	0-800-011-4114, 1-800-711-2884	ヨルダン	+971 4 883 8454
コロンビア	01-800-51-474-6836 (01-800-51-HP invent)	ルクセンブルグ (ドイツ語)	900 40 007
サウジアラビア	800 897 1444	ルクセンブルグ (フランス語)	900 40 006
シンガポール	65 - 62725300	ルーマニア	+40 (21) 315 4442
ジャマイカ	1-800-711-2884	レバノン	+971 4 883 8454
スイス [3]	+41 0848 672 672	ロシア連邦、サンクトペテルブルグ	+7 812 3467997
スウェーデン	+46 (0)77 120 4765	ロシア連邦、モスクワ	+7 095 7973520
スペイン	+34 902 010 059	中国	86-21-38814518, 8008206616

国/地域	HP 技術サポート	国/地域	HP 技術サポート
スリランカ	ファクス番号 : +65-6275-6707	中東	+971 4 366 2020
スロバキア	+421 2 50222444	南アフリカ (RSA)	086 0001030
タイ	0-2353-9000	南アフリカ、共和国以外	+27 11 2589301
チェコ共和国	+420 261307310	台湾	+886 (2) 8722-8000, 0800 010 055
チュニジア [1]	+216 71 89 12 22	日本	+81-3-3335-9800
チリ	800-360-999	西アフリカ	+351 213 17 63 80
デンマーク	+45 70 202 845	韓国	+82 1588 3003
トリニダート&トバゴ島	1-800-711-2884	香港 SAR	+(852) 2802 4098

1 モロッコ、チュニジア、アルジェリアのコール センターでは、フランス語を使用するユーザーをサポートしています。

2 1 回のコールにかかるお金は、0.55 ノルウェー クローネ (0.08 ユーロ)です。1 分間にお客様が支払う料金は、0.39 ノルウェー クローネ (0.05 ユーロ)です。

3 このコール センターでは、スイス国内のドイツ語、フランス語、イタリア語を使用するユーザーをサポートしています。(ピーク時は 0.08 CHF/分、非ピーク時は 0.04 CHF/分)

HP Japan カスタマ サポートに連絡する

カスタマー・ケア・センター

TEL : 0570-000-511（ナビダイヤル）

03-3335-9800（ナビダイヤルをご利用いただけない場合）

FAX : 03-3335-8338

月～金 **9:00 ～ 17:00**

土・日 **10:00 ～ 17:00**（祝祭日、**1/1**～**3** を除く）

FAX によるお問い合わせは、ご質問内容とともに、ご連絡先、
弊社製品名、接続コンピュータ名をご記入ください。

HP Quick Exchange Service (日本)

製品に問題がある場合は以下に記載されている電話番号に連絡してください。製品が故障している、または欠陥があると判断された場合、HP Quick Exchange Serviceがこの製品を正常品と交換し、故障した製品を回収します。保証期間中は、修理代と配送料は無料です。また、お住まいの地域にも依りますが、プリンタを次の日までに交換することも可能です。

電話番号： 0570-000511 （自動応答）
:03-3335-9800（自動応答システムが使用できない場合）
サポート時間: 平日の午前 9:00 から午後 5:00 まで
土日の午前 10:00 から午後 5:00 まで。
祝祭日および 1 月 1 日から 3 日は除きます。

サービスの条件

- サポートの提供は、カスタマケアセンターを通してのみ行われます。
- カスタマケアセンターがプリンタの不具合と判断した場合に、サービスを受けることができます。
  ご注意: ユーザの扱いが不適切であったために故障した場合は、保証期間中あっても修理は有料となります。詳細については保証書を参照してください。

その他の制限

- 運送の時間はお住まいの地域によって異なります。 詳しくは、カスタマケアターに連絡してご確認ください。
- 出荷配送は、当社指定の配送業者が行います。
- 配送は交通事情などの諸事情によって、遅れる場合があります。
- このサービスは、将来予告なしに変更することがあります。

HP all-in-one の発送準備

HP カスタマ サポートに問い合わせた後、またはお買い求めの販売店に返品される場合は、送料はお客様の自己負担で、プリント カートリッジを取り除き、さらに深刻な損傷を防ぐために元の梱包材料でお使いの HP all-in-one を梱包して発送していただくよう求められます。電源がオンになっているいないにかかわらず、お使いの HP all-in-one からプリント カートリッジを取り外すことができます。万一 HP all-in-one の交換が必要な場合には、電源コードとコントロール パネル オーバーレイはそのままにしておいてください。
このセクションでは、動作中の HP all-in-one からプリント カートリッジを取り外す方法、動作していない HP all-in-one からプリント カートリッジを取り外す方法、およびコントロール パネル オーバーレイを取り外し、HP all-in-one を梱包する方法について説明します。

注記 この情報は、日本のカスタマには当てはまりません。日本でのサービス オプションについては、HP Quick Exchange Service (日本) を参照してください。

機能している HP all-in-one からプリント カートリッジを取り外す

1 HP all-in-one の電源をオンにします。
  デバイスの電源が入らない場合は、機能していない HP all-in-one からプリント カートリッジを取り外すを参照してください。
2 プリント キャリッジ交換用カバーを開きます。

3 プリント キャリッジが停止して静かになってから、プリント カートリッジをスロットから取り外し、ラッチを下げます。プリント カートリッジを取り外す方法については、プリント カートリッジの交換を参照してください。

注記 両方のプリント カートリッジを取り外し、両方のラッチを下げてください。それを怠ると、HP all-in-one が損傷する可能性があります。

4 プリント カートリッジを、内部が乾燥しないようにプリント カートリッジ ケースか、気密性の高いプラスチックの容器に入れて保管します。HP カスタマ サポートの電話担当者から指示された場合を除き、プリント カートリッジは HP all-in-one と一緒に発送しないでください。

5 プリント キャリッジのアクセス ドアを閉め、プリント キャリッジがホーム ポジション (右側) に戻るまでしばらく待ちます。

注記 HP all-in-one の電源をオフにする前に、スキャナが所定の位置に戻っていることを確認してください。

6 「**On**」 ボタンを押して、HP all-in-one の電源をオフにします。

7 電源コードを抜いてから、HP all-in-one からプラグを抜いてください。HP all-in-one と一緒に電源コードを返送しないでください。



警告 HP all-in-one の交換品は電源コードと一緒に発送されません。HP all-in-one の交換品が到着するまで、電源コードは安全な場所に保管しておいてください。

8 発送に関する必要な準備をすべて整えるためにコントロール パネル オーバーレイを取り外し、お使いの HP all-in-one を梱包するを参照してください。

機能していない HP all-in-one からプリント カートリッジを取り外す

お使いの HP all-in-one の電源が入らない場合で、発送のためにプリント カートリッジを取り外す場合は以下の手順に従ってください。お使いのデバイスの電源がオンになっているかどうか機能している HP all-in-one からプリント カートリッジを取り外すを確認してください。以下の手順に従ってプリント カートリッジ クレードルをアンロックし、プリント カートリッジを取り外してください。次にプリント カートリッジ クレードルをロックします。

1 電源コードを抜いてから、HP all-in-one からプラグを抜いてください。HP all-in-one と一緒に電源コードを返送しないでください。

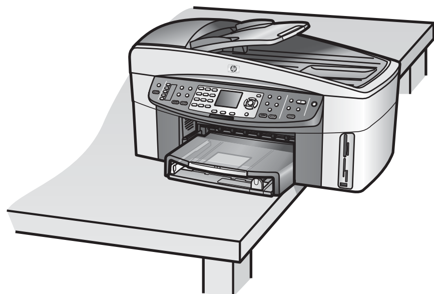


警告 HP all-in-one の交換品は電源コードと一緒に発送されません。HP all-in-one の交換品が到着するまで、電源コードは安全な場所に保管しておいてください。

2 HP all-in-one の正面に向かって、底を平らな面（机やテーブルなど）の端から右側方向に約 12.5 ｃｍ突き出してください。
下側に丸い紫色のカバーがあらわれます。

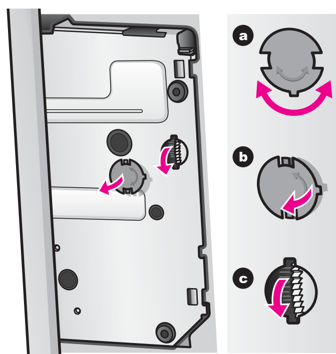


警告 横に傾けないでください。損傷がひどくなるおそれがあります。



3　下側のカバーの位置を確認してから、下記の手順にしたがってプリント カートリッジ クレードルのロックをはずしてください。
   a　つまみを使用してカバーをどちらか一方向に 1/4 回転してください。
   b　カバーを取り外します。プリント カートリッジ クレイドルの高さを調整するギアがあらわれます。
   c　ギアをユニットの後方に向けて止まるまで回してください。

   注記　何回かギアを回すと止まります。



4　プリント キャリッジ アクセス ドアを開き、スロットからプリント カートリッジを取り外しラッチを下げます。

   注記　両方のプリント カートリッジを取り外し、両方のラッチを下げてください。それを怠ると、HP all-in-one が損傷する可能性があります。

5　プリント カートリッジを、内部が乾燥しないようにプリント カートリッジ ケースか、気密性の高いプラスチックの容器に入れて保管します。HP カスタマ サポートの電話担当者から指示された場合を除き、プリント カートリッジは HP all-in-one と一緒に発送しないでください。
6　ギアを HP all-in-one の前方に止まるまで回してください。
   プリント カートリッジがロックされて安定し安全に発送できます。
7　本体側のくぼみと、カバーの 2 つのつまみを互いに向かい合うようまっすぐに揃えて HP all-in-one の底にカバーを再び取り付けてください。適切な位置にカバーを合わせ 1/4 回転させて所定の位置にロックしてください。

8 発送に関する必要な準備をすべて整えるためにコントロール パネル オーバーレイを取り外し、お使いの HP all-in-one を梱包するを参照してください。

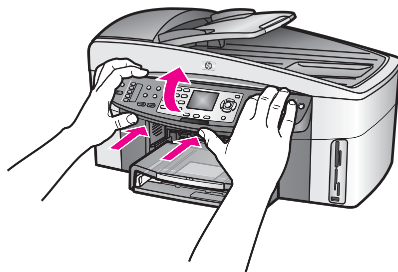
コントロール パネル オーバーレイを取り外し、お使いの HP all-in-one を梱包する

以下の手順にしたがっていったんプリント カートリッジを取り外し、HP all-in-one のプラグを抜いて電源を切ってください。



警告　必ずプラグを抜いて電源を切ってから以下の手順にしたがってください。

1 以下の手順に従って、コントロール パネル オーバーレイを取り外します。
   a コントロール パネル オーバーレイの両側に手をそえてください。
   b 親指を使ってコントロール パネルのオーバーレイを取り外します。



2 コントロール パネル オーバーレイを保管します。コントロール パネル オーバーレイを HP all-in-one と一緒に送り返さないでください。



警告　HP all-in-one の交換品にはコントロール パネル オーバーレイは付属していない場合があります。コントロール パネル オーバーレイを安全な場所に保管してくださいｌ。HP all-in-one の交換品が到着した際に、もう一度コントロール パネル オーバーレイを取り付けてください。HP all-in-one の交換品でコントロール パネルの機能を使用するためには、コントロール パネル オーバーレイを取り付ける必要があります。

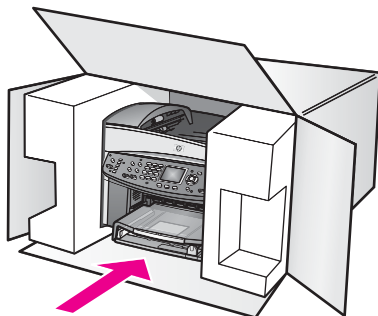
ヒント　コントロール パネル オーバーレイの取り付け方の指示に関しては、HP all-in-one に付属するセットアップ ガイドを参照してください。

注記　HP all-in-one の交換品には、デバイスの設定に関する使用説明書が付属している場合があります。

3 HP all-in-one の背面から HP 自動両面印刷アクセサリーを取り外してください。

注記　お使いの HP all-in-one に HP 250 シート普通紙トレイがついている場合は、発送前に取り外してください。

4 可能な場合は、元の梱包用材料を使用するか、代替製品が梱包されていた材料を使用して HP all-in-one を梱包して発送します。



元の梱包用材料がない場合は、ほかの適切な梱包用材料を使用してください。不適切な梱包や運送によって発生する損傷は、保証の対象にはなりません。

5 返送用のラベルを箱の外側に貼ります。

6 箱には、以下のものを入れてください。

– サービス担当に宛てた、症状の詳細な説明 (印刷品質を示す実際の出力サンプルが役に立ちます。)
– 保証が適用される期間内であることを証明する保証書またはその他の購入証明書のコピー。
– 氏名、住所、および日中に連絡可能な電話番号。

18 保証情報

この章では、次の点について説明します。HP all-in-one の限定保証の期間、保証サービス、保証のアップグレード、サービスを受けるための HP all-in-one の返送、Hewlett-Packard グローバル限定保証の告示。

限定保証の期間

限定保証の期間 (ハードウェア) : 1 年

限定保証の期間 (CD メディア) : 90 日

限定保証の期間 (プリンタ カートリッジ) -純正 HP カートリッジのインクが消耗した当日の日付、またはカートリッジに記載されている「保証期限」の日付のうち、どちらか早い方の日付。本保証は、補充、再製品化、修理調整されたもの、または改ざんされた HP 純正インク製品については対象外になります。

保証サービス

HP 修理 サービスを利用するには、最初に HP サービス オフィスに連絡するか、HP カスタマ サポート センターに連絡して、基本的なトラブルシューティングを行っていただく必要があります。カスタマ サポートに連絡する前に実行する手順については、HP カスタマ サポートを参照してください。

お使いの HP all-in-one の交換可能な小型部品を必要とされている場合には、HP は送料、税金を前払いすることがあります。部品の交換は電話で受け付けます。すべての部品に対しての送料、税金をお支払いいただくようお願いしています。別の方法としては、HP カスタマ サポート センターでは、HP によって認定された HP 製品をサービスする正規代理店をご案内いたします。

注記 この情報は、日本のカスタマには当てはまりません。日本でのサービス オプションについては、HP Quick Exchange Service (日本) を参照してください。

修理のための HP all-in-one の返送

修理等のサービスを受ける際、HP all-in-one を返送する前に、HP カスタマ サポートに連絡してください。カスタマ サポートに連絡する前に実行する手順については、HP カスタマ サポートを参照してください。

注記 この情報は、日本のカスタマには当てはまりません。日本でのサービス オプションについては、HP Quick Exchange Service (日本) を参照してください。

Hewlett-Packard グローバル限定保証の告示

次に HP グローバル限定保証について説明します。

限定保証の範囲

Hewlett-Packard (以下、「HP」という) はエンドユーザー (以下、「ユーザー」という) に対し、関連ソフトウェア、アクセサリ、メディア、およびサプライ品を含め、お買い上げ日から一定の期間にわたり、それぞれの HP Officejet 7300/7400 series all-in-one 製品 (以下、「本製品」という) に材料および製品上の瑕疵がないことを保証します。

本製品の各ハードウェアを対象とする HP の限定保証の期間は、部品および保守作業については 1 年とします。製品のハードウェア以外を対象とする HP の限定保証の期間は、部品および保守作業については 90 日とします。

本製品の各ソフトウェアを対象とする HP の限定保証は、プログラムの命令を実行できない場合にのみ適用されます。HP は、本製品の動作が停止しないことまたは誤動作しないことを保証しません。

HP の限定保証は、本製品を正しく使用した結果として発生した瑕疵のみを対象とするものであり、(a) 不適切な保守または改造、(b) HP によってサポートされていないソフトウェア、アクセサリ、メディア、または消耗品、あるいは (c) 本製品の仕様外の動作に起因する問題を含め、その他のあらゆる問題は保証の対象になりません。

本製品の各ハードウェアについては、HP 以外のインク カートリッジまたは詰め替え用のインク カートリッジを使用しても、ユーザーに対する保証またはユーザーとの HP のサポート契約には影響しません。ただし、本製品の障害または損傷が HP 以外のインク カートリッジまたは詰め替え用のインク カートリッジを使用したことに起因する場合は、HP は本製品の障害または損傷を修理するための標準の作業費および材料費を請求するものとします。

保証の適用期間内に、HP が本製品の瑕疵の報告を受けた場合は、HP はその裁量により、瑕疵のある本製品を修理または交換するものとします。保守作業費が HP の限定保証の対象とならない場合、修理は HP の標準の保守作業費で行われるものとします。

HP の保証の対象である瑕疵のある本製品を、瑕疵があることが通知されてから妥当な期間内に修理または交換することが不可能な場合は、本製品の購入費用を払い戻しいたします。

HP は、ユーザーが瑕疵のある本製品を HP に返却するまでは修理、交換、または払い戻しを行う義務はないものとします。

交換用の製品は、新品または新品同様のものとします。 ただし、交換される本製品と同等以上の機能を持つものとします。

本製品を含め、HP 製品には、性能が新品と同等の再生部品、再生装置、または再生材料が使用されていることがあります。

本製品に対する HP の限定保証は、HP が本製品の販売を行っているあらゆる国/地域で有効です。HP または正規代理店が本製品の販売を行っている国/地域では、HP 認定のサービス業者に出張修理サービスなどの追加保証サービスについて問い合わせることができます。

保証の制限

現地の法律によって許可される範囲において、HP および第三者の供給業者のいずれも、対象の HP 製品に関して、明示または黙示に関係なく他のいかなる種類の保証または条件も制定しません。 また、市場性、十分な品質、および特定目的への適合性の保証または条件について責任を否認します。

責任の制限

現地の法律によって許可される範囲において、この限定保証の告知で提供される補償は、ユーザーの独占的および排他的な補償です。

現地の法律によって許可される範囲において、この限定保証の告知に明記された義務を除き、HP または第三者の供給業者は、直接的、間接的、特殊、付随的、または結果的な損害に対しては、契約、不法行為、またはその他のいかなる合法的見解に基づ

くものであるかどうかを問わず、また上記の損害の可能性を通知したかどうかを問わず、その責任を負わないものとします。

現地法

この限定保証の告示により、ユーザーには法律上の特定の権利が付与されます。また、ユーザーは、その他の権利も有しますが、この権利は米国およびカナダでは州によって異なり、世界各国/地域では国/地域によって異なります。

この限定保証の告示が現地の法律と矛盾する場合に限り、この告示はその現地の法律と矛盾しないように修正されているとみなされるものとします。上記の現地の法律の下では、この告示の特定の免責条項および制限がユーザーに適用されないことがあります。たとえば、米国の一部の州のほか、米国以外の一部の政府では（カナダの州を含め）、以下の事例が発生することがあります。

この告示の免責条項および制限で、法律によって定められたユーザーの権利を制限することができなくなることがあります (イギリスなど)。

あるいは、上記の免責条項または制限条項をメーカーが実施できないように制限されることがあります。

また、別の保証の権利をユーザーに付与したり、メーカーが否認できない黙示的な保証期間を指定したりするほか、黙示的な保証期間への制限を許可しないことがあります。

オーストラリアおよびニュージーランドでの消費者の取り引きにおいては、この限定保証の告示の条項は、合法的に許可された場合を除き、対象の HP 製品の当該消費者への販売に適用可能な、法律によって定められた必須の権利を除外、制限、または修正しません。

EU 諸国/地域に対する限定保証情報

EU 諸国/地域で HP の限定保証 (メーカー保証) を付与できる HP 企業の会社名と所在地を以下に示します。

「このメーカー保証のほかにも、購買契約に基づいて売り手に対抗できる法的特権がユーザーには与えられます。 この特権は、メーカー保証によって制限されません。」

ベルギー/ルクセンブルグ Hewlett-Packard Belgium SA/NV Woluwedal 100 Boulevard de la Woluwe B-1200 Brussels	アイルランド Hewlett-Packard Ireland Ltd. 30 Herbert Street IRL-Dublin 2
デンマーク Hewlett-Packard A/S Kongevejen 25 DK-3460 Birkeroed	オランダ Hewlett-Packard Nederland BV Startbaan 16 1187 XR Amstelveen NL
フランス Hewlett-Packard France 1 Avenue du Canada Zone d'Activite de Courtaboeuf F-91947 Les Ulis Cedex	ポルトガル Hewlett-Packard Portugal - Sistemas de Informtica e de Medida S.A. Edificio D. Sancho I Quinta da Fonte

	Porto Salvo 2780-730 Paco de Arcos P-Oeiras
ドイツ Hewlett-Packard GmbH Herrenberger Stra˚e 110-140 D-71034 B・lingen	オーストリア Hewlett-Packard Ges.m.b.H. Lieblgasse 1 A-1222 Wien
スペイン Hewlett-Packard Espa・la S.A. Carretera Nacional VI km 16.500 28230 Las Rozas E-Madrid	フィンランド Hewlett-Packard Oy Piispankalliontie 17 FIN-02200 Espoo
ギリシャ Hewlett-Packard Hellas 265, Mesogion Avenue 15451 N. Psychiko Athens	スウェーデン Hewlett-Packard Sverige AB Skalholtsgatan 9S-164 97 Kista
イタリア Hewlett-Packard Italiana S.p.A Via G. Di Vittorio 9 20063 Cernusco sul Naviglio I-Milano	イギリス Hewlett-Packard Ltd Cain Road Bracknell GB-Berks RG12 1HN

19 技術情報

この章では、次に挙げる Windows および Macintosh のシステム要件について説明します。ご使用の HP all-in-one に関する、用紙、印刷、コピー、メモリ カード、スキャンの仕様、物理的仕様、電気的仕様、環境仕様、規制に関する告知、適合宣言です。

システム要件

ソフトウェアのシステム要件は、Readme ファイルに収録されています。Readme ファイルの表示の詳細については、Readme ファイルを表示する を参照してください。

用紙の仕様

このセクションでは、用紙トレイの収容枚数、用紙サイズ、印刷余白の仕様について説明します。

用紙トレイの収容枚数

種類	用紙の重さ	給紙トレイ	排紙トレイ
普通紙	16 ～ 24 lb. (60 ～ 90 gsm)	150 (20 lb. の用紙)	50 (20 lb. の用紙)
リーガル用紙	20 ～ 24 lb. (75 ～ 90 gsm)	150 (20 lb. の用紙)	50 (20 lb. の用紙)
カード	110 lb. はがき大まで (200 gsm)	30	30
封筒	20 ～ 24 lb. (75 ～ 90 gsm)	20	10
バナー	16 ～ 24 lb. (60 ～ 90 gsm)	20	20 枚以下
OHP フィルム	N/A	25	25 枚以下
ラベル	N/A	30	30
10 x 15 cm フォト用紙	145 lb. (236 gsm)	30	30
A4/216 x 279 mm フォト用紙	N/A	20	20

用紙サイズ

種類	サイズ
用紙	レター：216 x 279 mm

種類	サイズ
	A4：210 x 297 mm A5:148 x 210 mm エグゼクティブ:184.2 x 266.7 mm リーガル：216 x 356 mm
バナー	HP バナー用紙、A4 Z 折り コンピュータ用紙：(紙送り用ミシン目は除く)
封筒	US No.10：105 x 241 mm A2：111 x 146 mm DL：110 x 220 mm C6：114 x 162 mm
OHP フィルム	レター：216 x 279 mm A4：210 x 297 mm
フォト用紙	102 x 152 mm 127 x 178 mm レター：216 x 279 mm A4：210 x 297 mm
カード	76 x 127 mm 101 x 152 mm 127 x 178 mm A6:105 x 148.5 mm はがき：100 x 148 mm
ラベル	レター：216 x 279 mm A4：210 x 297 mm
カスタム	77 x 127 ～ 215 x 609 mm

印刷余白の仕様

	上 (先端)	下 (後端)
「用紙または OHP フィルム」		
US (レター サイズ、リーガル サイズ、エグゼクティブ サイズ)	1.8 mm	3 mm
ISO (A4、A5) および JIS (B5)	1.8 mm	6.0 mm
「封筒」		

技術情報

	上 (先端)	下 (後端)
	1.8 mm ()	14.3 mm
「カード」		
	1.8 mm	6.7 mm

印刷の仕様

- 1200 x 1200 dpi モノクロ
- 1200 x 1200 dpi カラー (HP PhotoREt III を使用)
- 方法：オンデマンド型サーマル インクジェット
- 言語：HP PCL レベル 3、PCL3 GUI または PCL 10
- 印刷速度は、文書の複雑さによって異なります。
- 動作周期：500 ページ/月 (平均)
- 動作周期：5000 ページ/月 (最大)
- パノラマ サイズ印刷

モード		解像度 (dpi)	速度 (ppm)
高画質	モノクロ	1200 x 1200	2
	カラー	1200 x 1200 ～ 4800 dpi に最適化	2
きれい	モノクロ	600 x 600	9.8
	カラー	600 x 600	5.7
はやい	モノクロ	300 x 300	30
	カラー	300 x 300	20

技術情報

コピーの仕様

- デジタル画像処理
- 原稿からのコピーは 99 枚まで (モデルによって異なります)
- 25 ～ 400% のデジタル ズーム (モデルによって異なります)
- ページに合わせて印刷、ポスター印刷、割り付け印刷
- 最大 30 枚/分のモノクロ コピー、最大 20 枚/分のカラー コピー (モデルによって異なります)
- コピーの速度は、文書の複雑さによって異なります。

モード		速度 (ppm)	印刷の解像度 (dpi)	スキャンの解像度 (dpi)
高画質	モノクロ	最大 0.8	1200 x 1200	1200 x 1200
	カラー	最大 0.8	1200 x 1200	1200 x 1200
きれい	モノクロ	最大 9.8	600 x 600	600 x 1200
	カラー	最大 5.7	600 x 600	600 x 1200

モード		速度 (ppm)	印刷の解像度 (dpi)	スキャンの解像度 (dpi)
はやい	モノクロ	最大 30	300 x 300	600 x 1200
	カラー	最大 20	600 x 300	600 x 1200

ファクスの仕様

- Walk-up 方式のモノクロおよびカラー ファクス機能
- 最大 130 件の短縮ダイヤル (モデルによって異なります)
- 最大 150 ページのメモリ (ITU-T Test Image #1 を標準解像度で受信した場合で、モデルよって異なります)。より複雑なページあるいは高解像度のページの場合は受信に時間がかかり、消費メモリも多くなります。
- 複数ページの手動ファクス
- 自動リダイヤル (最大 5 回まで)
- 確認レポートおよびアクティビティ レポート
- CCITT/ITU Group 3 ファクス (エラー訂正モード対応)
- 伝送速度 33.6 Kbps
- 33.6 Kbps の場合の伝送速度は 6 秒/枚 (ITU-T Test Image #1 を標準解像度で受信した場合)。より複雑なページあるいは高解像度のページの場合は受信に時間がかかり、消費メモリも多くなります。
- 呼び出しの自動検出とそれに伴うファクス/留守番電話の自動切り替え

	写真 (dpi)	高画質 (dpi)	標準 (dpi)
モノクロ	200 x 200	200 x 200	200 x 100
カラー	200 x 200	200 x 200	200 x 200

メモリ カードの仕様

- メモリ カード上のファイル数 (最大推奨値) : 1,000
- 各ファイルのサイズ (最大推奨値) : 12 メガピクセル (最大)、8 MB (最大)
- メモリ カードのサイズ (最大推奨値) : 1 GB (半導体のみ)

注記 メモリ カードの最大推奨値に近づくと、HP all-in-one のパフォーマンスが期待値より遅くなる場合があります。

サポートされているメモリ カードのタイプ

- CompactFlash
- SmartMedia
- Memory Stick
- Memory Stick Duo
- Memory Stick Pro
- Secure Digital
- MultiMediaCard (MMC)
- xD-Picture カード

スキャンの仕様

- イメージ エディタ付属
- 統合 OCR ソフトウェアによってスキャンしたテキストを編集可能なテキストに自動的に変換(Windows のみ）
- スキャンの速度は、文書の複雑さによって異なります。
- Twain 互換 インタフェース
- 解像度：光学解像度 2400 x 4800 dpi、最大補間解像度 19200 dpi
- カラー：48 ビット カラー、8 ビット グレースケール (256 階調の灰色)
- ガラス板からの最大スキャン サイズ：216 x 355.6 mm

物理的仕様

- オプションの 250 シート用普通紙トレイ装着時 35.3 cm
- 「幅：」 54.9 cm
- 「奥行き：」 39.7 cm
  43.8 cm (HP 自動両面印刷モジュール装着時)
- 「重さ：」 11.3 kg
  11.9 kg (HP 自動両面印刷モジュール装着時)
  14.2 kg (HP 自動両面印刷モジュールおよびオプションの 250 シート用普通紙トレイ装着時)

電気的仕様

- 消費電力：最大 75 W
- 入力電圧：AC 100 ～ 240 V、2 A 50 ～ 60 Hz、アース済み
- 出力電圧：DC 31Vdc===2420 mA

環境仕様

- 推奨される動作時の温度範囲：15°～ 32°C（59°～ 90°F）
- 許容される動作時の温度範囲：-15º ～ 35ºC (5º ～ 104ºF)
- 湿度：15 ～ 85% RH (結露しないこと)
- 非動作時 (保管時) の温度範囲：-4°～ 60°C（-40°～ 140°F）
- 強い電磁気が発生している場所では、HP all-in-one の印刷結果に多少の歪みが出るおそれがあります。
- 強い電磁気が原因で発生するインクジェットのノイズを最小化するために、使用する USB ケーブルは長さが 3 m 以下のものとしてください。

その他の仕様

インターネットにアクセス可能な場合は、騒音に関する情報を次の HP Web サイトから入手することができます www.hp.com/support にアクセスしてください。

環境保全のためのプロダクト スチュワード プログラム

このセクションでは、環境基準について説明しています。

環境の保護

Hewlett-Packard では、優れた製品を環境に対して適切な方法で提供することに積極的に取り組んでいます。この製品は、私たちの環境への影響を最も少なくする特性を備えるように設計されています。

詳細については、以下のアドレスの HP の「環境保護」の Web サイトにアクセスしてください。
www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/index.html

オゾン層の保護

この製品では、検出可能なオゾン ガス (O3) は生成されません。

エネルギー消費

エネルギーの消費は、ENERGY STAR® モードになっている間は極めて低くなります。このモードでは、天然の資源と費用を節約できますが、この製品の高いパフォーマンスに影響することはありません。この製品は、ENERGY STAR に適合しています。これは、エネルギー効率の高いオフィス機器の開発を推進するために設立された自主的なプログラムです。



ENERGY STAR は、米国 EPA の登録サービス マークです。ENERGY STAR のパートナーとして、当社ではエネルギーの効率化のため、この製品を ENERGY STAR のガイドラインに適合させることを決定しました。
ENERGY STAR のガイドラインの詳細については、次の Web サイトにアクセスしてください。
www.energystar.gov

用紙の使用

この製品は、DIN 19309 に準拠したリサイクル用紙の使用に適しています。

プラスチック

25 グラムを超えるプラスチック部品は、製品が役目を終えたときにリサイクルするため、プラスチックを識別しやすくする国際規格に従って記号が付けられています。

物質安全性データ シート

物質安全性データ シート（MSDS)は、次の HP Web サイトから入手することができます
www.hp.com/go/msds
インターネットにアクセスできないユーザーは、最寄りの HP カスタマ ケア センターにお問い合わせください。

リサイクル プログラム

HP では、より多くの製品を返却してもらえるよう、リサイクル プログラムを多くの国/地域で展開しているほか、世界で最大の電子機器リサイクル センターのいくつかと協力しています。また、HP では最も広く使用されている製品のいくつかを再生し、再度販売することによって、資源を保護しています。

HP の本製品には、製品が役目を終えたときに特別な取り扱いが必要な以下のものが含まれています。

- 水銀 (スキャナの蛍光灯内、2 mg 未満)
- 鉛 (はんだ内)

HP インクジェット消耗品リサイクル プログラム

HP では、環境の保護に積極的に取り組んでいます。HP のインクジェット消耗品リサイクル プログラムは多くの国/地域で利用可能であり、これを使用すると使用済みのプリント カートリッジを無料でリサイクルすることができます。詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/inkjet.html

規制に関する告知

HP all-in-one は、お住まいの国/地域の規制当局からの製品要件に適合しています。

このセクションでは、無線機能に関係しない規制に関するトピックを説明しています。

規制モデルの ID 番号

規制の識別を目的として、お使いの製品には規制モデル番号が割り当てられています。お使いの製品の規制モデル番号は、SDGOB-0305-02/SDGOB-0305-03 です。この規制番号は、市販名 (HP Officejet 7300/7400 series all-in-one) や製品番号 (Q3461A/Q3462A) と混同しないでください。

米国電話網ユーザーへの告知：FCC 要件

この機器は FCC 規則 パート 68 に準拠しています。この機器には、この機器に対する FCC 登録番号および Ringer Equivalent Number (REN) が記載されたラベルが貼付されています。要請があった場合は、この情報を電話会社に伝えてください。

この機器には、FCC 準拠の電話ケーブルおよびモジュラ プラグが付属しています。この機器は、パート 68 に適合するモジュラ ジャックを使用して電話ネットワークおよび構内配線に接続するよう設計されています。この機器は、標準ネットワーク インタフェース ジャック (USOC RJ-11C) を介して電話ネットワークに接続されます。

電話線に接続可能な機器の数を決定し、そして自分の電話番号に対する呼び出しがあったときに接続されているすべての機器の呼び出し音が鳴るようにするのに役立つのが REN です。電話回線に接続されている機器が多すぎる場合、着信があったときに呼び出し音が鳴らなくなってしまう場合があります。すべてではありませんが、ほとんどの地域において、すべての機器の REN の合計は 5 を越えてはなりません。回線に接続可能な機器の数を確認するには、地元の電話会社に問い合わせて、その地域の最大 REN 数を確認してください。

この機器が原因で電話ネットワークに障害が発生した場合、電話会社がお客様に対するサービスを一時的に停止することがあります。その際、可能であれば電話会社は事前の通知を行います。事前に通知を行うことが現実的でない場合は、できるだけ早いうちに通知がなされます。また、FCC に異議申し立てをする権利についても通知されます。電話会社は、お客様の機器の正常運用に関係する可能性のある施設や機器、運用方法、手順に変更を加える場合があります。その場合、サービスに支障が出ないようユーザーが措置を講じられるよう事前に通知がなされます。

この機器をお使いの際に何らかの問題が発生した場合は、メーカーに連絡するかこのマニュアルの他の箇所を参照するかして、保証や修理に関する情報を入手してくださ

い。電話会社は、問題が解決するか、あるいは機器の誤動作ではないことが確認されるまで、この機器をネットワークから外すよう求める場合があります。

この機器は、電話会社が提供する公衆電話サービスに使用することはできません。共同加入線への接続には州の税率表に基づいた税がかかります。詳しくは、 州の公共企業委員会や公益事業委員会、法人委員会にお問い合わせください。

この機器には自動ダイヤル機能が備えられています。緊急電話番号の登録やテストを行うときは次の点に気を付けてください。

- 電話をすぐに切らずに、電話をかけた理由を説明する。
- 早朝や深夜など、オフ ピーク時に電話をかける。

注記　補聴器に対する電話の適合性に関する FCC の規則はこの機器には適用されません。

1991 年に施行された電話利用者保護法では、送信されたページの一番上か一番下のマージン、あるいは送信する最初のページに、送信日と送信時間、メッセージを送信した企業や団体、あるいはその他個人の名前、そして送信した機器、または企業や他の団体、個人の電話番号を明記せずにコンピュータや、ファクス機などの電子機器を使ってメッセージを送ることを禁止しています(記載する電話番号は 900 番、あるいはその他、通信料金が地域内電話料金または長距離電話料金を越える番号であってはなりません)。この情報をファクス機にプログラムするには、ソフトウェアで説明されている手順を最後まで実行する必要があります。

FCC の告示

米国連邦通信委員会 (47 CFR 15.105 において) は、以下の告知が本製品のユーザーの注意を引くようにすることを指定しています。

適合宣言：この機器はテストの結果、FCC 規定のパート 15 に準拠したクラス B のデジタル デバイスの規制に適合していることが判明しています。動作は、以下の 2 つの条件に従うものとします。(1) このデバイスは有害な干渉を発生させてはなりません。(2) このデバイスは、不適切な動作の原因となる可能性のある干渉を含め、あらゆる干渉を受けるものとします。クラス B の規制は、居住用地域に設置した場合の有害な干渉を適切に保護することを目的としています。この機器は高周波エネルギーを生成および使用するほか、高周波エネルギーを放射する可能性があります。さらに、指示に従って設置または使用しない場合、無線通信に有害な干渉を及ぼす原因となることがあります。ただし、個々の設置環境で干渉が発生しないということは保証できません。この機器が原因でラジオまたはテレビの受信に有害な干渉が発生しているかどうかは、この機器の電源のオンとオフを切り替えることによって判断することができます。この機器が干渉の原因である場合は、以下の手段を実行して、干渉しないようにすることをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変える。
- この機器と受信機の間隔を広くする。
- 受信機が接続されているコンセントとは別系統のコンセントに、この機器を接続する。
- 代理店に問い合わせるか、熟練したラジオまたはテレビの専門家に問い合わせる。

詳細については、プロダクト レギュレーション マネージャ、Hewlett-Packard Company、San Diego、(858) 655-4100 にお問い合わせください。

米国連邦通信委員会が用意した『How to Identify and Resolve Radio-TV Interference Problems』というブックレットがあります。このブックレットは、米国政府印刷局 (Washington DC, 20402. Stock No. 004-000-00345-4) から入手することができます。



注意 FCC 規定のパート 15.21 により、この機器のいかなる変更または修正も Hewlett-Packard Company では承認していません。この機器への変更または修正は有害な干渉の原因となることがあるほか、この機器の動作に対する FCC の認定が無効になります。

「高周波への暴露」



注意 本製品から放射される出力パワーは、FCC 電波放射限界よりはるかに低くなっています。それでも、本製品は、通常の動作中に人と接触する可能性を最小限に留められるように使用する必要があります。本製品および付属の外部アンテナ （サポートされる場合） は、通常の動作中に人と接触する可能性を最小限に留められるように配置する必要があります。FCC 電波放射限界を超えることを防止するため、通常の動作中、人とアンテナの距離が 20 cm (8 インチ) 未満にならないようにしてください。

Note a l’attention des utilisateurs du reseau telephonique Canadien/ カナダ電話網ユーザーへの告知

Cet appareil est conforme aux specifications techniques des equipements terminaux d’Industrie Canada.Le numero d’enregistrement atteste de la conformite de l’appareil.L’abreviation IC qui precede le numero d’enregistrement indique que l’enregistrement a ete effectue dans le cadre d’une Declaration de conformite stipulant que les specifications techniques d’Industrie Canada ont ete respectees.Neanmoins, cette abreviation ne signifie en aucun cas que l’appareil a ete valide par Industrie Canada.

Pour leur propre securite, les utilisateurs doivent s’assurer que les prises electriques reliees a la terre de la source d’alimentation, des lignes telephoniques et du circuit metallique d’alimentation en eau sont, le cas echeant, branchees les unes aux autres.Cette précaution est particulièrement importante dans les zones rurales.

Le numéro REN (Ringer Equivalence Number) attribué à chaque appareil terminal fournit une indication sur le nombre maximal de terminaux qui peuvent être connectés à une interface téléphonique. La terminaison d’une interface peut se composer de n’importe quelle combinaison d’appareils, a condition que le total des numeros REN ne depasse pas 5.

Basé sur les résultats de tests FCC Partie 68, le numéro REN de ce produit est 0.2B.

本機器は、適用可能な Industry Canada 端末機器技術仕様に適合しています。そのことは、登録番号で確認できます。登録番号の前にある IC という略語は、適合宣言に基づいて登録が実施されたことを示しており、Industry Canada 技術仕様を満たしていることを示しています。本機器を Industry Canada が認可したことを暗黙的に示すものではありません。

安全のために、電気配線、電話線、そして金属管水道管路(もしあれば)の接地接続が相互に接続されていることを確認してください。この予防措置は、機器の設置場所が農村地帯である場合にとりわけ重要となります。

注記 各端末機器に割り当てられている Ringer Equivalence Number (REN) により、電話インタフェースに接続可能な端末の最大数を知ることができます。インタフェース上の終端については、すべての機器の Ringer Equivalence Number の合計が 5 を超えてはならないという点を除けば、任意の機器の組み合わせが可能です。

FCC パート 68 のテスト結果に基づくこの機器の REN は 0.2B です。

欧州経済地域の全ユーザーに対する告知



欧州経済地域 (EEA) の国/地域のアナログ公衆電話交換回線網 (PSTN) に接続できるように作られています。

ネットワークとの互換性はユーザーの選択した設定に依存します。それで、購入した国とは別の国/地域の電話ネットワークで使用するには、機器をリセットする必要があります。追加の製品サポートが必要な場合は、ベンダーあるいは Hewlett-Packard Company までお問い合わせください。

この機器は、指令 1999/5/EC (annex II) に基づいて、1 つの端末で全ヨーロッパの公衆電話交換回線網 (PSTN) に接続が可能であることが保証されています。しかし、各国で提供されている個々の PSTN には違いがあるため、この認可があるからといって、どの接続地点から PSTN ネットワークへ接続しても無条件に正常動作することを自動的に保証するものではありません。

問題が発生した場合は、まず機器のメーカーにお問い合わせください。

この機器では DTMF トーン ダイヤルおよびループ切断されている状態でダイヤルが使用できるよう設計されています。ごくまれなことですが、ループ切断ダイヤルで問題が発生する場合は、DTMF トーン ダイヤル設定のみを使用することをお奨めします。

ドイツ電話網ユーザーへの告知

本 HP ファクス製品は、アナログ公衆電話交換回線網 (PSTN) にのみ接続するよう設計されています。HP all-in-one に付属の TAE N 型電話コネクタ プラグを、壁のソケット (TAE 6) の N 型のほうに挿してください。本 HP ファクス製品は単独で使用することもできますし、承認を受けた他の端末機器と (シリアル接続で) 組み合わせて使用することもできます。

Gerauschemission

LpA < 70 dB am Arbeitsplatz im Normalbetrieb nach DIN 45635 T. 19

日本のユーザーに対する告知 (VCCI-2)

　この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。
　取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

韓国のユーザーに対する告知

사용자 안내문(B급 기기)

이 기기는 비업무용으로 전자파 적합 등록을 받은 기기로서,
주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

無線製品の規制に関する告知

このセクションでは、無線機能に関係する規制に関する情報を説明しています。

Note a l'attention des utilisateurs Canadien/カナダのユーザーに対する告知

「屋内用。」 このデジタル機器は、カナダ通信省の電波障害規制で規制されたデジタル機器から放射される高周波雑音を対象としたクラス B の制限を越えません。内部無線機は、Industry Canada の RSS 210 に準拠しています。

「屋内用。」 Le present appareil numerique n'emet pas de bruit radioelectrique depassant les limites applicables aux appareils numeriques de la classe B prescrites dans le Reglement sur le brouillage radioelectrique edicte par le ministere des Communications du Canada.Le composant RF interne est conforme a la norme CDN-210 d'Industrie Canada.

ARIB STD-T66 (日本)

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1　この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認して下さい。

2　万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。

3　その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせ下さい。

連絡先：日本ヒューレット・パッカード株式会社　ＴＥＬ：０１２０－０１４１２１

２．４ＤＳ ４

イタリアのユーザーに対する告知

使用にはライセンスが必要です。最寄りの代理店、または直接 General Direction for Frequency Planning and Management (Direzione Generale Pianificazione e Gestione Frequenze) に確認してください。

E’necessaria una concessione ministeriale anche per l’uso del prodotto.Verifici per favore con il proprio distributore o direttamente presso la Direzione Generale Pianificazione e Gestione Frequenze.

フランスのユーザーに対する告知

本製品の 2.4 GHz 無線 LAN の動作には一定の制限が適用されます。屋内では、本機は、2400 ～ 2483.5 MHz の周波数帯全域 (チャネル 1 ～ 13) で使用できます。屋外での使用については、2454 ～ 2483.5 MHz の周波数帯 (チャネル 10 ～ 13) だけが使用できます。最新の要件については、www.art-telecom.fr を参照してください。

Pour une utilisation en rseau sans fil 2,4 GHz de ce produit, certaines restrictions s'appliquent :cet appareil peut tre utilis l'intrieur des btiments sur toute la bande de frquences 2400-2483,5 MHz (canaux 1 13).Pour une utilisation l'extrieur des btiments, seule la partie 2454-2483,5 MHz (canaux 10 13) peut tre utilise.Pour connatre les dernires rglementations en vigueur, consultez le site Web www.art-telecom.fr.

欧州経済地域の全ユーザーに対する告知 (無線製品)

CE 0984 または CE アラート マーキングを受けた無線製品は、欧州共同体委員会が発令した R&TTE 指令 (1999/5/EC) 準拠です。

注記　2.4 GHz 帯域で動作する、家庭およびオフィス環境用低出力無線 LAN 製品について。次に挙げる国/地域では、こうした製品の使用に対して特定の制限が課される場合があります。

この製品は、次の EU および EFTA の国/地域で使用可能です。オーストリア、ベルギー、デンマーク、フィンランド、ドイツ、ギリシャ、アイスランド、アイルランド、イタリア、リヒテンシュタイン、ルクセンブルグ、オランダ、ノルウェー、ポルトガル、スウェーデン、スイス、イギリス。この製品を通常の無線 LAN で使用する場合、フランスでは限られた帯域だけ (チャネル 10、11、12、13) が使用できます。L’Autorite de regulation des telecommunications (ART) には、追加チャネルの許可について、ホットスポットに関する特別規制があります。現地での規制や承認を含めた詳細については、次の ART Web サイトを参照してください。www.art-telecom.fr

適合宣言 (欧州経済地域)

本書の適合宣言は、ISO/IEC ガイド 22 および EN 45014 に準拠しています。そして、製品、製造元の名前と住所、および欧州コミュニティで承認されている適用可能な仕様が明記されています。

HP Officejet 7300 series の適合宣言



DECLARATION OF CONFORMITY

according to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014

Manufacturer's Name: Hewlett-Packard Company

Manufacturer's Address: 16399 West Bernardo Drive
San Diego CA 92127, USA

declares, that the product

Regulatory Model Number: SDGOB-0305-02
Product Name: OfficeJet 7300 Series **(Q3461A)**
Model Number(s): OfficeJet 7310 (Q5562A), 7313 (Q5562A), 7310xi (Q5563A)
Power Adapter(s) HP part#: 0950-4483 (domestic)
0950-4484 (international)

conforms to the following Product Specifications:

Safety: IEC 60950-1: 2001
EN 60950-1: 2002
IEC 60825-1 Edition 1.2: 2001 / EN 60825-1+A11+A2+A1: 2002 Class 1(Laser/Led)
UL 60950-1: 2003
CAN/CSA-22.2 No. 60950-1-03
NOM 019-SFCI-1993, AS/NZS 60950: 2000, GB4943: 2001

EMC: CISPR 22:1997 / EN 55022:1998 Class B
CISPR 24:1997 / EN 55024:1998
IEC 61000-3-2: 2000 / EN 61000-3-2: 2000
IEC 61000-3-3/A1: 2001 / EN 61000-3-3/ A1: 2001
CNS13438:1998, VCCI-2
FCC Part 15-Class B/ICES-003, Issue 2
GB9254: 1998, EN 301-489-17:2002

Telecom: TBR 21:1998, AS/ACIF S002:2001

Supplementary Information:

The product herewith complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EC, the EMC Directive 89/336/EC and with the R&TTE Directive 1999/5/EC (Annex II) and carries the CE-marking accordingly. The product was tested in a typical configuration.

24 February 2004
Date

Steven H. Smith
Steve Smith, Hardware Test & Regs MGR.

European Contact for regulatory topics only: Hewlett Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, D-71034 Böblingen Germany. (FAX +49-7031-14-3143
US Contact: Hewlett Packard Co. 16399 W. Bernardo Dr. San Diego, CA, USA, 92127

技術情報

HP Officejet 7400 series の適合宣言



DECLARATION OF CONFORMITY

according to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014

Manufacturer's Name: Hewlett-Packard Company

Manufacturer's Address: 16399 West Bernardo Drive
San Diego CA 92127, USA

declares, that the product

Regulatory Model Number: SDGOB-0305-03
Product Name: OfficeJet 7400 Series (**Q3462A)**
Model Number(s): OfficeJet 7410 (Q5569A/B, Q5573C-Japan), 7410xi (Q5564A), 7413 (Q5570A)
Power Adapter(s) HP part#: 0950-4483 (domestic)
0950-4484 (international)

conforms to the following Product Specifications:

Safety:
IEC 60950-1: 2001
EN 60950-1: 2002
IEC 60825-1 Edition 1.2: 2001 / EN 60825-1+A11+A2+A1: 2002 Class 1(Laser/Led)
UL 60950-1: 2003
CAN/CSA-22.2 No. 60950-1-03
NOM 019-SFCI-1993, AS/NZS 60950: 2000, GB4943: 2001

EMC:
CISPR 22:1997 / EN 55022:1998 Class B
CISPR 24:1997 / EN 55024:1998
IEC 61000-3-2: 2000 / EN 61000-3-2: 2000
IEC 61000-3-3/A1: 2001 / EN 61000-3-3/ A1: 2001
CNS13438:1998, VCCI-2
FCC Part 15-Class B/ICES-003, Issue 2
GB9254: 1998, EN 301-489-17:2002

Telecom:
TBR 21:1998, AS/ACIF S002

Supplementary Information:

The product herewith complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EC, the EMC Directive 89/336/EC and with the R&TTE Directive 1999/5/EC (Annex II) and carries the CE-marking accordingly. The product was tested in a typical configuration.

11 March 2004
Date

Steve Smith, Hardware Test & Regs MGR.

European Contact for regulatory topics only: Hewlett Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, D-71034 Böblingen Germany. (FAX +49-7031-14-3143

索引

へ





この印刷物には、50%以上の再生パルプと
10%以上の再生紙を使用しています。

Electronic Edition

www.hp.com



Q3461-90200